KYOCERA
使用説明書
応用編
KM-C2520
KM-C3225
KM-C3232
ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
お読みになった後は、本製品の近くに大切に保管してください。

カラー調整サンプル

カラー調整機能について、使用例を挙げて説明します。

参考：本書中のコピーサンプルは、機能の差がわかるよう処理しているため本機でのコピーの色とは多少異なります。

ワンタッチ画質調整

「あざやかに」や「シックに」などのイメージにあわせて、お好みの画質に調整します。(設定方法は1-55 ページの**ワンタッチ画質調整**参照)

カラーバランス調整

シアン（青系色)、マゼンタ（赤系色)、イエロー（黄色)、ブラック（黒）のそれぞれの色の強弱を変更することにより、色調を微妙に調整します。（設定方法は 1-52 ページの**カラーバランス調整**参照）

原稿

イエローを強く

マゼンタを強く

シアンを強く

ブラックを強く

イエローを弱く

マゼンタを弱く

シアンを弱く

ブラックを弱く

色相調整

色調（色合い）を調整します。赤を黄色の強い赤にしたり、黄色を黄緑色に近い色にしたりすることによって、イメージの変わったコピーができます。（設定方法は 1-53 ページの**色相調整**参照）

原稿

イエローに近いグリーンをイエロー側に、ブルーに近いマゼンタをブルー側に調整…（1）

イエローに近いレッドをイエロー側に、ブルーに近いシアンをブルー側に調整…（2）

シャープネス調整

画像の輪郭の強弱を調整します。（設定方法は 1-34 ページの**シャープネス調整**参照）

シャープネス弱く　**原稿**　**シャープネス強く**

安全に正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、まず最初にお読みください。

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシスおよび ECOSYS は、京セラ株式会社の登録商標です。
- KPDL は、京セラ株式会社の商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- PCL は米国ヒューレット・パッカード社の商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScript は Adobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Power PC は IBM 社の米国、その他における商標です。
- コンパクトフラッシュはサンディスク社の商標です。
- 本製品はウィンドリバーシステムズ社のリアルタイム OS 統合環境 Tornado™ を用いて開発されました。
- 本製品がエミュレートしている HP LaserJet の制御言語である PCL6 は、米国 Peerless Systems Corporation が開発した互換システム PeerlessPrintXL を使用しています。PeerlessPrintXL は米国 Peerless Systems Corporation (2381 Rosecrans Ave. El Segundo, CA 90245, U.S.A.) の商標です。
- TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- DFHSGOTHIC-W5 と DFHSMINCHO-W3 は平成書体です。これらの書体は（財）日本規格協会と京セラミタ株式会社がフォント使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
- 平成書体は財団法人日本規格協会を中心に製作グループが共同開発したものです。許可なく複製する事はできません。
- TypeBankG-B、TypeBankM-M および TypeBank-OCR はタイプバンク® の商標です。
- 本製品に搭載されている欧文フォントは、すべて Monotype Imaging Inc. からのライセンスを受けています。
- Helvetica、Palatino、Times は、Linotype-Hell AG. の登録商標です。
- ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC ZapfChancery、ITC Zapf Dingbats は、International Type-face Corporation の登録商標です。
- 本製品は Monotype Imaging Inc. からの UFST™ MicroType® のフォントを搭載しています。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には ™ および ® は明記しておりません。

IBM プログラムのご使用条件

お客様がご購入された機器には、International Business Machines Corporation（以下 IBM といいます）が所有権を持つ一またはそれ以上の「プログラム」が含まれています。本「IBM プログラムのご使用条件」には、お客様がこれらのプログラムをご使用いただく場合の条件が記載されています。本「IBM プログラムのご使用条件」にご同意いただけない場合、お客様は機器を取得された日から 14 日以内に返却することで代金全額の返金を受けることができます。機器の取得から 14 日以内に当該機器の返却が行われない場合、お客様はこのご使用条件にご同意いただいたものとみなされます。

この「プログラム」は使用許諾されるものであって、売買の対象ではありません。IBM もしくはお客様の国の IBM は、お客様に対して「プログラム」を取得された国内における使用権のみを許諾します。お客様はこの使用条件のもとで認められた権利のみを有します。

「プログラム」とは、プログラムの原本およびその全体または部分的複製物（改変複製物または他のプログラムに組み込まれた部分を含みます。）を意味します。IBM は「プログラム」の著作権を所有しているか、もしくは権原者より使用権を取得しています。

1. 使用権

本使用権の下でお客様は「プログラム」が導入された機器と共に「プログラム」を使用し、また「プログラム」の使用権および機器の所有権を第三者に移転することができます。「プログラム」の使用権を移転する場合、お客様は本「IBM プログラムのご使用条件」およびその他のすべての関連資料を当該第三者に移転しなければなりません。その移転に伴いお客様の使用権は終了します。移転先の第三者は「プログラム」を最初にご使用になったことにより本「IBM プログラムのご使用条件」に同意いただいたものとします。

お客様は、

1）この使用条件に明記されている場合を除き、「プログラム」を使用、複製、改変、結合もしくは、移転すること、

2）「プログラム」を逆アセンブルもしくは逆コンパイルすること、

3）「プログラム」を再使用許諾、賃貸、貸与することはできません。

2. 保証の内容と制限

「プログラム」は現状するままの状態で提供されます。この「プログラム」には、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示もしくは黙示の保証はありません。国または地域によっては法律の強行規定により、上記の保証の制限が適用されない場合があります。

3. 責任の制限

IBM がこの使用条件で負う全ての責任は以下のものです。

1）本使用権に関する、いかなる形式のいかなる牲立て（契約不履行が含まれます。）に対しても、IBM の賠償責任は実際の直接損害に対してのみ、

a）お客様が居住する国の通貨で 25,000 米国ドル相当額、もしくは、

b）当該「プログラム」の IBM 価格のうちの大きい方の金額を限度とする金銭賠償責任に限られます。

この制限は、IBM が法的責任を負うお客様に生じた身体、生命および有体物に対する損害賠償には適用されません。

IBM は、IBM または IBM 認定再販売者の掠の有無を問わず発生した逸失利益、特別損害、付随的損害、間接損害、あるいはその他の拡大損害について責任を負いません。

IBM は第三者からの損害賠償請求に基づくお客様の損害について責任を負いません。

本項の責任の制限は、IBM に「プログラム」を提供した「プログラム」開発者に対する損害賠償請求にも適用されるものとします。お客様は IBM および「プログラム」開発者に対して重複して損害賠償を請求することはできません。ここでの「プログラム」開発者とは、この項で利益を受ける者をいいます。国または地域によっては、法律の強行規定により上記の責任の制限の規定が適用されないことがあります。

4. その他

お客様はいつでも使用権の使用を解除できます。お客様が本ご使用条件に違反した場合には、IBM はこの使用契約を解約できます。この場合、お客様は「プログラム」のすべての複製を破棄、滅却しなければなりません。「プログラム」を使用することで発生するいかなる税金のお支払いもお客様の負担とします。この使用契約に基づく請求権は、請求のいかんにかかわらずその原因が発生した日から 2 年を経過したときに時効により消滅するものとします。お客様が「プログラム」をアメリカ合衆国で取得された場合にはニューヨーク州の法律が適用されます。カナダで取得された場合にはオンタリオ州の法律が適用されます。その他の国で取得された場合には、取得した国の法律が適用されます。

Monotype Imaging ライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびに UFST ソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェース」）のウェート、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imaging の財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェースへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェースを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェースを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行が Monotype Imaging からの通知後 30 日以内に是正されなかったときは、Monotype Imaging は本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェースの複製物ならびに文書をすべて Monotype Imaging に返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imaging は、引渡し後 90 日間について、本件ソフトウェアが Monotype Imaging の発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。

   当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するお客様の排他的救済手段および Monotype Imaging の唯一の責任は、欠陥のある部品を Monotype Imaging に返却した時点で修理または交換することです。

   いかなる場合も Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
9. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。
10. お客様は、Monotype Imaging の事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび / またはタイプフェースの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利」の (b) (3) (ii) 項または (c) (1) (ii) 項に定められた制限を受けます。さらに、使用、複製または開示は、FAR52. 227-19 (c) (2) 項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。

12. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

はじめに

本書は次の章で構成されています。

1　コピー機能

コピーの詳細な機能について説明しています。

2　文書 / 出力管理機能

文書管理機能および出力管理機能について説明しています。

3　プリンタ設定

プリンタ機能の設定方法について説明しています。

4　スキャナ設定

本体タッチパネルから設定できるスキャナ機能や設定について説明しています。

5　Web ブラウザからのスキャナ設定

Web ブラウザから設定できるスキャナ設定について説明しています。

6　付属スキャナユーティリティ

スキャナユーティリティについて説明しています。

7　システムメニュー

本機の全般に関わる初期設定について説明しています。

8　部門管理

部門管理の設定方法について説明しています。

付録

本機で使用できる用紙、仕様、機能と設定の組み合わせについての一覧表、本書で使われている用語を説明しています。

付属マニュアルの紹介

本製品には、次のマニュアルがあります。必要に応じてご参照ください。

使用説明書

本製品の用紙の補給方法、コピー、プリンタ、スキャナの基本的な操作、各種のトラブルの対処方法について説明しています。

使用説明書 応用編（本書）

コピー機能、プリンタ機能、スキャナ機能の詳細、各種の初期設定などについて説明しています。

KX プリンタドライバ操作手順書

プリンタドライバのインストール方法とセットアップについて説明しています。本書は CD-POM に PDF ファイルで収録されています。

プリスクライブコマンドリファレンスマニュアル

プリスクライブコマンドによって実現される各種機能や制御について、コマンドごとに説明しています。本書は CD-ROM に PDF ファイルで収録されています。

付属プリンタユーティリティ

本製品には、以下のプリンタユーティリティが CD-ROM に収められています。必要に応じてインストールしてください。詳細は、各ユーティリティに付属するマニュアルを参照してください。

- KM-NET for Clients
- KM-NET for Direct Printing
- IC-Link
- KM-NET VIEWER
- KM-NET VIEWER for Web Edition
- KPrint
- クイックセットアップ

本書の読みかた

本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明	表記例
[太字]	操作パネルおよびタッチパネル上のキーを示します。	**[スタート]** キーを押してください。
「太字」	タッチパネルに表示されるメッセージを示します。	**「コピーできます」** が表示されます。
太字	コンピュータの画面に表示されるボタンやメッセージを示します。	**OK** ボタンをクリックしてください。
参考	補足説明や操作の参考となる情報が書かれています。	**参考：** —
注意	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項が書かれています。	**注意：** —

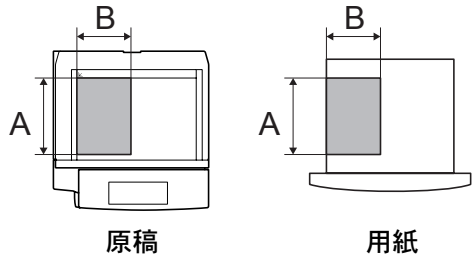
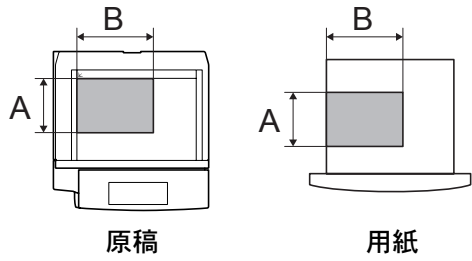
原稿および用紙サイズについて

本書中で使用する原稿および用紙サイズの表記について説明します。

A4 や B5 のように、縦向きと横向きのどちらも使用できるサイズの場合、原稿 / 用紙の向きを区別するために、横向きのサイズには「R」を付けて表記しています。

<table>
<tr><th>セット方向</th><th>表記サイズ†</th></tr>
<tr><td>縦向き

原稿 / 用紙の A より B が短い。</td><td>A4、B5、A5、B6、A6</td></tr>
<tr><td>横向き

原稿 / 用紙の A より B が長い。</td><td>A4R、B5R、A5R、B6R、A6R</td></tr>
</table>

† 使用できる原稿 / 用紙のサイズは機能や給紙段によって異なります。詳しくは各機能または給紙段のページを参照してください。

目次

カラー調整サンプル i
ワンタッチ画質調整 i
カラーバランス調整 ii
色相調整 iii
シャープネス調整 iii

安全に正しくお使いいただくために v
商標について v

はじめに ix
付属マニュアルの紹介 x
付属プリンタユーティリティ x
本書の読みかた xi
原稿および用紙サイズについて xii

1 コピー機能 1-1
給紙元の選択 1-2
原稿サイズ選択 1-3
コピー枚数の設定 1-6
原稿セット向きの設定 1-7
仕分けコピー 1-9
ステープルコピー 1-10
パンチコピー 1-12
集約コピー 1-14
とじしろコピー 1-17
センター移動コピー 1-19
枠消しコピー 1-20
拡大連写 1-23
ページ付け 1-24
表紙付け 1-26
小冊子（シート原稿） 1-27
小冊子（見開き原稿） 1-29
書き込み余白 1-31
連続読み込みコピー 1-33
シャープネス調整 1-34
地色調整 1-35
試しコピー 1-36
再コピー 1-37
OHP 合紙モード 1-41
自動回転コピー 1-43
排出先選択 1-44
エコプリント 1-45
白黒反転コピー 1-46
鏡像コピー 1-47
原稿サイズ混載コピー 1-48
イメージリピートコピー 1-50

カラーバランス調整 1-52
色相調整 1-53
ワンタッチ画質調整 1-55
配布コピー 1-56
単色カラーコピー 1-57
2 色カラーコピー 1-58
プログラムコピー 1-59
機能登録キーの設定 1-61
応用コピー 1-63

2 文書 / 出力管理機能 2-1
文書管理機能 2-2
出力管理機能 2-12

3 プリンタ設定 3-1
ステータスページの印刷 3-2
インタフェースの設定 3-5
エミュレーションの設定 3-11
フォントの設定 3-14
印刷環境の設定 3-19
印刷品質の設定 3-24
カラーモードの選択 3-25
用紙の設定 3-26
記憶装置の操作 3-31
e-MPS 機能 3-39
その他の設定 3-46

4 スキャナ設定 4-1
スキャン機能設定 4-2
スキャン機能初期設定 4-13
プログラムスキャン 4-23
送信履歴の確認 4-26

5 Web ブラウザからのスキャナ設定 5-1
Web ページ機能 5-2
システム設定 5-7
PC 送信設定 5-18
E メール送信設定 5-22
FTP 送信設定 5-27

6 付属スキャナユーティリティ 6-1
付属ユーティリティのご紹介 6-2
Scanner File Utility 6-3
Address Editor 6-15
アドレス帳 for Scanner 6-36
TWAIN Source 6-48
DB Assistant 6-56

7 システムメニュー ... 7-1
初期設定 ... 7-2
手差し用紙設定 ... 7-34
原稿サイズ登録 ... 7-35
ユーザ調整 ... 7-36
文書管理初期設定 ... 7-44
ハードディスク管理 ... 7-49
レポート出力 ... 7-50
トータルカウンタの参照と印刷 ... 7-53
言語切替 ... 7-55
文字入力の方法 ... 7-56

8 部門管理 ... 8-1
部門管理について ... 8-2
部門編集 ... 8-4
部門管理集計 ... 8-16
部門管理の設定 ... 8-19
部門管理初期設定 ... 8-20
部門管理時の操作 ... 8-26

9 困ったときは ... 9-1
トラブルが発生した場合 ... 9-2
こんな表示が出たら ... 9-5

付録 ... 付録 -1
用紙について ... 付録 -2
仕様 ... 付録 -10
機能組み合わせ表 ... 付録 -16
用語集 ... 付録 -25
区点コード表 ... 付録 -29

索引 ... 索引 -1

1　コピー機能

この章では次の内容を説明します。

- 給紙元の選択 ...1-2 ページ
- 原稿サイズ選択 ...1-3 ページ
- コピー枚数の設定 ...1-6 ページ
- 原稿セット向きの設定 ...1-7 ページ
- 仕分けコピー ...1-9 ページ
- ステープルコピー ...1-10 ページ
- パンチコピー ...1-12 ページ
- 集約コピー ...1-14 ページ
- とじしろコピー ...1-17 ページ
- センター移動コピー ...1-19 ページ
- 枠消しコピー ...1-20 ページ
- 拡大連写 ...1-23 ページ
- ページ付け ...1-24 ページ
- 表紙付け ...1-26 ページ
- 小冊子（シート原稿）...1-27 ページ
- 小冊子（見開き原稿）...1-29 ページ
- 書き込み余白 ...1-31 ページ
- 連続読み込みコピー ...1-33 ページ
- シャープネス調整 ...1-34 ページ
- 地色調整 ...1-35 ページ
- 試しコピー ...1-36 ページ
- 再コピー ...1-37 ページ
- OHP 合紙モード ...1-41 ページ
- 自動回転コピー ...1-43 ページ
- 排出先選択 ...1-44 ページ
- エコプリント ...1-45 ページ
- 白黒反転コピー ...1-46 ページ
- 鏡像コピー ...1-47 ページ
- 原稿サイズ混載コピー ...1-48 ページ
- イメージリピートコピー ...1-50 ページ
- カラーバランス調整 ...1-52 ページ
- 色相調整 ...1-53 ページ
- ワンタッチ画質調整 ...1-55 ページ
- 配布コピー ...1-56 ページ
- 単色カラーコピー ...1-57 ページ
- 2 色カラーコピー ...1-58 ページ
- プログラムコピー ...1-59 ページ
- 機能登録キーの設定 ...1-61 ページ
- 応用コピー ...1-63 ページ

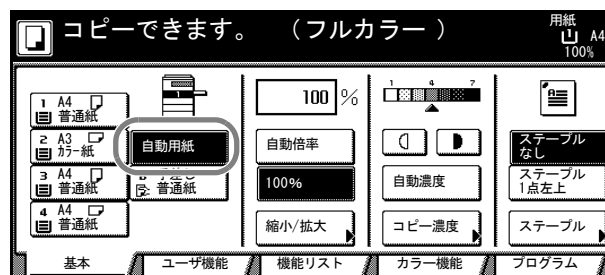
給紙元の選択

給紙元のカセットまたは手差しを変更して、用紙サイズを選択します。

給紙元を選択する操作手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

［**自動用紙**］キーが選択されている場合は、原稿と同じサイズの用紙が自動的に選択されます。

参考：コピー初期設定で自動用紙を選択させないようにできます。詳細は 7-7 ページの**用紙選択**を参照してください。

2 用紙サイズを変更する場合は、用紙サイズを押して、給紙元を選択してください。

手差しを使用するときは、**使用説明書**の 2 章、**カセットおよび手差しのサイズを操作部で設定**を参照して、用紙サイズと用紙種類を設定してください。

3 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

原稿サイズ選択

原稿の読み込みサイズを設定することができます。不定形サイズの原稿を使用する場合は、必ず原稿サイズを設定してください。

原稿サイズの選択方法は次のとおりです。

- **定形サイズ**－定形サイズから選択します。（A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R、B6、B6R、A6R、11 × 15"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、はがき）
- **その他定形サイズ**－特殊な定形サイズから選択します。（11 × 17"、8 1/2 × 14"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 5 1/2"、8 1/2 × 13"、8 1/2 × 13 1/2"、Folio、往復はがき、8K、16K、16KR）
- **原稿サイズ入力**－定形サイズに表示されていないサイズの場合は、原稿サイズを入力します。
- **ユーザ登録サイズ**－ユーザ登録で設定している原稿サイズを選択します。原稿サイズをユーザ登録サイズに設定するには、7-35 ページの**原稿サイズ登録**を参照してください。

定形サイズ

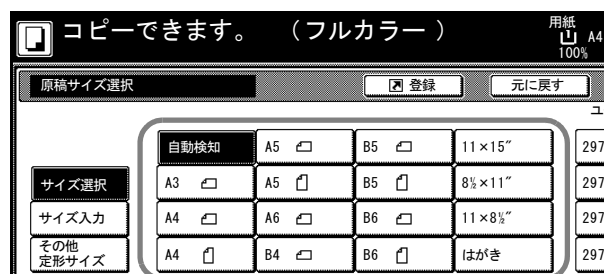
定形サイズを設定する手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

2 ［**機能リスト**］キーを押してください。

3 ［**原稿サイズ選択**］キーを押してください。

4 原稿サイズを選択してください。

［**自動検知**］を選択すると、セットした原稿と同じサイズを自動的に選択します。

5 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

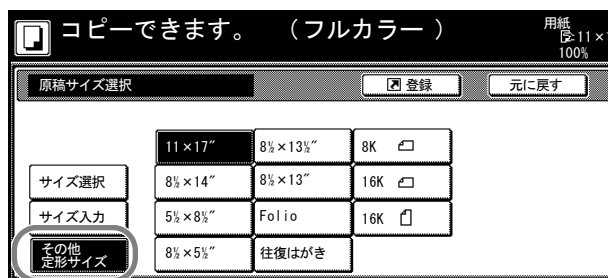
その他定形サイズ

その他定形サイズを設定する手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

2 ［**機能リスト**］キーを押してください。

3 ［**原稿サイズ選択**］キーを押してください。

4 ［**その他定形サイズ**］キーを押してください。

5 原稿サイズを選択してください。

6 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

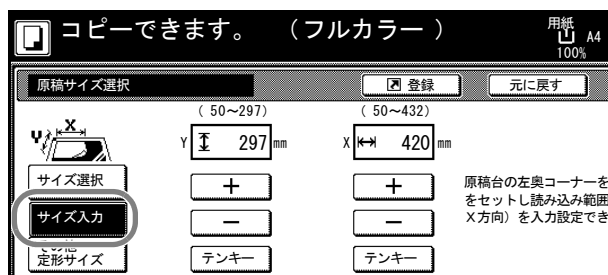
原稿サイズ入力

原稿サイズを入力する手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

2 ［**機能リスト**］キーを押してください。

3 ［**原稿サイズ選択**］キーを押してください。

4 ［**サイズ入力**］キーを押してください。

5 ［+］または［−］キーを押して、「Y」（縦）と「X」（横）のサイズを設定してください。

［**テンキー**］キーを押すとテンキーで入力することができます。

6 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

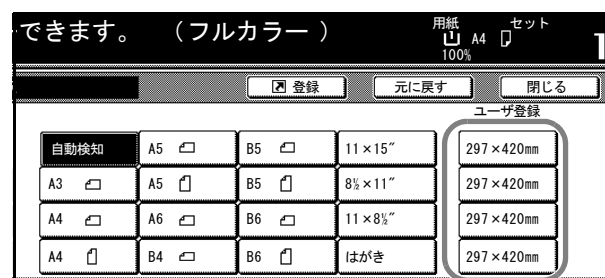
ユーザ登録サイズ

ユーザ登録サイズを設定する手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

2 ［**機能リスト**］キーを押してください。

3 ［**原稿サイズ選択**］キーを押してください。

4　**「ユーザ登録」**から原稿サイズを選択してください。

5　**［スタート］**キーを押してください。コピーが開始されます。

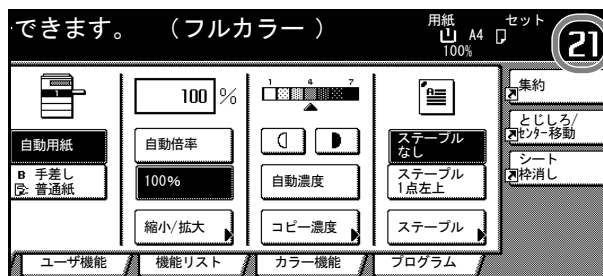
コピー枚数の設定

コピーの枚数を設定します。1 回のコピーで 999 枚まで設定できます。

コピー枚数を設定する手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

2 テンキーを使って、希望のコピー枚数を設定してください。

参考：設定したコピー枚数を取り消す場合は、［ストップ / クリア］キーを押してください。コピー枚数は 1 枚に戻ります。

3 ［スタート］キーを押してください。コピーが開始されます。

原稿セット向きの設定

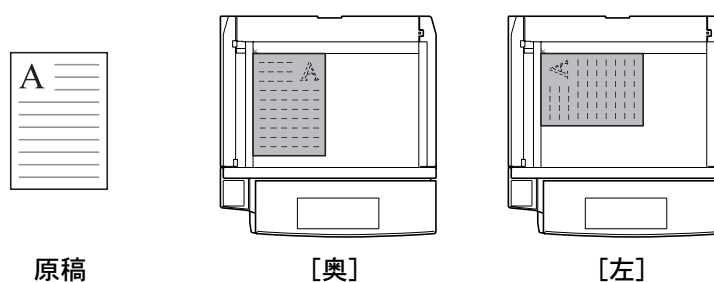
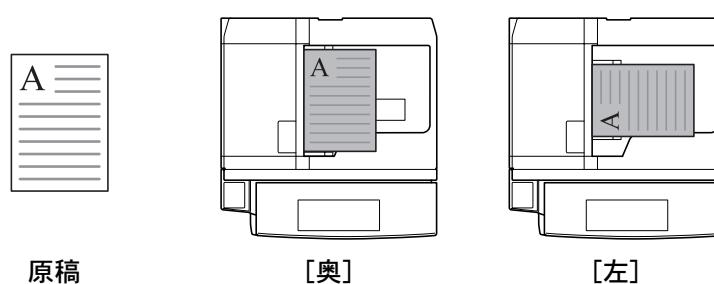
次の機能を使用する場合は、原稿のセット向きを設定する必要があります。

- 両面コピー
- 分割コピー（両面原稿からの分割コピー）
- とじしろコピー
- センター移動
- 枠消しコピー
- 集約コピー
- 書き込み余白
- ページ付け
- 小冊子
- ステープルコピー（オプション）
- パンチコピー（オプション）

コンタクトガラスに原稿をセットする場合

原稿　［奥］　［左］

オプションの原稿送り装置に原稿をセットする場合

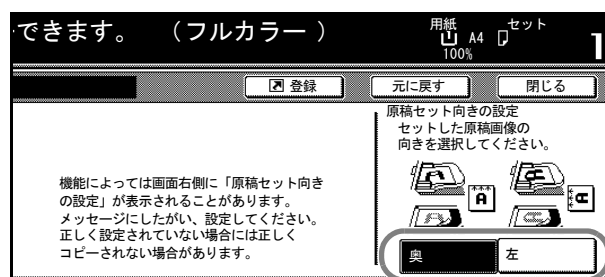
原稿　［奥］　［左］

参考：原稿セット向きの初期値を変更することができます。詳細は 7-24 ページの**原稿セット向きの設定**を参照してください。

原稿セット向きを設定する手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

2 ［**機能リスト**］キーを押し、［**▼次へ**］キーを押してください。

3 ［原稿セット向き］キーを押してください。

4 原稿をセットした向きに合わせて、［奥］または［左］キーを押してください。

5 ［閉じる］キーを押してください。

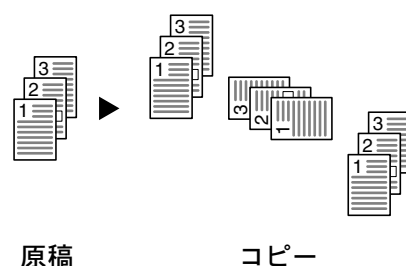
6 両面コピーなど、原稿セット向きの指定が必要な機能設定を行ってください。

7 ［スタート］キーを押してください。コピーが開始されます。

仕分けコピー

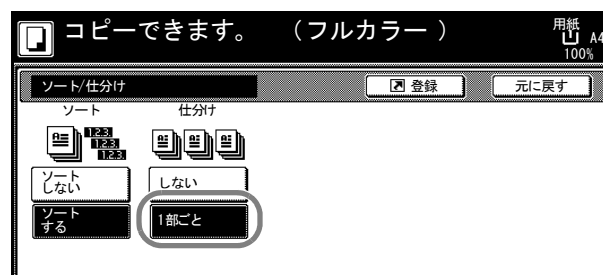
オプションのドキュメントフィニッシャを使用していない場合でも、部数ごとに用紙を 90 度回転させて排紙し、仕分けをすることができます。

参考：仕分けコピーを行う場合は、同じサイズで向きが異なる用紙がセットされている必要があります。

仕分けコピーに使用できる用紙サイズは、A4、B5、11 × 8 1/2"、16K に限られます。

仕分けコピーの操作手順は次のとおりです。

1 ［**機能リスト**］キーを押してください。

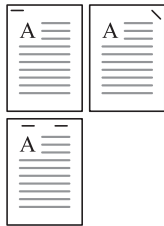
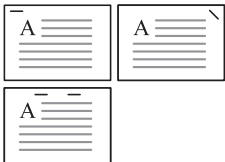
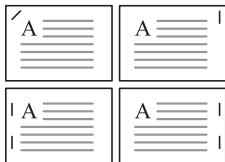
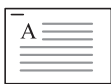
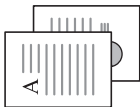
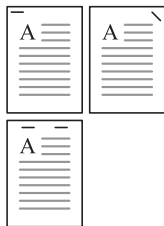
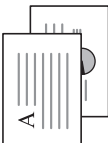
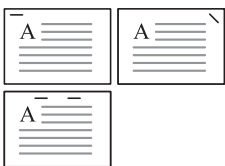
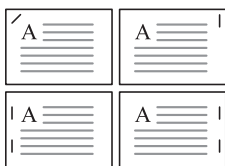
2 ［**ソート / 仕分け**］キーを押してください。

3 ［**1 部ごと**］または［**ページごと**］キーを押してください。

4 テンキーを使って、コピー部数を設定してください。

5 原稿をセットし、［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

コンタクトガラスに原稿をセットしたときは、**「次原稿を読み込みます。」**が表示されます。次の原稿に入れ替えて、［**スタート**］キーを押してください。

次の原稿がなければ、［**読み込み終了**］キーを押してください。コピーが開始されます。

コピーした用紙は部数ごとに仕分けられ、排紙トレイに排出されます。

ステープルコピー

仕上がったコピーにステープルします。

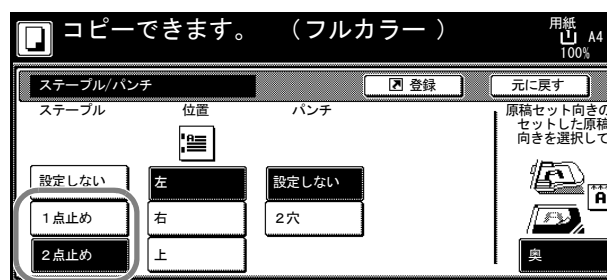
参考：オプションのドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャが必要です。

原稿のセット方向とコピーにステープルされる位置は次のとおりです。

ステープルコピーの操作手順は次のとおりです。

1 ［**機能リスト**］キーを押し、［**▼次へ**］キーを押してください。

2 ［**ステープル**］キーを押してください。

3 ［**1 点止め**］または［**2 点止め**］キーを押してください。

4 ステープルする位置を選択してください。

5 原稿をセットし、［**スタート**］キーを押してください。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

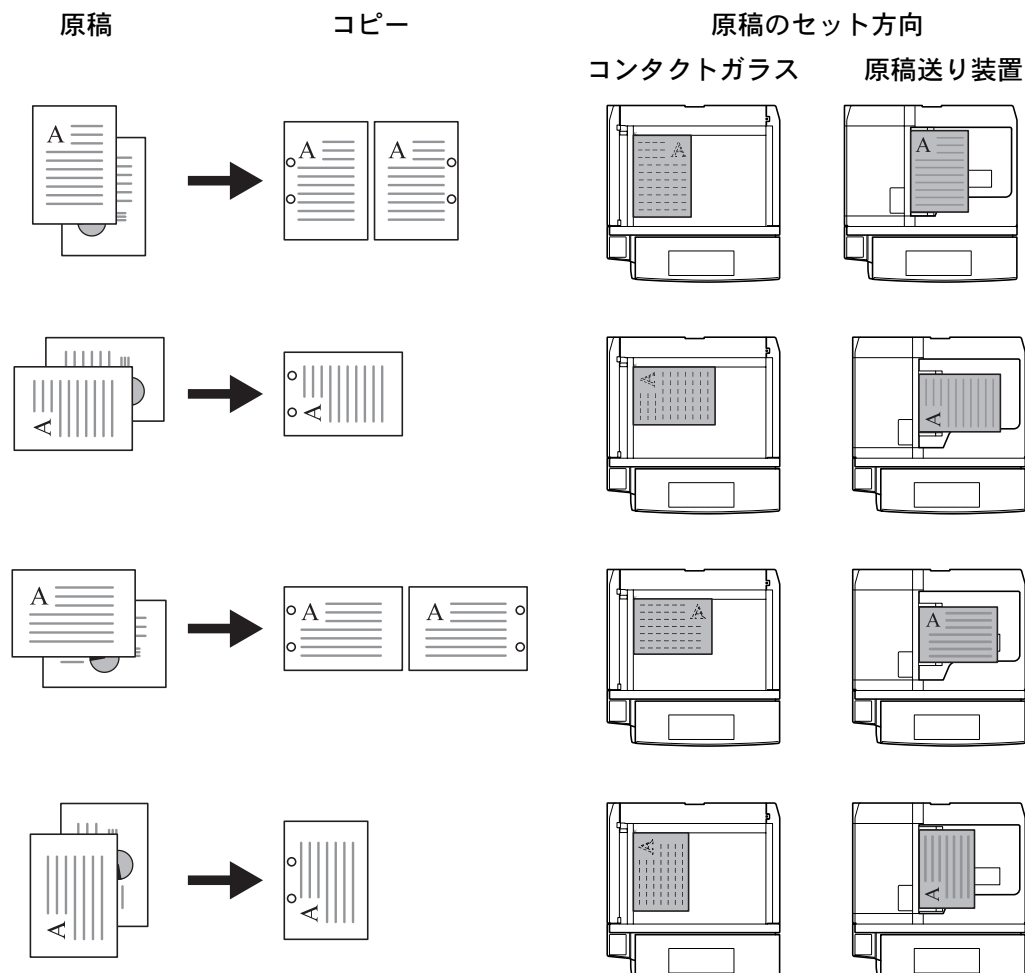
コンタクトガラスに原稿をセットしたときは、**「次原稿を読み込みます。」**が表示されます。次の原稿に入れ替えて、［**スタート**］キーを押してください。

次の原稿がなければ、［**読み込み終了**］キーを押してください。コピーが開始されます。

パンチコピー

仕上がったコピーにパンチ穴を開けます。

参考：オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャとパンチユニットが必要です。

原稿のセット方向とパンチ穴の位置は次のとおりです。

パンチコピーの操作手順は次のとおりです。

1 ［**機能リスト**］キーを押し、［**▼次へ**］キーを押してください。

2 ［**ステープル / パンチ**］キーを押してください。

3 ［**2 穴**］キーを押してください。

4 パンチ穴を開ける位置を選択してください。

5 原稿をセットし、［**スタート**］キーを押してください。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

コンタクトガラスに原稿をセットしたときは、**「次原稿を読み込みます。」**が表示されます。次の原稿に入れ替えて、［**スタート**］キーを押してください。

次の原稿がなければ、［**読み込み終了**］キーを押してください。コピーが開始されます。

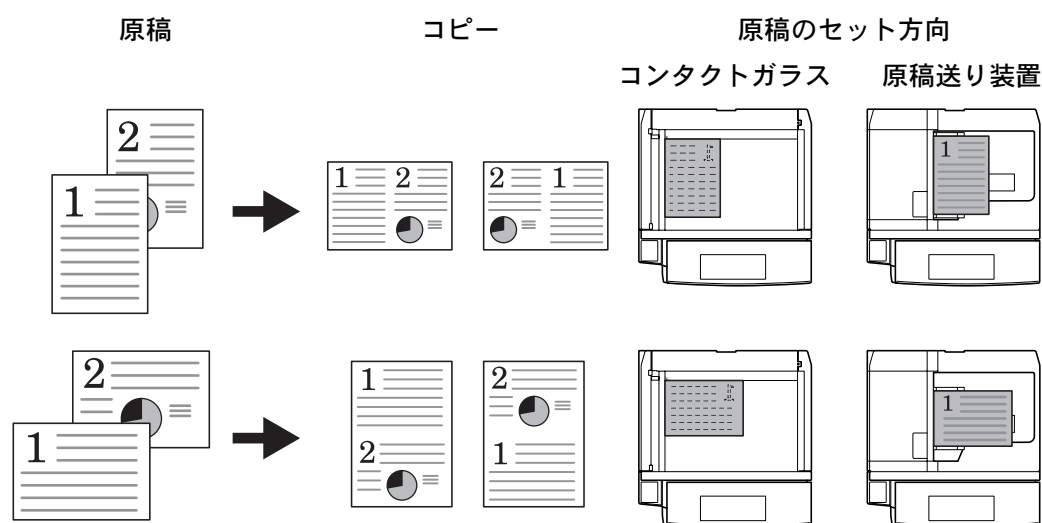
集約コピー

2 枚または 4 枚の原稿を、1 枚のコピーに集約することができます。また、各原稿のページ区切りを実線、点線で区切ることもできます。

参考：集約コピーに使用できる用紙サイズは A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、11 × 17"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、8K、16K です。

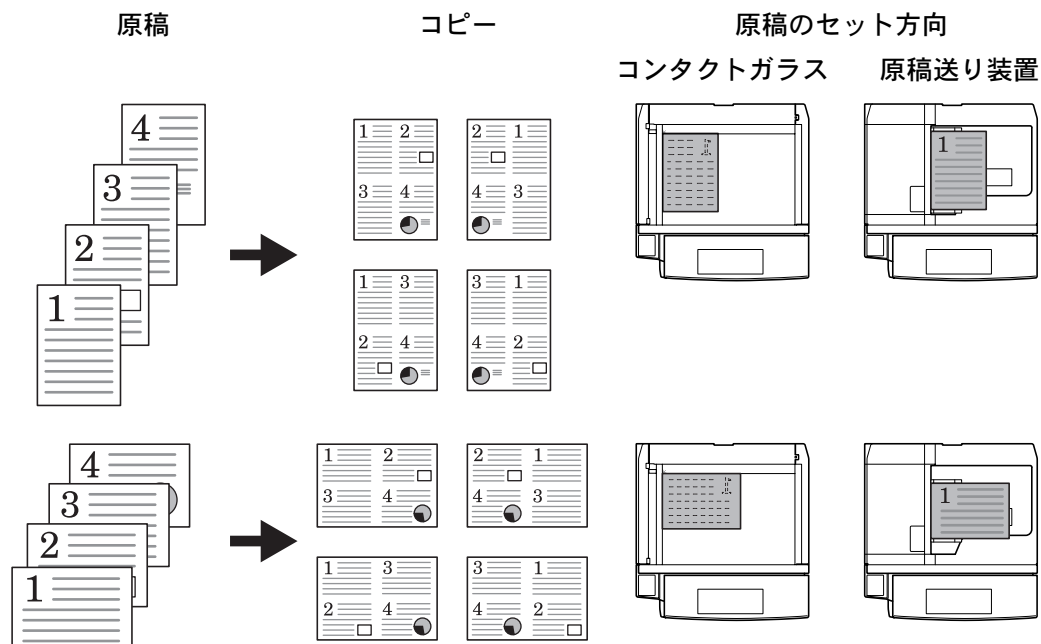
2in1 コピー

2 枚の原稿を 1 枚にコピーします。両面コピーと併用すると 4 枚の原稿を 1 枚の両面コピーにすることができます。

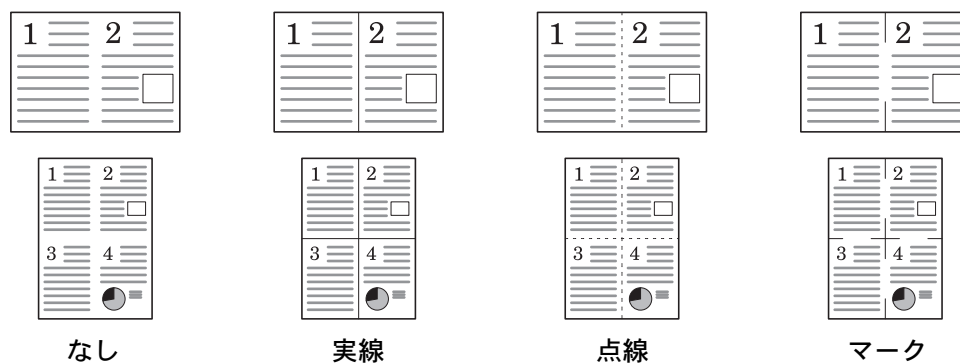
原稿のセット方向と仕上がりは次のとおりです。

参考：コンタクトガラスに原稿をセットした場合は、ページ順にコピーしてください。

4in1 コピー

4 枚の原稿を 1 枚にコピーします。両面コピーと併用すると 8 枚の原稿を 1 枚の両面コピーにすることができます。

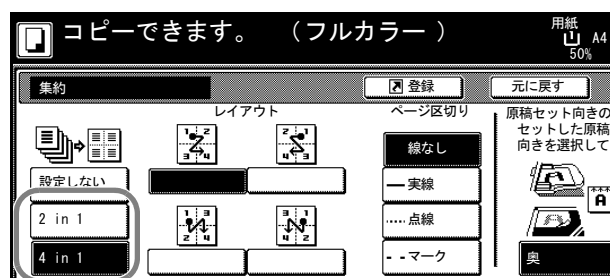
原稿のセット方向と仕上がりは次のとおりです。

参考：コンタクトガラスに原稿をセットした場合は、ページ順にコピーしてください。

ページ区切りの線種

ページ区切りの線種は次のとおりです。

集約コピーの操作手順は次のとおりです。

1 ［**機能リスト**］キーを押してください。

2 ［**集約**］キーを押してください。

3 ［2 in 1］または［4 in 1］キーを押してください。

4 「**レイアウト**」からページの並び順を選択してください。

5 「**ページ区切り**」から線種を選択してください。

6 原稿をセットし、［**スタート**］キーを押してください。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

コンタクトガラスに原稿をセットしたときは、「**次原稿を読み込みます。**」が表示されます。次の原稿に入れ替えて、［**スタート**］キーを押してください。

次の原稿がなければ、［**読み込み終了**］キーを押してください。コピーが開始されます。

とじしろコピー

原稿の画像の位置をずらしてコピーし、左側（右側）または上側（下側）にとじしろ（余白）を作ります。とじしろ幅は 0 mm ～ 18 mm（1 mm 単位）の範囲で設定できます。

うら面のとじしろ設定

両面コピー時に、うら面のとじしろ設定を行うことができます。

自動－おもて面のとじしろ設定に合わせて自動的にとじしろを設定します。［**自動**］が設定されている場合は、左右のとじしろをおもて面と反対側に作ります。つまり、おもて面で左側に 10 mm のとじしろが設定されている場合は、うら面には右側に 10 mm のとじしろが設定されます。上下のとじしろはおもて面と同じ設定になります。

おもてうら独立設定－おもて面とうら面を別々に設定できます。

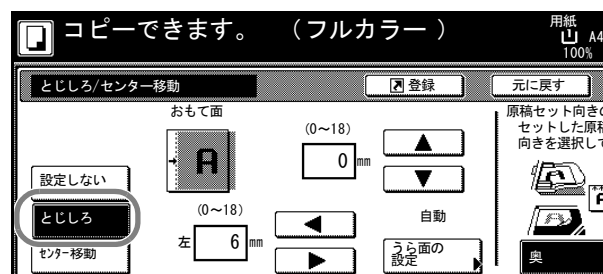
参考：とじしろ幅の初期値を設定することができます。詳細は 7-13 ページの**とじしろ初期値の設定**を参照してください。

とじしろコピーの操作手順は次のとおりです。

1 原稿の上辺が奥または左になるように、原稿をセットしてください。

2 ［**機能リスト**］キーを押してください。

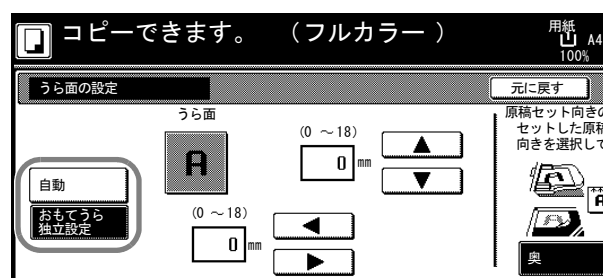
3 ［**とじしろ / センター移動**］キーを押してください。

4 ［**とじしろ**］キーを押してください。

5 ［▲］、［▼］、［◀］または［▶］キーで上下、左右のとじしろを設定してください。

6 両面コピーのときは、［**うら面の設定**］キーを押してください。

7 ［**自動**］または［**おもてうら独立設定**］キーを押してください。

［**自動**］を選択した場合は、おもて面のとじしろ設定に合わせてうら面のとじしろを自動で設定します。

［**おもてうら独立設定**］を選択した場合は、［▲］、［▼］、［◀］または［▶］キーで上下、左右のとじしろを設定してください。

8 セットした原稿に合わせて、**「原稿セット向きの設定」**から［**奥**］または［**左**］を選択してください。

9 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

センター移動コピー

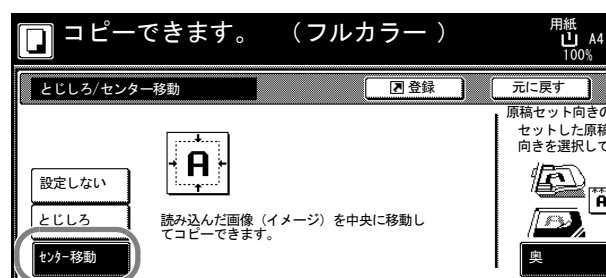
原稿のサイズよりもコピーする用紙サイズが大きい場合に、画像を中央に移動させてコピーします。

センター移動の操作手順は次のとおりです。

1 原稿の上辺が奥または左になるように、原稿をセットしてください。

2 ［**機能リスト**］キーを押してください。

3 ［**とじしろ / センター移動**］キーを押してください。

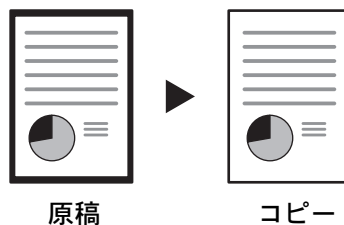
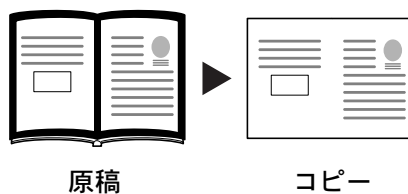
4 ［**センター移動**］キーを押してください。

5 セットした原稿に合わせて、**「原稿セット向きの設定」**から［**奥**］または［**左**］を選択してください。

6 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

枠消しコピー

原稿のまわりにできた黒い枠を消去してコピーします。

枠消しコピーには次のモードがあります。

- **シート枠消し**－シート原稿のまわりにできる黒い枠を消すときに使用してください。

- **ブック枠消し**－分厚い本などをコピーするときにできる、本の回りや中央の黒い枠を消すときに使用してください。枠消し幅は本の回りと中央を別々に設定できます。

- **個別枠消し**－上下左右の枠消し幅を別々に設定するときに使用してください。

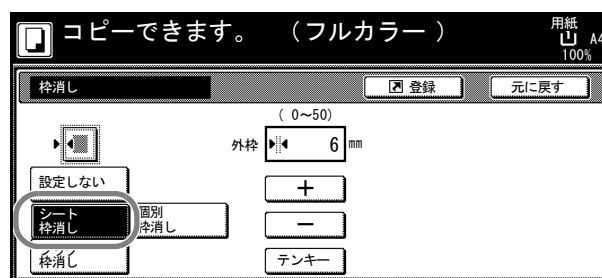
それぞれのモードで設定できる枠消し幅は 0 mm ～ 50 mm（1 mm 単位）です。

参考：枠消し幅の初期値を設定することができます。詳細は 7-13 ページの**枠消し初期値の設定**を参照してください。

シート枠消し

シート枠消しの操作手順は次のとおりです。

1. 原稿をセットしてください。
2. ［**機能リスト**］キーを押してください。
3. ［**枠消し**］キーを押してください。

4 ［**シート枠消し**］キーを押してください。

5 ［+］または［−］キーを押して、枠消し幅を設定してください。

［**テンキー**］キーを押すとテンキーで入力することができます。

6 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

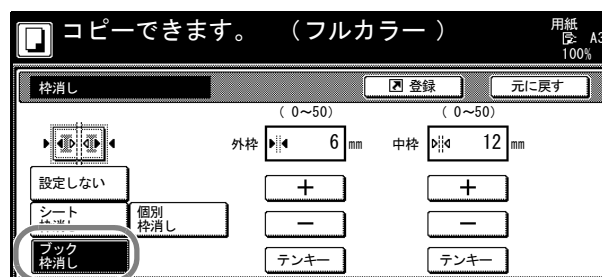
ブック枠消し

ブック枠消しの操作手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

2 ［**機能リスト**］キーを押してください。

3 ［**枠消し**］キーを押してください。

4 ［**ブック枠消し**］キーを押してください。

5 ［+］または［−］キーを押して、**「外枠」**（原稿の回り）と**「中枠」**（中央）の枠消し幅を設定してください。

［**テンキー**］キーを押すとテンキーで入力することができます。

6 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

個別枠消し

個別枠消しの操作手順は次のとおりです。

1 原稿の上辺が奥または左になるように、原稿をセットしてください。

2 ［**機能リスト**］キーを押してください。

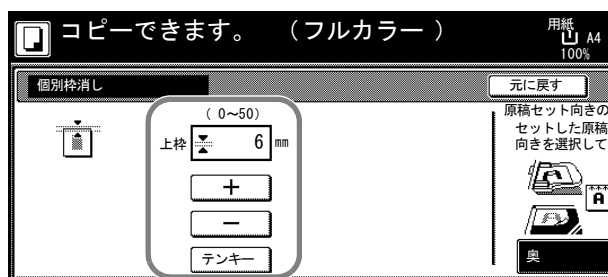
3 ［**枠消し**］キーを押してください。

4 ［**個別枠消し**］キーを押してください。

5 原稿をセットした方向に合わせて、**「原稿セット向きの設定」**から［**奥**］または［**左**］を選択してください。

6 ［**上枠**］、［**下枠**］、［**左枠**］、［**右枠**］から枠消し幅を設定する枠を選択してください。

7 ［**+**］または［**−**］キーを押して、枠消し幅を設定してください。

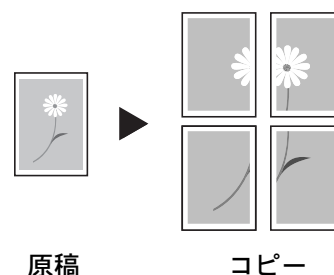
［**テンキー**］キーを押すとテンキーで入力することができます。

8 ［**閉じる**］キーを押してください。他の枠消し幅を設定するには、手順 6 〜 8 を繰り返して行ってください。

9 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

拡大連写

本機で使用できる最大用紙サイズよりも拡大してコピーする場合、拡大後の画像を複数枚に分割してコピーすることができます。

仕上がったコピーには重複する部分があります。この部分を貼り合わせると 1 枚のコピーになります。

拡大する方法を、次の 3 とおりから設定できます。

- **仕上がりサイズ指定**…仕上がりの用紙サイズを、A0、A1、A2 から選択します。選択した用紙に合わせてコピーを拡大します。
- **倍率指定**…仕上がりの倍率を 100 ～ 400% から指定します。指定した倍率に合わせた枚数でコピーします。
- **枚数指定**…仕上がりが分割される枚数を 2 枚、4 枚、8 枚から選択します。選択した枚数に合わせてコピーを拡大します。

参考：原稿サイズは A3、A4R に、用紙サイズは A3 に限られます。

拡大連写の操作手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

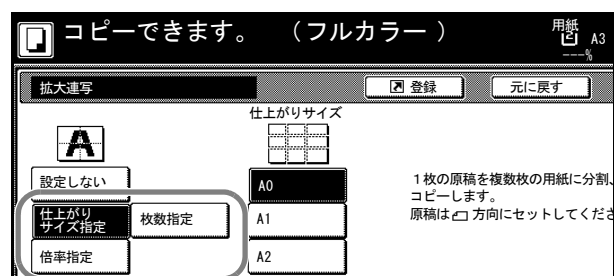
2 ［**機能リスト**］キーを押してください。

3 ［**拡大連写**］キーを押してください。

4 拡大する方法を選択してください。

［**仕上がりサイズ指定**］を選択した場合は、仕上がりの用紙サイズを設定してください。

［**倍率指定**］を選択した場合は、仕上がりの倍率を設定してください。

［**枚数指定**］を選択した場合は、仕上がりが分割される枚数を選択してください。

5 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

ページ付け

複数枚原稿からコピーを行うときに、順番にページ番号をつけていくことができます。ページのスタイルは［− 1 −］、［P.1］、［1/n］の 3 種類があります。［1/n］を選択したときは、「n」に総ページ数が印刷されます。

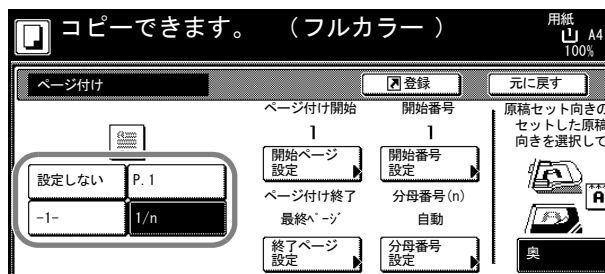
ページ番号は、原稿の下側中央に印刷されます。

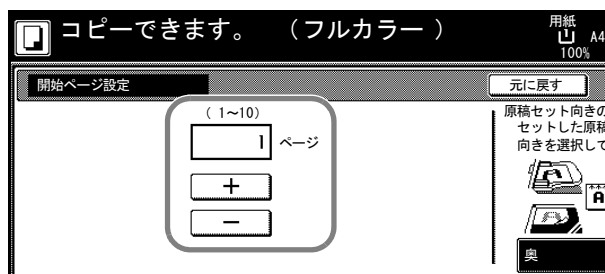
ページ付けの操作手順は次のとおりです。

1 原稿の上辺が奥または左になるように、原稿をセットしてください。

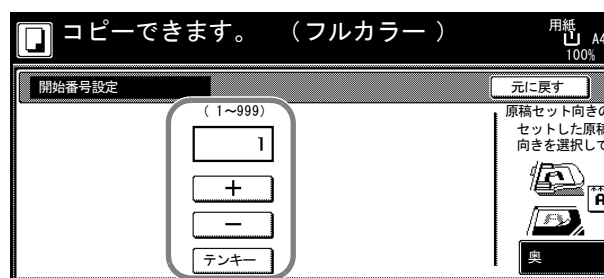
2 ［**機能リスト**］キーを押してください。

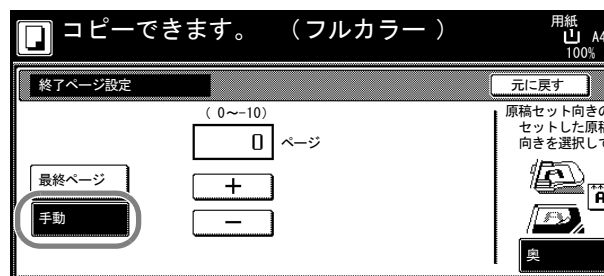
3 ［**ページ付け**］キーを押してください。

4 ［− 1 −］、［P.1］、［1/n］からページのスタイルを選択してください。

5 開始ページが 1 でない場合、任意のページからページ付けを開始するには［**開始ページ設定**］キーを押してください。

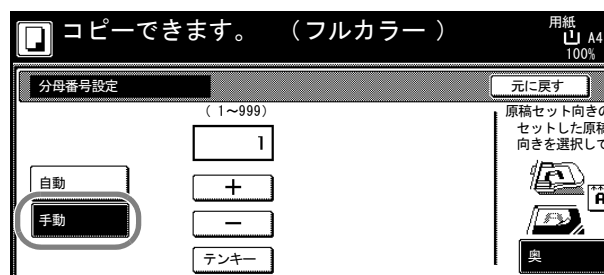
6 ［+］または［−］キーで開始ページを設定し、［**閉じる**］キーを押してください。

7 開始番号が 1 でない場合は、［**開始番号設定**］キーを押してください。

8 ［+］または［−］キーで開始番号を設定し、**［閉じる］**キーを押してください。

［テンキー］キーを押すとテンキーで入力することができます。

9 任意のページでページ付けを終了するには、**［終了ページ設定］**キーを押してください。

10 **［手動］**キーを押してください。

11 ［+］または［−］キーで終了ページを設定し、**［閉じる］**キーを押してください。

12 ［1/n］を選択している場合、手動で「n」の番号を設定するには**［分母番号設定］**キーを押してください。

13 **［手動］**キーを押してください。

14 ［+］または［−］キーで「n」の番号を設定し、**［閉じる］**キーを押してください。

［テンキー］キーを押すとテンキーで入力することができます。

15 セットした原稿に合わせて、**「原稿セット向きの設定」**から**［奥］**または**［左］**を選択してください。

16 **［スタート］**キーを押してください。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

コンタクトガラスに原稿をセットしたときは、**「次原稿を読み込みます。」**が表示されます。次の原稿に入れ替えて、**［スタート］**キーを押してください。

次の原稿がなければ、**［読み込み終了］**キーを押してください。コピーが開始されます。

表紙付け

コピーに表紙を付けることができます。給紙元を変更して、原稿の 1 ページ目および最終ページをカラー紙や厚紙にコピーします。

表紙の種類	説明
おもて表紙	おもて表紙として、原稿の 1 ページ目を表紙用の用紙にコピーします。
おもて表紙＋うら表紙	おもて表紙とうら表紙として、原稿の 1 ページ目と最終ページを表紙用の用紙にコピーします。

表紙用に使用する用紙は手差しから給紙されます。カセットから給紙させるには 7-9 ページの**表紙用紙カセット設定**を参照してください。

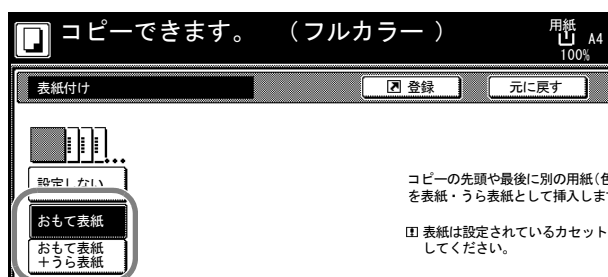
両面コピーを設定しているときは、表紙用の用紙も両面コピーされます。

表紙付けの操作手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

2 ［**機能リスト**］キーを押してください。

3 ［**表紙付け**］キーを押してください。

4 ［**おもて表紙**］または［**おもて表紙 + うら表紙**］キーを押してください。

5 ［**スタート**］キーを押してください。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

コンタクトガラスに原稿をセットしたときは、**「次原稿を読み込みます。」**が表示されます。次の原稿に入れ替えて、［**スタート**］キーを押してください。

次の原稿がなければ、［**読み込み終了**］キーを押してください。コピーが開始されます。

小冊子（シート原稿）

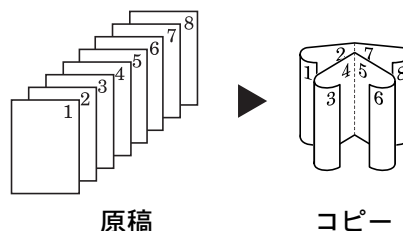
両面または片面原稿を見開き両面にコピーします。仕上がったコピーを重ねて折れば週刊誌やパンフレットのようにすることができます。また、表紙用にカラー紙や厚紙を挿入することもできます。

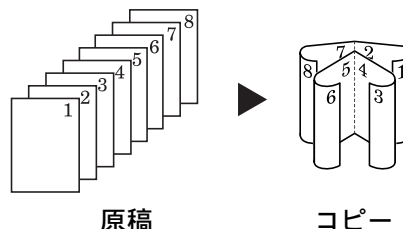
表紙用に使用する用紙は手差しから給紙されます。カセットから給紙させるには7-9ページの**表紙用紙カセット設定**を参照してください。

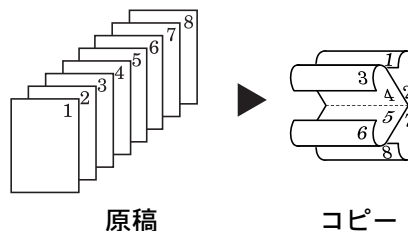
参考：小冊子（シート原稿）に使用できる用紙サイズは A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11" に限られます。

オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャおよび中折りユニットを使用すると、中とじ + 中折り（仕上がりの中央にステープルして 2 つに折ること）ができます。このときの用紙サイズは A3、B4、A4R、11 × 17"、8 1/2 × 14"、8 1/2 × 11" に限られます。

仕上がりが左とじの場合

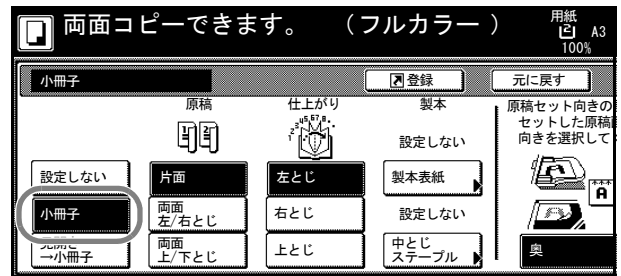
仕上がったコピーを重ねて折ると、ページが左から右へ進むようにコピーします。

仕上がりが右とじの場合

仕上がったコピーを重ねて折ると、ページが右から左へ進むようにコピーします。

仕上がりが上とじの場合

仕上がったコピーを重ねて折ると、ページが上から下へ進むようにコピーします。

小冊子の操作手順は次のとおりです。

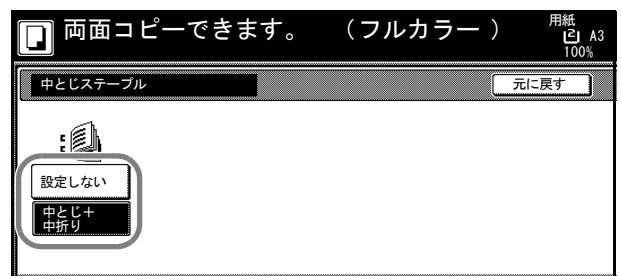
1 ［**機能リスト**］キーを押してください。

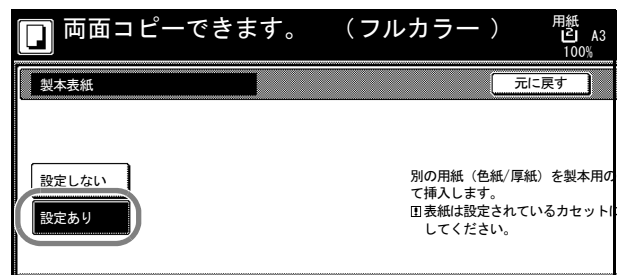
2 ［**小冊子**］キーを押してください。

3 ［**小冊子**］キーを押してください。

4 「**原稿**」と「**仕上がり**」からそれぞれのとじ方向を選択してください。

「**現在の設定ではコピーできません。原稿、仕上がりの設定を変更してください。**」が表示された場合は、原稿セット向きの確認（タッチパネル右側）で原稿の向きが正しいか、原稿と仕上がりの設定が正しいかを確認してください。

5 オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャおよび中折りユニットを装着している場合は、［**中とじステープル**］キーが表示されます。中とじ＋中折りを設定する場合は、［**中とじステープル**］キーを押してください。

［**中とじ＋中折り**］キーを押して、［**閉じる**］キーを押してください。用紙 16 枚（64 ページ）までの中とじ＋中折りができます。

6 表紙を挿入する場合は［**製本表紙**］キーを押してください。

［**設定あり**］キーを押して、［**閉じる**］キーを押してください。

7 原稿をセットし、［**スタート**］キーを押してください。

参考：コンタクトガラスにセットするときは、1 枚目の原稿からセットしてください。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

コンタクトガラスに原稿をセットしたときは、「**次原稿を読み込みます。**」が表示されます。次の原稿に入れ替えて、［**スタート**］キーを押してください。

次の原稿がなければ、［**読み込み終了**］キーを押してください。コピーが開始されます。

小冊子（見開き原稿）

見開き原稿から見開き両面にコピーします。仕上がったコピーを重ねて折れば週刊誌やパンフレットのようにすることができます。また、表紙用にカラー紙や厚紙を挿入することもできます。

表紙に使用する用紙をセットしているカセットを変更することができます。詳細は 7-9 ページの**表紙用紙カセット設定**を参照してください。

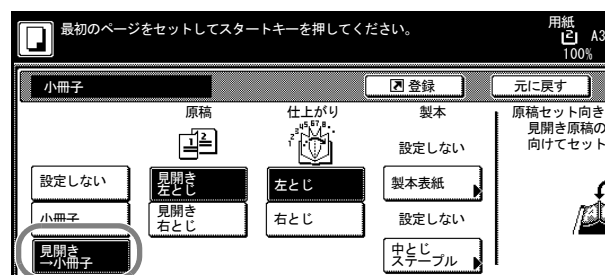
参考：小冊子（見開き原稿）に使用できる原稿サイズは A3、B4、A4R、B5R、A5R、11 × 17"、8 1/2 × 11"、8K、また用紙サイズは A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11" に限られます。

オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャおよび中折りユニットを使用すると、中とじ + 中折り（仕上がりの中央にステープルして 2 つに折ること）ができます。このときの用紙サイズは A3、B4、A4R、11 × 17"、8 1/2 × 14"、8 1/2 × 11" に限られます。

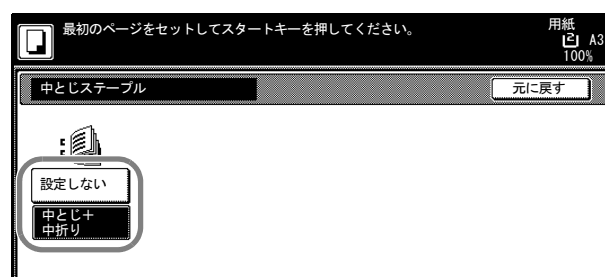
小冊子の操作手順は次のとおりです。

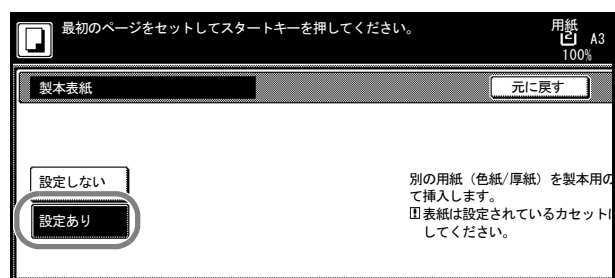
1 見開き原稿をセットし、［**機能リスト**］キーを押してください。

2 ［**小冊子**］キーを押してください。

3 ［**見開き→小冊子**］キーを押してください。

4 原稿と仕上がりを選択してください。

5 オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャおよび中折りユニットを装着している場合は、［**中とじステープル**］キーが表示されます。中とじ + 中折りを設定する場合は、［**中とじステープル**］キーを押してください。

［**中とじ＋中折り**］キーを押して、［**閉じる**］キーを押してください。用紙 16 枚（64 ページ）までの中とじ＋中折りができます。

6 表紙を挿入する場合は［**製本表紙**］キーを押してください。

7 ［**設定あり**］キーを押して、［**閉じる**］キーを押してください。

8 ［**スタート**］キーを押してください。原稿の読み込みを開始します。

「**次原稿を読み込みます。**」が表示されます。次の原稿に入れ替えて、［**スタート**］キーを押してください。

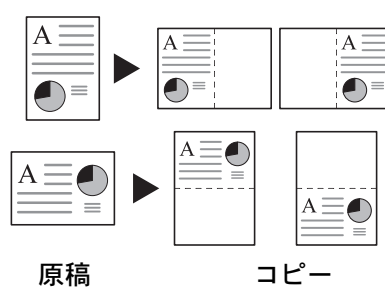
次の原稿がなければ、［**読み込み終了**］キーを押してください。コピーが開始されます。

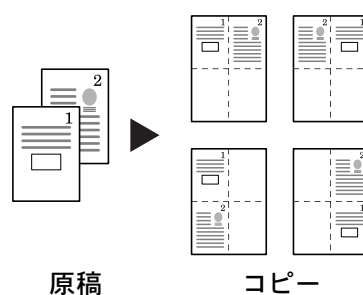
書き込み余白

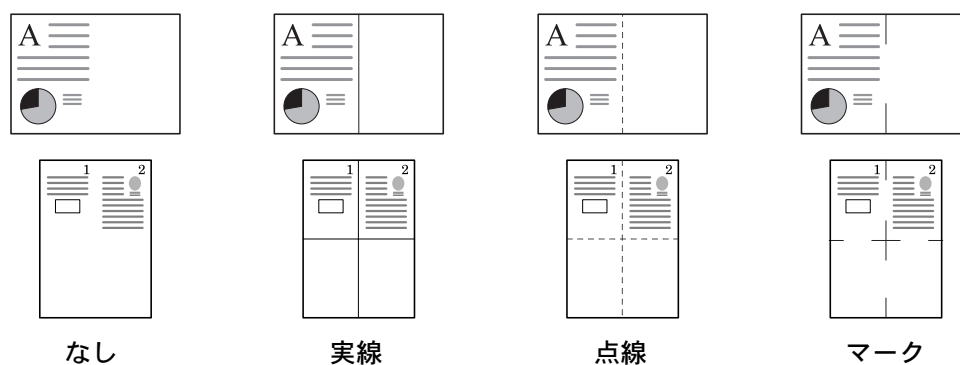
コピーした用紙にコメントを書き込めるスペースを作ります。また、2 枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーすることもできます。

参考：書き込み余白に使用できる用紙サイズは A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、11 × 17"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、8K、16K です。

レイアウト A

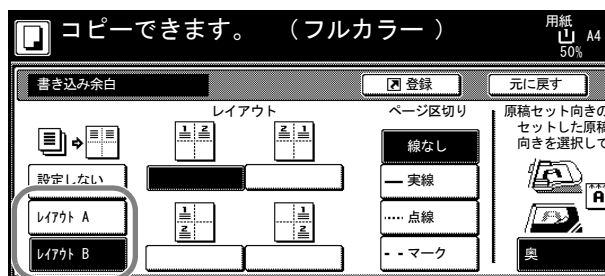
原稿 1 枚を 1 枚の用紙にコピーし、用紙の半分に書き込めるスペースを作ります。

レイアウト B

原稿 2 枚を 1 枚の用紙にコピーし、用紙の半分に書き込めるスペースを作ります。

ページ区切りの線種

ページ区切りの線種は次のとおりです。

書き込み余白の操作手順は次のとおりです。

1 ［**機能リスト**］キーを押し、［**▼次へ**］キーを押してください。

2 ［**書き込み余白**］キーを押してください。

3 ［**レイアウト A**］または［**レイアウト B**］キーを押してください。

4 「**レイアウト**」からページの並び順を選択してください。

5 「**ページ区切り**」から線種を選択してください。

6 原稿をセットし、［**スタート**］キーを押してください。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

コンタクトガラスに原稿をセットしたときは、「**次原稿を読み込みます。**」が表示されます。次の原稿に入れ替えて、［**スタート**］キーを押してください。

次の原稿がなければ、［**読み込み終了**］キーを押してください。コピーが開始されます。

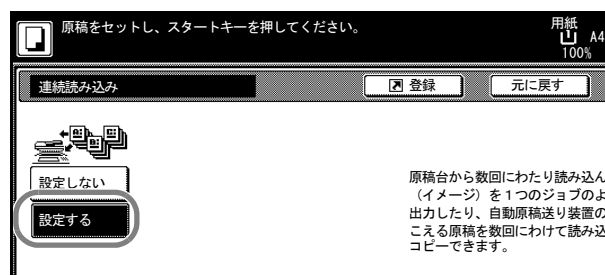
連続読み込みコピー

オプションの原稿送り装置を使用しなくても、ページ順に並び替えたコピーを必要部数作成することができます。また、原稿枚数が多くて、一度に原稿送り装置にセットできない場合でも、数回に分けて原稿送り装置から読み込み、一括して出力することができます。このモードを使用する場合は、［**読み込み終了**］キーを押すまで原稿を読み込み続けます。

連続読み込みコピーの操作手順は次のとおりです。

1 ［**機能リスト**］キーを押してください。

2 ［**連続読み込み**］キーを押してください。

3 ［**設定する**］キーを押してください。

4 原稿をセットし、［**スタート**］キーを押してください。

次の原稿に入れ替えて、［**スタート**］キーを押してください。同じ手順で残りの原稿を読み込んでください。

原稿の読み込みがすべて終了したら、［**読み込み終了**］キーを押してください。コピーが開始されます。

シャープネス調整

画像の輪郭の強弱を調整します。鉛筆で書かれた原稿などをコピーする際に、文字や線がかすれたり、つぶれたりするような場合、シャープネスを［**強く**］に調整すると文字や線が鮮明にコピーできます。また、雑誌の写真など網点で表現される画像をコピーする際に、モアレ† が発生する場合、シャープネスを［**弱く**］に調整すると、輪郭をぼかしてモアレを弱めることができます。

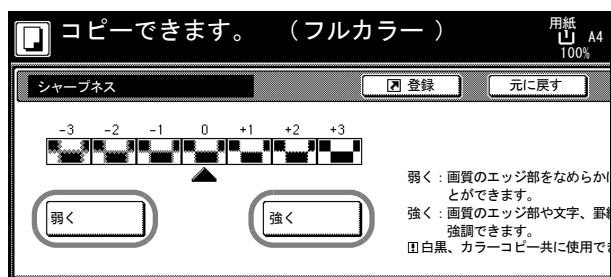
シャープネス調整の効果は、iii ページの**シャープネス調整**でサンプル画像を参照してください。

シャープネス調整の操作手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

2 ［**機能リスト**］キーを押し、［**▼次へ**］キーを押してください。

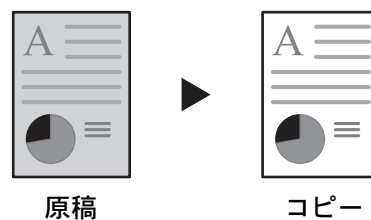
3 ［**シャープネス**］キーを押してください。

4 ［**弱く**］または［**強く**］キーを押して、調整してください。

5 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

† 網点が均等に配列されず斑紋が出る状態。

地色調整

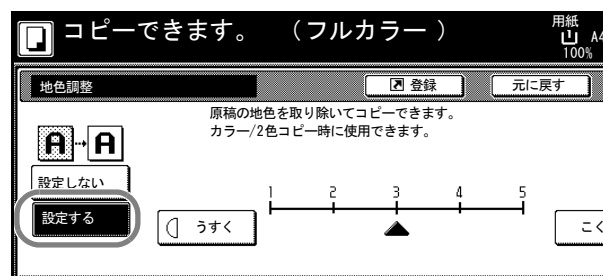
カラーの原稿の地色が濃い場合に薄くします。

参考：フルカラーコピー、自動カラーコピー時に機能します。ただし、自動カラーコピー時に白黒と判定された場合は、地色調整は機能しません。

地色調整の操作手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

2 ［**カラー機能**］キーを押してください。

3 ［**地色調整**］キーを押してください。

4 ［**設定する**］キーを押してください。

5 ［**うすく**］または［**こく**］キーを押して、地色の濃度を調整してください。

6 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

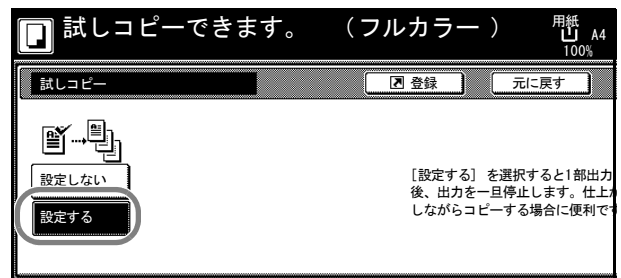
試しコピー

大量の部数をコピーする前に 1 部だけ試しコピーし、確認してから設定した部数を出力できます。また、コピーに問題がある場合は、残りのコピーをキャンセルできるのでミスコピーによる用紙の無駄を省くことができます。

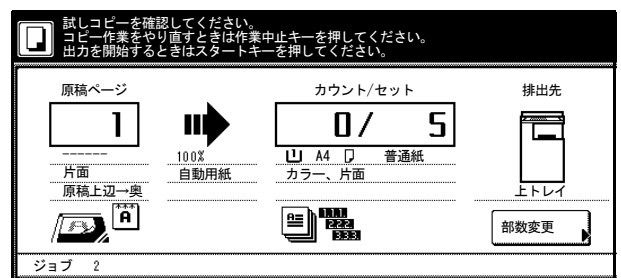
試しコピーの操作手順は次のとおりです。

1 ［**機能リスト**］キーを押し、［**▼次へ**］キーを押してください。

2 ［**試しコピー**］キーを押してください。

3 ［**設定する**］キーを押してください。

4 原稿をセットし、［**スタート**］キーを押してください。試しコピーが開始されます。

5 試しコピーを 1 部出力すると、設定した部数を出力するかどうかの確認画面を表示し、本機は待機状態となります。試しコピーを確認してください。

コピーに問題がない場合は、［**スタート**］キーを押してください。残りの部数の出力を開始します。

コピー部数を変更する場合は、［**部数変更**］キーを押して部数を変更してください。

コピーに問題がある場合は、［**作業中止**］キーを押してコピーを中止し、最初から作業をやり直してください。

再コピー

再コピーを設定しておくと、コピー終了後に再度コピーが必要となったときに、必要になった部数を追加出力することができます。また、機密保持のため再コピー設定時に再出力コードを設定することもできます。その場合は出力時に再出力コードを入力します。再出力コードが一致しないと出力できません。

参考：再コピーのジョブは、メインスイッチを切ると消去されます。

文書管理の出力時には再コピーを設定できません。

オプションのセキュリティキットを装着しているときは、この機能は使用できません。

再コピーを禁止したり、初期設定モードで再コピーを設定することができます。詳細は7-14 ページの**再コピー設定**を参照してください。

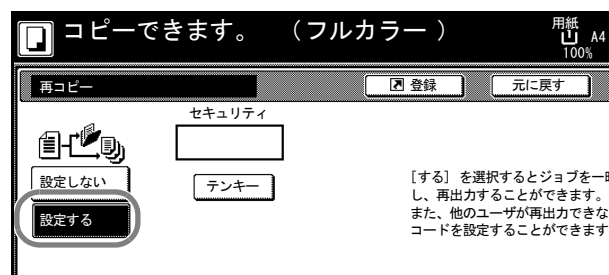
再コピーの設定

再コピーを設定する手順は次のとおりです。

1 ［**機能リスト**］キーを押し、［**▼次へ**］キーを押してください。

2 ［**再コピー**］キーを押してください。

3 ［**設定する**］キーを押してください。

セキュリティを設定する場合は、［**テンキー**］キーを押して、再出力コードを入力してください。

参考：再出力コードは 1 〜 8 桁の数字で入力してください。

再出力コードを忘れてしまうと再コピー出力ができなくなります。必要に応じてメモを取るようにしてください。

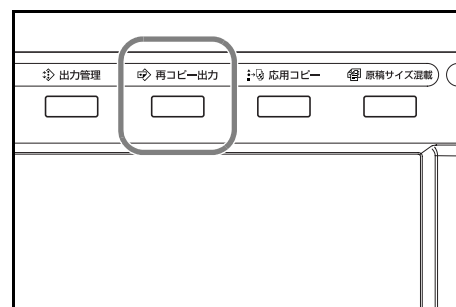
4 原稿をセットし、［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始され、再コピージョブとして登録されます。

再コピー出力

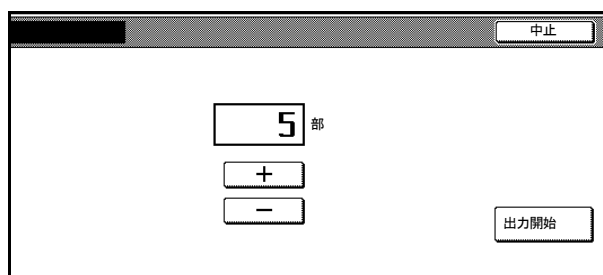
［**再コピー出力**］キーを押すと「**再コピー出力**」リストが表示され、登録されているジョブを参照することができます。リストに登録されているジョブは、再出力、内容確認、削除をすることができます。

ジョブ再出力

再コピージョブを再出力する手順は次のとおりです。

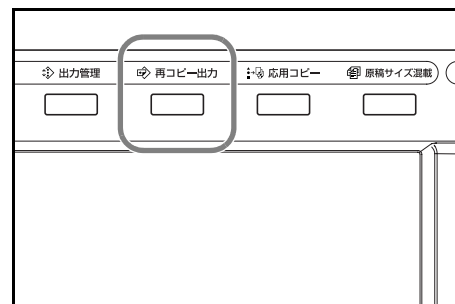
1 ［**再コピー出力**］キーを押してください。

2 再出力するジョブを選択し、［**再出力**］キーを押してください。

3 再コピー設定時に再出力コードを入力している場合はコードの入力画面が表示されます。テンキーで再出力コードを入力し、［**設定**］キーを押してください。

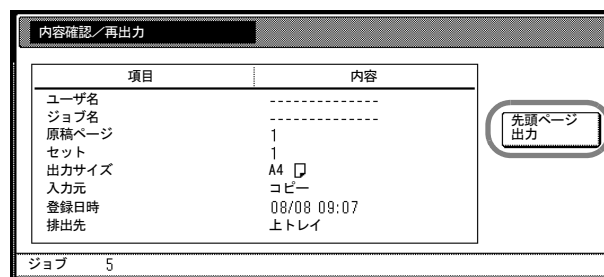
4 ［+］または［−］キーを押すか、テンキーで部数を設定してください。

5 ［**出力開始**］キーを押してください。出力が開始されます。

ジョブの内容確認

登録されている再コピージョブの内容を確認する手順は次のとおりです。

1 ［**再コピー出力**］キーを押してください。

2 内容確認するジョブを選択し、［**内容確認**］キーを押してください。

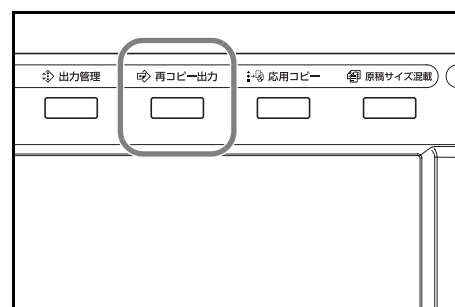
3 再コピー設定時に再出力コードを入力している場合はコードの入力画面が表示されます。テンキーで再出力コードを入力し、［**設定**］キーを押してください。

4 内容を確認してください。［**先頭ページ出力**］キーを押すと最初の 1 ページだけ出力して内容を確認することができます。

5 確認ができましたら［**閉じる**］キーを押してください。別のジョブを確認する場合は、手順 2 ～ 5 を行ってください。

6 ［**終了**］キーを押してください。［**基本**］画面が表示されます。

ジョブの削除

登録されている再コピージョブを削除する手順は次のとおりです。

1 ［**再コピー出力**］キーを押してください。

2 削除するジョブを選択し、［**削除**］キーを押してください。

3 ［**はい**］キーを押してください。選択したジョブが削除されます。別のジョブを削除する場合は、手順 2 ～ 3 を繰り返してください。

4　［**終了**］キーを押してください。［**基本**］画面が表示されます。

OHP 合紙モード

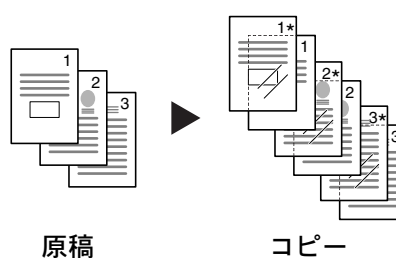
OHP フィルムは 2 枚、3 枚と重なると静電気のために取り扱いが難しくなります。OHP 合紙モードを使うと、自動的に用紙がフィルムの間にはさみ込まれ、取り扱いが容易となります。また、その用紙に同じ原稿のコピーをすることもでき、多数枚コピーすることもできます。

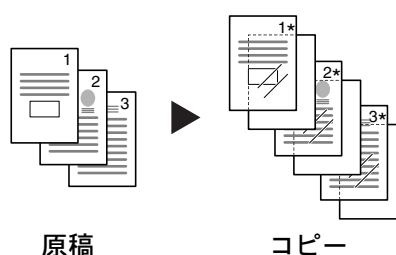
参考：OHP フィルムは必ず手差しを使用してください。

OHP 合紙モードを設定すると、手差しで設定する用紙種類は自動的に「**OHP フィルム**」に変更されます。

オプションのドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャを装着しているときは、コピー排出先の設定が必要な場合があります。詳細は 7-26 ページの**コピー排出先設定**を参照してください。

コピー合紙

原稿を OHP フィルムにコピーした後、合紙の用紙にも同じ原稿のコピーをします。（＊は OHP フィルムを示します。）

白紙の合紙

原稿を OHP フィルムにコピーした後、白紙の合紙を排紙します。（＊は OHP フィルムを示します。）

OHP 合紙モードの操作手順は次のとおりです。

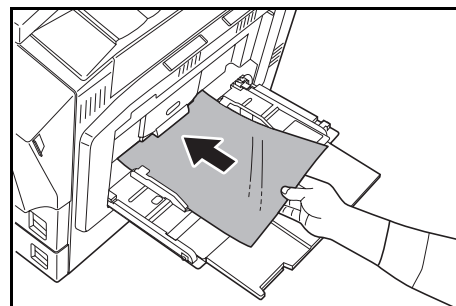
1 原稿をセットしてください。

2 手差しに OHP フィルムをセットしてください。

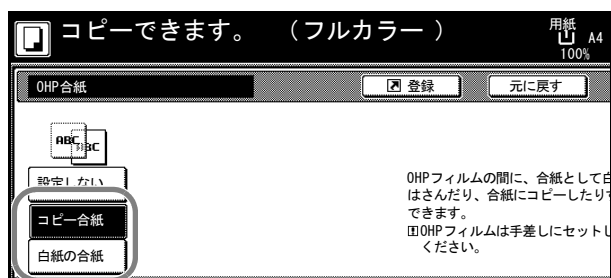
注意：OHP フィルムは手でさばいてからセットしてください。

OHP フィルムは 10 枚までセットできます。

OHP フィルムと同じサイズで同じ向きの用紙がセットされていることも確認してください。

---

3 ［**機能リスト**］キーを押し、［**▼次へ**］キーを押してください。

4 ［**OHP 合紙**］キーを押してください。

5 ［**コピー合紙**］または［**白紙の合紙**］キーを押してください。

6 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

自動回転コピー

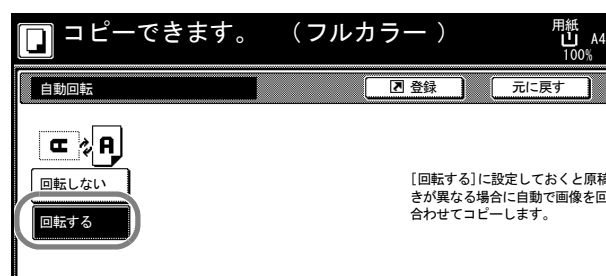
セットした原稿とカセットの中の用紙が同じサイズで向きが異なる場合、画像を反時計回りに 90 度回転してコピーします。

参考：初期設定モードで自動回転コピーするか、しないかを変更することができます。詳細は 7-12 ページの**自動回転コピー設定**を参照してください。

自動回転コピーで使用できる用紙サイズは A4、A4R、A5R、B5、B5R、B6R、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、5 1/2 × 8 1/2"、16K、はがきに限られます。

自動回転コピーの操作手順は次のとおりです。

1. ［**機能リスト**］キーを押し、［**▼次へ**］キーを押してください。
2. ［**自動回転**］キーを押してください。
3. ［**回転する**］キーを押してください。

   自動回転が設定されます。

排出先選択

コピーの排出先に、オプションのジョブセパレータ、ドキュメントフィニッシャ、3000 枚ドキュメントフィニッシャまたはメールボックスを指定することができます。

排出先	説明
上トレイ	本体の排紙トレイに排出します。
ジョブセパレータ	オプションのジョブセパレータに排出します。
フィニッシャトレイ	オプションのドキュメントフィニッシャのトレイに排出します。
トレイ A	オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャのトレイ A に排出します。
トレイ B	オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャのトレイ B に排出します。
トレイ C	オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャのトレイ C に排出します。
トレイ 1 ～ 7	オプションのメールボックスのトレイ 1 ～ 7（1 が最上段）に排出します。

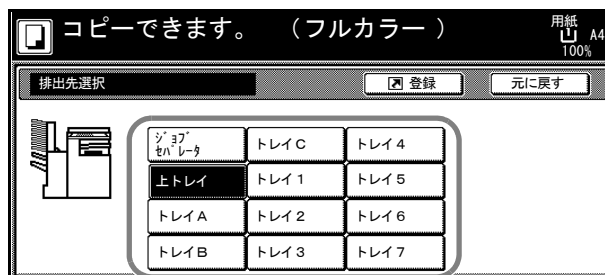
参考：オプションのジョブセパレータ、ドキュメントフィニッシャ、3000 枚ドキュメントフィニッシャやメールボックスが必要です。

初期設定モードで設定される排出先を変更することができます。詳細は 7-26 ページの**コピー排出先設定**を参照してください。

排出先を選択する手順は次のとおりです。

1 ［**機能リスト**］キーを押し、［**▼次へ**］キーを押してください。

2 ［**排出先選択**］キーを押してください。

3 排出先を選択してください。

4 原稿をセットし、［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

エコプリント

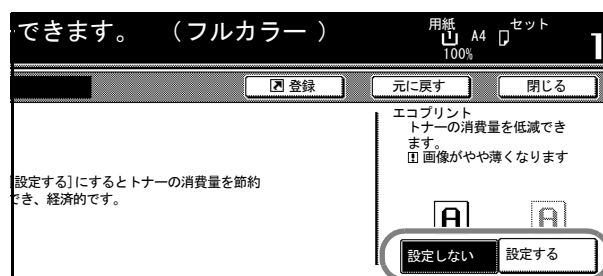
エコプリントを設定するとトナーの消費量が節約できます。試しコピーなど高品質なコピーが必要でないときに使用してください。

参考：画像がやや薄くなります。

エコプリントの操作手順は次のとおりです。

1 ［**機能リスト**］キーを押し、［**▼次へ**］キーを押してください。

2 ［**エコプリント**］キーを押してください。

3 ［**設定する**］キーを押してください。
エコプリントが設定されます。

白黒反転コピー

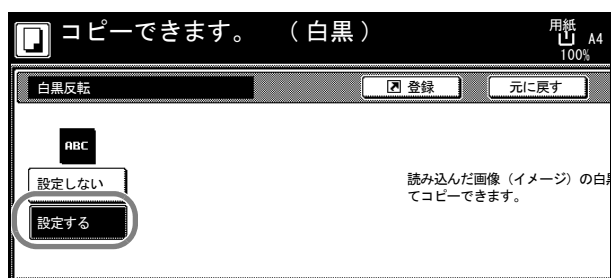
白黒コピー時に、画像の白と黒を反転して（逆にして）コピーします。

参考：白黒コピー時のみ機能します。

白黒反転コピーの操作手順は次のとおりです。

1 ［**機能リスト**］キーを押し、［**▼次へ**］キーを押してください。

2 ［**白黒反転**］キーを押してください。

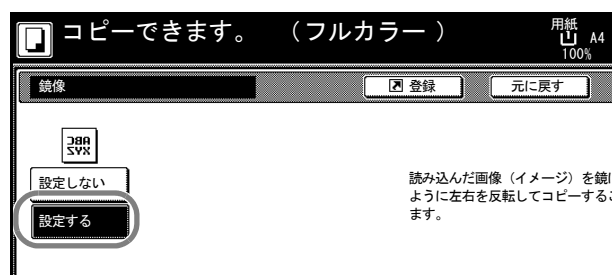
3 ［**設定する**］キーを押してください。
白黒反転コピーが設定されます。

鏡像コピー

原稿を鏡に映したように反転してコピーします。

鏡像コピーの操作手順は次のとおりです。

1 ［**機能リスト**］キーを押し、［**▼次へ**］キーを押してください。

2 ［**鏡像**］キーを押してください。

3 ［**設定する**］キーを押してください。
鏡像コピーが設定されます。

原稿サイズ混載コピー

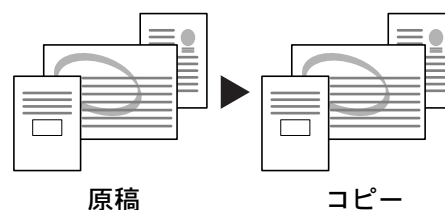
オプションの原稿送り装置に、原稿幅が同じサイズの原稿を一度にセットできます。原稿のサイズを 1 枚ずつ検知して、それぞれの原稿と同じサイズの用紙に自動的にコピーしたり、同じ用紙サイズに統一してコピーすることができます。

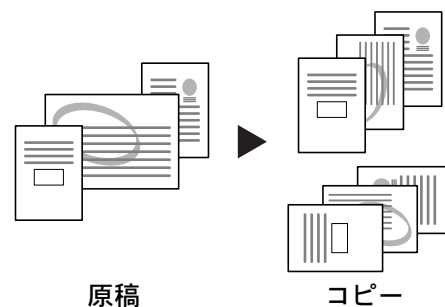
参考：オプションの原稿送り装置が必要です。

原稿サイズ混載コピー時に原稿送り装置にセットできる枚数は、最大 30 枚です。

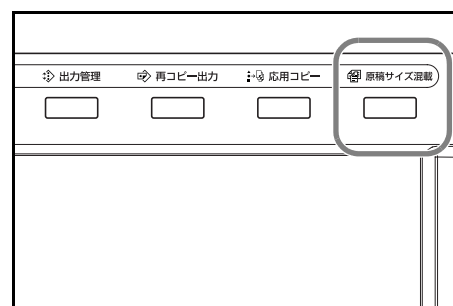
使用できる原稿は A3 と A4 あるいは B4 と B5 で、原稿幅が同じサイズのものに限られます。

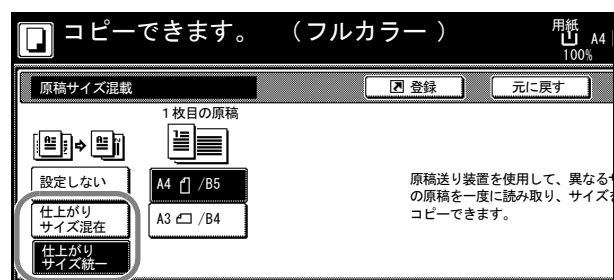
仕上がりサイズ混在

原稿と同じサイズの用紙にコピーします。

仕上がりサイズ統一

同じ用紙サイズに統一してコピーします。

原稿サイズ混載コピーの操作手順は次のとおりです。

1 原稿送り装置に原稿をセットしてください。

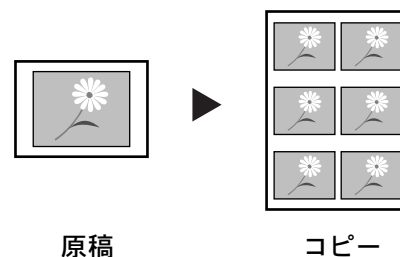
2 ［**原稿サイズ混載**］キーを押してください。

3 **［仕上がりサイズ混在］**または**［仕上がりサイズ統一］**キーを押してください。

［仕上がりサイズ統一］キーを押した場合は、1 枚目にセットしている原稿サイズを選択し、**［閉じる］**キーを押してください。**［基本］**画面で給紙段を選択してください。

参考：仕上がり時のとじ方向を正しく設定するために、1 枚目の原稿サイズを設定してください。

4 **［スタート］**キーを押してください。コピーが開始されます。

イメージリピートコピー

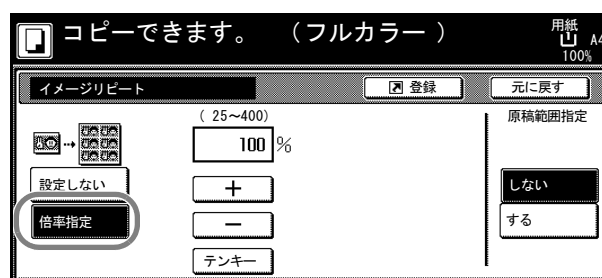
原稿を 1 枚の用紙に繰り返しコピーできます。また、原稿から繰り返す範囲を設定することもできます。

参考：自動回転コピー（1-43 ページ参照）を［**設定しない**］にしている場合に機能します。

イメージリピートコピーの操作手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

2 ［**機能リスト**］キーを押し、［**▼次へ**］キーを押してください。

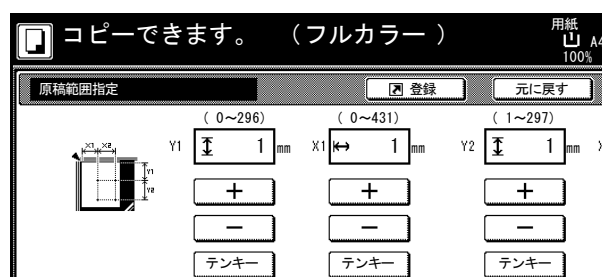
3 ［**イメージリピート**］キーを押してください。

4 ［**倍率指定**］キーを押してください。

5 ［+］または［−］キーで、倍率を設定してください。

［**テンキー**］キーを押すとテンキーで入力することができます。

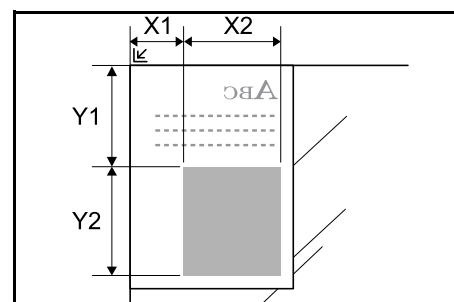
6 繰り返す範囲を設定する場合は、「**原稿範囲指定**」から［**する**］キーを押して、［**設定値変更**］キーを押してください。

7 ［+］または［−］キーで、繰り返す範囲を入力してください。

［**テンキー**］キーを押すとテンキーで入力することができます。

Y1：コンタクトガラスの左奥から、繰り返す範囲の上辺までの長さ

X1：コンタクトガラスの左奥から、繰り返す範囲の左辺までの長さ

Y2：繰り返す範囲の長さ

X2：繰り返す範囲の幅

8　［閉じる］キーを押してください。

9　［スタート］キーを押してください。コピーが開始されます。

カラーバランス調整

シアン（青系色)、マゼンタ（赤系色)、イエロー（黄色)、ブラック（黒）のそれぞれの色の強弱を変更することにより、色調を微妙に調整します。

参考：フルカラーコピー、自動カラーコピー時に機能します。

自動濃度モード（**使用説明書**参照）と併用することはできません。

ワンタッチ画質調整（1-55 ページ参照）と併用することはできません。

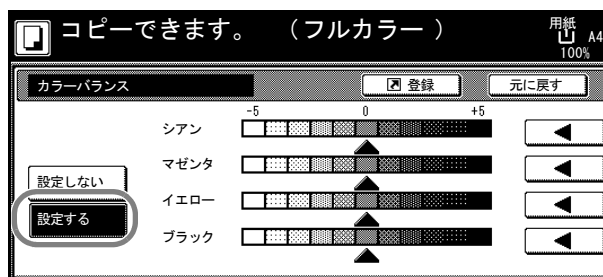
カラーバランス調整の効果は、ii ページの**カラーバランス調整**でサンプル画像を参照してください。

カラーバランス調整の操作手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

2 ［**カラー機能**］キーを押してください。

3 ［**カラーバランス**］キーを押してください。

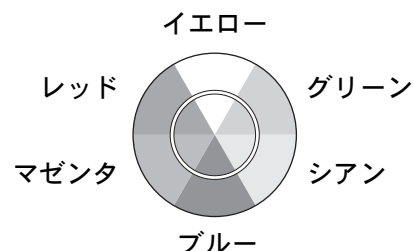
4 ［**設定する**］キーを押してください。

5 調整する色（「**シアン**」、「**マゼンタ**」、「**イエロー**」、「**ブラック**」）の右側にある、［◀］または［▶］キーで、各色を調整してください。

6 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

色相調整

色調（色合い）を調整します。赤を黄色の強い赤にしたり、黄色を黄緑色に近い色にしたりすることによって、イメージの変わったコピーができます。

設定できる項目は、次のとおりです。

- **全体**：色全体にわたり、色調を調整できます。
- **イエロー - グリーン & ブルー - マゼンタ**：イエローとグリーン、ブルーとマゼンタの色合いを調整できます。
- **グリーン - シアン & マゼンタ - レッド**：グリーンとシアン、マゼンタとレッドの色合いを調整できます。
- **シアン - ブルー & レッド - イエロー**：シアンとブルー、レッドとイエローの色合いを調整できます。

参考：フルカラーコピー、自動カラーコピー時に機能します。

自動濃度モード（**使用説明書**参照）と併用することはできません。

ワンタッチ画質調整（1-55 ページ参照）と併用することはできません。

この調整は色の鮮やかな画像で効果的です。

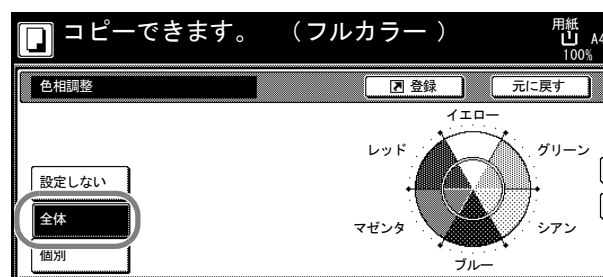
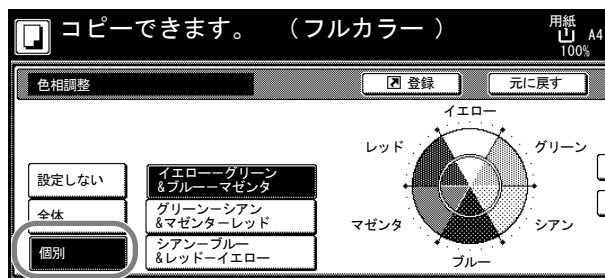
色相調整の操作手順は次のとおりです。

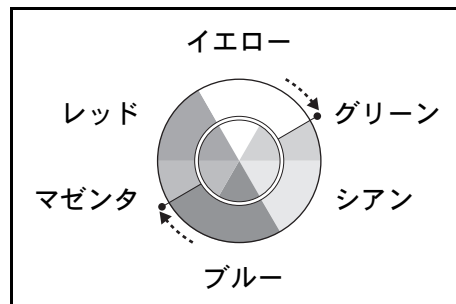
1 原稿をセットしてください。

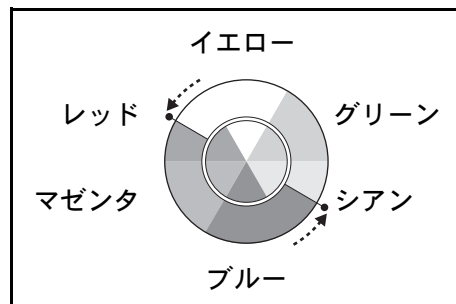
2 ［**カラー機能**］キーを押してください。

3 ［**色相調整**］キーを押してください。

4 ［**全体**］または［**個別**］キーを押してください。

［**全体**］キーを押した場合は、カラー全体の色相を調整します。［C］または［G］キーを押して調整してください。

［個別］キーを押した場合は、調整する色の組み合わせを選択し、［C］または［G］キーを押して調整してください。

例 1

［イエロー - グリーン & ブルー - マゼンタ］を選択し、［C］キーを押した場合、イエローに近いグリーンをイエローに、ブルーに近いマゼンタをブルーに調整できます。（iii ページのサンプル（1）参照）

例 2

［シアン - ブルー & レッド - イエロー］を選択し、［G］キーを押した場合、イエローに近いレッドをイエローに、ブルーに近いシアンをブルーに調整できます。（iii ページのサンプル（2）参照）

5　［スタート］キーを押してください。コピーが開始されます。

ワンタッチ画質調整

「あざやかに」や「シックに」などのイメージにあわせて、お好みの画質に調整します。

設定できる項目は、次のとおりです。

あざやかに、シックに、メリハリつけて、なめらかに、かるく、おもく

各項目の効果は、i ページの**ワンタッチ画質調整**でサンプル画像を参照してください。

参考：フルカラーコピー、自動カラーコピー時に機能します。

自動濃度モード（**使用説明書**参照）と併用することはできません。

カラーバランス調整（1-52 ページ参照）と併用することはできません。

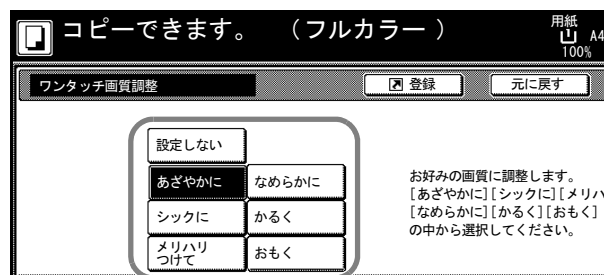
ワンタッチ画質調整は 6 種類のなかから 1 つを選んでください。複数の項目を同時に選択することはできません。

ワンタッチ画質調整の操作手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

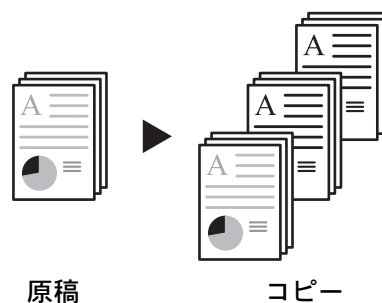
2 ［**カラー機能**］キーを押してください。

3 ［**ワンタッチ画質調整**］キーを押してください。

4 イメージを選択してください。

5 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

配布コピー

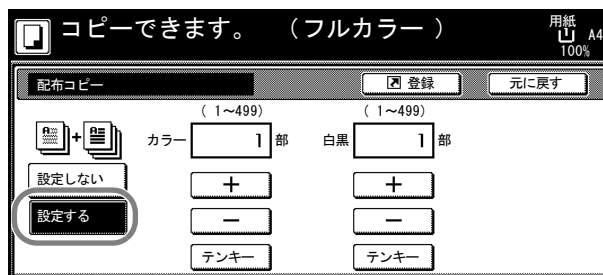
カラーコピーの必要部数が少なく、残りを白黒コピーで代用する場合に、カラーコピーと白黒コピーを同時に行うことができます。

参考：配布コピーはフルカラーコピー時のみ使用できます。

配布コピーの操作手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

2 ［**カラー機能**］キーを押してください。

3 ［**配布コピー**］キーを押してください。

4 ［**設定する**］キーを押してください。

5 ［+］または［−］キーで、「**カラー**」と「**白黒**」の部数を設定してください。

［**テンキー**］キーを押すとテンキーで入力することができます。

6 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

単色カラーコピー

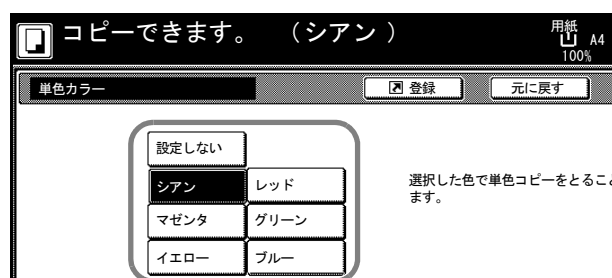
シアン、マゼンタ、イエロー、レッド、グリーン、ブルーから 1 色を指定して、原稿の種類に関係なくその色でコピーします。

単色カラーコピーの操作手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

2 ［**カラー機能**］キーを押してください。

3 ［**単色カラー**］キーを押してください。

4 ［**シアン**］、［**マゼンタ**］、［**イエロー**］、［**レッド**］、［**グリーン**］または［**ブルー**］から、コピーに使用する色を選択してください。

5 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

2 色カラーコピー

カラーの原稿を 2 色でコピーします。

設定できる項目は、次のとおりです。

- **黒 + 赤**：黒以外の色は赤でコピーします。
- **黒 + 青**：黒以外の色は青でコピーします。

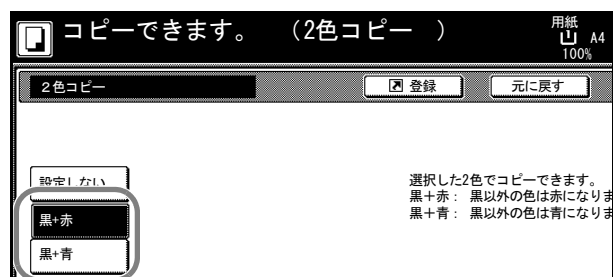
参考：2 色カラーコピーは白黒コピー時のみ使用できます。

2 色カラーコピーの操作手順は次のとおりです。

1 原稿をセットしてください。

2 ［**機能リスト**］キーを押し、［**▼次へ**］キーを押してください。

3 ［**2 色コピー**］キーを押してください。

4 ［**黒 + 赤**］または［**黒 + 青**］キーを押してください。

5 ［**スタート**］キーを押してください。コピーが開始されます。

プログラムコピー

操作パネルに表示しているモードおよび機能の組み合わせを 8 種類まで登録できます。よく使用する機能をひとつのプログラムとして登録しておけば、プログラム番号を押すだけでその機能を呼び出せます。また、プログラムには名称を付けることができます。

プログラムの登録

プログラムを登録する手順は次のとおりです。

1 登録したいコピーモードを設定して、[**プログラム**] キーを押してください。

2 [**現在の設定を登録**] キーを押してください。

3 登録するプログラム番号（1 ～ 8）を押してください。

4 プログラム名を入力して、[**入力終了**] キーを押してください。

参考：文字の入力方法は、7-56 ページの**変換入力**を参照してください。

5 [**はい**] キーを押してください。プログラムが登録されます。

プログラムを使ったコピー

登録したプログラムを使ってコピーする手順は次のとおりです。

1 [**プログラム**] キーを押してください。

2 呼び出すプログラム番号（1 ～ 8）を押してください。

3 原稿をセットし、[**スタート**] キーを押してください。設定したプログラムでコピーをします。

プログラム名称の変更

登録したプログラムの名称を変更する手順は次のとおりです。

1 ［**プログラム**］キーを押してください。

2 ［**名称変更**］キーを押してください。

3 名称を変更するプログラム番号（1 ～ 8）を押してください。

4 プログラム名を入力しなおして、［**入力終了**］キーを押してください。変更したプログラム名称が登録されます。

参考：文字の入力方法は、7-56 ページの**変換入力**を参照してください。

プログラムの削除

プログラムを削除する手順は次のとおりです。

1 ［**プログラム**］キーを押してください。

2 ［**削除**］キーを押してください。

3 削除するプログラム番号（1 ～ 8）を押してください。

4 ［**はい**］キーを押してください。プログラムが削除されます。

機能登録キーの設定

［**機能リスト**］画面、［**カラー機能**］画面の中から頻繁に使う機能を 3 つまで機能登録キーに登録することができます。［**基本**］画面、［**ユーザ機能**］画面の機能も登録可能です。

機能登録キーの登録

機能登録キーを登録する手順は次のとおりです。

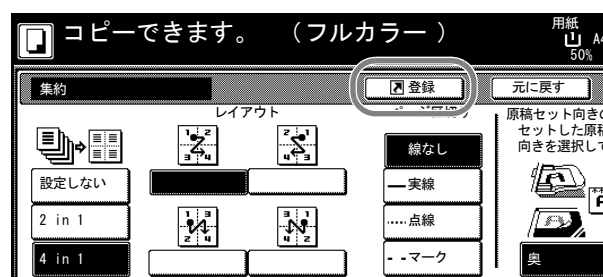
参考：機能登録キーを登録する場合は、7-14 ページの**登録ボタンの表示**を［**表示する**］に設定してください。

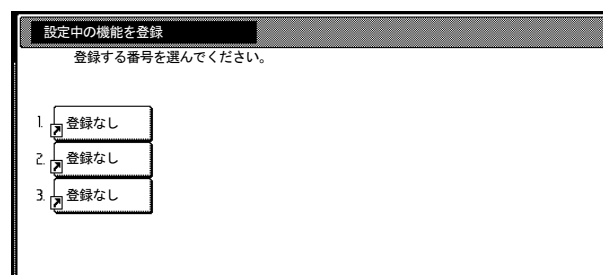
---

1 登録したい機能を表示させてください。

2 ［**登録**］キーを押してください。

参考：［**登録**］キーが表示されている機能は、機能登録キーに登録することができます。

---

3 ［**設定中の機能を登録**］キーを押してください。

4 登録する番号（1 〜 3）を押してください。

5 ［**はい**］キーを押してください。［**基本**］画面の右側に登録した機能登録キーが表示されます。

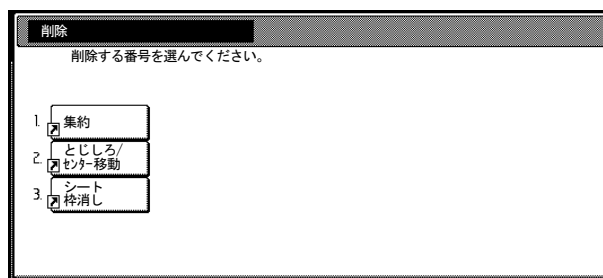
機能登録キーの削除

機能登録キーを削除する手順は次のとおりです。

1 機能登録キーを押して、登録している機能を表示させてください。

2 ［**登録**］キーを押して、「**機能登録メニュー**」を表示させてください。

3 ［**削除**］キーを押してください。

4 削除する番号（1 ～ 3）を押してください。

5 ［はい］キーを押してください。機能登録キーが削除されます。

応用コピー

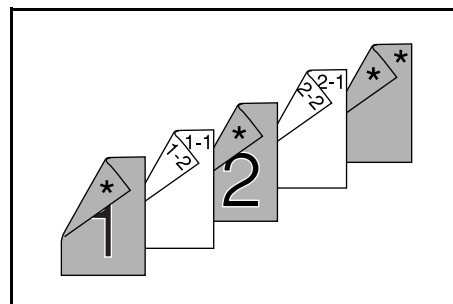
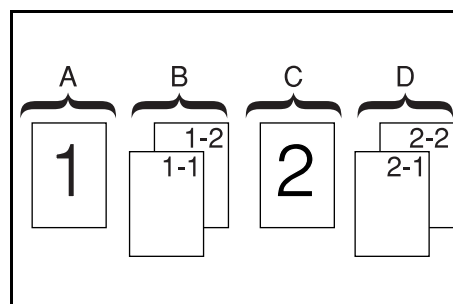
応用コピー機能は原稿を複数回に分けて読み込み、一括してコピーすることができる機能です。一度に読み込む原稿をひとつのステップとして読み込み、ステップごとに拡大 / 縮小、枠消し、原稿のタイプの指定などを設定することができます。またステップとステップの間に白紙を挿入したり、両面コピー時にステップの最初のページを表紙に設定することもできます。

応用コピーの手順

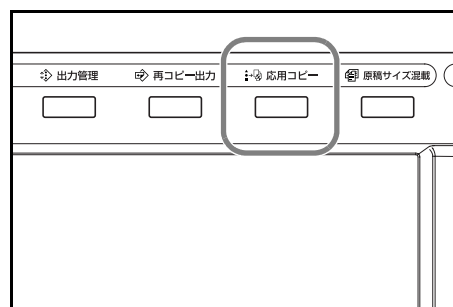
応用コピーを以下の例で行った場合の手順を説明します。

［例］

＜仕上がり＞

「＊」は白紙を、グレーの用紙はカラー紙を示します。

＜原稿＞

参考：表紙に使用するカラー紙が手差しにセットされ、普通紙がカセット 1 にセットされているものとします。

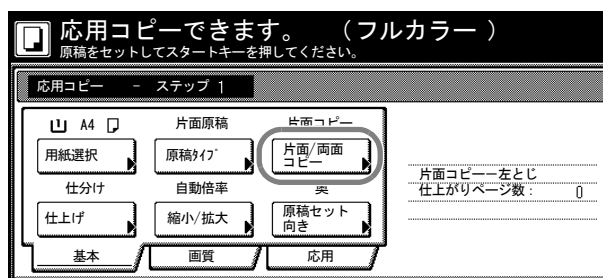
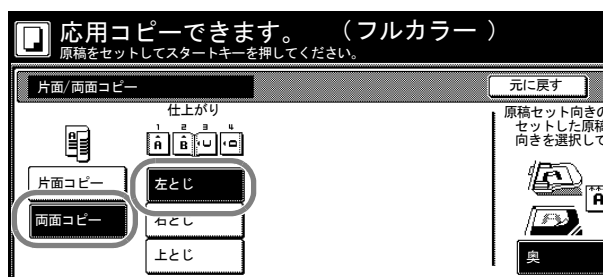
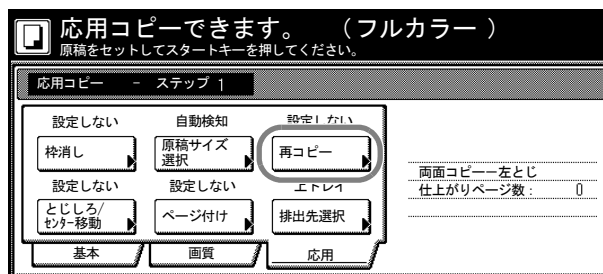
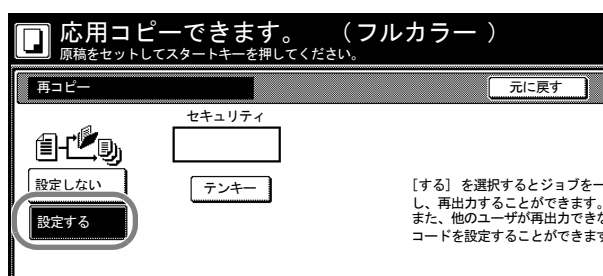
「応用コピー」画面を表示させる。（ステップ 1）

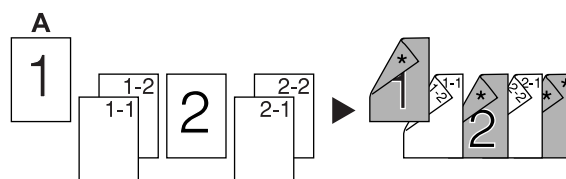
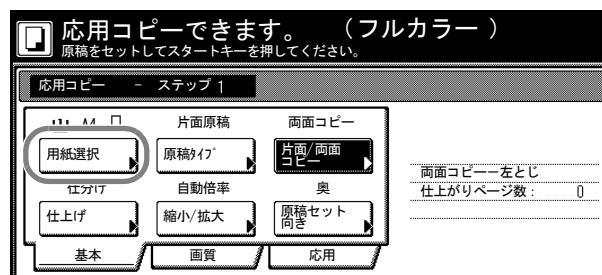
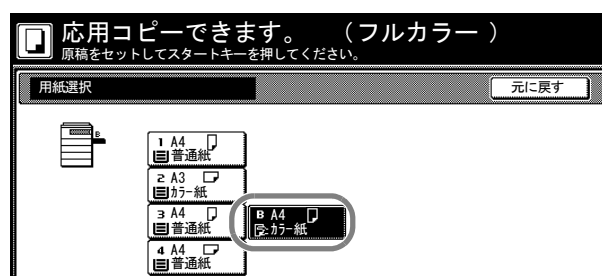
1 ［応用コピー］キーを押してください。

全ステップの共通設定

両面コピー、再コピーを設定します。

参考：再コピーは後から部数を増やすために設定しておきます。

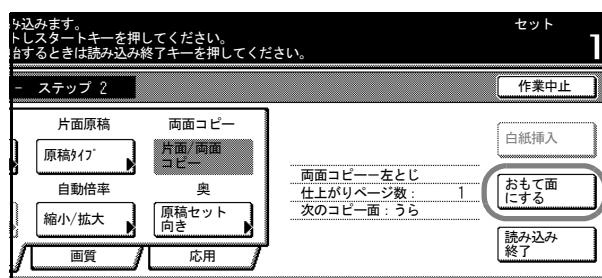
この例で使用している以外にも各種機能を設定することができます。詳細は 1-67 ページの**各機能の設定方法**を参照してください。

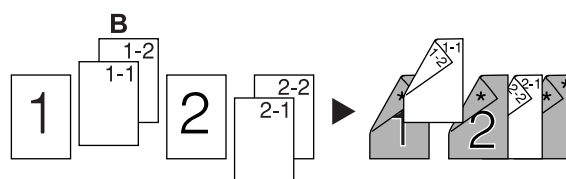
2 ［**片面 / 両面コピー**］キーを押してください。

3 ［**両面コピー**］キーを押して、「**仕上がり**」から［**左とじ**］を選択し、［**閉じる**］キーを押してください。

4 ［**応用**］キーを押して、［**再コピー**］キーを押してください。

5 ［**設定する**］キーを押して、［**閉じる**］キーを押してください。

原稿 A の設定

用紙選択で手差し（カラー用紙）を設定します。

6 ［**基本**］キーを押して、［**用紙選択**］キーを押してください。

7 手差しを選択して、［**閉じる**］キーを押してください。

8 原稿 A をセットして、［**スタート**］キーを押してください。原稿の読み取りを開始します。

原稿 A のうら面を白紙に設定（ステップ 2）

9 ［**おもて面にする**］キーを押してください。

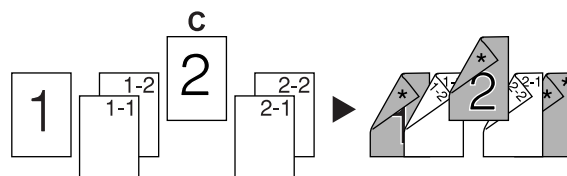
用紙のうら面を白紙にして、次の用紙からコピーします。

原稿 B の設定（ステップ 3）

用紙選択でカセット 1（普通紙）を設定します。

10 ［**用紙選択**］キーを押してください。

11 カセット 1 を選択して、［**閉じる**］キーを押してください。

12 原稿 B をセットして、［**スタート**］キーを押してください。原稿の読み取りを開始します。

原稿 C の設定（ステップ 4）

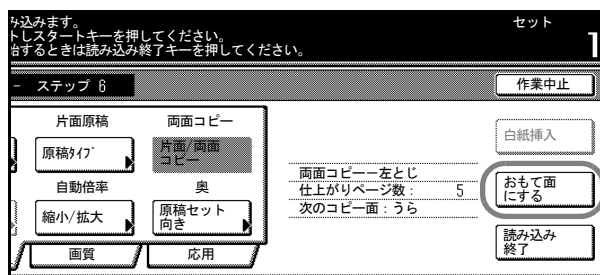
用紙選択で手差し（カラー用紙）を設定します。

13 ［**用紙選択**］キーを押してください。

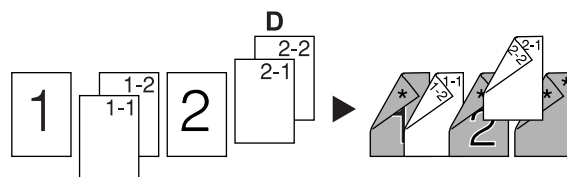
14 手差しを選択して、［**閉じる**］キーを押してください。

15 原稿 C をセットして、［**スタート**］キーを押してください。原稿の読み取りを開始します。

原稿 C のうら面を白紙に設定（ステップ 5）

16 ［**おもて面にする**］キーを押してください。

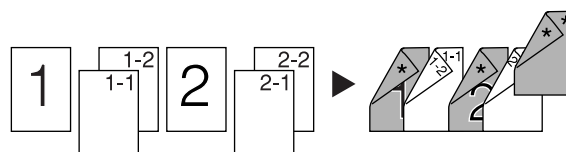
用紙のうら面を白紙にして、次の用紙からコピーをします。

原稿 D の設定（ステップ 6）

用紙選択でカセット 1（普通紙）を設定します。

17 ［**用紙選択**］キーを押してください。

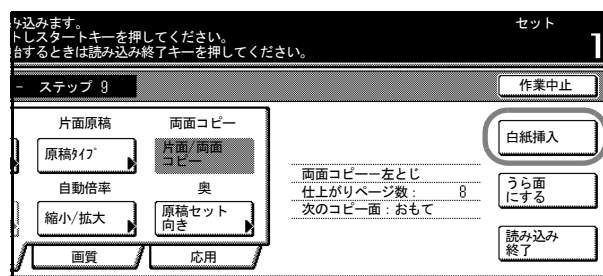
18 カセット 1 を選択して、［**閉じる**］キーを押してください。

19 原稿 D をセットして、［**スタート**］キーを押してください。原稿の読み取りが開始されます。

うら表紙に白紙のカラー用紙を設定（ステップ 7）

用紙選択で手差し（カラー用紙）を設定します。

20　［**用紙選択**］キーを押してください。

21　手差しを選択して、［**閉じる**］キーを押してください。

22　［**白紙挿入**］キーを押してください。

23　以上で原稿の読み込みが完了しました。［**読み込み終了**］キーを押してください。出力を開始します。

24　出力が問題なければ、再コピーで必要な部数を出力します。詳細は 1-37 ページの**再コピー**を参照してください。

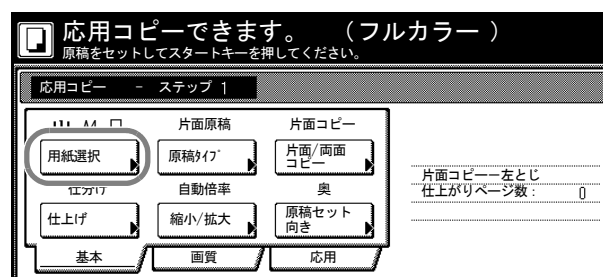
以上で作業は完了です。

各機能の設定方法

応用コピー時に使用できるコピー機能について説明します。

用紙選択

用紙サイズを選択します。

1　［**基本**］キーを押して、［**用紙選択**］キーを押してください。

2　カセットまたは手差しを選択し、［**閉じる**］キーを押してください。

原稿タイプ

セットする原稿に合わせて、原稿のタイプを設定します。設定できる原稿のタイプは次のとおりです。

原稿のタイプ	説明
片面原稿	片面のシート原稿です。
両面原稿	両面のシート原稿です。
見開き原稿	雑誌や本などの見開きの原稿です。

1 ［**基本**］キーを押して、［**原稿タイプ**］キーを押してください。

2 ［**片面原稿**］、［**両面原稿**］または［**見開き原稿**］を選択してください。

［**両面原稿**］を選択したときは、原稿のとじ方向の確認と、原稿のセット向きの確認をしてください。

［**見開き原稿**］を選択したときは、原稿のとじ方向の確認をしてください。

参考：［**両面原稿**］キーは、オプションの原稿送り装置を装着しているときに表示されます。

3 ［**閉じる**］キーを押してください。

片面 / 両面コピー

仕上がりを［**片面コピー**］と［**両面コピー**］から選択します。

1 ［**基本**］キーを押して、［**片面 / 両面コピー**］キーを押してください。

参考：片面 / 両面コピーの設定は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

2 ［**片面コピー**］または［**両面コピー**］キーを押して、「**仕上がり**」でとじ位置を選択してください。

3 セットする原稿に合わせて、原稿のセット向きを確認してください。

参考：原稿が正しくセットされていない場合は、正しくコピーされないことがあります。

4 ［**閉じる**］キーを押してください。

仕上げ

仕分けの設定をします。設定できる内容は次のとおりです。

- **仕分け**…1 部ごとに出力を 90 度回転させて仕分けをします。
- **ステープルコピー**…オプションのドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャを使用して、ステープルコピーします。
- **中とじステープル**…オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャおよび中折りユニットを使用して、中とじ + 中折り（仕上がりの中央にステープルして 2 つに折ること）をします。
- **パンチコピー**…オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャおよびパンチユニットを使用して、パンチコピーします。

1 ［**基本**］キーを押して、［**仕上げ**］キーを押してください。

参考：仕上げの設定は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

---

2 仕分けの設定を行うときは、［**1 部ごと**］キーを押してください。詳細は 1-9 ページの**仕分けコピー**を参照してください。

ステープルの設定を行うときは、［**ステープル設定**］キーを押して、設定を行ってください。詳細は 1-10 ページの**ステープルコピー**を参照してください。

パンチの設定を行うときは、［**パンチ設定**］キーを押して、設定を行ってください。詳細は 1-12 ページの**パンチコピー**を参照してください。

中とじステープルの設定を行うときは、［**中とじステープル**］キーを押してください。
［**中とじ＋中折り**］キーを押してください。

3 セットする原稿に合わせて、原稿のセット向きを確認してください。

参考：原稿が正しくセットされていない場合は、正しくコピーされないことがあります。

---

4 ［**閉じる**］キーを押してください。

縮小 / 拡大

コピー倍率を設定します。

1 ［**基本**］キーを押して、［**縮小 / 拡大**］キーを押してください。

2 コピー倍率を設定します。

縮小 / 拡大コピーの設定方法については、**使用説明書**の 3 章、**縮小 / 拡大コピー**を参照してください。

3 ［**閉じる**］キーを押してください。

原稿セット向き

セットした原稿に合わせて、原稿のセット向きを設定します。

1 ［**基本**］キーを押して、［**原稿セット向き**］キーを押してください。

2 ［**奥**］または［**左**］を選択してください。

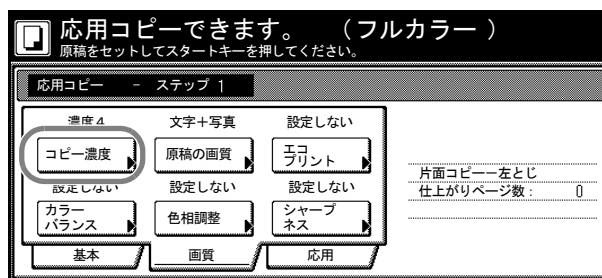
参考：原稿が正しくセットされていない場合は、正しくコピーされないことがあります。

3 ［**閉じる**］キーを押してください。

読み込み濃度

コピー濃度を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
自動	自動濃度モードを設定します。
手動	手動濃度モードを設定します。

1 ［**画質**］キーを押して、［**コピー濃度**］キーを押してください。

2 ［**自動**］または［**手動**］を選択してください。

［**手動**］を選択したときは、［**うすく**］または［**こく**］キーを押して濃度を調整してください。

3 ［**閉じる**］キーを押してください。

原稿の画質

原稿の種類に合わせて画質を選択します。

1 ［**画質**］キーを押して、［**原稿の画質**］キーを押してください。

2 画質を選択してください。画質については、**使用説明書**の 3 章、**画質の選択**を参照してください。

3 ［**閉じる**］キーを押してください。

エコプリント

エコプリントを設定するとトナーの消費を節約できます。

1 ［**画質**］キーを押して、［**エコプリント**］キーを押してください。

参考：エコプリントは全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

2 ［**設定する**］キーを押してください。エコプリントが設定されます。

3 ［**閉じる**］キーを押してください。

カラーバランス調整

シアン（青系色)、マゼンタ（赤系色)、イエロー（黄色)、ブラック（黒）のそれぞれの色の強弱を変更することにより、色調を微妙に調整します。

1 ［**画質**］キーを押して、［**カラーバランス**］キーを押してください。

参考：フルカラーコピー、自動カラーコピー時に機能します。

2 ［**設定する**］キーを押して、それぞれの色について調整してください。詳細は 1-52 ページの**カラーバランス調整**を参照してください。

3 ［**閉じる**］キーを押してください。

色相調整

色調（色合い）を調整します。

1 ［**画質**］キーを押して、［**色相調整**］キーを押してください。

参考：フルカラーコピー、自動カラーコピー時に機能します。

2 ［**全体**］または［**個別**］キーを押して、色調を調整してください。詳細は 1-53 ページの**色相調整**を参照してください。

3 ［**閉じる**］キーを押してください。

シャープネス調整

画像の輪郭の強弱を調整します。

1 ［**画質**］キーを押して、［**シャープネス**］キーを押してください。

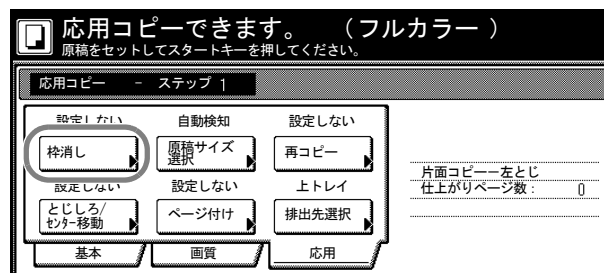
2 ［**弱く**］または［**強く**］キーを押して、調整してください。。詳細は 1-34 ページの**シャープネス調整**を参照してください。

3 ［**閉じる**］キーを押してください。

枠消し

原稿のまわりにできた黒い枠を消去してコピーします。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
シート枠消し	シート原稿のまわりにできる黒い枠を消します。
個別枠消し	上下左右の枠消し幅を別々に設定します。

1 ［**応用**］キーを押して、［**枠消し**］キーを押してください。

2 ［**シート枠消し**］または［**個別枠消し**］キーを押して、枠消し幅を設定してください。詳細は 1-20 ページの**枠消しコピー**を参照してください。

3 ［**閉じる**］キーを押してください。

原稿サイズ選択

原稿のサイズを指定できます。

1 ［**応用**］キーを押して、［**原稿サイズ選択**］キーを押してください。

2 原稿サイズを設定してください。詳細は 1-3 ページの**原稿サイズ選択**を参照してください。

3 ［**閉じる**］キーを押してください。

再コピー

再コピーの設定ができます。再コピーを設定しておくとコピー終了後に追加出力が可能です。

1 ［**応用**］キーを押して、［**再コピー**］キーを押してください。

参考：再コピー設定は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

2 再コピーを設定するときは、［**設定する**］キーを押してください。詳細は 1-37 ページの**再コピー**を参照してください。

3 ［**閉じる**］キーを押してください。

とじしろ / センター移動

とじしろ（余白）設定およびセンター移動が設定できます。

1 ［応用］キーを押して、［**とじしろ / センター移動**］キーを押してください。

参考：とじしろ / センター移動は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

2 ［**とじしろ**］または［**センター移動**］キーを押して設定してください。詳細は 1-17 ページの**とじしろコピー**、1-19 ページの**センター移動コピー**を参照してください。

3 ［**閉じる**］キーを押してください。

ページ付け

原稿の上から順番にページ番号を付けます。

1 ［応用］キーを押して、［**ページ付け**］キーを押してください。

参考：ページ付け設定は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

2 ページ付けの設定方法については 1-24 ページの**ページ付け**を参照してください。

3 ［**閉じる**］キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

排出先選択

オプションのジョブセパレータ、ドキュメントフィニッシャ、3000 枚ドキュメントフィニッシャおよびメールボックスを排出先に指定できます。

1 ［応用］キーを押して、［**排出先選択**］キーを押してください。

参考：排出先選択はオプションのジョブセパレータ、ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャを装着しているときに表示されます。

排出先選択は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

2 排出先を指定してください。詳細は 1-44 ページの**排出先選択**を参照してください。

3 ［**閉じる**］キーを押してください。

2 文書 / 出力管理機能

この章では、本機の文書管理機能および出力管理機能について説明します。

- 文書管理機能 ...2-2 ページ
- 出力管理機能 ...2-12 ページ

文書管理機能

文書管理機能について

文書管理機能は原稿をハードディスク内に保存し、原稿が無くてもそのデータ（文書）を使ってコピーができる機能です。

使用する機能によりボックス（文書を保存する領域）が割り当てられ、登録された文書はそのボックス内に保管されます。登録された文書は削除されないかぎり保存されます。

使用できるボックスは次のとおりです。

ボックス	説明	参照ページ
蓄積共有ボックス	原稿を読み込んで文書として保管します。必要なときに必要な部数を出力することができます。	2-2 ページ
ジョブ結合ボックス	原稿を読み込んで文書として保管します。最大 10 件の文書を、1 つのジョブとして結合して出力することができます。	2-5 ページ

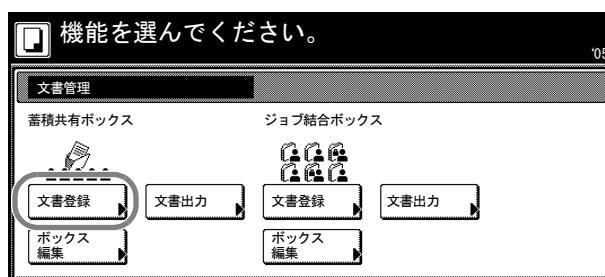
蓄積共有ボックス

原稿を文書として蓄積共有ボックスに登録すると、原稿が無くても、必要なときに必要な部数を出力することができます。よく使用するフォーマットなどを登録しておくと便利です。

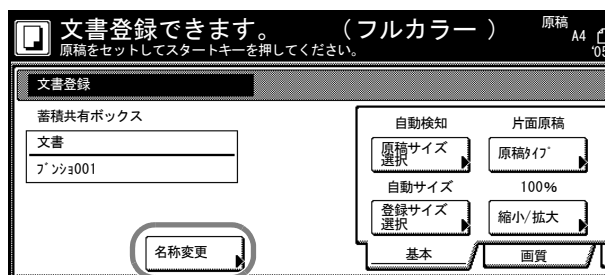
文書の登録

文書を蓄積共有ボックスに登録します。文書は最大 100 件まで登録することができます。

1 文書として登録する原稿をセットし、［**文書管理**］キーを押してください。

2 「**蓄積共有ボックス**」の［**文書登録**］キーを押してください。

3 ［**名称変更**］キーを押して、文書名を入力してください。

文字の入力方法は 7-66 ページの**直接入力**を参照してください。

文書名を入力しない場合は、次の手順に進んでください。

4 ［**自動カラー**］、［**フルカラー**］または［**白黒**］キーを押して、登録する文書のカラーモードを選択してください。

5 原稿に合わせて、読み込みの設定を行ってください。

設定できる機能は、次のとおりです。

タブ	機能
基本	原稿サイズ選択、原稿タイプ、登録サイズ選択、縮小 / 拡大、原稿セット向き
画質	読み込み濃度、原稿の画質、カラーバランス †、色相調整 †、シャープネス
応用	枠消し、連続読み込み

† カラーモードがフルカラーまたは自動カラーのときに設定できます。

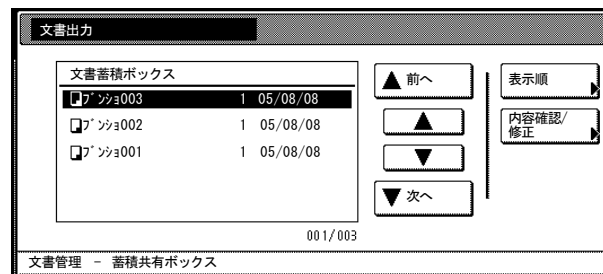
6 ［**スタート**］キーを押してください。原稿の読み込みを開始します。終了すると「**文書管理**」画面に戻ります。続けて文書を登録する場合は原稿を交換して、手順 2 ～ 6 を繰り返してください。

文書の出力

蓄積共有ボックスに保管されている文書を出力します。

1 ［**文書管理**］キーを押してください。

2 「**蓄積共有ボックス**」の［**文書出力**］キーを押してください。

3 出力する文書を選択して、［**選択終了**］キーを押してください。

参考：文書の表示順を変更することができます。［**表示順**］キーを押して、［**日付による並び替え**］（［**新しい→古い**］と［**古い→新しい**］）と［**名称による並べ替え**］（［**A → Z**］と［**Z → A**］）から選択してください。

［**内容確認 / 修正**］キーを押すと、選択した文書の内容が確認できます。2-4 ページの**文書の確認と名称変更**を参照してください。

4　必要に応じて機能を設定してください。

設定できる機能は、次のとおりです。

タブ	機能
基本	用紙選択、片面 / 両面コピー、ソート / 仕分けコピー、ステープル†
応用	表紙付け、小冊子、とじしろ、ページ付け、排出先選択††

† オプションのドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャが必要です。

†† オプションのジョブセパレータ、ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャが必要です。

文書を選択しなおす場合は、［**文書選択**］キーを押して文書を選択しなおしてください。

5　テンキーを使って、出力部数を設定してください。

6　［**スタート**］キーを押してください。出力を開始します。

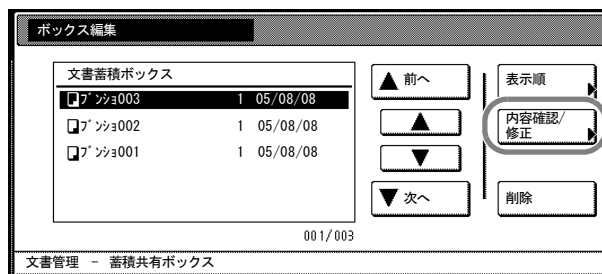
文書の確認と名称変更

蓄積共有ボックスに保管されている文書のサイズ、登録時間などの確認と文書名の変更ができます。また、文書の最初の 1 ページだけを出力して確認することもできます。

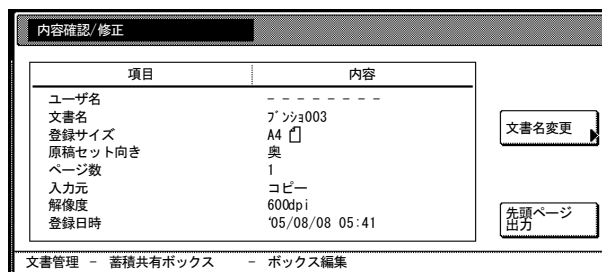
1　［**文書管理**］キーを押してください。

2　「**蓄積共有ボックス**」の「**文書出力**」または［**ボックス編集**」キーを押してください。

3　確認する文書を選択して、［**内容確認 / 修正**］キーを押してください。

参考：文書の表示順を変更することができます。［**表示順**］キーを押して、［**日付による並び替え**］（［**新しい→古い**］と［**古い→新しい**］）と［**名称による並べ替え**］（［**A → Z**］と［**Z → A**］）から選択してください。

4　表示された項目を確認してください。

［**先頭ページ出力**］キーを押すと、最初の 1 ページだけを出力します。

文書名を変更する場合は、［**文書名変更**］キーを押して新しい文書名を入力してください。

文字の入力方法は 7-66 ページの**直接入力**を参照してください。

5　確認が終了したら［**閉じる**］キーを押してください。手順 3 の画面に戻ります。別の文書を確認する場合は、手順 3 〜 5 を繰り返してください。

6　［作業中止］または［閉じる］キーを押してください。「文書管理」画面に戻ります。

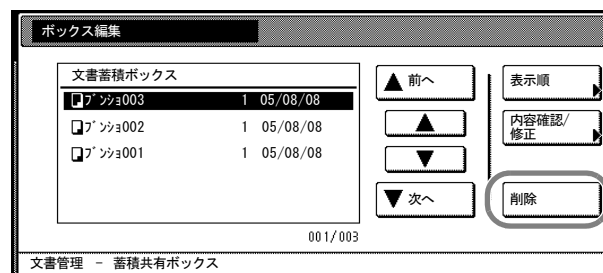
文書の削除

蓄積共有ボックス内の不必要な文書を削除します。

1　［文書管理］キーを押してください。

2　「蓄積共有ボックス」の［ボックス編集］キーを押してください。

3　削除する文書を選択して、［削除］キーを押してください。

参考：文書の表示順を変更することができます。［表示順］キーを押して、［日付による並び替え］（［新しい→古い］と［古い→新しい］）と［名称による並べ替え］（［A → Z］と［Z → A］）から選択してください。

4　［はい］キーを押してください。別の文書を削除する場合は、手順 3 ～ 4 を繰り返してください。

5　［閉じる］キーを押してください。「文書管理」画面に戻ります。

ジョブ結合ボックス

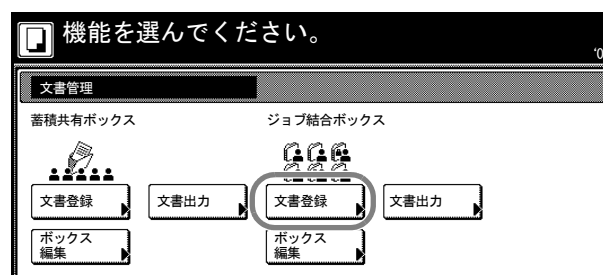
原稿を文書としてジョブ結合ボックスに登録すると、原稿が無くても、その文書を使って出力することができます。ジョブ結合ボックスに登録された文書は、最大 10 件までの文書を 1 つのジョブとして結合して出力したり、ジョブ結合ボックス内の全文書を一度に出力することが可能です。

ジョブ結合ボックスは 100 個（ボックス番号 001 ～ 100）あり、ボックスごとに登録された文書を管理できますので、部課別に文書を共有する際に便利です。

文書の登録

文書をジョブ結合ボックスに登録します。

1　文書として登録する原稿をセットし、［文書管理］キーを押してください。

2　「ジョブ結合ボックス」の［文書登録］キーを押してください。

3 登録先のボックスを選択してください。直接ボックスキーを押すか、テンキーでボックス番号を入力して［**設定**］キーを押してください。

4 ［**名称変更**］キーを押して、文書名を入力してください。

文字の入力方法は 7-66 ページの**直接入力**を参照してください。

文書名を入力しない場合は、次の手順に進んでください。

5 ［**自動カラー**］、［**フルカラー**］または［**白黒**］キーを押して、登録する文書のカラーモードを選択してください。

6 原稿に合わせて、読み込みの設定を行ってください。

設定できる機能は、次のとおりです。

タブ	機能
基本	原稿サイズ選択、原稿タイプ、登録サイズ選択、縮小 / 拡大、原稿セット向き
画質	読み込み濃度、原稿の画質、カラーバランス†、色相調整†、シャープネス
応用	枠消し、連続読み込み

† カラーモードがフルカラーまたは自動カラーのときに設定できます。

7 ［**スタート**］キーを押してください。原稿の読み込みを開始します。終了すると「**文書管理**」画面に戻ります。続けて文書を登録する場合は手順 2 〜 7 を繰り返してください。

文書の結合と出力

ジョブ結合ボックスに保管されている文書を結合して出力します。1 つのジョブとして結合できる文書は最大 10 件です。

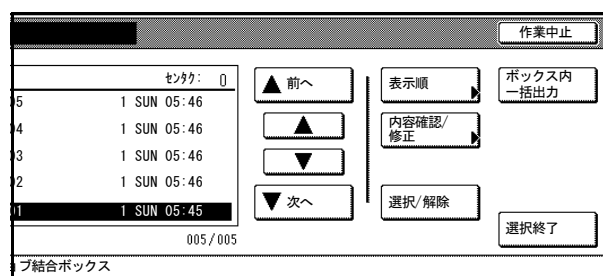
1 ［**文書管理**］キーを押してください。

2 「**ジョブ結合ボックス**」の［**文書出力**］キーを押してください。

3 出力する文書が保管されているボックスを選択してください。直接ボックスキーを押すか、テンキーでボックス番号を入力して［**設定**］キーを押してください。

ボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。テンキーでパスワードを入力し、［**設定**］キーを押してください。

参考：パスワードの設定方法は 2-10 ページの**ボックスパスワードの設定**を参照してください。

4 出力する順番に文書を選択して、［**選択終了**］キーを押してください。文書は最大 10 件まで選択できます。

参考：文書の表示順を変更することができます。［**表示順**］キーを押して、［**日付による並び替え**］（［**新しい→古い**］と［**古い→新しい**］）と［**名称による並べ替え**］（［A → Z］と［Z → A］）から選択してください。

［**内容確認 / 修正**］キーを押すと、選択した文書の内容が確認できます。2-8 ページの**文書の確認と名称変更**を参照してください。

文書を複数選択する場合はすべて同じサイズの文書を選択してください。違うサイズの文書を選択するとエラーになります。

5 必要に応じて機能を設定してください。

設定できる機能は、次のとおりです。

タブ	機能
基本	用紙選択、片面 / 両面コピー、ソート / 仕分けコピー、ステープル†
応用	表紙付け、小冊子、とじしろ、ページ付け、排出先選択††

† オプションのドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャが必要です。

†† オプションのジョブセパレータ、ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャが必要です。

文書を選択しなおす場合は、［**文書選択**］キーを押して文書を選択しなおしてください。

6 テンキーを使って、出力部数を設定してください。

7 ［**スタート**］キーを押してください。出力を開始します。

文書の一括出力

ジョブ結合ボックスに保管されている文書を、一度にすべて出力します。

1 ［**文書管理**］キーを押してください。

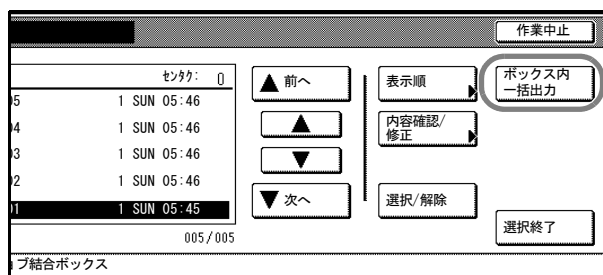
2 「**ジョブ結合ボックス**」の［**文書出力**］キーを押してください。

3 出力するボックスを選択してください。直接ボックスキーを押すか、テンキーでボックス番号を入力して［**設定**］キーを押してください。

ボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。テンキーでパスワードを入力し、［**設定**］キーを押してください。

参考：パスワードの設定方法は 2-10 ページの**ボックスパスワードの設定**を参照してください。

---

4 ［**ボックス内一括出力**］キーを押してください。出力を開始します。

文書の確認と名称変更

ジョブ結合ボックスに保管されている文書のサイズ、登録時間などの確認と文書名の変更ができます。また、文書の最初の 1 ページだけを出力して確認することもできます。

1 ［**文書管理**］キーを押してください。

2 「**ジョブ結合ボックス**」の［**文書出力**］または［**ボックス編集**］キーを押してください。

3 確認するボックスを選択してください。直接ボックスキーを押すか、テンキーでボックス番号を入力して［**設定**］キーを押してください。

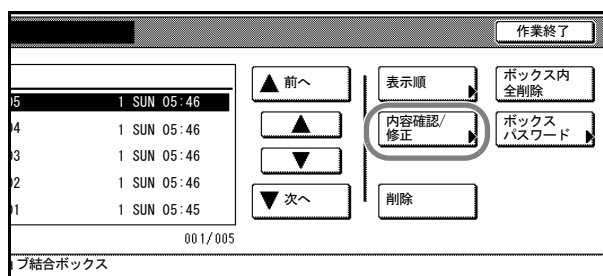
ボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。テンキーでパスワードを入力し、［**設定**］キーを押してください。

参考：パスワードの設定方法は 2-10 ページの**ボックスパスワードの設定**を参照してください。

---

4 確認する文書を選択して、［**内容確認 / 修正**］キーを押してください。

参考：文書の表示順を変更することができます。［**表示順**］キーを押して、［**日付による並び替え**］（［**新しい→古い**］と［**古い→新しい**］）と［**名称による並べ替え**］（［A → Z］と［Z → A］）から選択してください。

---

5 表示された項目を確認してください。

［**先頭ページ出力**］キーを押すと、最初の 1 ページだけを出力します。

文書名を変更する場合は、［**文書名変更**］キーを押して新しい文書名を入力してください。

文字の入力方法は 7-66 ページの**直接入力**を参照してください。

6 確認が終了したら［**閉じる**］キーを押してください。手順 4 の画面に戻ります。別の文書を確認する場合は、手順 4 〜 6 を繰り返してください。

7 ［**作業中止**］または［**作業終了**］キーを押してください。「**文書管理**」画面に戻ります。

文書の削除

ジョブ結合ボックス内の不必要な文書を削除します。

1 ［**文書管理**］キーを押してください。

2 「**ジョブ結合ボックス**」の［**ボックス編集**］キーを押してください。

3 削除する文書が保管されているボックスを選択してください。直接ボックスキーを押すか、テンキーでボックス番号を入力して［**設定**］キーを押してください。

ボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。テンキーでパスワードを入力し、［**設定**］キーを押してください。

参考：パスワードの設定方法は 2-10 ページの**ボックスパスワードの設定**を参照してください。

4 削除する文書を選択して、［**削除**］キーを押してください。

参考：文書の表示順を変更することができます。［**表示順**］キーを押して、［**日付による並び替え**］（［**新しい→古い**］と［**古い→新しい**］）と［**名称による並べ替え**］（［A → Z］と［Z → A］）から選択してください。

5 ［**はい**］キーを押してください。別の文書を削除する場合は、手順 4 〜 5 を繰り返してください。

6 ［**作業終了**］キーを押してください。「**文書管理**」画面に戻ります。

文書の全削除

ジョブ結合ボックス内のすべての文書を削除します。

1 ［**文書管理**］キーを押してください。

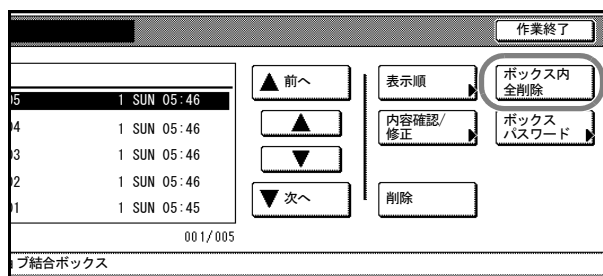
2 「**ジョブ結合ボックス**」の［**ボックス編集**］キーを押してください。

3 文書をすべて削除するボックスを選択してください。直接ボックスキーを押すか、テンキーでボックス番号を入力して［**設定**］キーを押してください。

ボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。テンキーでパスワードを入力し、［**設定**］キーを押してください。

参考：パスワードの設定方法は 2-10 ページの**ボックスパスワードの設定**を参照してください。

---

4 ［**ボックス内全削除**］キーを押してください。

5 ［**はい**］キーを押してください。

6 ［**作業終了**］キーを押してください。「**文書管理**」画面に戻ります。

ボックスパスワードの設定

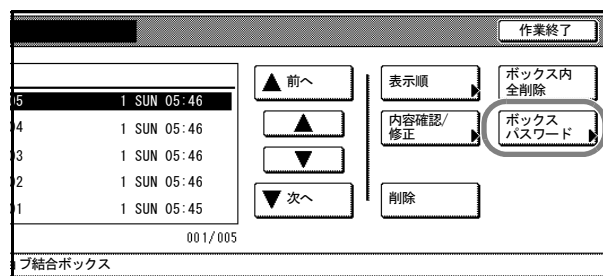
機密保持のために各ジョブ結合ボックスにはパスワードを設定できます。文書の出力や内容確認、削除を行うためにはパスワードの入力が必要となります。

1 ［**文書管理**］キーを押してください。

2 「**ジョブ結合ボックス**」の［**ボックス編集**］キーを押してください。

3 パスワードを設定するボックスを選択してください。直接ボックスキーを押すか、テンキーでボックス番号を入力して［**設定**］キーを押してください。

ボックスにすでにパスワードが設定されている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。テンキーでパスワードを入力し、［**設定**］キーを押してください。

4　［**ボックスパスワード**］キーを押してください。

5　テンキーで新しいパスワードを入力して、［**設定**］キーを押してください。

参考：パスワードは 1 ～ 8 桁の数字で入力してください。

パスワードを設定しないときは［**クリア**］キーを押して、何も入力していない状態で［**設定**］キーを押してください。

6　［**作業終了**］キーを押してください。「**文書管理**」画面に戻ります。

出力管理機能

出力管理機能について

出力管理機能は、予約コピーのために発生した複数のコピージョブについて、出力待ちのジョブや出力を終了したジョブの管理ができる機能です。また、コンピュータからの印刷や、オプションのファクス機能使用時の受信データも、1 つのプリントジョブ、ファクスジョブとして、コピージョブ同様に管理できます。

出力管理機能は次のようなときに便利です。

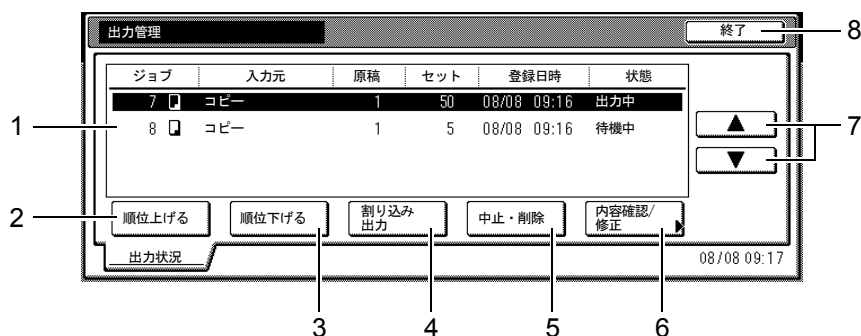
目的	方法
予約コピーを行った場合に、そのジョブが何番目に出力されるのかを知りたい。	**[出力状況]** 画面で現在予約中のジョブを確認することができます。リストの上から順番に出力されますので、予約したジョブが何番目に出力されるか確認ができます。
予約コピーを行った場合に、そのジョブが出力されているかどうか知りたい。	**[出力状況]** 画面を確認してください。**[出力状況]** 画面にある場合はまだ出力されていません。
コンピュータから印刷を行った場合、またはファクスデータを受信した場合、そのジョブの出力状況を知りたい。	コピージョブと同様に **[出力状況]** 画面で確認ができます。（リスト中の「 」はコピージョブ、「 」はプリントジョブ、「 」はファクスジョブを表します。）
出力待ちのコピージョブの内容を確認したい。	**[出力状況]** 画面でジョブの種類 / 原稿枚数 / 印刷部数 / 登録日時 / 出力状況が確認できます。また、さらに詳細な情報が必要なときはジョブを選択し、**[内容確認 / 修正]** キーを押すとジョブ名 / 出力用紙サイズ / 排出先（排出先を指定している場合）を表示します。
出力待ちのジョブを早く出力したい。	**[出力状況]** 画面で早く出力したいジョブを選択し、**[順位上げる]** キーを押してください。出力順位が上がります。また **[割り込み出力]** キーを押すと現在の出力を中断し、選択したジョブを割り込ませて出力することができます。
出力待ちのコピージョブをキャンセルしたい。	**[出力状況]** 画面でキャンセルしたいジョブを選択し、**[中止・削除]** キーを押してください。ジョブがキャンセルされます。

出力管理機能を使用するには

出力管理機能では、**［出力状況］**画面からジョブを管理します。

［出力管理］キーを押してください。**［出力状況］**画面が表示されます。

［出力状況］画面

現在の出力状況や出力待ちのジョブが表示されます。

1　**ジョブリスト**－ジョブの情報を表示します。最上段に現在出力中のジョブを表示し、上から順に出力されます。**「ジョブ」**の項目にある「」はコピージョブを、「」はプリントジョブを、「」はファクスジョブを表します。

2　**［順位上げる］キー**－選択しているジョブの出力順位を上げます。上から 2 段目まで移動することができます。（コピージョブは、プリンタジョブ、ファクスジョブの上に順位を上げることはできません）

3　**［順位下げる］キー**－選択しているジョブの出力順位を下げます。

4　**［割り込み出力］キー**－現在出力中のジョブを中断し、選択しているジョブの出力を開始します。ジョブはリストの最上段に移動します。

5　**［中止・削除］キー**－選択しているコピージョブを削除します。

6　**［内容確認 / 修正］キー**－**「内容確認 / 修正」**画面を表示します。選択しているコピージョブの内容を確認したり、出力部数を変更することができます。

7　**［▲］キー / ［▼］キー**－ジョブを選択するときに使用します。

8　**［終了］キー**－出力管理機能を終了します。**［基本］**画面または出力中の画面が表示されます。

3　プリンタ設定

この章では、プリンタ機能の設定方法を説明します。操作パネルでの設定は、使用する環境に合わせた初期設定を行うときに使用します。通常は、アプリケーションソフトからのプリンタドライバによる設定が優先されます。

設定できる主な内容は次のとおりです。

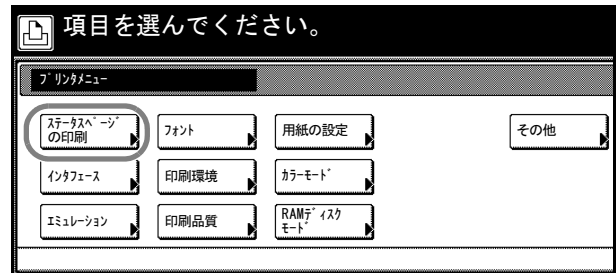
- ステータスページの印刷 ...3-2 ページ
- インタフェースの設定 ...3-5 ページ
- エミュレーションの設定 ...3-11 ページ
- フォントの設定 ...3-14 ページ
- 印刷環境の設定 ...3-19 ページ
- 印刷品質の設定 ...3-24 ページ
- カラーモードの選択 ...3-25 ページ
- 用紙の設定 ...3-26 ページ
- 記憶装置の操作 ...3-31 ページ
- e-MPS 機能 ...3-39 ページ
- その他の設定 ...3-46 ページ

ステータスページの印刷

ステータスページを印刷して、現在の設定状況、使用可能メモリ、装着しているオプション機器などの情報が確認できます。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**ステータスページの印刷**］キーを押してください。

4 ［**印刷**］キーを押してください。

「データ処理中です。」が表示され、ステータスページを印刷します。

5 印刷を終えると、プリンタモードに戻ります。

ステータスページの内容

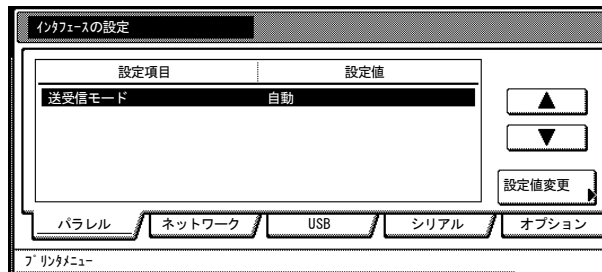
ステータスページの印刷例を示します。

参考：ファームウェアのバージョンにより、ステータスページに印刷される項目や値が異なる場合があります。

項目	説明
Firmware Version	ファームウェアのバージョンと発行日です。
プリンタ設定状況	カセットにセットされている用紙サイズと用紙種類、主な機能の設定情報を表示します。
メモリ使用状況	本機に装着されている総メモリと、現在使用可能なメモリ、および現在の RAM ディスクの状態が表示されます。
ページ情報	現在の解像度、設定印刷枚数、総印刷枚数を表示します。
装着オプション	本機に装着されている、オプション機器の状態を表示します。
ネットワークステータス	ネットワーク関係の設定状態を表示します。TCP/IP 欄には、IP アドレス、サブネットマスクアドレス、ゲートウェイアドレスを表示します。
エミュレーション	設定できる全エミュレーションを表示します。
消耗品	トナーコンテナ内の、およそのトナー残量を表示します。100 から 0 に近づくほどトナーの残量が少なくなります。
インタフェース	本機に装着されているすべてのインタフェースと、それぞれのインタフェースに設定されているフォントおよびエミュレーションを表示します。

インタフェースの設定

本機はパラレルインタフェース、USB インタフェース、およびネットワークインタフェースを標準装備しています。さらに必要に応じて、オプションのシリアルインタフェースまたはネットワークインタフェースが装着できます。

エミュレーション、フォントなどの本機の環境は、これらの各インタフェースごとに独立して設定できます。

参考：インタフェースのタブの選択は、データを受信するインタフェースを選ぶものではありません。データを受信するインタフェースは自動的に切り替わります。

パラレルインタフェースモードの設定

本機のパラレルインタフェースは、双方向および高速モードに対応しています。通常は、初期設定の［**自動**］のままで使用してください。

モード	説明
自動	接続したコンピュータによって自動的にモードを切り替えます。通常はこの設定のまま変更する必要はありません。
ノーマル	セントロニクスインタフェースによって標準の通信方法を行います。
高速	本機とコンピュータの間を高速データ転送することが可能です。（本機をワークステーションに接続した時に正しく印刷できない場合は、このモードを選択してください）
ニブル（高速）	IEEE1284 規格に準拠した高速転送スピードで、データを送受信します。

参考：IEEE1284 規格に準拠したパラレルプリンタケーブルを使用してください。

1. ［**プリンタ**］キーを押してください。
2. ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。
3. ［**インタフェース**］キーを押してください。

4. ［**パラレル**］キーを押し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5 希望するモードを押してください。

6 ［閉じる］キーを押してください。「**プリンタメニュー**」画面に戻ります。

シリアルインタフェースモードの設定

本機は、オプションのシリアルインタフェースが装着できます。シリアルインタフェースのボーレート（通信速度）、データビット、ストップビット、パリティ、およびプロトコルの設定をします。これらのプロトコルは、コンピュータのシリアルインタフェースと合わせる必要があります。

設定項目	選択項目
ボーレート	1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200
データビット	7、8
ストップビット	1、2
パリティ	None、Odd、Even、Ignore
プロトコル	DTR (positive) &XOn/XOff、DTR (positive)、DTR (negative)、XOn/XOff、ETX/ACK

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**インタフェース**］キーを押してください。

4 ［**シリアル**］キーを押してください。

5 ［▲］または［▼］キーを押して、「**ボーレート**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

6 希望するモードを押してください。

7 ［**閉じる**］キーを押してください。「**シリアルインタフェースの設定**」画面に戻ります。

8 手順 5 ～ 7 を参照して、データビット、ストップビット、パリティ、およびプロトコルの設定を行ってください。

9 ［**閉じる**］キーを押してください。「**プリンタメニュー**」画面に戻ります。

ネットワークインタフェースの各種設定

本機は、ネットワークインタフェースを標準装備しており、TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、および AppleTalk プロトコルをサポートしていますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare などさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

参考：オプションのネットワークインタフェースの設定も同様の方法で設定をします。

TCP/IP の設定

TCP/IP で Windows ネットワークなどに接続する場合は［On］にします。さらに、DHCP、BOOTP、IP アドレス、サブネットマスクアドレス、およびゲートウェイアドレスの各アドレスが設定できます。

参考：IP アドレスを設定する前に、ネットワーク管理者に取得を依頼して、あらかじめ準備しておいてください。DHCP または BOOTP を使って IP アドレスの割り当てを行っている場合は、出荷時設定で DHCP または BOOTP が［On］（有効）になっているため、この設定を行う必要はありません。

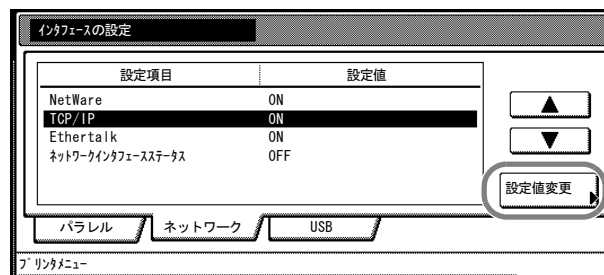
1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**インタフェース**］キーを押してください。

4 ［**ネットワーク**］キーを押してください。

参考：オプションのネットワークインタフェースの設定する場合は、［**オプション**］キーを押してください。

5 ［▲］または［▼］キーを押して、「TCP/IP」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

6 ［On］キーを押してください。

7 ［▲］または［▼］キーを押して、「DHCP」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

8 ［On］または［Off］キーを押して、［**閉じる**］キーを押してください。

9 ［▲］または［▼］キーを押して、「BOOTP」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

10 ［On］または［Off］キーを押して、［**閉じる**］キーを押してください。

11 ［▲］または［▼］キーを押して、「**IP アドレス**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

12 テンキーからアドレスを入力します。反転表示されている 3 桁のアドレスを入力し、［#］キーを押してください。

13 次の 3 桁のアドレスを入力し、［#］キーを押してください。

入力したアドレスを修正したい場合は、［#］キーを押して修正したい 3 桁のアドレスを選択し、再度テンキーで入力してください。

14 同じ手順で残りのアドレスの入力が完了しましたら、［**閉じる**］キーを押してください。「**TCP/IP の設定**」画面に戻ります。

［**元に戻す**］キーを押すと、入力したアドレスが消去され、入力する前のアドレスが設定されます。

15 ［▲］または［▼］キーを押して、「**サブネットマスク**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

16 手順 12 〜 14 の IP アドレスの設定方法と同様にアドレスを設定してください。

17 ［▲］または［▼］キーを押して、「**ゲートウェイ**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

18 手順 12 〜 14 の IP アドレスの設定方法と同様にアドレスを設定してください。

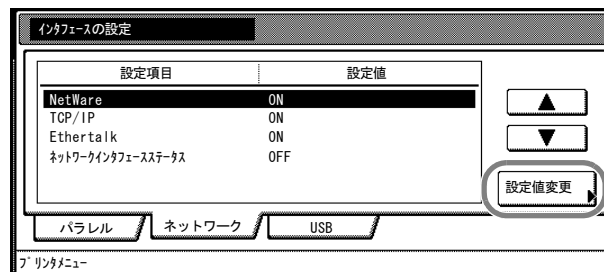
19 ［**閉じる**］キーを押してください。「**インタフェースの設定**」画面に戻ります。

20 ［**閉じる**］キーを押してください。「**プリンタメニュー**」画面に戻ります。

Netware の設定

NetWare ネットワークに接続する場合［On］にし、フレームモードを［**自動**］、［802.3］、［Ethernet II］、［802.2］および［802.3SNAP］から選択します。

1 3-7 ページの **TCP/IP の設定**の手順 1 ～ 4 を参照して、**「インタフェースの設定」**画面を表示してください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、「Netware」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 「On］または［Off］キーを押し、Frame Type を選択してください。

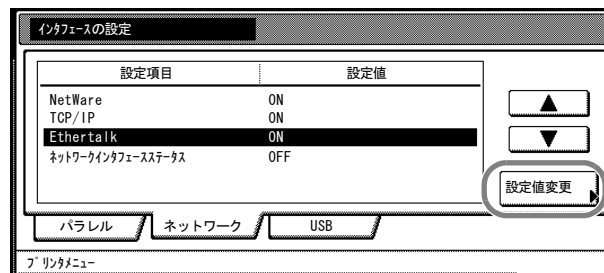
4 ［**閉じる**］キーを押してください。**「インタフェースの設定」**画面に戻ります。

5 ［**閉じる**］キーを押してください。**「プリンタメニュー」**画面に戻ります。

EtherTalk の設定

本機を Apple Macintosh に接続して使用する場合は、EtherTalk を［On］にしてください。

1 3-7 ページの **TCP/IP の設定**の手順 1 ～ 4 を参照して、**「インタフェースの設定」**画面を表示してください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、「Ethertalk」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［On］または［Off］キーを押してください。

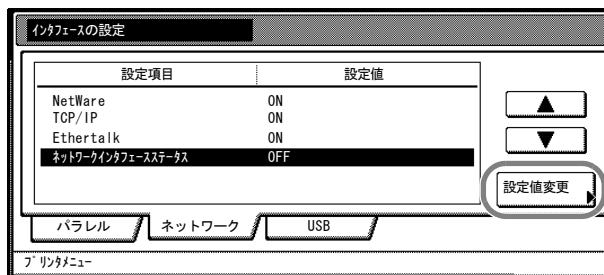
4 ［**閉じる**］キーを押してください。**「インタフェースの設定」**画面に戻ります。

5 ［**閉じる**］キーを押してください。**「プリンタメニュー」**画面に戻ります。

ネットワークステータスページの設定

ステータスページを印刷した際に、続けてネットワークステータスページも印刷できます。ネットワークステータスページでは、ネットワークインタフェースのファームウェアバージョンやネットワークアドレス、ネットワークプロトコル等の情報が確認できます。初期設定は［Off］（印刷しない）です。

1 3-7 ページの **TCP/IP の設定**の手順 1 ～ 4 を参照して、**「インタフェースの設定」**画面を表示してください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「ネットワークインタフェースステータス」**を選択し、**［設定値変更］**キーを押してください。

3 ［On］または［Off］キーを押してください。

4 **［閉じる］**キーを押してください。**「インタフェースの設定」**画面に戻ります。

5 **［閉じる］**キーを押してください。**「プリンタメニュー」**画面に戻ります。

エミュレーションの設定

参考：エミュレーションはインタフェースごとに設定できます。

エミュレーションモードの選択

設定できるエミュレーションは、［PCL6］、［KPDL］、［KPDL（自動）］、［KC-GL］、［PC-PR201/65A］、［IBM 5577］、および［EPSON VP-1000］です。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**エミュレーション**］キーを押してください。

4 設定するインタフェースを押してください。

5 希望するエミュレーションを押してください。

参考：［**KPDL（自動）**］を設定した場合は、KPDL（自動）の代替エミュレーションの選択を行ってください。

［**KPDL**］または［**KPDL（自動）**］を設定した場合は、KPDL エラーの印刷の設定を行ってください。（3-12 ページ参照）

［**KC-GL**］を設定した場合は、ペンと印刷環境の設定を行ってください。（3-12 ページ参照）

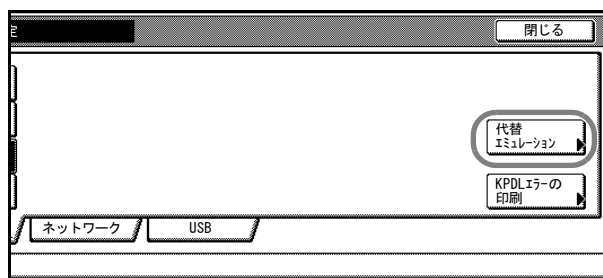
6 すべての設定が完了しましたら、［**閉じる**］キーを押してください。「**プリンタメニュー**」画面に戻ります。

代替エミュレーションの選択

［**KPDL（自動）**］エミュレーションを選択すると、印刷するデータに応じて KPDL と代替エミュレーションを自動的に切り替えます。設定できるエミュレーションは、［**PCL6**］および［**KC-GL**］です。

1 3-11 ページの**エミュレーションモードの選択**の手順 1 ～ 4 を参照して、「**エミュレーション**」画面を表示させてください。

2 ［**KPDL（自動）**］キーを押してください。

3 ［**代替エミュレーション**］キーを押してください。

4 ［PCL6］または［KC-GL］キーを押してください。

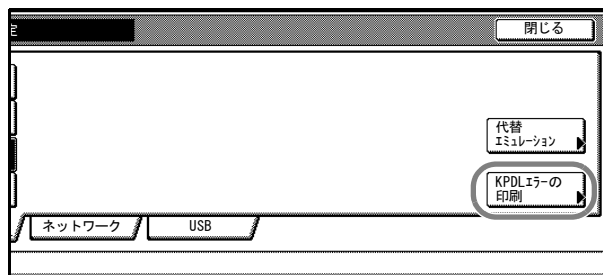
5 ［**閉じる**］キーを押してください。**「エミュレーションの設定」**画面に戻ります。

KPDL エラーの印刷

KPDL エミュレーションモードで印刷中に、エラーが発生した際にその内容を印刷します。初期設定は、［Off］（印刷しない）です。

1 3-11 ページの**エミュレーションモードの選択**の手順 1 ～ 4 を参照して、**「エミュレーション」**画面を表示させてください。

2 ［KPDL］または［KPDL（**自動**）］キーを押してください。

3 ［**KPDL エラーの印刷**］キーを押してください。

4 ［On］または［Off］キーを押してください。

5 ［**閉じる**］キーを押してください。**「エミュレーションの設定」**画面に戻ります。

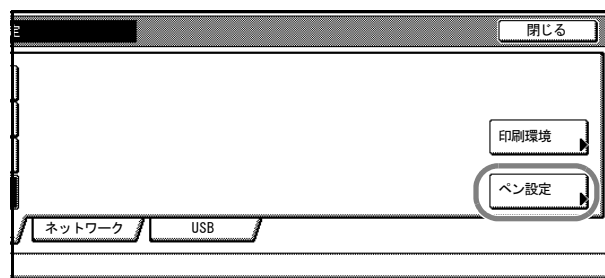
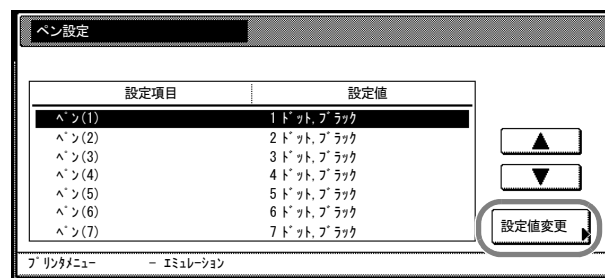
ペンと印刷環境の設定

KC-GL エミュレーションを選択すると、8 種類のペンの太さ、ペンの色とページのサイズが設定できます。

設定項目	選択項目	
ペン設定	ペン（1）～ペン（8）	1 ～ 99 ドット
		ブラック、ブルー、レッド、マゼンタ、グリーン、シアン、イエロー、ホワイト
印刷環境	A2、A1、A0、B3、B2、B1、B0、SPSZ	

1 3-11 ページの**エミュレーションモードの選択**の手順 1 ～ 4 を参照して、**「エミュレーション」**画面を表示させてください。

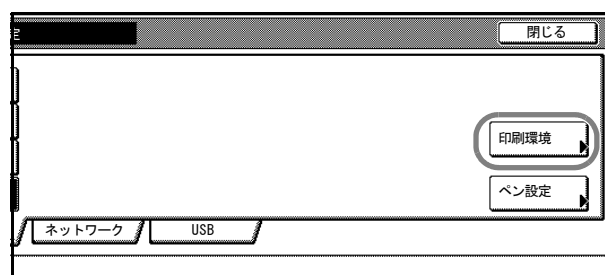
2 ［KC-GL］キーを押してください。

3 ［**ペン設定**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、設定するペンを選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5 ［+］または［−］キーを押して、ペンの太さ（ドット）を設定してください。

6 希望するペンの色を押してください。

7 ［**閉じる**］キーを押してください。「**ペン設定**」画面に戻ります。

8 ［**閉じる**］キーを押してください。「**エミュレーションの設定**」画面に戻ります。

9 ［**印刷環境**］キーを押してください。

10 希望するサイズを押してください。

参考：［SPSZ］はプリスクライブ SPSZ コマンドで指定されたサイズです。プリスクライブコマンドの詳細は**プリスクライブコマンドリファレンスマニュアル**を参照してください。

11 ［**閉じる**］キーを押してください。「**エミュレーションの設定**」画面に戻ります。

フォントの設定

現在選択されているインタフェースの初期フォント（ANK フォントおよび漢字フォント）が選択できます。本機内蔵フォントだけでなく、本機のメモリにフォントをダウンロードしている場合や、メモリカードやハードディスクにフォントがある場合は、初期フォントとして設定できます。また、フォントの太さ、サイズ、ピッチなども設定できます。

フォントの設定では、次の項目が設定できます。

- フォントの選択
- フォントのサイズ設定
- Courier/Letter Gothic フォントの文字ピッチの設定
- Courier/Letter Gothic フォントの太さの設定
- コードセットの選択
- フォントリストの印刷

参考：フォントはインタフェースごとに設定できます。

フォントの選択

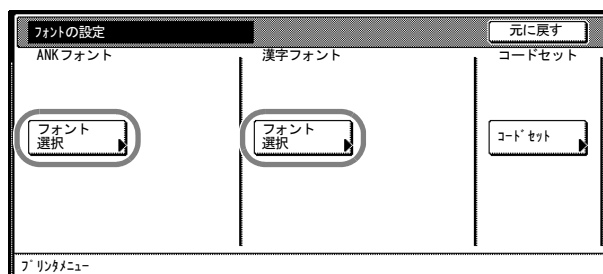
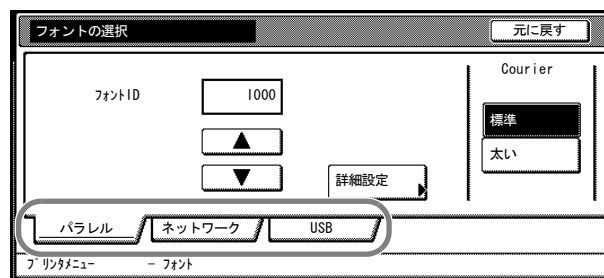
初期フォントの ANK フォントまたは漢字フォントの選択は、次の手順で行います。ここでは、ANK フォントを選択した場合を例に説明します。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**フォント**］キーを押してください。

4 ANK フォントを選択するときは、「**ANK フォント**」枠内の［**フォント選択**］キーを押してください。

漢字フォントを選択するときは、「**漢字フォント**」枠内の［**フォント選択**］キーを押してください。

5 設定するインタフェースを押してください。

6 ［▲］または［▼］キーを押して、フォント ID を選択します。

内蔵フォントの番号は、3-17 ページの**フォントリストの印刷**を参照してください。フォント番号の前に表示されるアルファベットは、フォントの種類により、次のように表示されます。

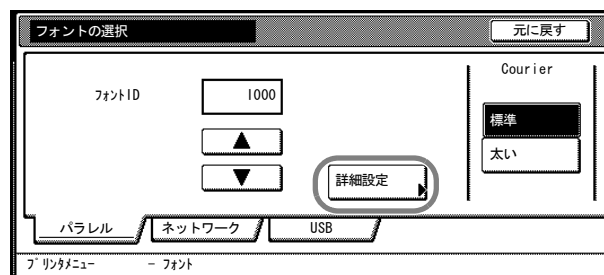
表示	説明
I	内蔵欧文 ANK フォント
IJ	内蔵日本語 ANK フォント
IK	内蔵日本語フォント
SO	欧文 ANK ダウンロードフォント
SJ	日本語 ANK ダウンロードフォント
SK	日本語ダウンロードフォント
MO	メモリカード内の欧文 ANK フォント
MJ	メモリカード内の日本語 ANK フォント
MK	メモリカード内の日本語フォント
HO	RAM ディスクまたはハードディスク内の欧文 ANK フォント
HJ	RAM ディスクまたはハードディスク内の日本語 ANK フォント
HK	RAM ディスクまたはハードディスク内の日本語フォント

7 ［**閉じる**］キーを押してください。「**フォントの設定**」画面に戻ります。

フォントのサイズ設定

初期フォントに設定した ANK フォントまたは漢字フォントのサイズを設定します。初期フォントを Courier フォントまたは Letter Gothic フォントに設定している場合は、このメニューは表示されずに文字ピッチの設定が表示されます。

1 3-14 ページの**フォントの選択**の手順 1 ～ 5 を参照して、「**ANK フォント**」または「**漢字フォント**」画面を表示させてください。

2 ［**詳細設定**］キーを押してください。

3 ［＋］または［－］キーを押して、フォントサイズを設定してください。

0.25 ポイントごとに 4.00 ～ 999.75 ポイントの範囲で設定できます。

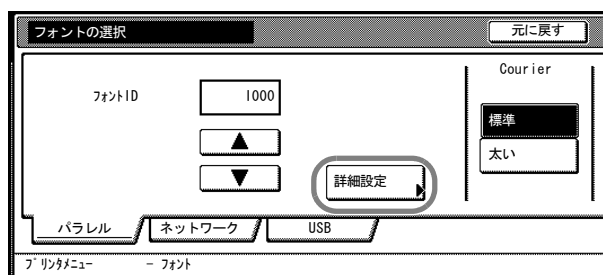
4 ［**閉じる**］キーを押してください。「**ANK フォント**」または「**漢字フォント**」画面に戻ります。

5 ［**閉じる**］キーを押してください。「**フォントの設定**」画面に戻ります。

Courier/Letter Gothic フォントの文字ピッチの設定

Courier または Letter Gothic フォントに設定している場合、文字ピッチが設定できます。

1 3-14 ページの**フォントの選択**の手順 1 ～ 5 を参照して、「**ANK フォント**」画面を表示させてください。

2 ［**詳細設定**］キーを押してください。

3 ［**+**］または［**−**］キーを押して、ピッチサイズを設定してください。

0.01 ピッチごとに 0.44 ～ 99.99 ピッチの範囲で設定できます。

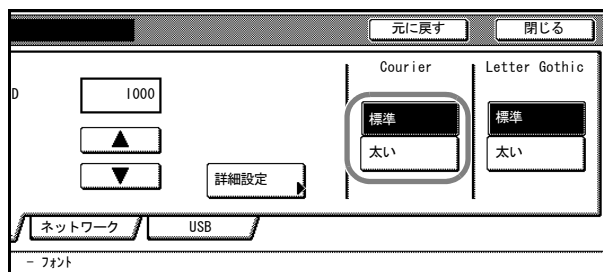
4 ［**閉じる**］キーを押してください。「**ANK フォント**」画面に戻ります。

5 ［**閉じる**］キーを押してください。「**フォントの設定**」画面に戻ります。

Courier/Letter Gothic フォントの太さの設定

Courier/Letter Gothic フォントの太さが選択できます。

1 3-14 ページの**フォントの選択**の手順 1 ～ 5 を参照して、「**ANK フォント**」画面を表示させてください。

2 Courier 枠内の［**標準**］または［**太い**］キーを押してください。

3 Letter Gothic 枠内の［**標準**］または［**太い**］キーを押してください。

4 ［**閉じる**］キーを押してください。「**フォントの設定**」画面に戻ります。

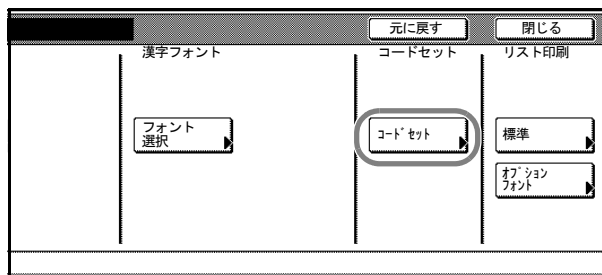
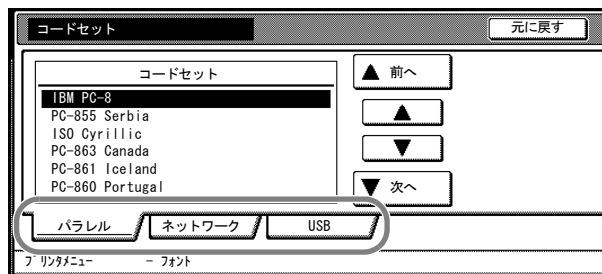
コードセットの選択

エミュレーションが PCL 6 の場合、初期フォントとして内蔵のフォントが選択されている場合に、文字コードセットを選択できます。選択できる文字コードセットは、現在選択されているフォントによって変わります。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**フォント**］キーを押してください。

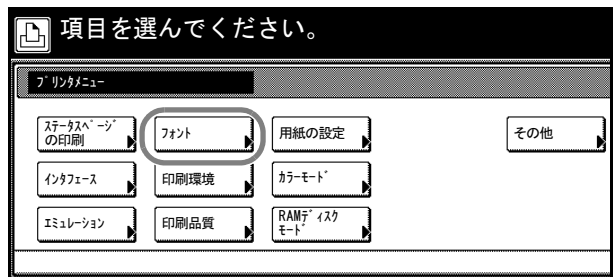
4 ［**コードセット**］キーを押してください。

5 設定するインタフェースを押してください。

6 ［▲］または［▼］キーを押して、コードセットを選択します。

7 ［**閉じる**］キーを押してください。**「フォントの設定」**画面に戻ります。

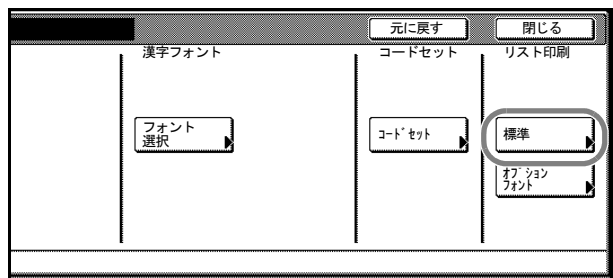
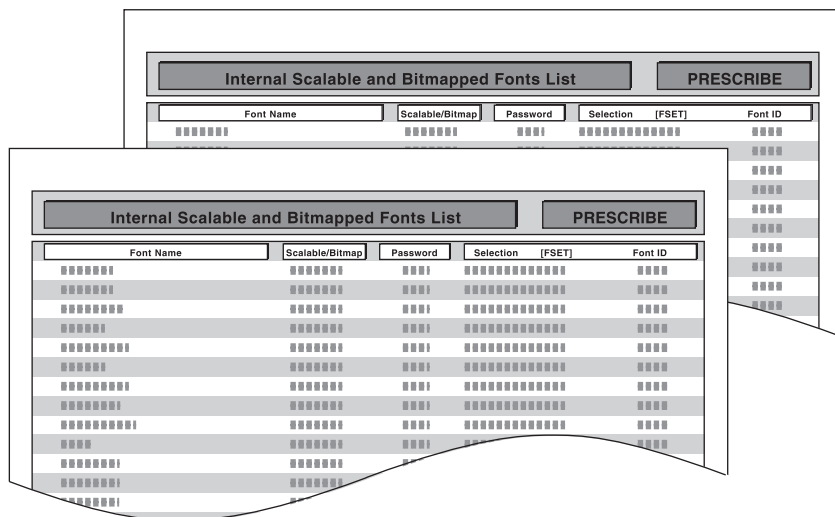
フォントリストの印刷

フォント選択の目安となる、フォントリストを印刷できます。オプションフォントのリストも同様の手順で印刷できます。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3　［**フォント**］キーを押してください。

4　［**標準**］キーを押してください。

参考：内蔵フォント以外のオプションフォントを本機に搭載している場合は、「**オプションフォント**」も選択できます。

5　［**印刷**］キーを押してください。「**データ処理中です。**」が表示され、フォントリストの印刷を開始します。

6　印刷を終えると、プリンタモードに戻ります。

印刷環境の設定

印刷環境では、次の項目が設定できます。

- コピー枚数の設定
- 印刷の向きの設定
- 縮小印刷の設定
- ページ保護モードの設定
- LF（改行）動作の設定
- CR（復帰）動作の設定

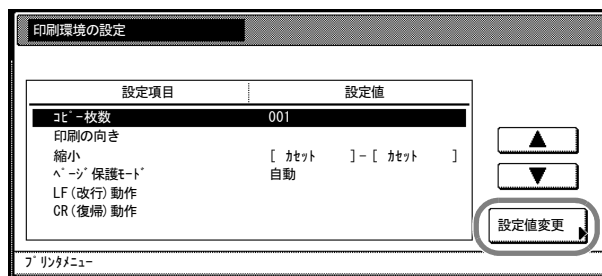
コピー枚数の設定

印刷する枚数を 1 ～ 999 枚まで設定できます。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

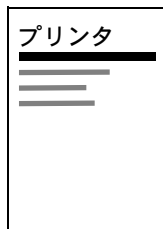
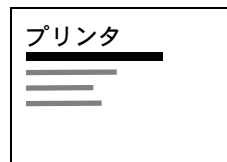
3 ［**印刷環境**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、「**コピー枚数**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5 ［＋］または［－］キーを押して、コピー枚数を設定してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。「**印刷環境の設定**」画面に戻ります。

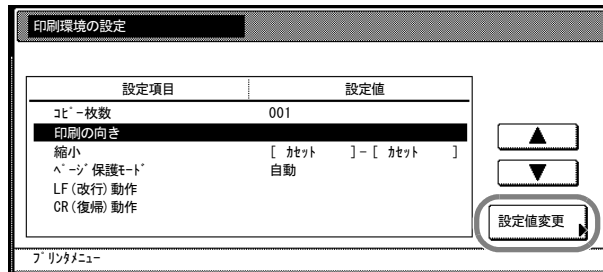
7 ［**閉じる**］キーを押してください。「**プリンタメニュー**」画面に戻ります。

印刷の向きの設定

印刷方向を［縦］または［横］のどちらか選択できます。インタフェースごとに設定できます。

1　［プリンタ］キーを押してください。

2　［プリンタメニュー］キーを押してください。

3　［印刷環境］キーを押してください。

4　［▲］または［▼］キーを押して、「印刷の向き」を選択し、［設定値変更］キーを押してください。

5　設定するインタフェースを押してください。

6　［縦］または［横］キーを押してください。

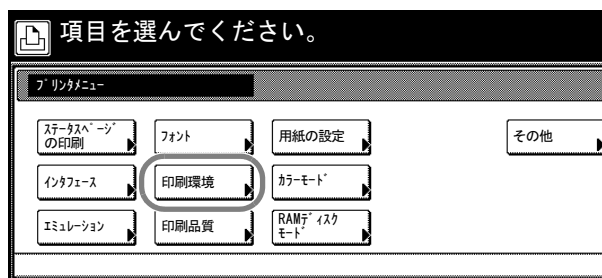
7　［閉じる］キーを押してください。「印刷環境の設定」画面に戻ります。

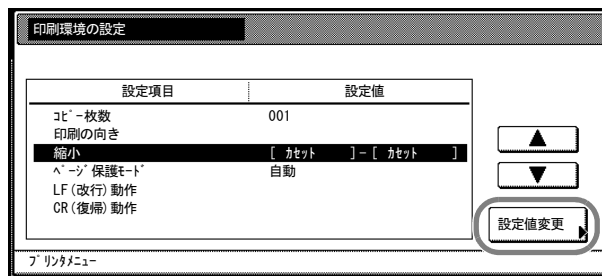
8　［閉じる］キーを押してください。「プリンタメニュー」画面に戻ります。

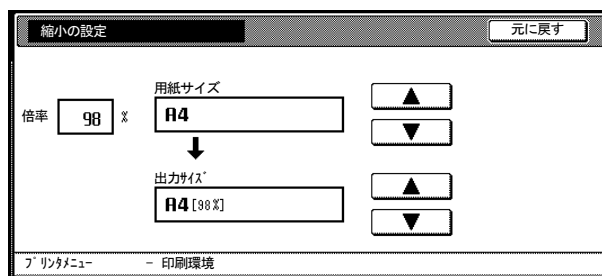
縮小印刷の設定

用紙サイズ（原稿サイズ）と出力サイズを指定すると、固定倍率で縮小して、指定した出力サイズの用紙に印刷します。

1　［プリンタ］キーを押してください。

2　［プリンタメニュー］キーを押してください。

3　［印刷環境］キーを押してください。

4　［▲］または［▼］キーを押して、「縮小」を選択し、［設定値変更］キーを押してください。

5　［▲］または［▼］キーを押して、「用紙サイズ」と「出力サイズ」を設定します。

縮小倍率を自動で設定し、表示します。

6　［閉じる］キーを押してください。「印刷環境の設定」画面に戻ります。

7　［閉じる］キーを押してください。「プリンタメニュー」画面に戻ります。

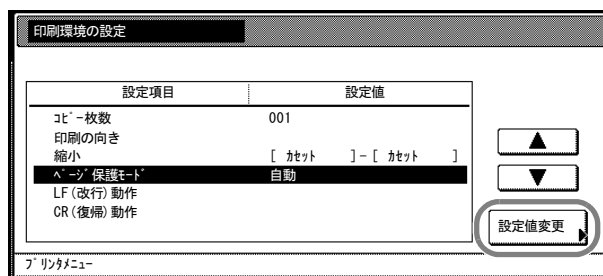
ページ保護モードの設定

「プリントオーバーラン／解除を押してください」のエラーが発生すると、「ページ保護モード」が強制的に［On］になります。このエラーが発生した後は、次の手順で設定を［自動］に戻してください。

1　［プリンタ］キーを押してください。

2　［プリンタメニュー］キーを押してください。

3　［印刷環境］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、「**ページ保護モード**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5 ［**自動**］キーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。「**印刷環境の設定**」画面に戻ります。

7 ［**閉じる**］キーを押してください。「**プリンタメニュー**」画面に戻ります。

LF（改行）動作の設定

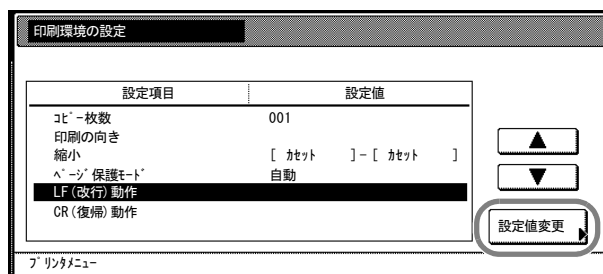
本機が改行コード（文字コード 0AH）を受信したときの動作を設定します。

項目	説明
LF only	改行のみ
CR and LF	改行および復帰
Ignore LF	改行しない

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**印刷環境**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、「**LF（改行）動作**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5 設定するインタフェースを押してください。

6 希望する改行動作キーを押してください。

7 ［**閉じる**］キーを押してください。「**印刷環境の設定**」画面に戻ります。

8 ［**閉じる**］キーを押してください。「**プリンタメニュー**」画面に戻ります。

CR（復帰）動作の設定

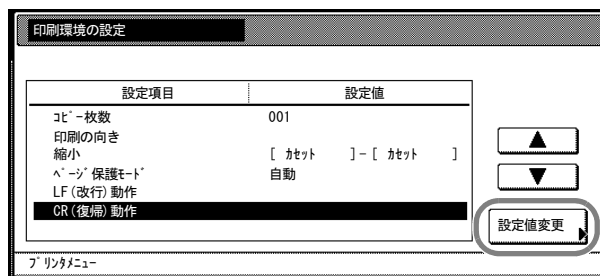
本機が復帰コード（文字コード 0DH）を受信したときの動作を設定します。

項目	説明
CR only	復帰のみ
CR and LF	復帰および改行
Ignore CR	復帰しない

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**印刷環境**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、「**CR（復帰）動作**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5 設定するインタフェースを押してください。

6 希望する復帰動作キーを押してください。

7 ［**閉じる**］キーを押してください。「**印刷環境の設定**」画面に戻ります。

8 ［**閉じる**］キーを押してください。「**プリンタメニュー**」画面に戻ります。

印刷品質の設定

印刷品質の設定では、階調モードが設定できます。

階調モードの設定

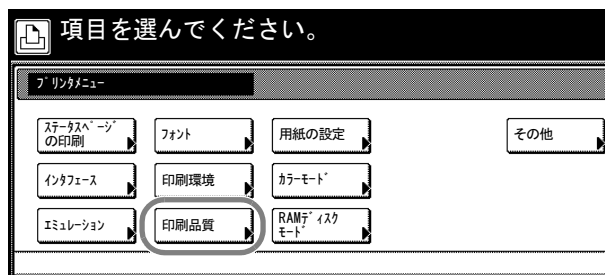
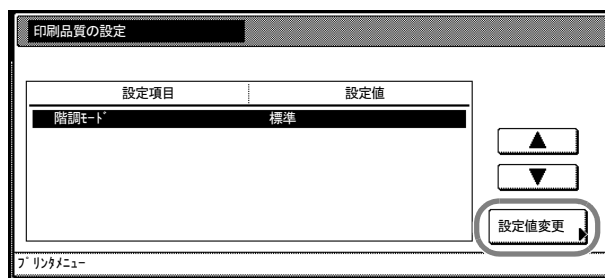
標準モードと高画質モードが選択できます。

項目	説明
標準	文字や比較的シンプルな図形に適しています。
高画質	写真やグラデーションを使ったイラストなど階調を滑らかに、きめ細かく表現することができます。

参考：高画質モードを設定するとデータ量が大きくなるため、標準モードと比べて印刷に時間がかかったり、メモリオーバーフローが発生する可能性が高くなります。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**印刷品質**］キーを押してください。

4 ［**設定値変更**］キーを押してください。

5 ［**標準**］または［**高画質**］キーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。「**印刷品質の設定**」画面に戻ります。

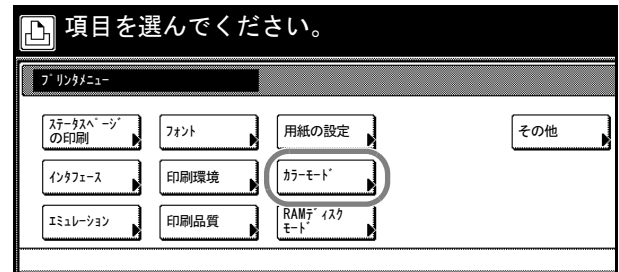
7 ［**閉じる**］キーを押してください。「**プリンタメニュー**」画面に戻ります。

カラーモードの選択

ステータスレポートの印刷をカラーかまたは白黒かを選択することができます。

1 [**プリンタ**] キーを押してください。

2 [**プリンタメニュー**] キーを押してください。

3 [**カラーモード**] キーを押してください。

4 [**カラー**] または [**白黒**] キーを押してください。

5 [**閉じる**] キーを押してください。「**プリンタメニュー**」画面に戻ります。

用紙の設定

用紙の設定では、次の項目が設定できます。

- 手差しモードの設定
- 給紙元の設定
- 両面印刷モードの設定
- 排紙先の設定
- A4 ／レターサイズ用紙の共通給紙設定
- カセット切り替えの設定

手差しモードの設定

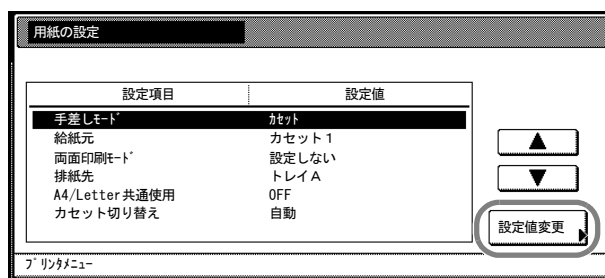
手差しからの給紙方法を設定します。

項目	説明
優先	プリンタの出力は手差しに用紙があれば、他の給紙元を選んでいる場合でも優先して手差しから給紙を行います。手差しに用紙がない場合、カセットに出力可能な用紙があればカセットから給紙します。
カセット	ほかのカセットと同じように使用できます。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**用紙の設定**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、「**手差しモード**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5 ［**カセット**］または［**優先**］キーを押してください。

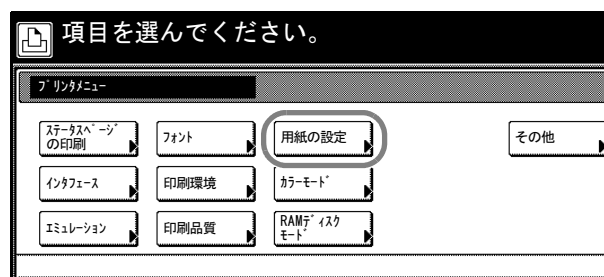
6 ［**閉じる**］キーを押してください。「**用紙の設定**」画面に戻ります。

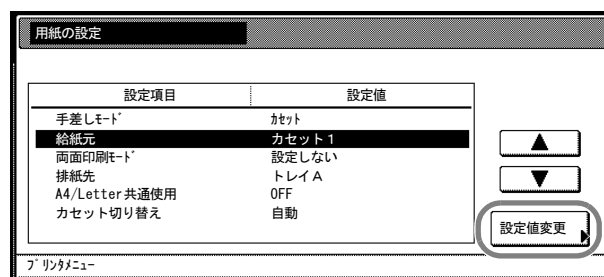
7 ［**閉じる**］キーを押してください。「**プリンタメニュー**」画面に戻ります。

給紙元の設定

給紙元を設定します。アプリケーション（プリンタドライバ）からの印刷で給紙元を指定しないときは、ここで設定した給紙元から給紙されます。給紙カセットや手差しトレイのほかに、オプションのペーパーフィーダや 3000 枚ペーパーフィーダを給紙元として設定することもできます。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**用紙の設定**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、**「給紙元」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5 希望する給紙元のキーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。**「用紙の設定」**画面に戻ります。

7 ［**閉じる**］キーを押してください。**「プリンタメニュー」**画面に戻ります。

両面印刷モードの設定

両面印刷時の、仕上がりのとじ方向を設定します。

項目	説明	仕上がりイメージ
短辺とじ	縁の短い側をとじます。	
長辺とじ	縁の長い側をとじます。	
設定しない	両面印刷しません。	

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［プリンタメニュー］キーを押してください。

3 ［用紙の設定］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、「両面印刷モード」を選択し、［設定値変更］キーを押してください。

5 ［設定しない］、［短辺とじ］または［長辺とじ］キーを押してください。

6 ［閉じる］キーを押してください。「用紙の設定」画面に戻ります。

7 ［閉じる］キーを押してください。「プリンタメニュー」画面に戻ります。

排紙先の設定

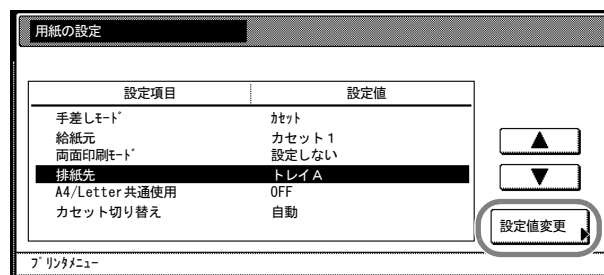
印刷用紙の排紙先を設定します。オプションのドキュメントフィニッシャや 3000 枚ドキュメントフィニッシャ、メールボックスを装着しているときは、各トレイを指定することができます。

排出先	説明
上トレイ	本体の排紙トレイに排出します。
ジョブセパレータ	ジョブセパレータ（オプション）に排出します。
フィニッシャトレイ	オプションのドキュメントフィニッシャのトレイに排出します。
トレイ A	オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャのトレイ A に排出します。
トレイ B	オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャのトレイ B に排出します。
トレイ C	オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャのトレイ C に排出します。
トレイ 1 ～ 7	オプションのメールボックスのトレイ 1 ～ 7（1 が最上段）に排出します。

1 ［プリンタ］キーを押してください。

2 ［プリンタメニュー］キーを押してください。

3 ［**用紙の設定**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、「**排出先**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5 希望する排出先のキーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。「**用紙の設定**」画面に戻ります。

7 ［**閉じる**］キーを押してください。「**プリンタメニュー**」画面に戻ります。

A4 ／レターサイズ用紙の共通給紙設定

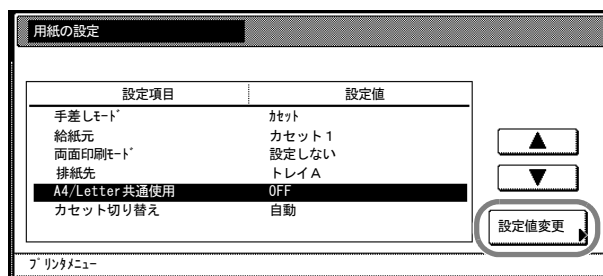
A4 サイズとレターサイズの検知の有無を設定します。

項目	**説明**
On	A4 サイズとレターサイズを共通サイズとみなし、どちらかの用紙が給紙元にあれば給紙をします。
Off	A4 サイズとレターサイズを共通サイズとみなしません。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**用紙の設定**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、「A4/Letter 共通使用」を選択し、［設定値変更］キーを押してください。

5 ［On］または［Off］キーを押してください。

6 ［閉じる］キーを押してください。「用紙の設定」画面に戻ります。

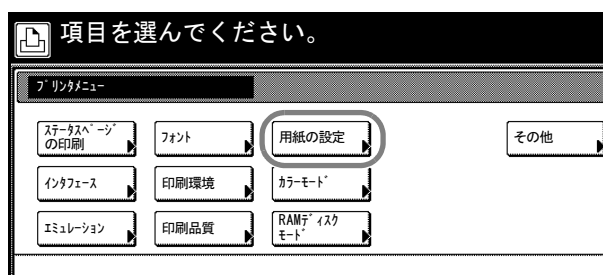
7 ［閉じる］キーを押してください。「プリンタメニュー」画面に戻ります。

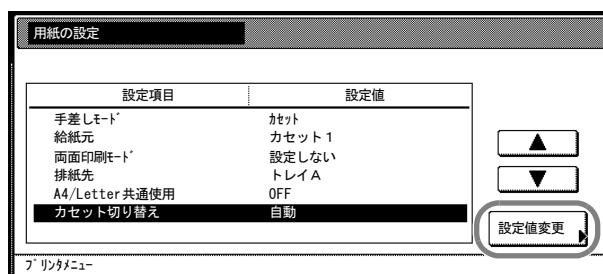
カセット切り替えの設定

自動カセット切り替えは、印刷中の給紙カセットの用紙がなくなった場合、自動的に他の給紙元から連続給紙する機能です。

項目	説明
設定しない	自動カセット切り替えをします。
自動	自動カセット切り替えをしません。

1 ［プリンタ］キーを押してください。

2 ［プリンタメニュー］キーを押してください。

3 ［用紙の設定］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、「カセット切り替え」を選択し、［設定値変更］キーを押してください。

5 ［設定しない］または［自動］キーを押してください。

6 ［閉じる］キーを押してください。「用紙の設定」画面に戻ります。

7 ［閉じる］キーを押してください。「プリンタメニュー」画面に戻ります。

記憶装置の操作

本機はメモリカード、オプションのハードディスク、および RAM ディスクの 3 種類のストレージ装置を使用できます。メモリカードやハードディスクは、プリンタの専用スロットに装着して使用します。RAM ディスクは、プリンタのメモリの一部を RAM ディスクに割り当てて使用します。基本的な操作はいずれの装置も同じです。ここでは、メモリカードの操作を中心に説明します。

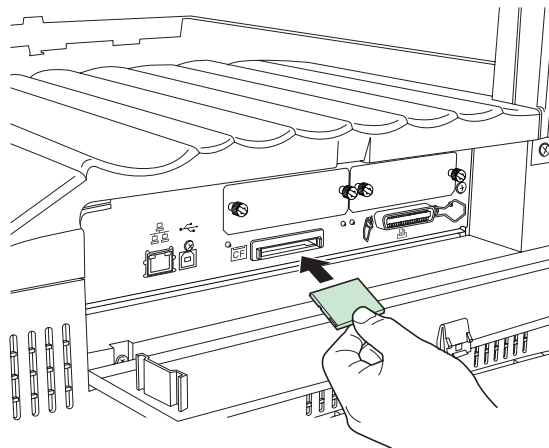
メモリカードの操作

本機には、メモリカードスロットを装備しています。フォントを保存したメモリカードを使って内蔵フォント以外のフォントで印刷したり、印刷データの保存や読み出しが行えます。

本機はメモリカードを使用して、次の操作が可能です。

- メモリカードのフォーマット（初期化）
- データの書き込み
- データの読み込み（データ、フォント、プログラム、およびマクロ）
- データの削除
- パーティションリストの印刷

メモリカードの挿入方法

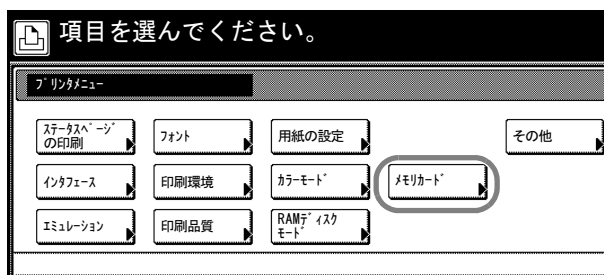
参考：メモリカードを抜き差しする場合は、必ず本体のメインスイッチを Off（◯）にしてください。

メモリカードのフォーマット（初期化）

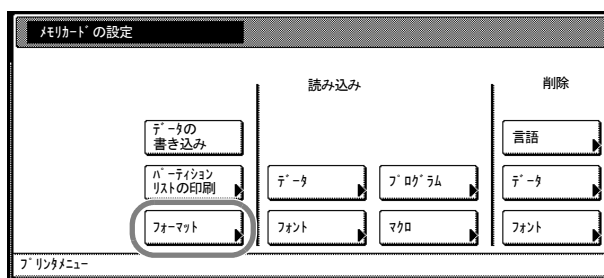
未使用のメモリカードを使用するためには、最初にメモリカードのフォーマットを行う必要があります。初期化すると、メモリカードへのデータの書き込みが可能になります。

参考：メモリカードのフォーマットは本機で行ってください。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**メモリカード**］キーを押してください。

4 ［**フォーマット**］キーを押してください。

「メモリカードのデータは全て消えます。よろしいですか？」と表示されます。

5 ［**はい**］キーを押してください。メモリカードのフォーマットが始まります。

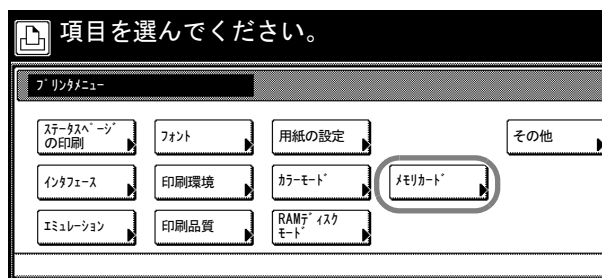
6 フォーマットを終えると、プリンタモードに戻ります。

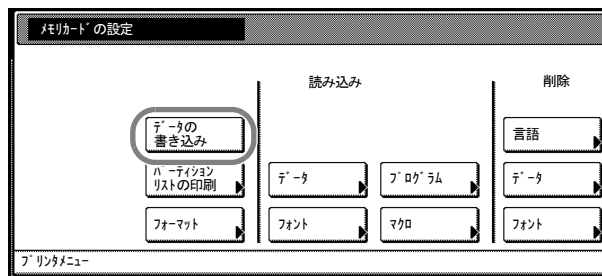
データの書き込み

コンピュータから送られたデータをメモリカードに書き込むことができます。書き込まれたデータには自動的に名前（パーティション名）がつけられます。3-35 ページの**パーティションリストの印刷**で、書き込まれたデータ名を確認できます。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**メモリカード**］キーを押してください。

4 ［**データの書き込み**］キーを押してください。

プリンタモードに戻り、データの書き込み準備をします。

5 コンピュータからデータを送信してください。

コンピュータからデータの受信を始めると、**「データ処理中です。」**と表示し、その後**「しばらくお待ちください。」**が表示されます。コンピュータからデータの受信が終了すると、**「ページが残っています。」**と表示されます。

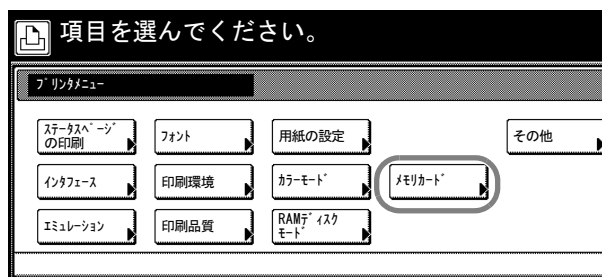
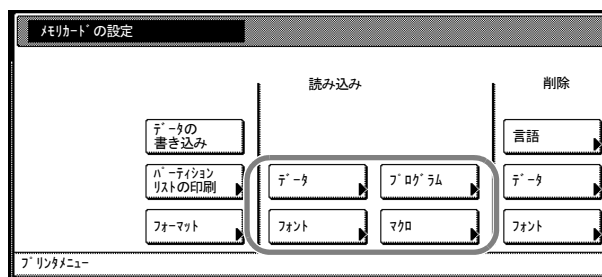
6 ［**印刷可／解除**］キーを押してください。

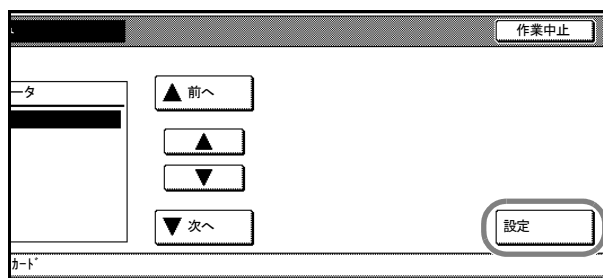
データの読み込み

メモリカードに保存されているデータ、プログラムデータ、フォント、およびマクロデータを読み込みます。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**メモリカード**］キーを押してください。

4 読み込み枠内の［**データ**］、［**プログラム**］、［**フォント**］または［**マクロ**］キーを押してください。

5 [▲] または [▼] キーを押して、読み込む項目を選択し、[**設定**] キーを押してください。

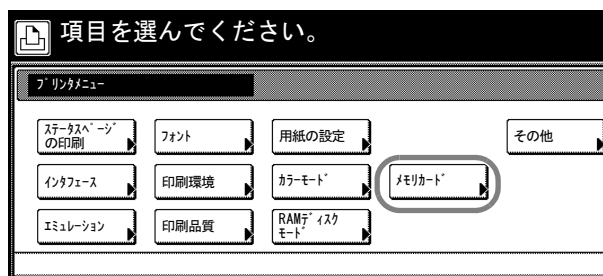
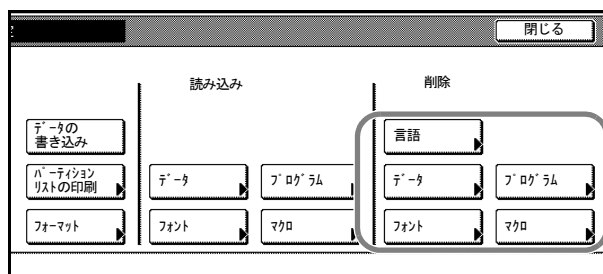
「データ処理中です。」が表示され、メモリカードからデータを読み込みます。

6 データの読み込みを終えると、プリンタモードに戻ります。

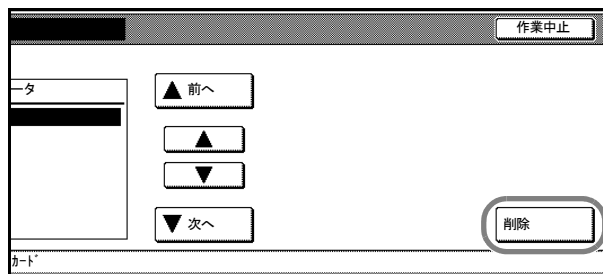
データの削除

メモリカードに保存されているデータ、プログラムデータ、フォント、マクロデータ、およびオプション言語を削除します。

1 [**プリンタ**] キーを押してください。

2 [**プリンタメニュー**] キーを押してください。

3 [**メモリカード**] キーを押してください。

4 削除枠内の、[**データ**]、[**プログラム**]、[**フォント**]、[**マクロ**] または [**言語**] キーを押してください。

5 [▲] または [▼] キーを押して、削除する項目を選択し、[**削除**] キーを押してください。

「データ処理中です。」が表示され、メモリカードからデータを削除します。

6 データの削除を終えると、プリンタモードに戻ります。

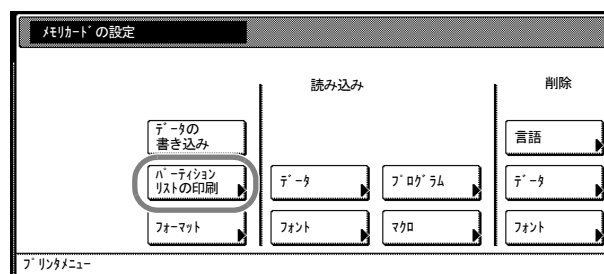
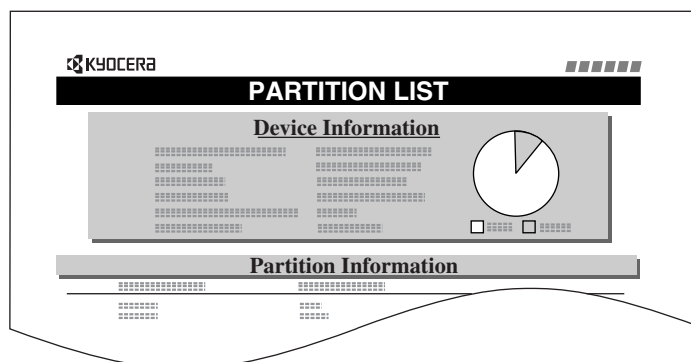
パーティションリストの印刷

メモリカードの内容（データ名、データサイズ等）をパーティションリストとして印刷します。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**メモリカード**］キーを押してください。

4 ［**パーティションリストの印刷**］キーを押してください。

5 ［**印刷**］キーを押してください。「**データ処理中です。**」が表示され、パーティションリストを印刷します。

6 印刷を終えると、プリンタモードに戻ります。

RAM ディスクの操作

本機は RAM ディスク機能を搭載しています。RAM ディスクとはメモリの一部を利用したバーチャルディスク装置です。プリンタの総メモリの中から、任意のメモリサイズを RAM ディスクとして設定することによって、電子ソート（印刷に要する全体時間の短縮)、データの保存や読み出しが行えます。

RAM ディスク機能を使用する前に、RAM ディスクの設定で RAM ディスクを［On］に設定してから、RAM ディスクサイズの設定を行ってください。その後、次の操作が可能になります。

- データの書き込み
- パーティションリストの印刷
- データの読み込み（データ、プログラム）
- データの削除（データ、プログラム、フォント、およびマクロ）

注意：ハードディスクを装着した場合は、RAM ディスク機能は使用できません。

RAM ディスクは一時的にデータを保存する機能です。本機をリセットしたり電源を切った場合は消去されます。

RAM ディスクは本機のユーザ使用可能メモリの中に割り当てられます。したがって、RAM ディスクの設定値によっては、印刷速度が落ちたり、メモリ不足のために正常に印刷されない場合があります。

参考：RAM ディスクの操作手順は、メモリカードの操作手順と同様です。3-31 ページのメモリカードの操作を参照してください。

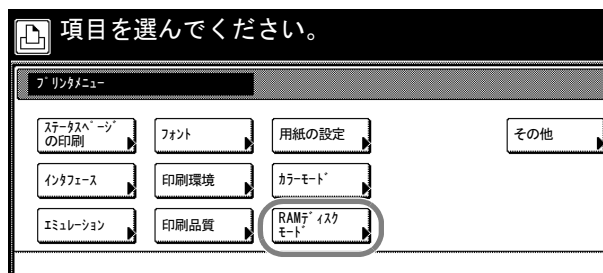
e-MPS の一部の機能が使用できます。e-MPS 機能については、3-39 ページの e-MPS 機能を参照してください。

RAM ディスクの設定

RAM ディスク機能は、初期設定では［Off］（無効）になっています。RAM ディスク機能を使用する場合は［On］（有効）に設定します。

1 ［プリンタ］キーを押してください。

2 ［プリンタメニュー］キーを押してください。

3 ［RAM ディスクモード］キーを押してください。

4 ［On］キーを押してください。

5　［閉じる］キーを押してください。

「今すぐ再起動しますか？」と表示されます。

6　［はい］キーを押してください。本機は再起動します。RAM ディスクモードは［On］（有効）に設定されます。

RAM ディスクサイズの設定

本機の総メモリの中から、任意のメモリサイズを RAM ディスクとして設定できます。この機能により電子ソートが可能になり、トータルの印刷時間を短縮できます。

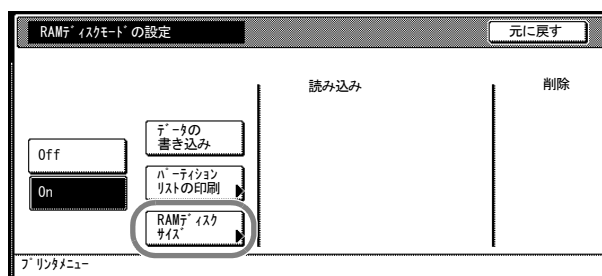
使用できる最大値は、総メモリから 36 MB 差し引いた値になります。例えば、512 MB の拡張メモリを増設した場合、総メモリが 768 MB（工場出荷時は 256 MB）となり、768 MB から 36 MB 差し引いた残りの 732 MB が RAM ディスクの最大設定値になります。

参考：RAM ディスクモードを［On］に設定してから、RAM ディスクのデータサイズを設定してください。

1　［プリンタ］キーを押してください。

2　［プリンタメニュー］キーを押してください。

3　［RAM ディスクモード］キーを押してください。

4　［RAM ディスクサイズ］キーを押してください。

5　［＋］または［－］キーを押して、RAM ディスクサイズを設定してください。

6　［閉じる］キーを押してください。メモリサイズを変更した場合は「今すぐ再起動しますか？」と表示されます。

7　［はい］キーを押してください。

再起動することにより、RAM ディスクサイズが変更されます。

ハードディスクの操作

オプションのハードディスクを装着すると、e-MPS の全機能が使用できるようになります。e-MPS 機能については、3-39 ページの **e-MPS 機能**を参照してください。また、ハードディスクに対して次の操作が可能になります。

- データの書き込み
- パーティションリストの印刷
- データの読み込み（データ、プログラム）
- データの削除（データ、フォント、プログラム、およびマクロ）
- ハードディスクのフォーマット（初期化）

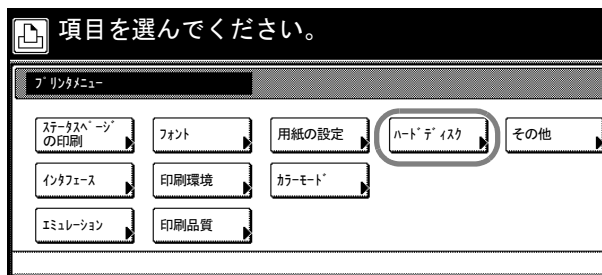
参考：上記の操作手順は、メモリカードの操作手順と同様です。3-31 ページの**メモリカードの操作**を参照してください。

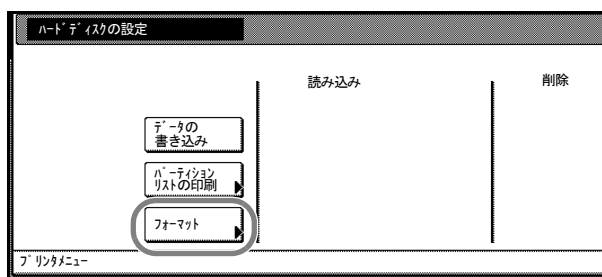
ハードディスクのフォーマット（初期化）

ハードディスクのフォーマット（初期化）は、ハードディスクを初めてプリンタに装着した際に必要な操作です。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**ハードディスク**］キーを押してください。

4 ［**フォーマット**］キーを押してください。

「ハードディスク内のデータは全て消えます。よろしいですか？」と表示されます。

5 ［**はい**］キーを押してください。

ハードディスクのフォーマットが始まります。

フォーマットを終えると、プリンタモードに戻ります。

e-MPS 機能

e-MPS（enhanced-Multiple Printing System）機能は、本機のハードディスクに印刷データを保存し、必要なときに印刷する機能、仮想メールボックス機能や電子ソート機能などを実現する印刷機能です。設定はプリンタドライバから行います。

e-MPS 機能では、次の項目が使用できます。

- クイックコピーの印刷 ...3-39 ページ
- 試し刷り後、保留モード ...3-40 ページ
- プライベートプリント／ジョブ保留の印刷 ...3-40 ページ
- バーチャルメールボックス（VMB）蓄積データの印刷 ...3-42 ページ
- バーチャルメールボックス（VMB）蓄積データリストの印刷 ...3-42 ページ
- コードジョブリストの印刷 ...3-43 ページ
- e-MPS の詳細設定 ...3-44 ページ

参考：e-MPS 機能を使う場合は、オプションのハードディスクが必要です。e-MPS についての詳しい説明は、**KX ドライバ操作手順書**を参照してください。

RAM ディスクの設定を［On］にした場合に、e-MPS 機能で表示される項目は、**「クイックコピージョブ」**、**「個人／保存ジョブ」**、**「コードジョブリストの印刷」**および**「詳細設定」**です。RAM ディスクを使用するには、メモリの増設が必要な場合があります。

クイックコピーの印刷

このモードは、一度印刷した文書を追加印刷するモードです。プリンタドライバでクイックコピーを設定して文書を印刷すると、同時にハードディスクに保存します。印刷が必要になったときに操作パネルから必要な枚数を再印刷できます。

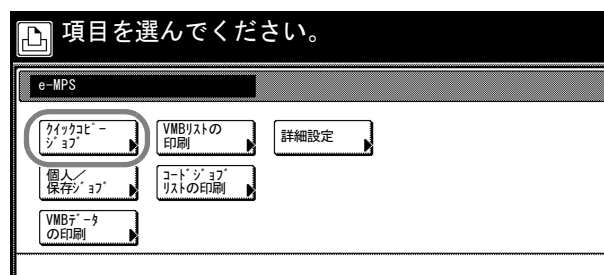
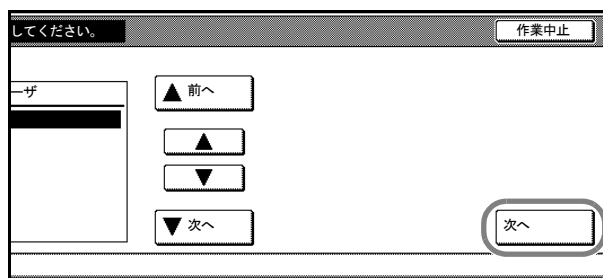
ハードディスクに保存できる最大文書数は、初期設定では 32 件（e-MPS 詳細設定で最大 50 件まで変更可能）です。

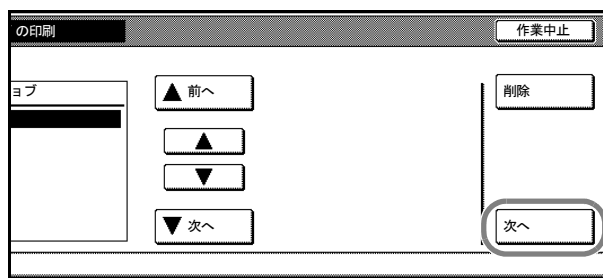
参考：設定された最大文書数を越えて書類を保存すると、古いジョブから順に新しいジョブに上書きされます。

本機の電源を切ると、このモードで保存したジョブは消去されます。

1 ［プリンタ］キーを押してください。

2 ［e-MPS］キーを押してください。

3 ［クイックコピージョブ］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、ユーザを選択し、［**次へ**］キーを押してください。

5 ［▲］または［▼］キーを押して、ジョブを選択し、［**次へ**］キーを押してください。

参考：ジョブを選択し、［**削除**］キーを押すと、選択したジョブを削除します。

6 ［+］、［－］、またはテンキーを押して、印刷部数を設定し、［**印刷**］キーを押してください。

「データ処理中です。」が表示され、印刷を開始します。

7 印刷を終えると、プリンタモードに戻ります。

試し刷り後、保留モード

プリンタドライバで［**試し刷り後、保留**］を設定し、必要な部数を設定して印刷すると、本機は1部だけを出力し、文書データをハードディスクまたはRAMディスクに保存します。残りの部数を印刷するときは操作パネルから印刷します。その際、印刷枚数を変更することもできます。本機の電源を切ると、このモードで保存したジョブは消去されます。

保留されている残り部数の印刷方法

印刷手順は、クイックコピーと同じです。クイックコピーの印刷手順は、3-39ページの**クイックコピーの印刷**を参照してください。

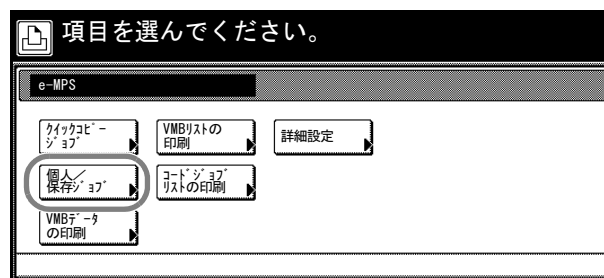
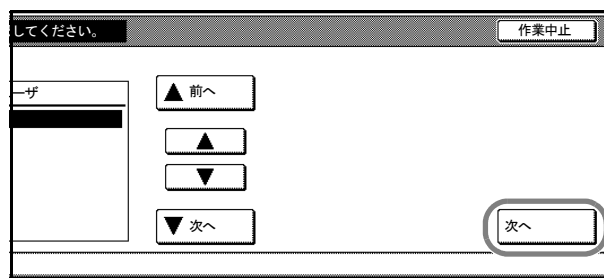
プライベートプリント／ジョブ保留の印刷

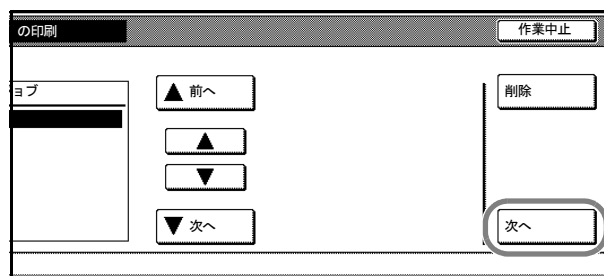
プライベートプリントは、印刷の際にドライバから設定したアクセスコードと同じ4桁の数字を、操作パネルから入力して印刷する機能です。データは印刷後に消去されます。

ジョブ保留モードは、印刷データをハードディスクに保持します。印刷したり、電源を切った後もデータは残り、何度でも出力することができます。アクセスコードは、設定する、しないどちらでも使用できます。それぞれのドライバの設定方法は、**KXドライバ操作手順書**をお読みください。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［e-MPS］キーを押してください。

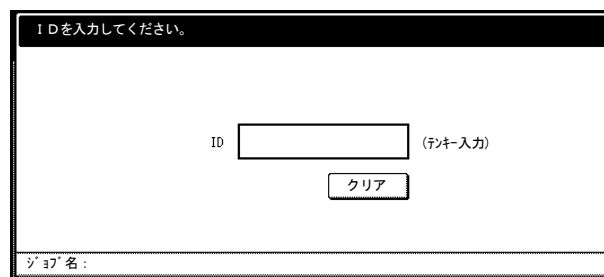
3 ［**個人／保存ジョブ**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、ユーザを選択し、［**次へ**］キーを押してください。

5 ［▲］または［▼］キーを押して、ジョブを選択し、［**次へ**］キーを押してください。

参考：ジョブを選択し、［**削除**］キーを押すと、選択したジョブを削除します。

6 ［+］、［−］、またはテンキーを押して、印刷部数を設定してください。

7 ［**印刷**］キーを押してください。

アクセスコードを設定したときは、「**ID を入力してください。**」が表示されます。

プリンタドライバで設定した 4 桁のアクセスコードをテンキーで入力し、［**設定**］キーを押してください。

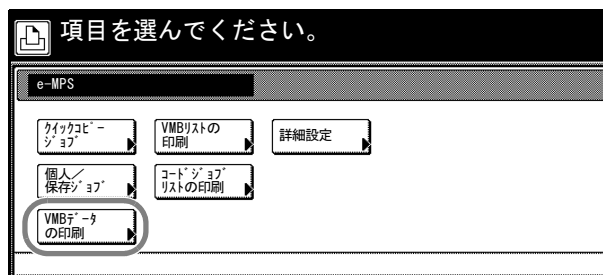
「**データ処理中です。**」が表示され、印刷を開始します。

8 印刷を終えると、プリンタモードに戻ります。

バーチャルメールボックス（VMB）蓄積データの印刷

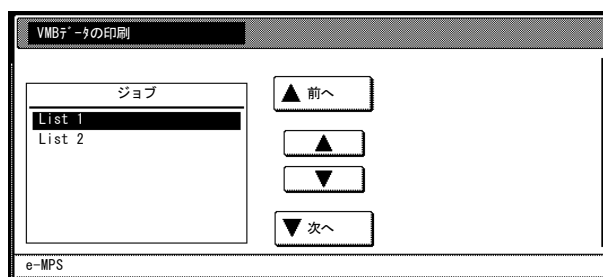
バーチャルメールボックス機能は、ジョブを仮想のメールボックスに保存する機能です。プリンタドライバでバーチャルメールボックス機能を使用して文書を印刷すると、ジョブは保存され、操作パネルを使用して出力するまでは印刷されません。プリンタドライバの設定方法は、KX **ドライバ操作手順書**を参照してください。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［e-MPS］キーを押してください。

3 ［**VMB データの印刷**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、ジョブを選択し、［**印刷**］キーを押してください。

「**データ処理中です。**」が表示され、印刷を開始します。

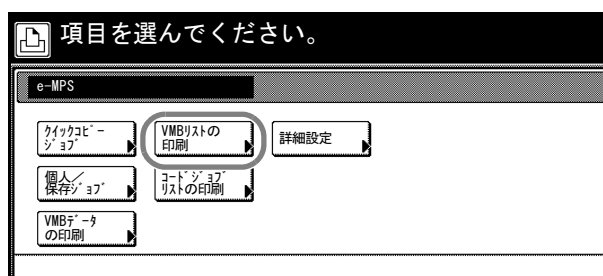
参考：印刷した文書データは消去されます。

5 印刷を終えると、プリンタモードに戻ります。

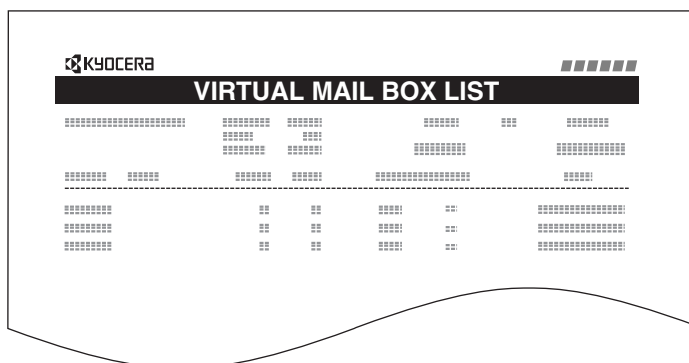
バーチャルメールボックス（VMB）蓄積データリストの印刷

現在設定されているバーチャルメールボックスのトレイ番号（メールボックス番号)、蓄積データの有無、データサイズなどのリストを印刷します。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［e-MPS］キーを押してください。

3 ［**VMB リストの印刷**］キーを押してください。

4 ［**印刷**］キーを押してください。

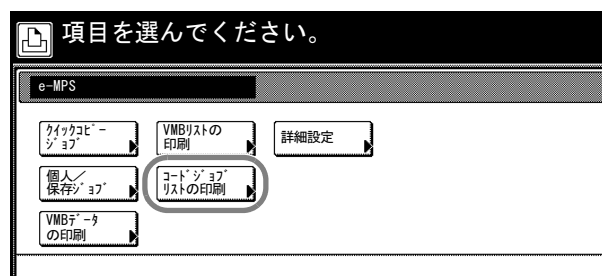
「データ処理中です。」が表示され、リストを印刷します。

5 印刷を終えると、プリンタモードに戻ります。

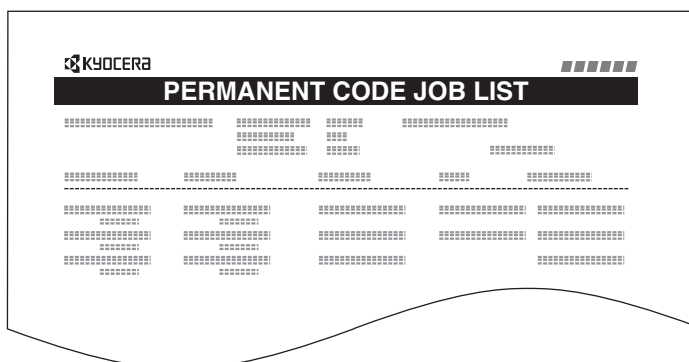
コードジョブリストの印刷

ハードディスクに保存されている（恒久）保存コードジョブのリストを印刷できます。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［e-MPS］キーを押してください。

3 ［**コードジョブリストの印刷**］キーを押してください。

4 ［**印刷**］キーを押してください。

「データ処理中です。」が表示され、リストを印刷します。

5 印刷を終えると、プリンタモードに戻ります。

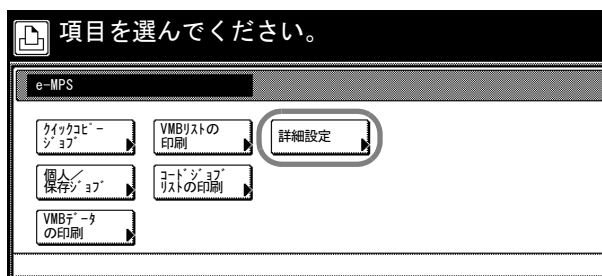
e-MPS の詳細設定

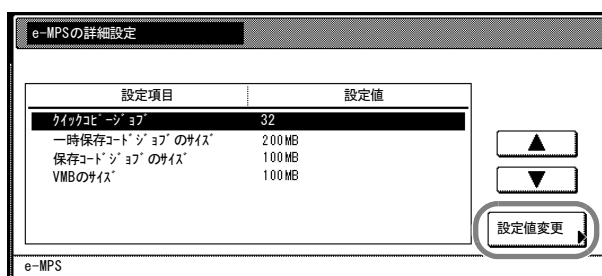
ハードディスクに保存できる最大文書件数などを含む、次の項目が変更できます。

- クイックコピージョブの最大保存件数の設定
- 一時保存ジョブの合計保存容量の設定
- 保存コードジョブの合計保存容量の設定
- バーチャルメールボックス（VMB）の合計保存容量の設定

クイックコピージョブの最大保存件数の設定

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［e-MPS］キーを押してください。

3 ［**詳細設定**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、「**クイックコピージョブ**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5 ［＋］または［－］キーを押して、登録件数を設定してください。

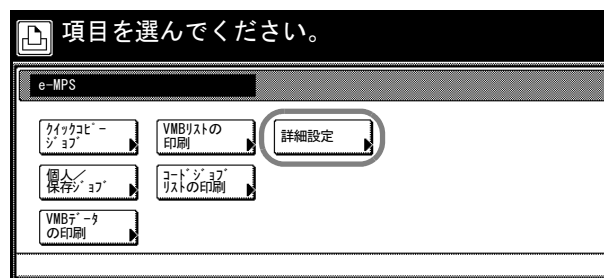
6 ［**閉じる**］キーを押してください。「**e-MPS の詳細設定**」画面に戻ります。

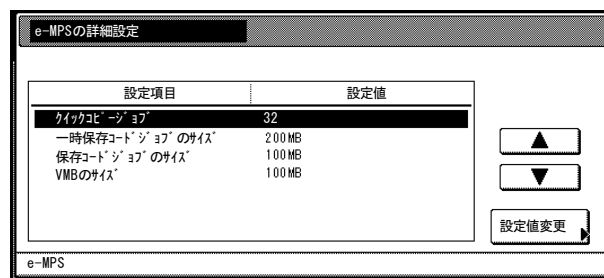
7 ［**閉じる**］キーを押してください。「e-MPS」画面に戻ります。

一時保存ジョブの合計保存容量の設定

ハードディスクに保存する一時保存コードジョブの合計容量（上限）を設定します。実際に使用できる容量は、ハードディスクの空き容量までとなります。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［e-MPS］キーを押してください。

3 ［**詳細設定**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、「**一時保存コードジョブのサイズ**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5 ［＋］または［−］キーを押して、使用する最大サイズを設定してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。「**e-MPS の詳細設定**」画面に戻ります。

7 ［**閉じる**］キーを押してください。「**e-MPS**」画面に戻ります。

保存コードジョブの合計保存容量の設定

ハードディスクに保存する保存（恒久保存）コードジョブの合計容量（上限）を設定します。ただし、実際に使用できる容量は、ハードディスクの空き容量までとなります。操作手順は、**一時保存ジョブの合計保存容量の設定**と同様です。

バーチャルメールボックス（VMB）の合計保存容量の設定

ハードディスクに保存するバーチャルメールボックスの合計容量（上限）を設定します。最大容量は、ハードディスクの空き容量まで可能です。操作手順は、**一時保存ジョブの合計保存容量の設定**と同様です。

その他の設定

その他の設定では、次の項目が設定できます。

- 改ページ待ち時間の設定
- リソース保護モードの設定
- 自動継続印刷の設定
- ステープルのエラー検知設定
- 両面印刷エラー検知設定
- 印刷範囲の補正
- サービス用の設定
- プリンタのリセット（再起動）
- 受信データのダンプ

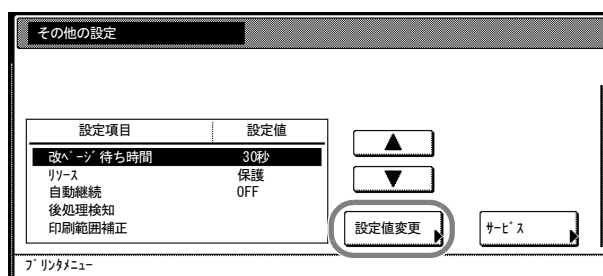
改ページ待ち時間の設定

本機はコンピュータから最後のデータを受け取ったあと、コンピュータからデータを終了したことを示す情報がないと、最後のページを印刷せずに一定時間待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページをします。改ページ待ち時間を「0」に設すると、手動で［**印刷可／解除**］キーを押すまでは改ページをしません。

1　［**プリンタ**］キーを押してください。

2　［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3　［**その他**］キーを押してください。

4　［▲］または［▼］キーを押して、「**改ページ待ち時間**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5　［＋］または［－］キーを押して、改ページ待ち時間を設定してください。

6　［**閉じる**］キーを押してください。「**その他の設定**」画面に戻ります。

7　［**閉じる**］キーを押してください。「**プリンタメニュー**」画面に戻ります。

リソース保護モードの設定

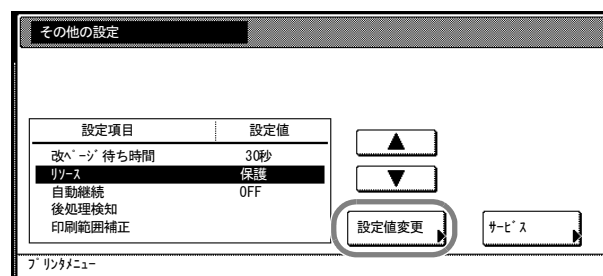
本機のエミュレーションを PCL 6 から他のエミュレーションに切り換えた場合、本機にダウンロードされていたフォントやマクロはすべて失われてしまいます。リソースの保護モードを［**保護**］または［**自動**］にし、PCL 環境を保存しておくことによって、再度 PCL 6 エミュレーションに戻ったときに、そのリソースが利用できます。

項目	説明
自動	エミュレーション切り換え時に、フォント、マクロ、シンボルセットなどのパーマネント PCL リソースを本機のメモリ内に保存できます。しかし、一時リソースはすべて失われます。
保護	エミュレーション切り換え時に PCL のパーマネントと一時リソースの両方が本機のメモリ内に保存できます。
Off	リソースの保護をしません。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**その他**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、「**リソース**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5 ［Off］、［**保護**］または［**自動**］キーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。「**その他の設定**」画面に戻ります。

7 ［**閉じる**］キーを押してください。「**プリンタメニュー**」画面に戻ります。

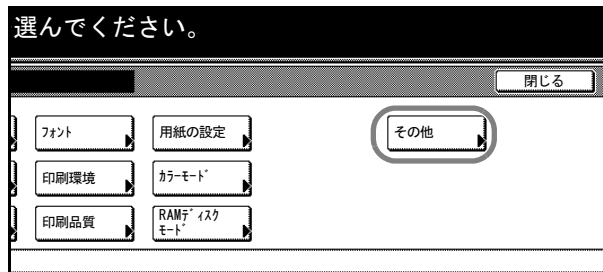
自動継続印刷の設定

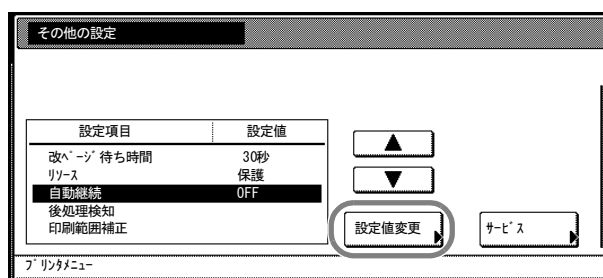
エラーが発生した場合、一定時間が経過した後に次に受信しているデータを自動的に継続印刷します。初期設定は［Off］（自動継続印刷しない）です。継続印刷可能なエラーは次に示します。

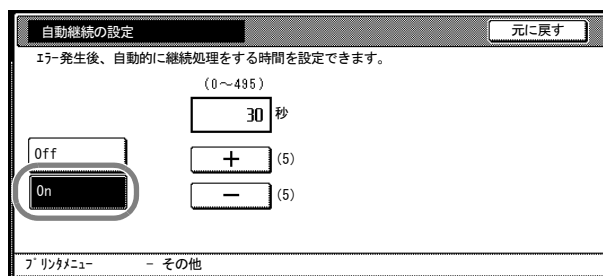
- 「**プリントオーバーラン／解除を押してください。**」
- 「**メモリオーバーフロー／解除を押してください。**」

また、自動継続するまでの時間が設定できます。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**その他**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、**「自動継続」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5 ［On］または［Off］キーを押してください。

6 ［On］キーを押した場合、［＋］または［－］キーを押して、自動継続するまでの時間を設定してください。

7 ［**閉じる**］キーを押してください。**「その他の設定」**画面に戻ります。

8 ［**閉じる**］キーを押してください。**「プリンタメニュー」**画面に戻ります。

ステープルのエラー検知設定

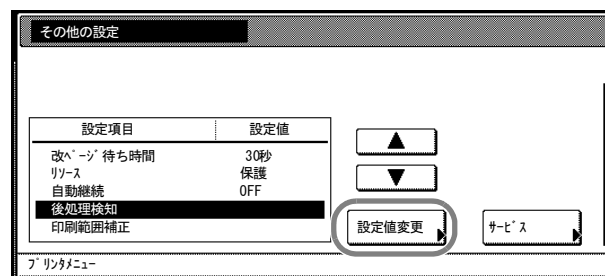
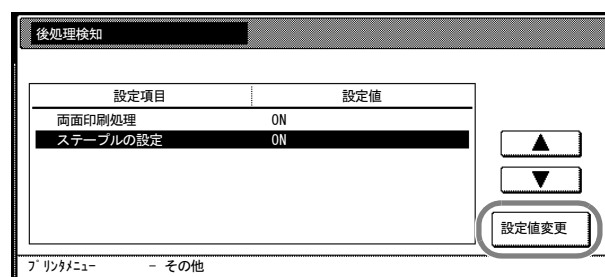
ステープルを行う際、ステープル針がなくなった場合に、エラーメッセージを表示するか、しないかを選択できます。

モード	説明
On	エラーメッセージを表示します。 ［**印刷可／解除**］キーを押すと、エラーを解除し、ステープルを行わずに印刷を継続します。［**キャンセル**］キーを押すと、印刷そのものをキャンセルします。
Off	エラーメッセージを表示せず、ステープルを行わずに印刷します。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**その他**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、「**後処理検知**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5 ［▲］または［▼］キーを押して、「**ステープルの設定**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

6 ［On］または［Off］キーを押してください。

7 ［**閉じる**］キーを押してください。「**後処理検知**」画面に戻ります。

8 ［**閉じる**］キーを押してください。「**その他の設定**」画面に戻ります。

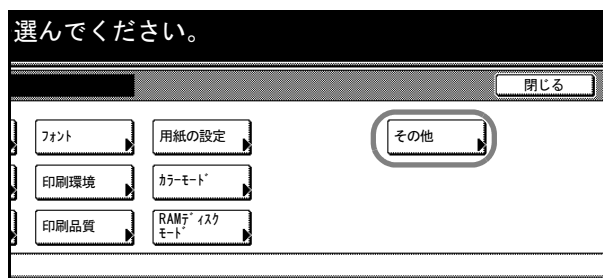
9 ［**閉じる**］キーを押してください。「**プリンタメニュー**」画面に戻ります。

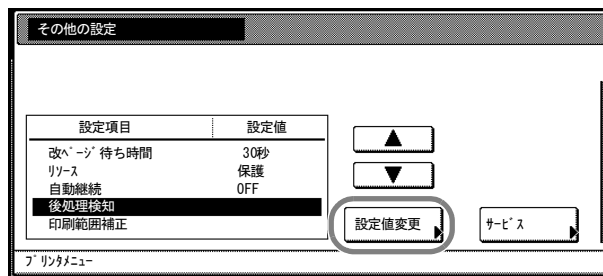
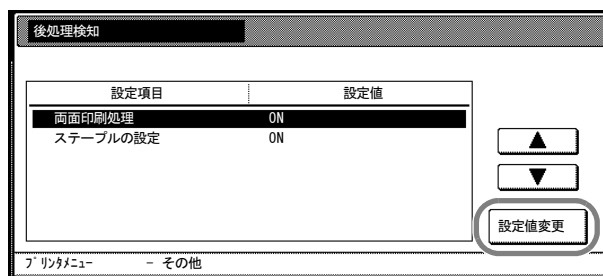
両面印刷エラー検知設定

両面印刷を行う際に用紙のサイズや種類を検知して、両面印刷できない用紙の場合に、エラーメッセージを表示するか、しないかを選択できます。

モード	説明
On	エラーメッセージを表示します。 ［**印刷可／解除**］キーを押すと、エラーを解除し、片面印刷します。［**キャンセル**］キーを押すと、印刷そのものをキャンセルします。
Off	エラーメッセージを表示せず、片面印刷します。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**その他**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、「**後処理検知**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5 ［▲］または［▼］キーを押して、「**両面印刷処理**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

6 ［On］または［Off］キーを押してください。

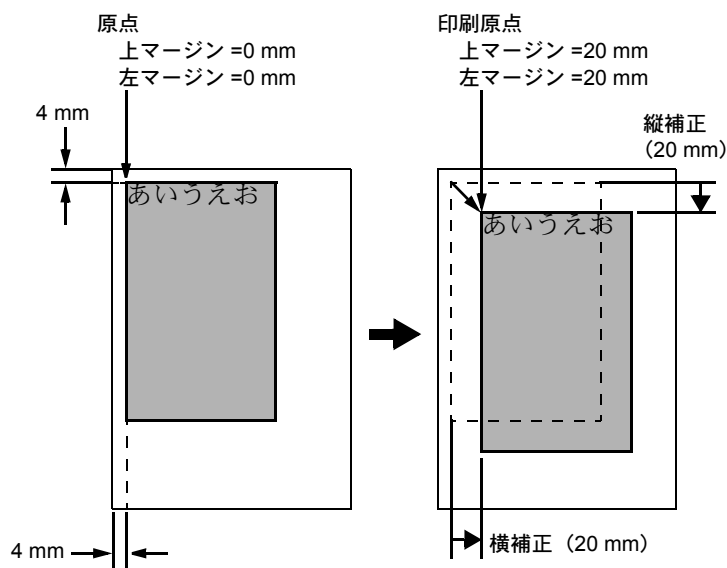
7 ［**閉じる**］キーを押してください。「**後処理検知**」画面に戻ります。

8 ［**閉じる**］キーを押してください。「**その他の設定**」画面に戻ります。

9 ［**閉じる**］キーを押してください。「**プリンタメニュー**」画面に戻ります。

印刷範囲の補正

用紙の上下左右には、各 4 mm の非印刷領域があります（PCL エミュレーション時は、縦 6 mm、横 4 mm）。アプリケーションによっては、印刷位置が意図したものとは異なる場合があります。この場合には印刷位置を補正して、印刷位置を縦横方向にずらすことができます。

この機能は、印刷後にパンチ穴を開けたり、ステープルするために意図的にマージンを作る場合にも利用できます。印刷位置を設定するための原点は、給紙方向に対して左上端（上マージン =0 mm、左マージン =0 mm）になります。補正原点より縦横方向に 0.1 mm 単位で、± 76 mm の範囲で印刷位置の補正ができます。印刷位置の補正値は、縮小印刷した場合も同じ比率で変化します。たとえば、縦横 10 mm の印刷余白を設定していた場合、70 % の縮小を行うと印刷余白は縦横 7 mm になります。設定した補正値は、電源再投入後も有効です。

（縦横 20 mm の印刷余白を設定して印刷した例）

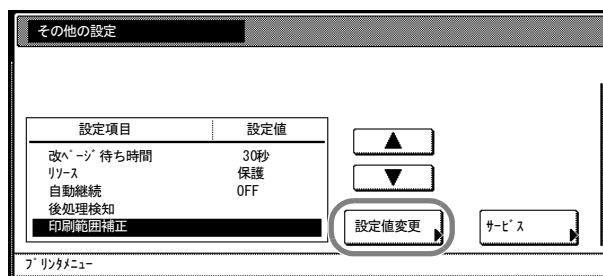
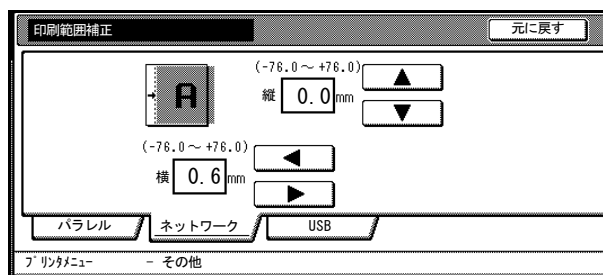
参考：エミュレーションによっては、設定した補正値が有効にならない場合があります。

---

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**その他**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、**「印刷範囲の補正」**を選択し、**［設定値変更］**キーを押してください。

5 ［▲］、［▼］、［◀］または［▶］キーを押して、縦方向と横方向の補正する数値を設定してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。**「その他の設定」**画面に戻ります。

7 ［**閉じる**］キーを押してください。**「プリンタメニュー」**画面に戻ります。

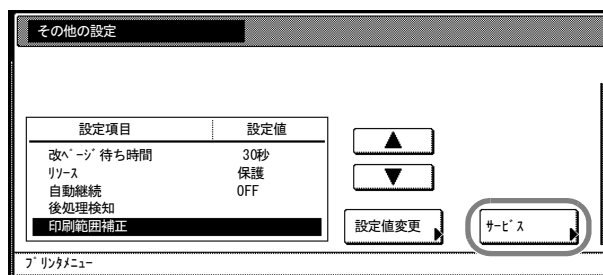
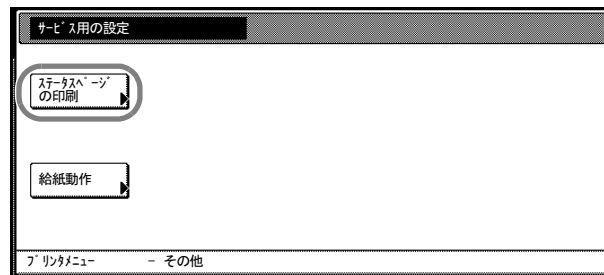
サービス用の設定

主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。サービスステータスページは、メンテナンスやサービスの際に印刷して使用します。

1 ［**プリンタ**］キーを押してください。

2 ［**プリンタメニュー**］キーを押してください。

3 ［**その他**］キーを押してください。

4 ［**サービス**］キーを押してください。

5 ［ステータスページの印刷］キーを押してください。

6 ［印刷］キーを押してください。

「データ処理中です。」が表示され、サービスステータスページを印刷します。

7 印刷を終えると、プリンタモードに戻ります。

プリンタのリセット（再起動）

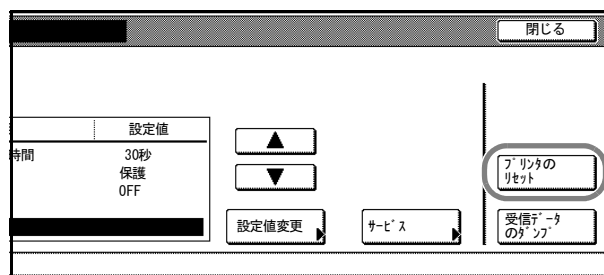
本体のメインスイッチを Off（◯）にしないで、プリンタボードだけを再起動します。

1 ［プリンタ］キーを押してください。

2 ［プリンタメニュー］キーを押してください。

3 ［その他］キーを押してください。

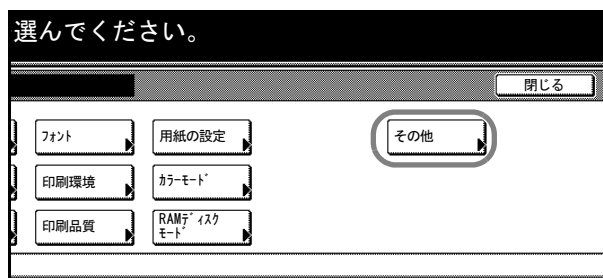
4 ［プリンタのリセット］キーを押してください。

「電源を落とさずにプリンタボードだけを再起動します。よろしいですか？」と表示されます。

5 ［はい］キーを押してください。再起動します。

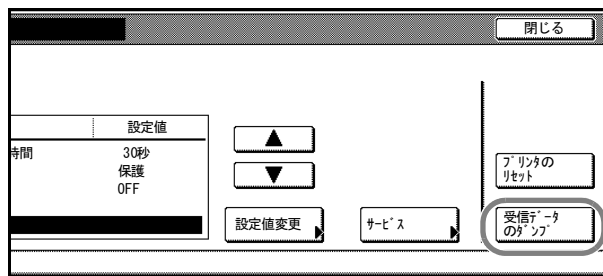
受信データのダンプ

プログラムやファイルのデバックのため、受信データを 16 進コードで印刷できます。

1 ［プリンタ］キーを押してください。

2 ［プリンタメニュー］キーを押してください。

3 ［**その他**］キーを押してください。

4 ［**受信データのダンプ**］キーを押してください。

「受信データをダンプして印刷するモードになります。よろしいですか？」と表示されます。

5 ［**はい**］キーを押してください。

「データ処理中です。」と表示し、その後**「ページが残っています。」**と表示されます。

6 この状態で、本機へデータを送信してください。ダンプページを印刷します。データ受信中は**「データ処理中です。」**と表示します。

参考：必要なダンプページが印刷されたところで［**印刷可／解除**］キーを押してオフラインにし、［**キャンセル**］キーを押してそれ以上のダンプページの印刷をキャンセルすることもできます。

---

7 印刷が終了しましたら、**「印刷可／解除」**キーを押してください。受信ダンプモードを解除します。

4　スキャナ設定

この章では、本体タッチパネルから設定できるスキャナ機能や設定について説明します。基本的なスキャナ操作は**使用説明書**を参照してください。

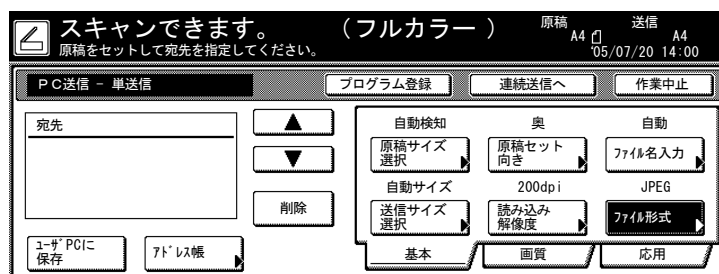
- スキャン機能設定 ...4-2 ページ
- スキャン機能初期設定 ...4-13 ページ
- プログラムスキャン ...4-23 ページ
- 送信履歴の確認 ...4-26 ページ

スキャン機能設定

本体で設定できるスキャン機能を説明します。

参考：スキャン機能設定画面が表示されるまでの操作手順は、**使用説明書**の各スキャン機能の操作方法を参照してください。

送信方法によっては設定できない機能があります。

スキャン機能画面の［**基本**］タブで次の設定ができます。

- 原稿サイズ選択 ...4-2 ページ
- 送信サイズ選択 ...4-3 ページ
- 原稿セット向き選択 ...4-3 ページ
- 読み込み解像度 ...4-4 ページ
- ファイル名入力 ...4-4 ページ
- ファイル形式 ...4-5 ページ

原稿サイズ選択

原稿サイズ（読み取る領域）を選択します。

項目	原稿サイズ
サイズ選択	自動検知、A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R、B6、B6R、11 × 15"、8 1/2 × 11"、11 × 8 1/2"
サイズ入力	縦（Y）：50 ～ 297 mm 横（X）：50 ～ 432 mm
その他定形サイズ	11 × 17"、8 1/2 × 14"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 5 1/2"、8 1/2 × 13 1/2"、8 1/2 × 13"、Folio、8K、16K、16KR、およびユーザ登録サイズ

参考：サイズ入力をする場合は、コンタクトガラス左奥を基準に原稿をセットし、読み取り範囲を設定してください。

読み込み解像度は、4-4 ページの**読み込み解像度**を参照してください。

送信サイズ選択

送信サイズ（送信する画像のサイズ）を選択します。

設定できる送信サイズは次のとおりです。

自動サイズ、A3、B4、A4、B5、A5、B6、Folio、11 × 17"、11 × 15"、8 1/2 × 14"、8 1/2 × 13 1/2"、8 1/2 × 13"、8 1/2 × 11"、5 1/2 × 8 1/2"、8K、16K

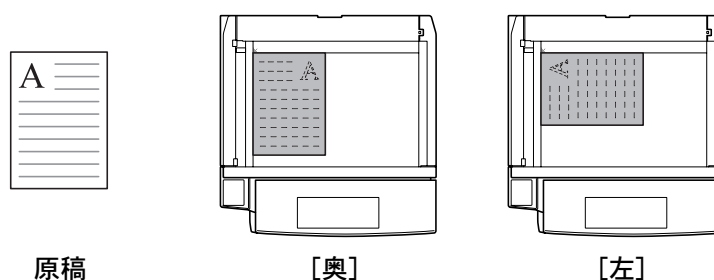
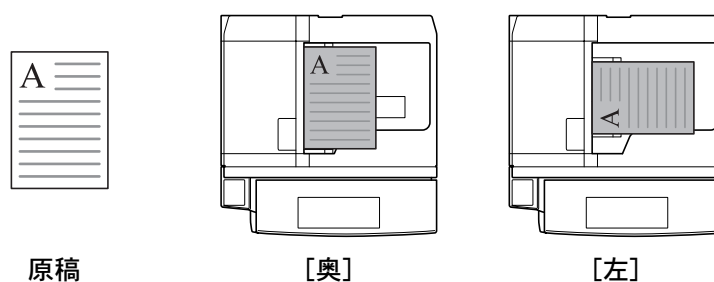
参考：原稿サイズをサイズ入力で設定したときは、選択できません。

読み込み解像度は、4-4 ページの**読み込み解像度**を参照してください。

原稿セット向き選択

セットした原稿の上辺の位置を設定します。

項目	説明
奥	原稿の上辺が奥側に設定されます。
左	原稿の上辺が左側に設定されます。

コンタクトガラスに原稿をセットする場合

オプションの原稿送り装置に原稿をセットする場合

参考：原稿セット向きを設定していない場合、正しくスキャンできないことがあります。

読み込み解像度

原稿を読み取る細かさを指定できます。数値が大きいほど、きめが細かくなりますが、その分だけファイルサイズ（ファイル容量）が大きくなり、読み取り時間も長くなります。設定できる解像度は、200 dpi、300 dpi、400 dpi または 600 dpi です。

参考：ファイル形式で［**高圧縮 PDF**］を選択した場合は、読み込み解像度の設定はできません。

一般的にパソコンの画面に表示する画像は 96 dpi（Windows の場合）、プリンタで印刷するには、150 ～ 600 dpi が目安となります。画像を拡大したり、印刷する場合は、高い解像度で読み取る必要があります。

ファイル名入力

スキャンした画像のファイル名を設定することができます。

項目	説明
自動	ファイル名を自動で付けます。
手動	ファイル名を変更することができます。［**名称変更**］キーを押して、ファイル名を入力してください。

参考：TWAIN、データベース連携には、この設定はありません。

ファイル名は、全角 10 文字以内、半角 20 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。

初期設定モードで設定されるファイル名を変更する場合は、4-18 ページの**ファイル名**を参照してください。

4-20 ページの**ファイル名入力**を［**手動**］に設定している場合は、自動 / 手動の選択画面が表示せずにファイル名の入力画面が表示されます。

ファイル形式

画像ファイルのフォーマットを選択します。

項目	画質調整	使用できるカラーモード
JPEG カラー / グレー	1 〜 5	フルカラー、自動カラー†、白黒グレー
TIFF 白黒 2 階調	−	白黒 2 階調
PDF	1 〜 5	フルカラー、自動カラー、白黒グレー、白黒 2 階調
高圧縮 PDF	1 〜 3	フルカラー

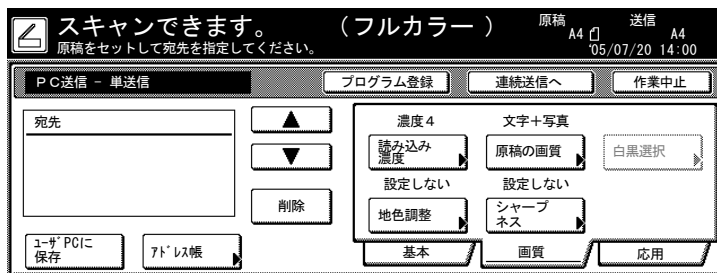
† 自動カラーは「**白黒選択**」で［**白黒グレー**］を選択している場合のみ使用できます。

参考：ファイル形式が［**JPEG カラー / グレー**］の場合、一度に読み込んだ原稿は 1 ページごとにファイルを作成し、送信します。

「**高圧縮 PDF**」はオプションの PDF アップグレードキットを装備しているとき表示します。

オプションの PDF アップグレードキットを装備しているときは、PDF 暗号化機能を使用することができます。詳細は 4-10 ページの **PDF 暗号化機能**を参照してください。

画質設定

スキャン機能画面の［**画質**］タブで次の設定ができます。

- 読み込み濃度 ...4-6 ページ
- 地色調整 ...4-6 ページ
- 原稿の画質 ...4-7 ページ
- シャープネス調整 ...4-7 ページ
- 白黒選択 ...4-7 ページ

読み込み濃度

スキャン画像の濃度を調整します。

項目	説明
手動（1 ～ 7）	手動でスキャン画像の濃度を調整します。 濃度調整は 7 段階または 13 段階です。
自動	原稿の濃度を検知して、最適な濃度をセットします。

参考：［**自動**］は、「**白黒選択**」で［**白黒 2 階調**］を選択し、カラーモードで［**白黒**］または［**自動カラー**］を設定している場合のみ選択できます。また、［**自動カラー**］を設定し、フルカラーでスキャンした場合は、［**自動**］を選択しても［**手動**］の基準値に補正をかけた濃度で読み込みます。

地色調整

カラーの原稿の地色が濃い場合に薄くします。

項目	説明
設定する（1 ～ 5）	設定値（1 ～ 5）で地色調整をします。
設定しない	地色調整をしません。

参考：カラーモードで［**白黒 2 階調**］を設定している場合は、地色調整できません。また、［**自動カラー**］を設定している場合に、［**白黒 2 階調**］でスキャンされた時は、地色調整は機能しません。

原稿の画質

原稿の種類に合わせて、画質を選択することができます。

項目	説明
文字 + 写真	文字と写真が混在する原稿を読み込む場合。
写真	写真原稿の立体感を出す場合。
文字	えんぴつや細線をくっきりと再現する場合。
OCR	OCR アプリケーションソフト（文字をテキストデータに変換するソフトウェア）用画質にする場合。

参考：E メール送信時は、［**写真**］を選択できません。

シャープネス調整

画像の輪郭の強弱を調整します。

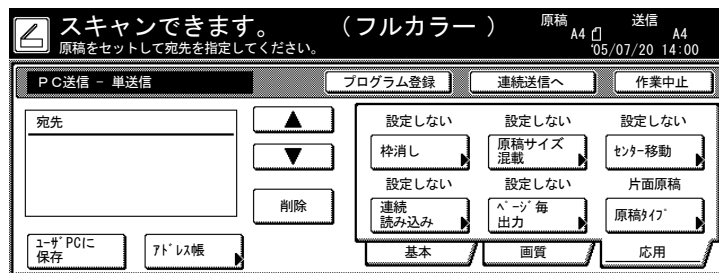
項目	説明
強く	画像の輪郭を強調します。文字や線を鮮明にします。
弱く	画像の輪郭をぼかします。モアレを弱めることができます。

白黒選択

白黒でスキャンする際に、白黒 2 階調か白黒グレーを選択することができます。

項目	説明
白黒 2 階調	1 画素に対して、白か黒の 2 色で画像を表現します。カラーや白黒グレーと比べてファイルサイズが小さくなります。
白黒グレー	カラー情報は保持しませんが、白黒を中間調で表現します。画像を滑らかに、きめ細かく表現します。

応用機能設定

スキャン機能画面の［**応用**］タブで次の設定ができます。

- 枠消し ...4-8 ページ
- 連続読み込み ...4-9 ページ
- 原稿サイズ混載 ...4-9 ページ
- ページ毎出力 ...4-9 ページ
- センター移動 ...4-10 ページ
- 原稿タイプ ...4-10 ページ

枠消し

原稿のまわりにできた黒い枠を消去します。

機能	設定値	説明
シート枠消し	外枠：0 〜 50 mm	シート原稿のまわりにできる黒い枠を消すときに使用してください。
ブック枠消し	外枠：0 〜 50 mm 中枠：0 〜 50 mm	分厚い本などを原稿にしたときにできる、本の回りや中央の黒い枠を消すときに使用してください。枠消し幅は本の回りと中央を別々に設定できます。
個別枠消し	上枠：0 〜 50 mm 下枠：0 〜 50 mm 左枠：0 〜 50 mm 右枠：0 〜 50 mm	上下左右の枠消し幅を別々に設定するときに使用してください。
設定しない	–	枠消しをしません。

参考：枠消しの設定方法は、1-20 ページの**枠消しコピー**を参照してください。

連続読み込み

原稿を読み込んだ後に、継続して新しい原稿を読み込むことができます。この設定を行うと原稿の読み込みが終わった後に継続して読み込みを行うかどうかの選択画面が表示されます。

項目	説明
設定する	連続読み込みをします。
設定しない	連続読み込みをしません。

参考：TWAIN での画像読み込み時には、**「スキャン待ち」**を設定した場合に、連続読み込みが使用できます。

原稿サイズ混載

オプションの原稿送り装置に原稿をセットする場合、サイズが異なる原稿でも一括して読み込むことができます。

項目	説明
設定する	原稿サイズ混載をします。
設定しない	原稿サイズ混載をしません。

参考：原稿サイズ混載の操作方法は、1-48 ページの**原稿サイズ混載コピー**を参照してください。

ページ毎出力

一度に読み込んだ原稿を 1 ページごとにファイルを作成し、送信します。

項目	説明
設定する	ページ毎出力をします。
設定しない	ページ毎出力をしません。

参考：ファイル形式で［JPEG］を設定している場合は、ページ毎出力が［**設定する**］になります。

センター移動

原稿サイズと送信サイズを指定して変倍でスキャンした場合、サイズによっては用紙の下側または左右どちらかに余白ができます。センター移動を設定していると、上下または左右に余白が均等になるように画像をセンターに移動させます。

項目	説明
設定する	センター移動をします。
設定しない	センター移動をしません。

原稿タイプ

セットする原稿に合わせて、原稿のタイプを設定します。

項目	とじ方向	説明
片面原稿	–	片面のシート原稿です。
両面原稿	左 / 右とじ、上とじ	両面のシート原稿です。
見開き原稿	左とじ、右とじ	雑誌や本などの見開きの原稿です。

参考：［**両面原稿**］は、オプションの原稿送り装置を装着しているときに表示されます。

PDF 暗号化機能

ファイル形式で PDF または高圧縮 PDF を選択した場合、PDF 暗号化機能を設定することができます。この設定で、PDF の使用を制限することができます。

参考：PDF 暗号化機能を使用する場合は、オプションの PDF アップグレードキットが必要です。

項目	設定値	補足
文書を開くパスワード	設定しない、 パスワードの入力	パスワードは 255 文字（半角英数字）以内で入力してください。
文章を操作するパスワード	設定しない、 パスワードの入力	パスワードは 255 文字（半角英数字）以内で入力してください。
暗号化レベル	高レベル 128bit、 低レベル 40bit	［低レベル 40bit］は、Acrobat 3 または Acrobat 4 と互換性があります。 ［高レベル 128bit］は、Acrobat 5 以上と互換性があります。
画像とその他内容のコピー	許可する、許可しない	
変更を許可	注釈の追加、 ページ抽出以外すべて、 ページレイアウトの変更、 ページ挿入 / 削除 / 回転、 許可しない	［ページレイアウトの変更］は、暗号化レベルで［低レベル 40bit］を選択した場合に表示します。 ［ページ挿入 / 削除 / 回転］は、暗号化レベルで［高レベル 128bit］を選択した場合に表示します。
印刷を許可	許可する、 許可する（低解像度）、 許可しない	［許可する（低解像度）］は、暗号化レベルで［高レベル 128bit］を選択した場合に表示します。

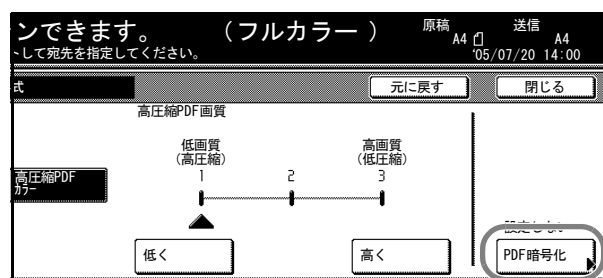
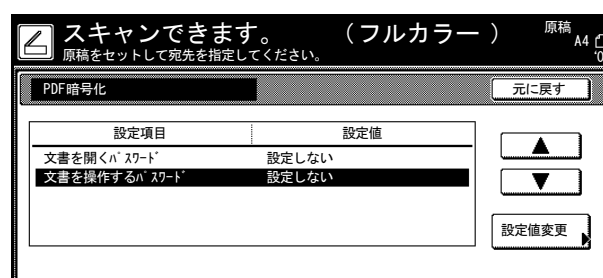
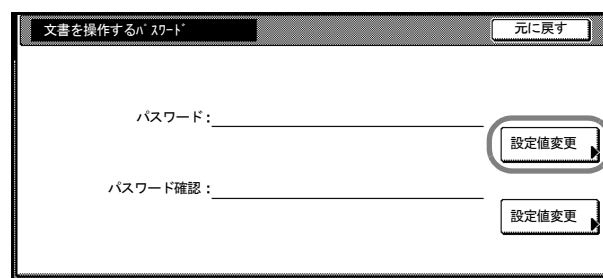
参考：**「暗号化レベル」**は**「文書を開くパスワード」**または**「文章を操作するパスワード」**でパスワードを設定した場合に表示します。

「画像とその他内容のコピー」、**「変更を許可」**、**「印刷を許可」**、は**「文章を操作するパスワード」**でパスワードを設定した場合に表示します。

「文書を開くパスワード」と**「文章を操作するパスワード」**を同じパスワードで登録できません。

1 スキャン機能設定画面で［**ファイル形式**］キーを押して**「ファイル形式」**画面を表示させてください。

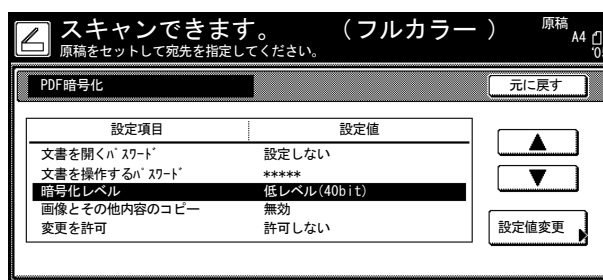
参考：スキャン機能設定画面が表示されるまでの操作手順は、**使用説明書**の各スキャン機能の操作方法を参照してください。

2 ［**PDF 暗号化**］キーを押してください。

3 ［▲］または［▼］キーを押して、**「文書を開くパスワード」**または**「文章を操作するパスワード」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

4 **「パスワード」**の［**設定値変更**］キーを押してください。

5 パスワードを入力して［**入力終了**］キーを押してください。

6 **「パスワード確認」**の［**設定値変更**］キーを押してください。

7 確認のため、もう一度同じパスワードを入力して［**入力終了**］キーを押してください。

8 ［**閉じる**］キーを押してください。**「PDF 暗号化」**画面に戻ります。

9 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、「**暗号化レベル**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

10 ［**高レベル 128bit**］または［**低レベル 40bit**］を選択して、［**閉じる**］キーを押してください。「**PDF 暗号化**」画面に戻ります。

手順 3 で「**文章を操作するパスワード**」にパスワードを入力した場合は手順 11 に進んでください。

手順 3 で「**文章を操作するパスワード**」にパスワードを入力していない場合は手順 17 に進んでください。

11 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、「**画像とその他内容のコピー**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

12 ［**許可する**］または［**許可しない**］を選択して、［**閉じる**］キーを押してください。

13 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、「**変更を許可**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

14 ［**注釈の追加**］、［**ページ抽出以外すべて**］、［**ページレイアウトの変更**］、［**ページ挿入 / 削除 / 回転**］または［**許可しない**］を選択して、［**閉じる**］キーを押してください。

参考：［**ページレイアウトの変更**］は「**暗号化レベル**」で［**低レベル 40bit**］を選択したとき、［**ページ挿入 / 削除 / 回転**］は［**高レベル 128bit**］を選択したときに表示します。

15 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、「**印刷を許可**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

16 ［**許可する**］、［**許可しない**］または［**許可する（低解像度）**］を選択して、［**閉じる**］キーを押してください。

参考：［**許可する（低解像度）**］は、「**暗号化レベル**」で［**高レベル 128bit**］を選択したときに表示します。

17 ［**閉じる**］キーを押してください。「**ファイル形式**」画面に戻ります。

スキャン機能初期設定

本体で設定できるスキャン機能の初期設定を変更することができます。

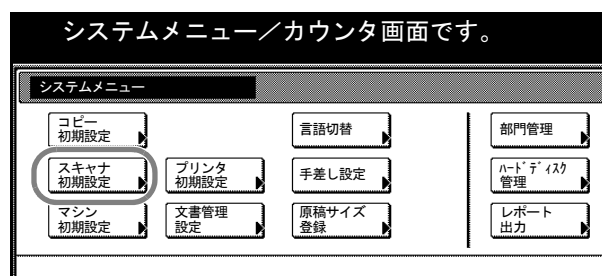
初期設定

本機では、ウォームアップが終了した後や［リセット］キーを押した後の状態を初期設定モードといいます。初期設定モードのときに自動的に設定される内容を初期設定と呼びます。使用のしかたに応じて初期設定は自由に変更できます。

「機能初期設定」画面の表示方法

次の手順にしたがって、**「機能初期設定」**画面を表示させてください。

1 **［システムメニュー / カウンタ］**キーを押してください。

2 **［スキャナ初期設定］**キーを押してください。

3 テンキーで 4 桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は 25/20 枚機では 2500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 3200 となっています。

暗証番号が合致すれば、**「スキャナ設定メニュー」**画面が表示されます。

参考：4 桁の暗証番号は変更することができます。7-29 ページの**管理者暗証番号変更**を参照してください。

オプションのセキュリティキットを装着したときは、暗証番号は 8 桁です。工場出荷時は 25/20 枚機では 25002500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 32003200 となっています。

---

4 **［機能初期設定］**キーを押してください。

5 以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

原稿画質

初期設定モードでの原稿画質を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
文字 + 写真	文字と写真が混在する原稿を読み込む場合。
写真	写真原稿の立体感を出す場合。
文字	えんぴつや細線をくっきりと再現する場合。
OCR	OCR アプリケーションソフト（文字をテキストデータに変換するソフトウェア）用画質にする場合。

原稿画質については、4-7 ページを参照してください。

1 4-13 ページの**「機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「機能初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「原稿画質」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**文字 + 写真**］、［**写真**］、［**文字**］または［OCR］を選択してください。

4 ［**閉じる**］キーを押してください。**「機能初期設定」**画面に戻ります。

濃度調整（自動）

濃度調整で［**自動**］を設定している場合に、全体的な濃淡を調整します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
うすく	濃度調整の全体的な濃度をうすくします。
こく	濃度調整の全体的な濃度をこくします。

濃度調整については、4-6 ページを参照してください。

1 4-13 ページの**「機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「機能初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「濃度調整（自動）」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**うすく**］または［**こく**］キーを押して、濃度を調整してください。

4 ［**閉じる**］キーを押してください。**「機能初期設定」**画面に戻ります。

濃度調整（手動）

濃度調整で［**手動**］を設定している場合に、全体的な濃淡を調整します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
うすく	濃度調整の全体的な濃度をうすくします。
こく	濃度調整の全体的な濃度をこくします。

濃度調整については、4-6 ページを参照してください。

1 4-13 ページの「**機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、「**機能初期設定**」画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、「**濃度調整（手動）**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**うすく**］または［**こく**］キーを押して、濃度を調整してください。

4 ［**閉じる**］キーを押してください。「**機能初期設定**」画面に戻ります。

ファイル形式

初期設定モードでのファイル形式を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明	
フルカラー / 白黒グレー	PDF	PDF を設定します。
	JPEG カラー / グレー	JPEG カラー / グレーを設定します。
	高圧縮 PDF カラー	高圧縮 PDF カラーを設定します。
白黒 2 階調	PDF	PDF を設定します。
	TIFF 白黒 2 階調	TIFF 白黒 2 階調を設定します。

参考：「**高圧縮 PDF**」はオプションの PDF アップグレードキットを装着しているとき表示します。

ファイル形式については、4-5 ページを参照してください。

1 4-13 ページの「**機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、「**機能初期設定**」画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、「**ファイル形式**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ファイル形式を選択してください。

4 ［**閉じる**］キーを押してください。「**機能初期設定**」画面に戻ります。

PDF/JPEG 画質

初期設定モードでのファイル形式の［PDF］または［JPEG］の画質を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
低く	低画質（高圧縮）にします。
高く	高画質（低圧縮）にします。

ファイル形式については、4-5 ページを参照してください。

1 4-13 ページの**「機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「機能初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「PDF/JPEG 画質」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**低く**］または［**高く**］キーを押して、画質を調整してください。

4 ［**閉じる**］キーを押してください。**「機能初期設定」**画面に戻ります。

高圧縮 PDF 画質

初期設定モードでのファイル形式の［**高圧縮 PDF**］の画質を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
1 圧縮率優先	圧縮率優先にします。
2	標準の画質にします。
3 画質優先	画質優先にします。

ファイル形式については、4-5 ページを参照してください。

1 4-13 ページの**「機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「機能初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「高圧縮 PDF 画質」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［◀］または［▶］キーを押して、画質を調整してください。

4 ［**閉じる**］キーを押してください。**「機能初期設定」**画面に戻ります。

カラー出力タイプ

カラー出力タイプを設定します。

項目	説明
RGB	—
sRGB	sRGB 対応機間で色再現空間を統一することができます。

1 4-13 ページの**「機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「機能初期設定」**画面を表示させてください。

2 [▲] または [▼] キーを押して、**「カラー出力タイプ」**を選択し、[**設定値変更**] キーを押してください。

3 [RGB] または [sRGB] を選択してください。

4 [**閉じる**] キーを押してください。**「機能初期設定」**画面に戻ります。

読み込み解像度

初期設定モードでの読み込み解像度を設定します。設定できる解像度は 200 dpi、300 dpi、400 dpi または 600 dpi です。

読み込み解像度については、4-4 ページを参照してください。

1 4-13 ページの**「機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「機能初期設定」**画面を表示させてください。

2 [▲] または [▼] キーを押して、**「読み込み解像度」**を選択し、[**設定値変更**] キーを押してください。

3 [200dpi]、[300dpi]、[400dpi] または [600dpi] を選択してください。

4 [**閉じる**] キーを押してください。**「機能初期設定」**画面に戻ります。

連続読み込み

初期設定モードでの連続読み込みを設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
設定する	連続読み込みをします。
設定しない	連続読み込みをしません。

連続読み込みについては、4-9 ページを参照してください。

1 4-13 ページの**「機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「機能初期設定」**画面を表示させてください。

2 [▲] または [▼] キーを押して、**「連続読み込み」**を選択し、[**設定値変更**] キーを押してください。

3 [**設定する**] または [**設定しない**] を選択してください。

4 ［**閉じる**］キーを押してください。「**機能初期設定**」画面に戻ります。

ページ毎出力

初期設定モードでのページ毎出力を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
設定する	ページ毎出力をします。
設定しない	ページ毎出力をしません。

ページ毎出力については、4-9 ページを参照してください。

1 4-13 ページの「**機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、「**機能初期設定**」画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、「**ページ毎出力**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**設定する**］または［**設定しない**］を選択してください。

4 ［**閉じる**］キーを押してください。「**機能初期設定**」画面に戻ります。

ファイル名

初期設定モードでの、スキャナ画像のファイル名を設定します。

参考：ファイル名は、全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。

スキャナ画像のファイル名については、4-4 ページを参照してください。

1 4-13 ページの「**機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、「**機能初期設定**」画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、「**ファイル名**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**変更**］キーを押してください。

4 ファイル名を入力して、［**入力終了**］キーを押してください。

5 ［**閉じる**］キーを押してください。「**機能初期設定**」画面に戻ります。

センター移動

初期設定モードでのセンター移動を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
設定する	センター移動をします。
設定しない	センター移動をしません。

センター移動については、4-10 ページを参照してください。

1 4-13 ページの**「機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「機能初期設定」**画面を表示させてください。

2 [**▲**] または [**▼**] キーを押して、**「センター移動」**を選択し、[**設定値変更**] キーを押してください。

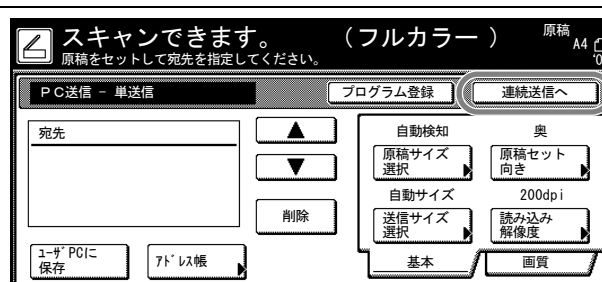
3 [**設定する**] または [**設定しない**] を選択してください。

4 [**閉じる**] キーを押してください。**「機能初期設定」**画面に戻ります。

連続送信

一度送信が終了して、次の送信を実行する際に、前に送信した同じ設定で送信することができます。送信元（ユーザ）、宛先および各種設定が、保持された状態でスキャン機能画面に戻ります。

項目	説明
設定する	連続送信をします。
設定しない	連続送信をしません。

参考：スキャン機能画面で連続送信に切り替える場合は、[**連続送信へ**] キーを押してください。連続送信が設定されると [**連続送信へ**] キーが [**単送信へ**] キーになります。単送信にする場合は、[**単送信へ**] キーを押してください。

PC 送信時は、Scanner File Utility の**「ファイルの上書き保存を許可」**にチェックした状態（6-8 ページ参照）で、ファイルを送信すると、同じ名称のファイルは上書きされます。連続送信時にファイル名を入力して送信する場合は、注意してください。

連続送信を設定していて、作業を終了するときは、必ずスキャン機能画面の [**作業中止**] キーを押してください。[**作業中止**] キーを押さないと、スキャン機能画面のまま、その他のコピー、プリンタ、FAX などの機能が使用できないことがあります。また、使用者以外の方に使用される可能性がありますので十分にお気をつけください。

1 4-13 ページの**「機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「機能初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「連続送信」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**設定する**］または［**設定しない**］を選択してください。

4 ［**閉じる**］キーを押してください。**「機能初期設定」**画面に戻ります。

ファイル名入力

4-4 ページの**ファイル名入力**の設定で自動 / 手動の選択画面を表示せずにファイル名の入力画面を表示させることができます。毎回ファイル名を入力される場合に操作を短縮することができます。

項目	説明
手動	自動 / 手動の選択画面を表示せずに、ファイル名の入力画面を表示します。
自動 / 手動	自動 / 手動の選択画面を表示します。

1 4-13 ページの**「機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「機能初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「ファイル名入力」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**手動**］または［**自動 / 手動**］を選択してください。

4 ［**閉じる**］キーを押してください。**「機能初期設定」**画面に戻ります。

送信元（ユーザ）選択省略

本スキャナを使用するには、まず、送信元（ユーザ）を選択する操作をします。**「送信元（ユーザ）選択の省略」**の設定を行うと、送信元（ユーザ）をユーザ番号 001 に固定して、送信元（ユーザ）の選択を省略することができます。スキャナを使用される方が限定されている場合、操作を省略したい場合などに使用してください。

項目	説明
設定する	送信元（ユーザ）の選択を省略し、ユーザ番号 001 に登録されているユーザで送信します。
設定しない	送信元（ユーザ）の選択画面を表示します。

参考：**「送信元（ユーザ）選択省略」**を設定する場合は、必ずユーザ番号「001」にユーザを登録してください。

1 4-13 ページの**「機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「機能初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「送信元 (ユーザ) 選択省略」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**設定する**］または［**設定しない**］を選択してください。

4　［**閉じる**］キーを押してください。「**機能初期設定**」画面に戻ります。

E-Mail アドレス入力

E メール送信で、送信先の選択時にメールアドレスの直接入力をするかしないかを設定します。［**使用しない**］を設定した場合には、事前に送信先をアドレス帳に登録しておく必要があります。

項目	説明
使用する	送信先の選択時に［**アドレス入力**］キーが表示します。このキーを押すとメールアドレスを入力できます。
使用しない	送信先の選択時に［**アドレス入力**］キーを表示しません。

1　4-13 ページの「**機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、「**機能初期設定**」画面を表示させてください。

2　［▲］または［▼］キーを押して、「**E-Mail アドレス入力**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3　［**使用する**］または［**使用しない**］を選択してください。

4　［**閉じる**］キーを押してください。「**機能初期設定**」画面に戻ります。

カラーモード設定

初期設定モードでのカラーモードを設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
自動カラーキー	自動カラーモードを設定します。
フルカラーキー	フルカラーモードを設定します。
白黒キー	白黒モードを設定します。

1　4-13 ページの「**機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、「**機能初期設定**」画面を表示させてください。

2　［▲］または［▼］キーを押して、「**カラー設定**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3　［**自動カラーキー**］、［**フルカラーキー**］または［**白黒キー**］を選択してください。

4　［**閉じる**］キーを押してください。「**機能初期設定**」画面に戻ります。

白黒選択

初期設定モードでの白黒選択を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
白黒 2 階調	白黒 2 階調を設定します。
白黒グレー	白黒グレーを設定します。

白黒選択の詳細については、4-7 ページの**白黒選択**を参照してください。

1 4-13 ページの**「機能初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「機能初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「白黒選択」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**白黒 2 階調**］または［**白黒グレー**］を選択してください。

4 ［**閉じる**］キーを押してください。**「機能初期設定」**画面に戻ります。

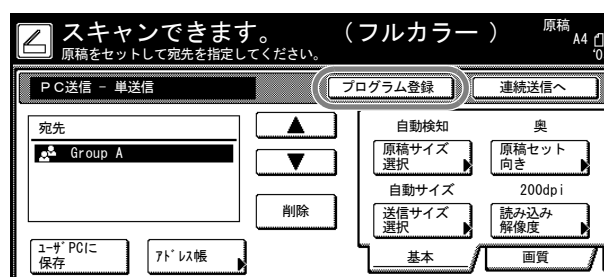
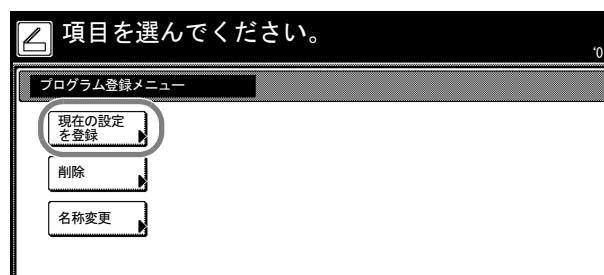
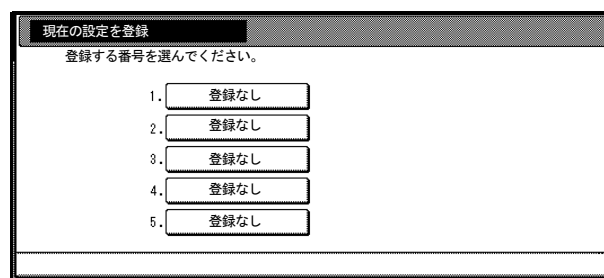
プログラムスキャン

操作パネルに表示している送信先、送信モードおよび機能の組み合わせを 5 種類まで登録できます。よく使用する送信先やモードをひとつのプログラムとして登録しておけば、プログラム番号を押すだけでその設定を呼び出せます。また、プログラムには名称を付けることができます。

参考：プログラムスキャンで登録する場合、同時に送信する相手先は 20 件まで登録できます。

プログラムの登録

プログラムを登録する手順は次のとおりです。

1 登録したい送信先や送信モード（例：Group A、PC 送信、PDF ファイルなど）を設定して、［**プログラム登録**］キーを押してください。

2 ［**現在の設定を登録**］キーを押してください。

3 登録するプログラム番号（1 ～ 5）を押してください。

4 プログラム名を入力して、［**入力終了**］キーを押してください。

参考：文字の入力方法は、7-56 ページの**変換入力**を参照してください。

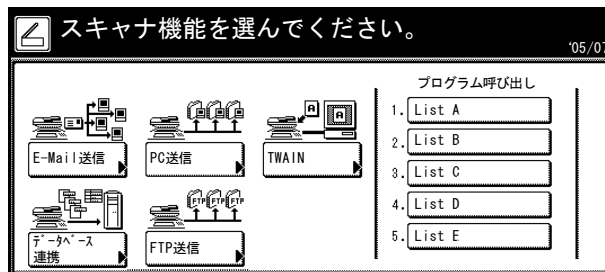
5 ［**はい**］キーを押してください。プログラムが登録されます。

プログラムを使ったスキャン

登録したプログラムを使ってスキャンする手順は次のとおりです。

1 ［**スキャナ**］キーを押してください。

2 呼び出すプログラム番号（1 ～ 5）を押してください。

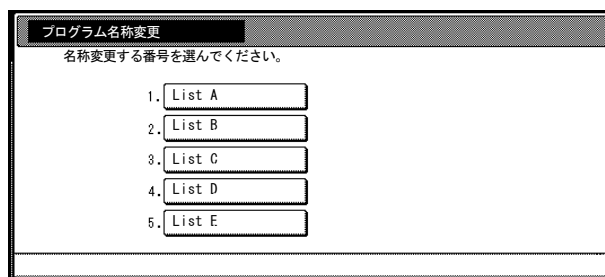
ユーザ登録時にパスワードを入力していればパスワード入力画面が表示されます。パスワード入力後、［**設定**］キーを押してください。

3 原稿をセットし、［**スタート**］キーを押してください。登録したプログラムでスキャンします。

プログラム名称の変更

登録したプログラムの名称を変更する手順は次のとおりです。

1 ［**プログラム登録**］キーを押してください。

2 ［**名称変更**］キーを押してください。

3 名称を変更するプログラム番号（1 ～ 5）を押してください。

4 プログラム名を入力しなおして、［**入力終了**］キーを押してください。

参考：文字の入力方法は、7-56 ページの**変換入力**を参照してください。

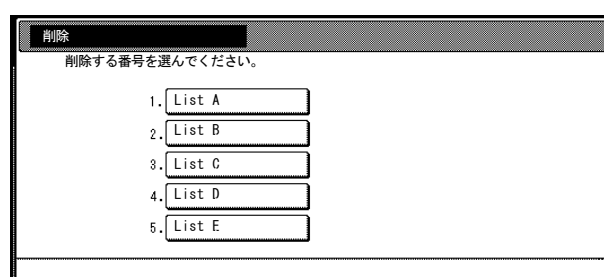
5 ［**はい**］キーを押してください。変更したプログラム名称が登録されます。

プログラムの削除

プログラムを削除する手順は次のとおりです。

1 ［**プログラム登録**］キーを押してください。

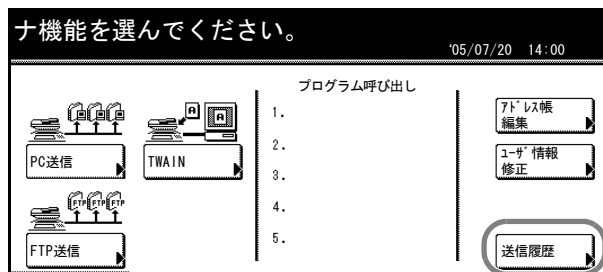
2 ［**削除**］キーを押してください。

3 削除するプログラム番号（1 ～ 5）を押してください。

4 ［**はい**］キーを押してください。プログラムが削除されます。

送信履歴の確認

操作パネルで送信履歴を確認するすることができます。

1 ［スキャナ］キーを押してください。

2 ［送信履歴］キーを押してください。

3 送信履歴が表示されます。次の画面を確認するときは、［▲］または［▼］キーを押して、画面をスクロールさせてください。

4 確認が終了すれば、［閉じる］キーを押してください。

5　Webブラウザからのスキャナ設定

この章では、Web ブラウザから設定できるスキャナ設定について説明します。

設定できる主な内容は次のとおりです。

- Web ページ機能 ...5-2 ページ
- システム設定 ...5-7 ページ
- PC 送信設定 ...5-18 ページ
- E メール送信設定 ...5-22 ページ
- FTP 送信設定 ...5-27 ページ

Web ページ機能

Web ページ機能は、スキャナ機能に関する管理を Web ブラウザソフトを使って行えるようにしたものです。ネットワーク設定の変更 / スキャナ初期設定 /PC 送信 /E メール送信 /FTP 送信に関する設定などを、ネットワークを介して簡便に行えます。

Web ページ機能のご使用の前に次の確認をしてください。

- Web ブラウザソフトがインストールされている必要があります。Web ブラウザソフトは、Netscape Navigator 4.0 以降または Internet Explorer 4.0 以降を推奨します。
- Web ページ機能の使用にあたっては、あらかじめ本機のスキャナ設定で IP アドレスが設定されている必要があります。(**使用説明書**を参照してください。)
- コンピュータから文字入力の時に、正しく入力しないとスキャナが正常に動作しない場合があります。本書または、Web ページに半角、全角入力などの文字制限が記載されていますので、よくご確認の上、入力をしてください。

目的別インデックス

下表に Web ページ機能で設定できる主な項目を目的別にまとめました。設定操作をする際のインデックスとしてお役立てください。

目的	説明	参照ページ
ネットワークに関する設定をする	スキャナのネットワークに関する設定について説明しています。	5-8 ページ
管理者用のパスワードを設定する。	Web ページ機能を使う際の管理パスワードについて説明しています。	5-9 ページ
スキャナの画像読み込みの初期設定を変更する。	原稿種別や解像度など、読み取り画像設定について説明しています。	5-12 ページ
送信者アドレスを登録する。	スキャナからコンピュータへメール送信する際の送信者のアドレスの登録方法について説明しています。	5-15 ページ
送信先 PC を登録する。	スキャナから画像を送る際に、相手先となるコンピュータの登録について説明しています。	5-18 ページ
送信先アドレスを登録する。	スキャナからコンピュータへメールを送信する際の送信先のアドレスの登録方法について説明しています。	5-23 ページ
FTP サーバを登録する。	FTP サーバの登録について説明しています。	5-27 ページ

注意事項

Web ブラウザの動作が不安定なとき

Web ブラウザからスキャナ設定やユーティリティについての設定を行う際に、スキャナ本体のネットワーク設定が正しいにもかかわらず Web ブラウザ上での設定がスキャナ本体とうまくつながらない場合などは、スキャナ本体の電源を入れ直してください。スキャナの再起動が行われます。再起動には時間がかかりますので少々お待ちください。

インターネットサイト ＸＸＸＸＸＸ を開けませんなど、接続できないことを表す表示が出たとき

- 本体が初期画面（**「コピーできます」**の画面）になっていない。
  →初期画面でない場合は、初期画面（**「コピーできます」**の画面）に戻してください。

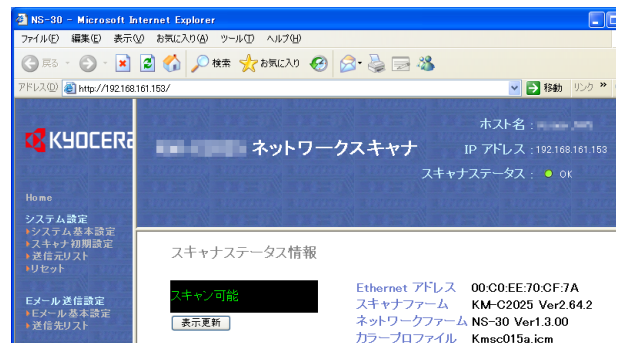
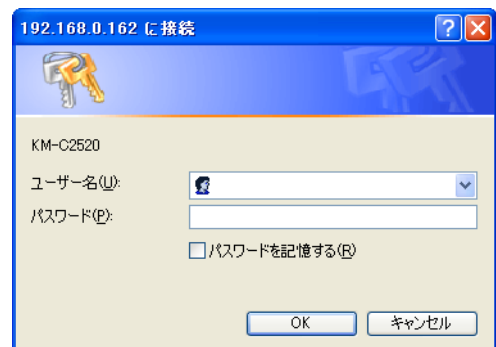
ページを表示できません。と表示が出たとき

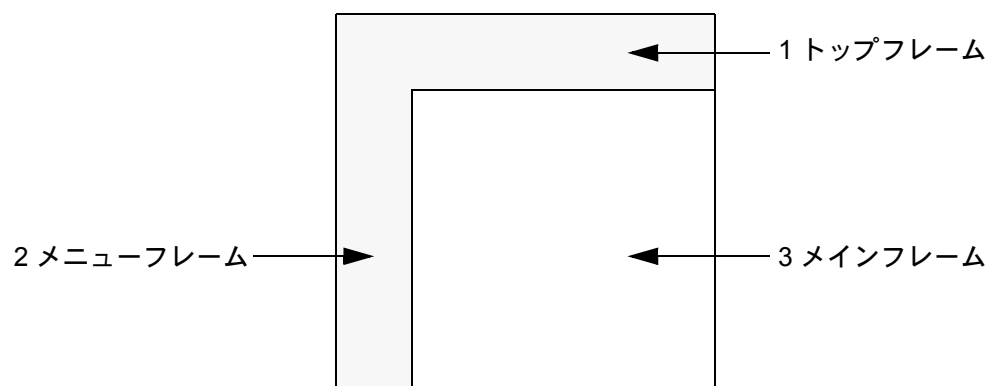
- 本体の起動、再起動が完了していない。
  →しばらく待ってから、再度接続を行ってください。

XXX アクセスが禁止されていますと表示が出たとき

- 本体が操作中である。
  →スキャナ本体の操作が終了し、基本画面に戻ったことを確認してから再度接続してください。

Web ページ機能の使用方法

1. Web ブラウザソフトを起動してください。
2. アドレス入力欄にスキャナの IP アドレスか、ホスト名を入力し、キーボードの Enter キーを押してください。
3. Web ページ機能のトップページが表示されます。

4. パスワードを設定している場合、ページ左の**システム基本設定**をクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。パスワードを入力し、OK ボタンをクリックしてください。

画面構成

トップページは 3 つのフレームから構成されています。

1 **トップフレーム**—スキャナの IP アドレス／スキャナステータスを表示します。（5-4 ページ参照）

2 **メニューフレーム**—スキャナについて、設定したい項目の選択を行うことができます。（5-5 ページ参照）

3 **メインフレーム**—スキャナのシステム情報が表示されます。（5-6 ページ参照）

トップフレーム

トップフレームには、スキャナの情報を表示します。

表示	説明
ホスト名	スキャナに登録しているホスト名を表示します。
IP アドレス	スキャナが保持しているアドレスを表示します。
スキャナステータス	レディ状態であれば、スキャナステータスには● OK が表示されます。 レディ状態でないときは、● OTHER が表示されます。

参考：● OTHER 表示時のスキャナの状態は、**スキャナステータス情報**で確認できます。スキャナステータスは、1 分ごとに更新されます。

メニューフレーム

メニューフレームでは、スキャナについて、設定したい項目の選択を行うことができます。

参考：メニューフレームの各項目は、続けて設定することができます。ただし、設定途中に再び同じ項目を選択するとそれまでに設定しようとしていた内容は破棄されます。

表示	説明
Home	Home を選択すると、ブラウザでスキャナにアクセスしたときのトップページに戻ることができます。
システム設定	**システム設定**は、スキャナに関する設定などを行うためのもので、次の項目で構成されています。 • **システム基本設定**—スキャナのネットワークインタフェースに関する設定を行うことができます。 • **スキャナ初期設定**—スキャナの主な機能の初期値を設定することができます。 • **送信元リスト**—スキャナ機能（E メール送信、PC 送信、データベース連携、FTP 送信）を使用できる送信元（ユーザ）リストを設定することができます。 • **リセット**—スキャナのリセットまたは、工場出荷時の状態に戻します。
E メール送信設定	**E メール送信設定**は、メール送信に必要な基本設定を行うためのものです。 • **E メール基本設定**—メール送信を行う際の基本的事項に関する設定を行うことができます。 • **送信先リスト**—メール送信先のアドレス登録などを行うことができます。
PC 送信設定	**PC 送信設定**では、保存先コンピュータ（PC）にファイル送信を行うための各種設定を行うことができます。 • **送信先リスト**—保存先コンピュータ（PC）の登録などを行うことができます。
FTP 送信設定	**FTP 送信設定**では、FTP サーバにファイル送信を行うための各種設定を行うことができます。 • **送信先リスト**— FTP サーバの登録などを行うことができます。

メインフレーム

スキャナのシステム情報が表示されます。また、言語切替もここで行うことができます。

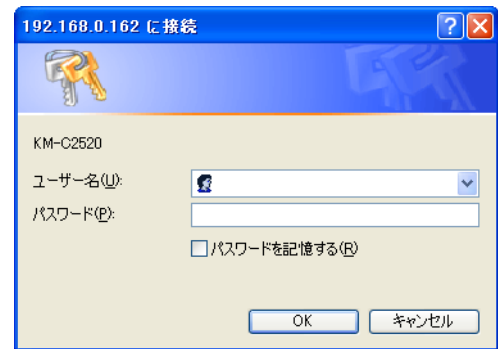
参考：起動時には、初期値が表示されています。

表示	説明
スキャナステータス情報	トップページのスキャナステータスが● OTHER に変わった際に、**表示更新**ボタンをクリックすると本体がどの様な状態であるかがここに表示されます。また、スキャナステータスが● OK の場合は、**スキャン可能**が表示されます。 スキャナ本体から取得可能なステータス項目として次の 6 項目があります。 **スキャン可能** / **スキャナ使用中** /DP（原稿送り装置）**部紙詰まり** / **システムエラー** / **処理中** / **パワーセーブモード**
Ethernet アドレス	スキャナの MAC アドレスが表示されます。
スキャナファーム	スキャナのファームウェアバージョンが表示されます。
ネットワークファーム	スキャナのネットワークインタフェースのファームウェアバージョンが表示されます。
カラープロファイル	本機対応のカラープロファイルのファイル名が表示されます。
表示言語	Web ページで表示する言語を切り替えることができます。

システム設定

システム設定では、スキャナの設定をします。各項目の設定は、スキャナがスキャン可能状態のとき、低電力モード中、またはスリープモード中に、その設定を変更することができます。

設定条件

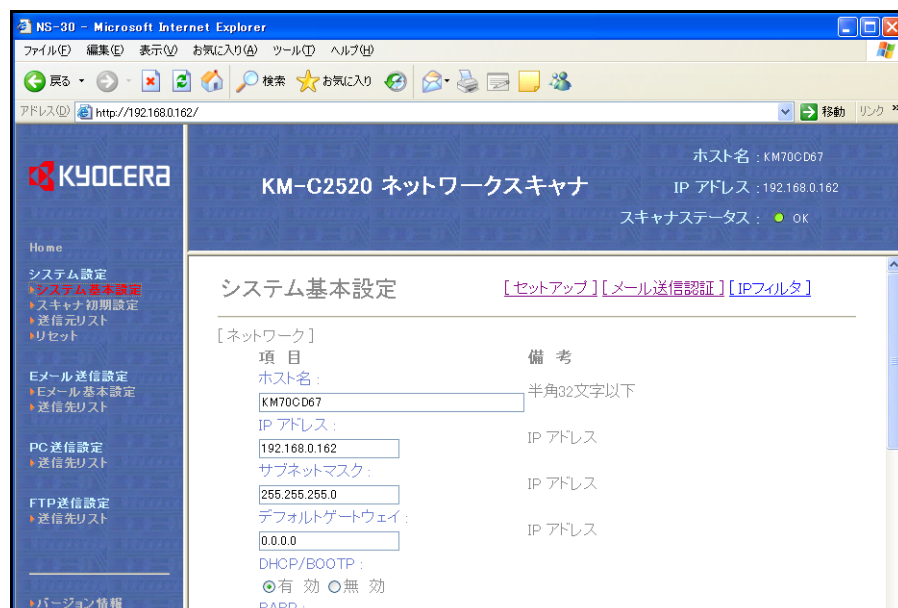
スキャナのネットワークインタフェースの設定およびスキャナ関連の設定を行うためには、管理者のパスワードの入力が必要です。

参考：パスワードは、**システム基本設定**の**管理者**で変更することが可能です。出荷時には、パスワードは設定されていません。

システム基本設定

ここでは、スキャナのネットワークインタフェースの基本設定**セットアップ**の**ネットワーク**、**管理者**の設定をします。

参考：**メール送信認証**を設定する場合は、**メール送信認証**をクリックしてください。(5-10 ページ参照)

IP フィルタを設定する場合は、**IP フィルタ**をクリックしてください。(5-11 ページ参照)

注意：設定を行った後は、必ず**登録**ボタンをクリックしてください。

セットアップ - ネットワーク

設定内容は次のとおりです。

表示	説明
ホスト名	スキャナのホスト名を 32 文字以内（半角英数字）で入力してください。
IP アドレス	スキャナの IP アドレスを XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力してください。
サブネットマスク	スキャナのサブネットマスクを XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力してください。
デフォルトゲートウェイ	スキャナのデフォルトゲートウェイを XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力してください。
DHCP/BOOTP	DHCP と BOOTP を**有効**と、**無効**のどちらにするかの設定をします。初期値は**有効**に設定されています。
RARP	RARP を**有効**と、**無効**のどちらにするかの設定をします。初期値は**有効**に設定されています。
ARP/PING	ARP/PING を**有効**と、**無効**のどちらにするかの設定をします。初期値は**有効**に設定されています。
DNS サーバ（プライマリ）	DNS サーバが設置された環境で、ホスト名を使ってデータ送信を行う場合には、この欄にプライマリの DNS サーバの IP アドレスを XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力してください。
DNS サーバ（セカンダリ）	この欄には、セカンダリの DNS サーバの IP アドレスを XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力してください。
DNS ドメイン名	ドメイン名を、254 文字以内（半角英数字）で入力してください。
WINS サーバ（プライマリ）	コンピュータ名から IP アドレスの解決に WINS（Windows Internet Name Service）を使用する場合には、この欄にプライマリの WINS サーバの IP アドレスを XXX.XXX.XXX.XXX 形式で入力してください。
WINS サーバ（セカンダリ）	この欄にセカンダリの WINS サーバの IP アドレスを XXX.XXX.XXX.XXX 形式で入力してください。
スコープ ID	この欄にスコープ ID を入力してください。
SMTP サーバ名	この欄に SMTP サーバの IP アドレスを XXX.XXX.XXX.XXX 形式で入力するか、ホスト名を入力してください。

表示	説明
SMTP ポート番号	この欄に SMTP ポート番号を入力してください。初期設定のポート番号は 25 です。
POP3 サーバ名	この欄に POP3 サーバの IP アドレスを XXX.XXX.XXX.XXX 形式で入力するか、ホスト名を入力します。POP before SMTP の認証を行っているときなどに登録してください。
POP3 ポート番号	この欄に POP3 ポート番号を入力してください。初期設定のポート番号は 110 です。
DB Assistant	DB Assistant をインストールしているコンピュータの IP アドレス、またはホスト名を 32 文字以内（半角英数字）で入力してください。
登録ボタン	**登録**ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がスキャナ本体に反映されます。
リセットボタン	**リセット**ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。

注意：登録ボタンをクリックせずに他画面へ移動した場合、途中まで設定されている内容はスキャナ本体に反映されずに破棄されます。

セットアップ - 管理者

設定内容は次のとおりです。

表示	説明
E メールアドレス	管理者の E メールアドレスを入力してください。スキャナの状態の Log ファイル、エラーレポート等をこのアドレス先に E メールとして送信します。
パスワード変更	パスワードの変更をする場合は**する**、しない場合は**しない**を選択してください。
古いパスワード	すでにパスワードを設定している場合はここに古いパスワードを入力してください。ここで設定するパスワードは、スキャナ本体のネットワーク画面に入る際に必要となる 4 桁の管理者パスワードとはリンクしていません。
新しいパスワード	パスワードを変更する場合は、ここに新しいパスワードを 15 文字以内で入力してください。ここで設定するパスワードは、スキャナ本体のネットワーク画面に入る際に必要となる 4 桁の管理者パスワードとはリンクしていません。
新しいパスワードの確認入力	**新しいパスワード**欄で入力した文字列をもう一度入力してください。ここでの入力は、パスワードの変更を行う際、新たにパスワードとして設定する文字列に入力誤りがないかを確認するためのものです。
ファームウェアアップデート	ファームウェアを管理者に許可無く更新することは、セキュリティに対する深刻な脅威になりかねません。不適当なファームウェアにより、管理者以外の誰かが無意識にあるいは悪意を持ってファームウェアを更新した場合、ネットワークが動作不能になる可能性があります。ここでは、ファームウェアが無許可で更新されないようにセキュリティ対策が設けられています。ファームウェアのアップデートを許可する場合は**有効**、許可しない場合は**無効**を選択します。
登録ボタン	**新しいパスワード**と**新しいパスワードの確認入力**の入力が完了した時点で**登録**ボタンをクリックすると新たに入力したパスワードがスキャナで設定されます。**登録**ボタンをクリックしたとき、**新しいパスワードの確認入力**欄への入力内容が**新しいパスワード**欄で入力した文字列と一致しなかったり、あるいは空欄状態のときは、エラー画面が表示されます。

表示	説明
リセットボタン	**リセット**ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。

注意：パスワードの設定を行った後は、必ず**登録**ボタンをクリックしてください。

メール送信認証

SMTP サーバの中には第三者が不正にメールサーバを利用することを防ぐためにＥメール送信前に認証（本人確認）処理を必須としているものがあります。

本機では次の認証方式に対応しています。

注意：使用されるメールサーバの送信認証方式については、システム管理者に確認してから設定してください。

- **SMTP 認証**

  メールを送信する際に、SMTP サーバに対してアカウント名とパスワードを送信して認証をします。

- **POP before SMTP**

  メールを送信する前に、メール受信で利用される POP3 を使って認証をする方式です。
  SMTP サーバは、POP3 サーバで認証された場合にメールの送信を受け付けます。

- **POP before SMTP(APOP)**

  POP before SMTP と同じ処理を行いますが、パスワードを暗号化する APOP を利用します。

- **認証しない**

  送信認証を行いません。

参考：POP before SMTP または POP before SMTP(APOP) を選択するときは、5-7 ページの**システム基本設定**で POP3 サーバを登録してください。本機は認証時に POP3 を使用しますが、メールの受信は行いません。

メール送信認証の、設定手順は次のとおりです。

参考：ここでメール送信認証（管理者用）を設定しておくと、各ユーザ（40 名まで設定可能）にメール送信認証の設定を行うことができます。（5-15 ページ参照）

1 スキャナの IP アドレスを Web ブラウザに入力して、スキャナのホームページを表示します。

2 画面左列のメニューから**システム基本設定**をクリックします。

3　**メール送信認証**を選択します。

4　SMTP 認証、POP before SMTP または POP before SMTP(APOP) から**認証タイプ**を選択してください。

5　メール送信認証に使用する**ログインアカウント名**を入力します。

6　新たにパスワードを入力する、または変更する場合は、**パスワード変更**を**する**にします。

参考：パスワードを変更する必要がない場合は、**しない**にして、手順 9 に進みます。

7　新しいパスワードを**新しいパスワード**欄に入力します。

8　新しいパスワードの確認をします。**新しいパスワードの確認入力**欄に手順 7 で入力したパスワードをもう一度入力します。

9　**登録**ボタンをクリックします。

IP フィルタ

本スキャナには、各種プロトコル別にアクセス可能な IP アドレスを限定するフィルタ機能が用意されており、許可されたアドレスだけが特定のプロトコルを利用できます。例えば IP フィルタを HTTP に設定すれば、特定のアドレスだけがスキャナのホームページおよび Address Editor にアクセスできます。

次のプロトコルごとに、IP アドレスの有効範囲を 4 つまでフィルタリングできます。

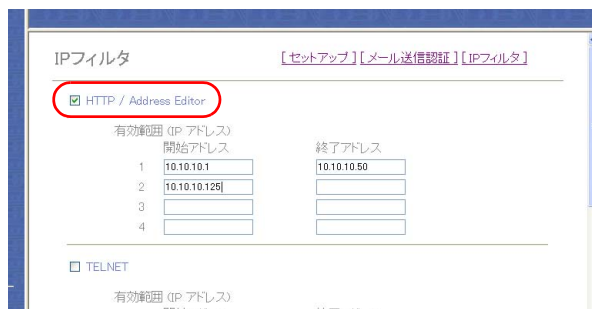
HTTP/Address Editor、TELNET、AdminManager、TWAIN

参考：IP フィルタは、Address Editor でも設定できます。

1　スキャナの IP アドレスを Web ブラウザに入力して、スキャナのホームページを表示します。

2　画面左列のメニューから**システム基本設定**をクリックします。

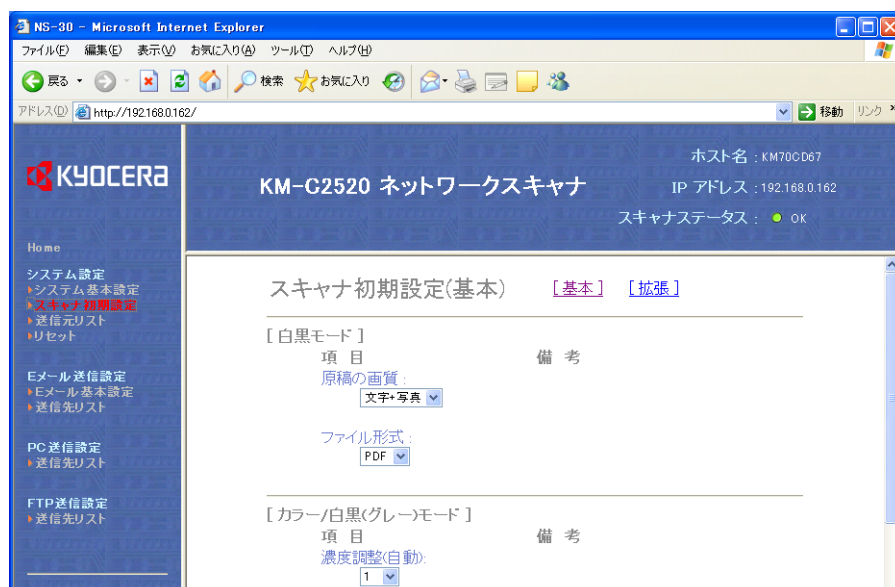
3　**IP フィルタ**をクリックします。

4　プロトコル名の左側のチェックボックスにチェックを入れて、プロトコルのフィルタリングを有効にします。

5　有効にする IP アドレス範囲を 4 つまで入力できます。単一の IP アドレスを有効にする場合は、**開始アドレス**にのみ入力します。

6　**登録**ボタンをクリックします。

参考：画面の設定では、IP アドレス 10.10.10.1 ～ 50 と IP アドレス 10.10.10.125 のみが本スキャナのホームページ（HTTP）と Address Editor にアクセスできます。

スキャナ初期設定

スキャナの画像読み込みに関する初期設定を行うことができます。設定項目には、**基本**設定と**拡張**設定があり、**拡張**ボタンをクリックすると**スキャナ初期設定（拡張）**が表示されます。

基本 - 白黒モード

設定内容は次のとおりです。

設定項目	設定値	説明
原稿の画質	**写真** / **文字** / **文字 + 写真** /OCR	スキャンする原稿の種類に合わせて、次の 4 つのモードを選択することができます。
ファイル形式	TIFF/PDF	スキャン画像を保存する際のファイル形式を指定します。

基本 - カラー / 白黒（グレー）モード

設定内容は次のとおりです。

設定項目	設定値	説明
濃度調整（自動）	-3 〜 +3	濃度調整で**自動**を設定している場合に、全体的な濃淡を調整します。
濃度調整（手動）	-3 〜 +3	濃度調整で**手動**を設定している場合に、全体的な濃淡を調整します。
ファイル形式	JPEG/PDF/ **高圧縮** PDF	スキャン画像を保存する際のファイル形式を指定します。
PDF/JPEG **画質**	1（**低**）/2/3（**標準**）/4/5（**高**）	PDF と JPEG 画質を設定します。
高圧縮 PDF **画質**	1（**圧縮率優先**）/2/3（**画質優先**）	高圧縮 PDF の画質を設定します。
カラー出力タイプ	RGB/sRGB	カラー出力タイプを設定します。

基本 - 各モード共通

設定内容は次のとおりです。

設定項目	設定値	説明
解像度	600dpi/400dpi/300dpi/200dpi	原稿読取時の解像度を次の 4 つの中から選ぶことができます。
連続読み込み	**設定する** / **設定しない**	継続して原稿を読み込むか選択します。
ファイル名	ファイル名は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字）で入力してください。	スキャン画像保存時の名称を設定します。

拡張

設定内容は次のとおりです。

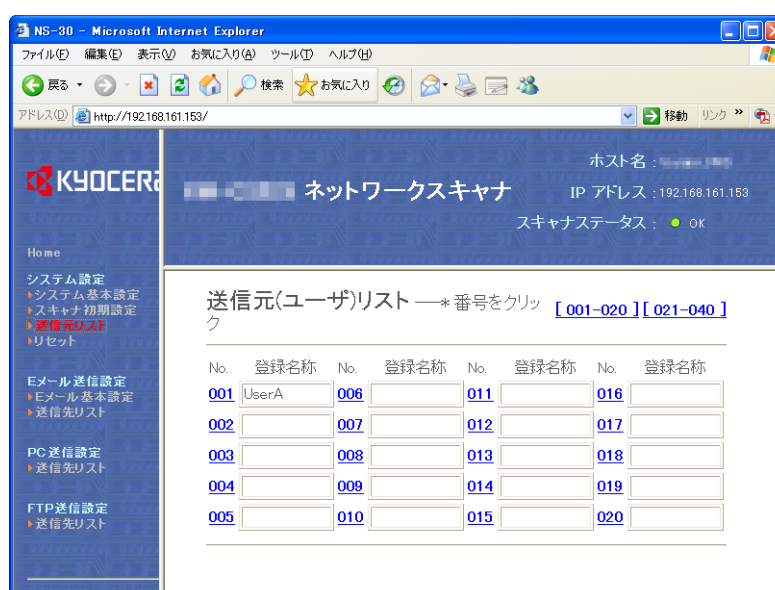
設定項目	設定値	説明
センター移動	**設定する / 設定しない**	原稿サイズと送信サイズを指定して変倍でスキャンした場合、サイズによっては用紙の下側または左右どちらかに余白ができます。センター移動を設定していると、上下または左右に余白が均等になるように画像をセンターに移動させます。
連続送信	**設定する / 設定しない**	一度送信が終了して、次の送信を実行する際に、前に送信した同じ設定で送信することができます。送信元（ユーザ)、宛先および各種設定が、保持された状態でスキャン機能画面に戻ります。
ファイル名入力	**手動 / 自動 / 手動**	ファイル名の自動 / 手動の選択画面を表示せずにファイル名の入力画面を表示させることができます。
送信元（ユーザ）選択省略	**設定する / 設定しない**	本スキャナを使用するには、まず、送信元（ユーザ）を選択する操作をします。**設定する**を設定すると、送信元（ユーザ）をユーザ番号 001 に固定して、送信元（ユーザ）の選択を省略することができます。
カラー設定	**自動カラー / フルカラー / 白黒**	初期設定モードでのカラーモードを設定します。
白黒選択	**白黒 2 階調 / 白黒グレー**	白黒でスキャンする際に、2 階調かグレースケールを選択することができます。
E-mail アドレス入力	**使用する / 使用しない**	E メール送信で、送信先の選択時にメールアドレスの直接入力をするかしないかを設定します。
ページ毎出力	**設定する / 設定しない**	一度に読み込んだ原稿を 1 ページごとにファイルを作成し、送信します。

送信元リスト

ネットワークスキャナ機能（E メール送信、PC 送信、データベース連携、FTP 送信）を使用できる送信元（ユーザ）リストの設定をします。

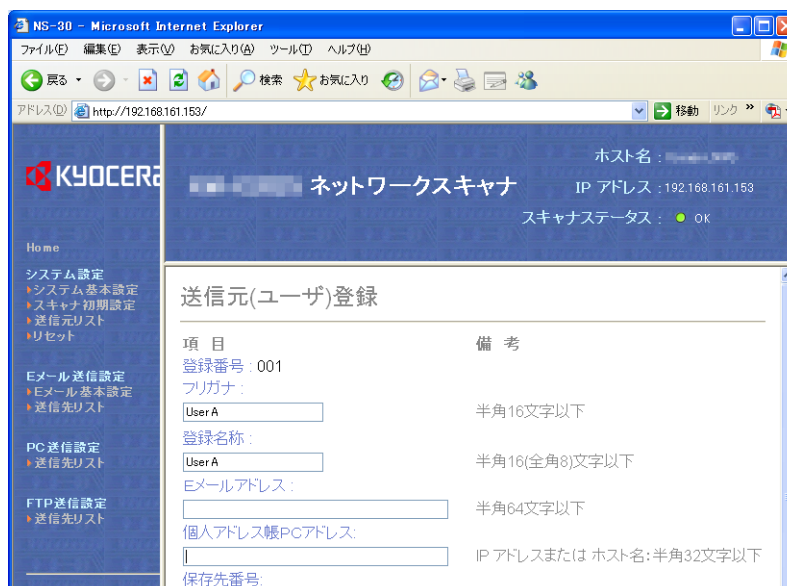
送信元（ユーザ）リスト

送信元リストをクリックすると送信元（ユーザ）リストが表示されます。40 件（No.001 ～ No.020、No.021 ～ No.40）までの送信元（ユーザ）の登録・確認・編集を行うことができます。

参考：各番号（No.）に**登録名称**が入力されている場合は、テキストボックス内に名称が表示されます。

設定を行いたい送信元（ユーザ）の番号をクリックすると**送信元（ユーザ）登録**画面が開き、送信元（ユーザ）に関する登録や編集を行うことができます。

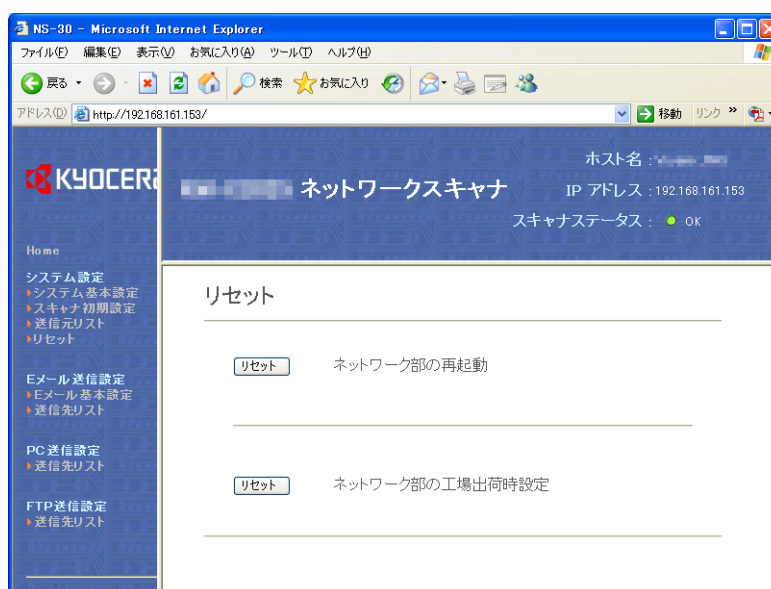
注意：送信元（ユーザ）の登録や編集を行うときは、必ず最後に**登録**ボタンをクリックしてください。

送信元（ユーザ）登録

送信元（ユーザ）リストでユーザ番号をクリックすると選択した送信元の**送信元（ユーザ）登録**画面が表示されます。

設定項目	説明
登録番号	**送信元リスト**で選択した番号がここに表示されています。送信元登録テーブルの何番を登録・修正しているかを確認できるように表示されているもので、変更等はできません。
フリガナ	登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
登録名称	登録名称を入力する欄です。ここで設定した名称は、送信元登録テーブルおよび本体操作部に表示されます。登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
E メールアドレス	送信元（ユーザ）の E メールアドレスは、64 文字以内（半角英数字）で入力してください。
個人アドレス帳 PC アドレス	使用する個人アドレス帳（付属ユーティリティ　アドレス帳 for Scanner）のインストールされているコンピュータのアドレスを入力します。IP アドレスを XXX.XXX.XXX.XXX 形式で入力するか、ホスト名を入力してください。
保存先番号	PC 送信での送信先 PC の保存先番号を設定します。設定できる保存先番号は 001 ～ 100 です。
署名	E メール送信時の署名データを入力します。全角 128 文字以内、半角 256 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
パスワード変更	パスワードの変更をする場合は**する**、しない場合は**しない**を選択してください。
新しいパスワード	パスワードを変更する場合は、ここに新しいパスワードを 8 文字以内で入力してください。
新しいパスワードの確認入力	確認のため、**新しいパスワード**欄で入力した文字列をもう一度入力してください。
ログインアカウント名	ユーザのメール送信認証に使用する**ログインアカウント名**を入力します。各ユーザにメール送信認証を設定する場合は、先にシステム基本設定でメール送信認証を設定します。（5-10 ページ参照）

設定項目	説明
パスワード変更	ユーザのメール送信認証パスワードの変更をする場合は**する**、しない場合は**しない**を選択してください。
新しいパスワード	ユーザのメール送信認証に使用するパスワードを変更する場合は、ここに新しいパスワードを 31 文字以内で入力してください。
新しいパスワードの確認入力	確認のため、**新しいパスワード**欄で入力した文字列をもう一度入力してください。
登録ボタン	**登録**ボタンをクリックすると、設定内容がスキャナに反映されます。クリックしないでページを移動した場合は、入力した情報は破棄されます。
リセットボタン	**リセット**ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。
登録削除ボタン	**登録削除**ボタンをクリックすると、表示されている送信元（ユーザ）が削除されます。

リセット

各**リセット**ボタンを押すと、確認ダイアログボックスが表示され、OK ボタンを押すと、リセットまたは、工場出荷時の状態に戻します。

設定項目	説明
ネットワーク部の再起動	スキャナを再起動します。
ネットワーク部の工場出荷時設定	以前の設定をすべて初期化し、工場出荷時の状態に戻します。

PC 送信設定

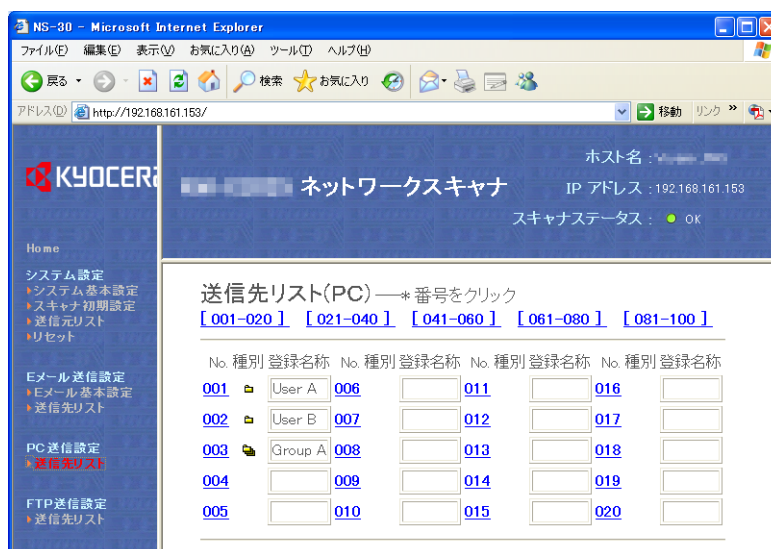
スキャナを使うと、スキャナで読み取った画像データをあらかじめ登録したコンピュータの指定したフォルダに送信することができます。ここでは、その場合の送信先 PC の登録について説明しています。

参考：Scanner File Utility の機能については、6-3 ページの Scanner File Utility を参照してください。

送信先リスト

送信先リスト（PC）

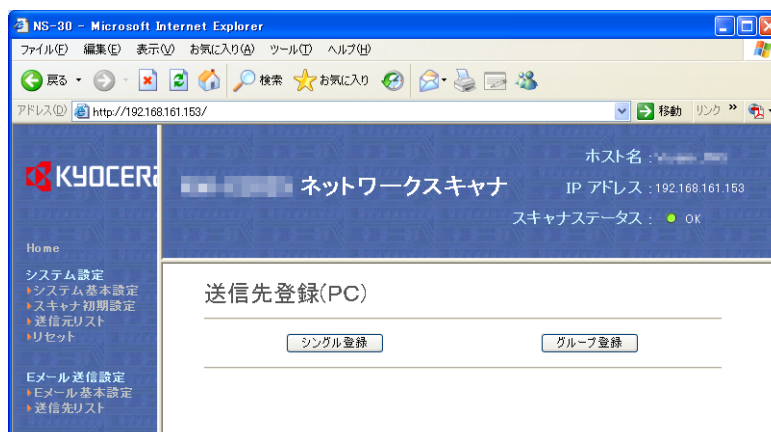
この項目をクリックすると、送信先 PC の登録画面が表示されます。100 件（No.001 ～ No.100）までの送信先 PC の登録・確認・編集を行うことができます。

参考：各番号の**登録名称**が設定されている場合は、テキストボックス内に表示されます。

設定を行いたい送信先 PC の番号をクリックすると、**送信先** PC 画面が開きます。

設定項目	説明
No.	登録番号が表示されます。登録・編集を行いたい番号をクリックすると、**送信先登録**（PC）画面が表示します。
種別	登録方法がシングル登録かグループ登録かを表示します。 ：グループ登録されている場合に表示します。 ：シングル登録されている場合に表示します。
登録名称	設定されている登録名称を表示します。

注意：送信先 PC の登録や編集を行うときは、必ず最後に**登録**ボタンをクリックしてください。

送信先登録（PC）

シングル登録で登録するか**グループ登録**で登録するかを選択します。

シングル登録ボタンまたは**グループ登録**ボタンをクリックすると登録・編集画面が表示されます。

送信先登録（PC）シングル登録

登録名称／送信先 PC ／保存先番号の登録編集をすることができます。

設定項目	説明
登録番号	**送信先リスト**で選択した番号がここに表示されています。送信先 PC 登録テーブルの何番を登録・修正しているかを確認できるよう表示されているもので、変更等はできません。
フリガナ	登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
登録名称	登録名称を入力する欄です。ここで設定した名称は、送信先 PC 登録テーブルおよび本体操作部に表示されます。登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。

設定項目	説明
送信先 PC	送信先 PC の IP アドレスまたはホスト名を入力する欄です。両方を入力した場合は、IP アドレスが優先されます。ホスト名は 32 文字以内（半角英数字）で入力してください。
保存先番号	1 台のコンピュータに対し、複数の保存先を指定する場合には、保存先番号を入力してください。1 台のコンピュータに対して最大 100 件まで保存先（フォルダ）を指定することができます。（保存先番号は、1 ～ 100 が使用可能です）
登録ボタン	**登録**ボタンをクリックすると、設定内容がスキャナに反映されます。クリックしない場合は、入力した情報は破棄されます。
リセットボタン	**リセット**ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。
登録削除ボタン	**登録削除**ボタンをクリックすると、表示されている送信先が削除されます。

送信先登録（PC）グループ登録

送信先（PC）グループの登録編集をすることができます。

注意：送信先登録（PC）**シングル登録**を登録しないと、送信先登録（PC）**グループ登録**はできません。

グループに登録したい送信先を選んで、No. の横のチェックボックスをクリックしてください。グループの登録名称やパスワードを入力して**登録**ボタンをクリックすると送信先グループに登録されます。

設定項目	説明
フリガナ	登録名称のフリガナを 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
登録名称	登録名称を入力する欄です。ここで設定した名称は、送信先 PC 登録テーブルおよび本体操作部に表示されます。登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
登録番号	**送信先リスト**で選択した番号がここに表示されています。送信先登録テーブルの何番を登録・修正しているかを確認できるように表示されているもので、変更等はできません。
グループパスワード変更	グループパスワードを入力する欄です。パスワードの変更をする場合は**する**、しない場合は**しない**を選択してください。
新しいパスワード	パスワードを変更する場合は、ここに新しいパスワードを 8 桁以内（数字）で入力してください。
新しいパスワードの確認入力	確認のため、**新しいパスワード**欄で入力した文字列をもう一度入力してください。
登録ボタン	**登録**ボタンをクリックすると、設定内容がスキャナに反映されます。クリックしないでページを移動した場合は、入力した情報は破棄されます。
選択取消ボタン	**選択取消**ボタンをクリックすると、送信先の選択を解除します。
リセットボタン	**リセット**ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。
登録削除ボタン	**登録削除**ボタンをクリックすると、表示されている送信先が削除されます。

E メール送信設定

スキャンした画像をコンピュータへメール送信する際の各種設定について説明しています。

E メール基本設定

ここでは、メール送信時に基本となる部分の設定をします。

注意：設定を行った後は、**登録**ボタンをクリックしてください。

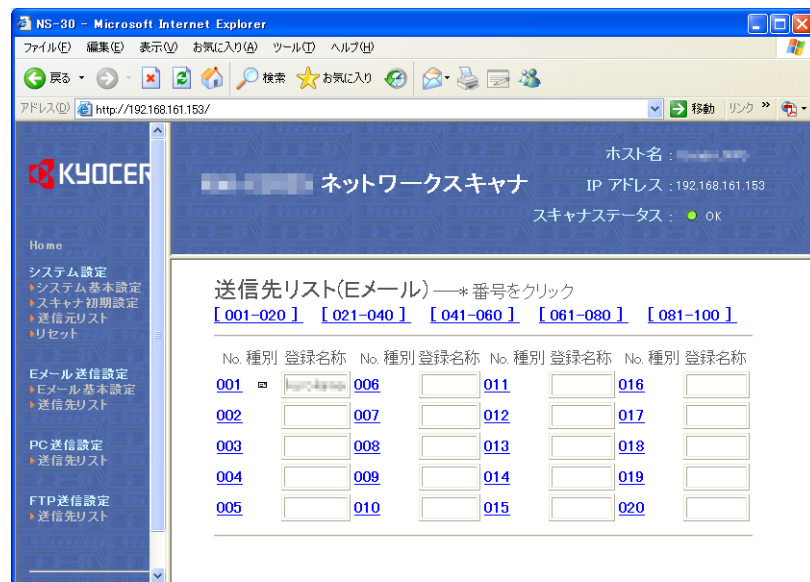
設定項目	説明
項目	＜送信ドメイン設定＞ **送信制限なし** / **送信許可ドメイン名** / **送信制限ドメイン名**の中から送信ドメインを選択します。 **送信制限なし**を選択するとドメインによる E メール送信制限を行わず、ドメイン登録の内容は無視されます。 **送信許可ドメイン名**を選択すると登録ドメインと一致するドメインを持つ宛先だけに E メール送信を許可します。 **送信制限ドメイン名**を選択すると登録ドメインと一致するドメインを持つ宛先だけに E メール送信を許可しません。 ＜ドメインデータ＞ ドメインデータを入力します。各ドメインは改行区切り、500 文字以内（半角英数字）で入力します。ドメインは最大 10 ドメインまで登録できます。アスタリスク（*）などのワイルドカードは使用できません。 一括指定をする場合は「co.jp」のように入力してください。
データサイズ	E メール送信 1 件あたりの画像データサイズの上限を設定します。 **制限なし** / **高**（2048KB）/ **中**（1024KB）/ **低**（512KB）
件名	メールの件名を 32 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）または全角入力 16 文字以内で入力してください。

設定項目	説明
本文	メールの本文は、この欄に入力してください。メールの本文には、500 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）または全角入力 250 文字以内の文章を登録することができます。
文字コードセット	ここでは、メールに記述している文字の**コードセット**を指定します。**コードセット**は、US-ASCII（English）/SHIFT-JIS（Japanese）/ISO-8859-1（West Europe）/Windows-1252（West Europe）/Windows-1250（Central Europe）の中から選択することができます。 初期値は、US-ASCII（English）が設定されています。メール配信先の PC 環境に合わせてコードセットしてください。配信先が日本語環境であれば、SHIFT-JIS（Japanese）を選択します。
登録ボタン	**登録**ボタンをクリックすると、設定内容がスキャナに反映されます。クリックしないでページを移動した場合は、入力した情報は破棄されます。
リセットボタン	**リセット**ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。

送信先リスト

送信先リスト

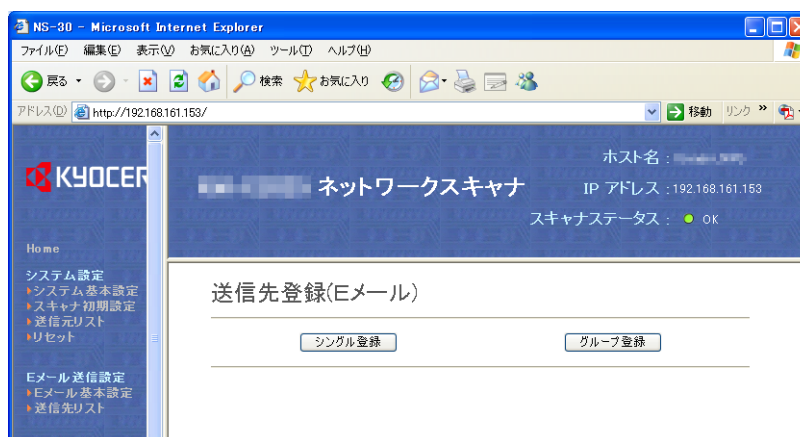
この項目をクリックすると、送信先登録画面が表示され、100 件（No.001 〜 No.100）までの送信先アドレスの登録・確認・編集を行うことができます。

参考：各番号の**登録名称**が設定されている場合は、テキストボックス内に表示されます。

送信先アドレスの設定を行いたい番号をクリックすると、**送信先登録**画面が開きます。

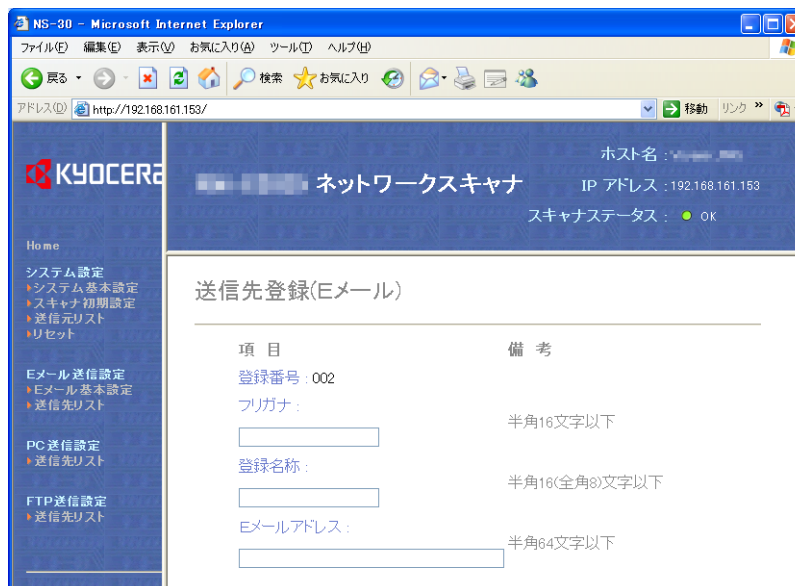
設定項目	説明
No.	登録番号が表示されます。登録・編集を行いたい番号をクリックすると、**送信先登録（E メール）**画面が表示します。
種別	登録方法をシングル登録またはグループ登録かを表示します。 ：グループ登録されている場合に表示します。 ：シングル登録されている場合に表示します。
登録名称	設定されている登録名称を表示します。

注意：設定を行った後は、必ず**登録**ボタンをクリックしてください。

送信先登録（E メール）

シングル登録で登録するか**グループ登録**で登録するかを選択します。

シングル登録ボタンまたは**グループ登録**ボタンをクリックすると登録・編集画面が表示されます。

送信先登録（E メール）シングル

個々の番号ごとの登録名称／送信先 E メールアドレスの登録編集をします。

設定項目	説明
登録番号	**送信先アドレスリスト**で選択した番号がここに表示されています。配信先登録テーブルの何番を登録・修正しているかを確認できるよう表示されているもので、変更等はできません。
フリガナ	登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
登録名称	登録名称を入力する欄です。ここで設定した名称は、送信先リスト（E メール）および本体操作部に表示されます。登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
E メールアドレス	送信先の E メールアドレスを入力する欄です。
登録	**登録**ボタンをクリックすると、設定内容がスキャナ本体側に登録されます。クリックしない場合、入力した内容は破棄されます。
リセットボタン	**リセット**ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。
登録削除ボタン	**登録削除**ボタンをクリックすると、表示されている送信先が削除されます。

送信先登録（E メール）グループ登録

送信先（E メール）グループの登録編集をすることができます。

注意：送信先登録（E メール）**シングル登録**を登録しないと、送信先登録（E メール）**グループ登録**はできません。

グループに登録したい送信先を選んで、No. の横のチェックボックスをクリックしてください。グループの登録名称やパスワードを入力して**登録**ボタンをクリックすると送信先グループに登録されます。

設定項目	説明
フリガナ	登録名称のフリガナを 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
登録名称	登録名称を入力する欄です。ここで設定した名称は、送信先（E メール）登録テーブルおよび本体操作部に表示されます。登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
登録番号	**送信先リスト**で選択した番号がここに表示されています。送信先登録テーブルの何番を登録・修正しているかを確認できるように表示されているもので、変更等はできません。
登録ボタン	**登録**ボタンをクリックすると、設定内容がスキャナに反映されます。クリックしないでページを移動した場合は、入力した情報は破棄されます。
選択取消ボタン	**選択取消**ボタンをクリックすると、送信先の選択を解除します。
リセットボタン	**リセット**ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。
登録削除ボタン	**登録削除**ボタンをクリックすると、表示されている送信先が削除されます。

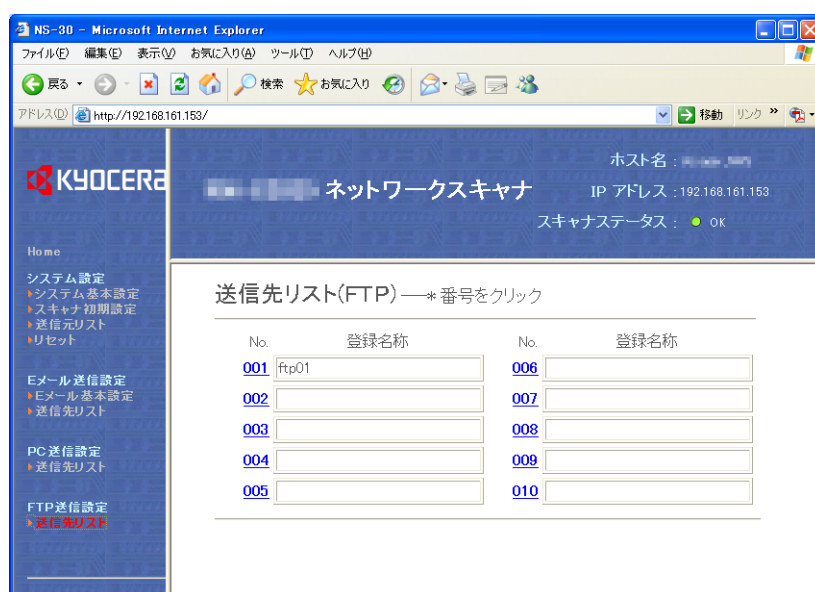
FTP 送信設定

スキャナで読み取った画像データをあらかじめ登録した FTP サーバにアップロードすることができます。ここでは、その場合の FTP サーバの登録について説明しています。

送信先リスト

送信先リスト（FTP）

この項目をクリックすると、FTP サーバの登録画面が表示されます。10 件（No.001 ～ No.010）までの FTP サーバの登録・確認・編集を行うことができます。

参考：各番号の**登録名称**が設定されている場合は、テキストボックス内に表示されます。

設定を行いたい FTP サーバの番号をクリックすると、**送信先登録（FTP）**画面が開きます。

設定項目	説明
No.	登録番号が表示されます。登録・編集を行いたい番号をクリックすると、**送信先登録（FTP）**画面が表示します。
登録名称	設定されている登録名称を表示します。

注意：FTP サーバの登録や編集を行うときは、必ず最後に**登録**ボタンをクリックしてください。

送信先登録（FTP）

FTP サーバの登録編集をすることができます。

設定項目	説明
登録番号	**送信先リスト**で選択した番号がここに表示されています。送信先登録（FTP）テーブルの何番を登録・修正しているかを確認できるよう表示されているもので、変更等はできません。
フリガナ	登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
登録名称	登録名称を入力する欄です。ここで設定した名称は、送信先 PC 登録テーブルおよび本体操作部に表示されます。登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
FTP サーバ名	FTP サーバのホスト名または IP アドレスを入力してください。ホスト名は 64 文字以内（半角英数字）で入力してください。
ポート番号	FTP サーバのポート番号を入力してください。（通常は 21）
パス	アップロードしたいフォルダのパスを入力してください。例えば、ホームディレクトリ内の ScanData フォルダに保存する場合であれば、ScanData と入力してください。何も入力しない場合は、ホームディレクトリに保存されます。
認証情報入力の省略	**する**を選択すると送信時にユーザ名とパスワードの入力を省略することができます。**する**を設定する場合は、下の項目のログインアカウント名とパスワードを登録してください。
ログインアカウント名	FTP サーバにログインするためのユーザ名を入力してください。
パスワード変更	FTP サーバにログインするためのパスワードの変更をする場合は**する**、しない場合は**しない**を選択してください。
新しいパスワード	パスワードを変更する場合は、新しいパスワードを 32 文字以内で入力してください。
新しいパスワードの確認入力	確認のため、**新しいパスワード**欄で入力した文字列をもう一度入力してください。

設定項目	説明
登録ボタン	**登録**ボタンをクリックすると、設定内容がスキャナに反映されます。クリックしない場合は、入力した情報は破棄されます。
リセットボタン	**リセット**ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。
登録削除ボタン	**登録削除**ボタンをクリックすると、表示されている送信先が削除されます。

6　付属スキャナユーティリティ

この章では、スキャナユーティリティについて説明します。

- 付属ユーティリティのご紹介 ...6-2 ページ
- Scanner File Utility...6-3 ページ
- Address Editor...6-15 ページ
- アドレス帳 for Scanner...6-36 ページ
- TWAIN Source...6-48 ページ
- DB Assistant...6-56 ページ

付属ユーティリティのご紹介

- Scanner File Utility（6-3 ページ参照）

  Scanner File Utility は、スキャナで読み込んだ画像イメージをコンピュータで受信し、指定したフォルダに保存するユーティリティです。Scanner File Utility は、スキャナから受信した画像イメージをファイルとして保存します。

- Address Editor（6-15 ページ参照）

  Address Editor は、スキャナのアドレス帳（共通アドレス帳）の登録、編集を行うためのツールです。管理者がアドレス帳のメンテナンスを行う場合に使用します。Address Editor に対応したスキャナが複数存在している場合は、それら全てのスキャナに同じ送信先リストを設定することなども容易に行えます。

- アドレス帳 for Scanner（6-36 ページ参照）

  アドレス帳 for Scanner は、コンピュータにインストールするアドレス帳です。これを使用すると、ユーザが自分専用の送信先リストを作成、利用することが可能になります。スキャナの操作部で**個人アドレス帳**を選択すると、そのときのユーザが利用できるアドレス帳 for Scanner が参照され、送信先の選択ができます。

- TWAIN Source（6-48 ページ参照）

  TWAIN Source は、TWAIN 対応アプリケーションから操作を行い、スキャナで読み込んだ画像イメージを TWAIN 対応アプリケーションに取り込むことを可能にするユーティリティです。取り込んだ画像は、TWAIN 対応アプリケーションで保存したり、加工することができます。

- DB Assistant（6-56 ページ参照）

  DB Assistant は、画像データに文書情報を追加させることで、コンピュータ上からファイルの検索、または分類をより簡単に行うことができます。この機能には、スキャンした画像に文書情報としてキーワード追加する KM-DB アシスト機能と、CSV ファイルを作成するデータベースアシスト機能があります。特に、KM-DB アシスト機能は、コンピュータ上にある画像保存先フォルダのインデックス項目をスキャナ操作部上に表示させることができます。

Scanner File Utility

Scanner File Utility について

Scanner File Utility は、スキャナで読み込んだ画像イメージをコンピュータで受信し、指定したフォルダに保存するユーティリティです。Scanner File Utility は、スキャナから受信した画像イメージをコンピュータ上で保存します。Scanner File Utility のインストール後はコンピュータの起動と同時にユーティリティも起動します。タスクバー上には、起動中を示すアイコンが表示され、スキャナからのデータを常時待ち受けます。

コンピュータでの操作は、任意の保存先フォルダやフォルダパスワードを事前に設定するだけです。あとはスキャナからの操作で指定したフォルダに画像データを保存することができます。

参考：Scanner File Utility を使用するためには、Address Editor、アドレス帳 for Scanner または Web ページ機能を使って、事前にスキャナ本体に対し、送信先のコンピュータと、保存先フォルダの情報を登録しておくことが必要です。

DB Assistant を使ってスキャンした画像に文書情報を追加する場合は、保存先コンピュータ上で Scanner File Utility を起動させ、KM-DB アシスト（画像に文書情報を追加）で送信するか、データベースアシスト（画像と文書情報として CSV ファイルの作成）で送信するか選択する必要があります。

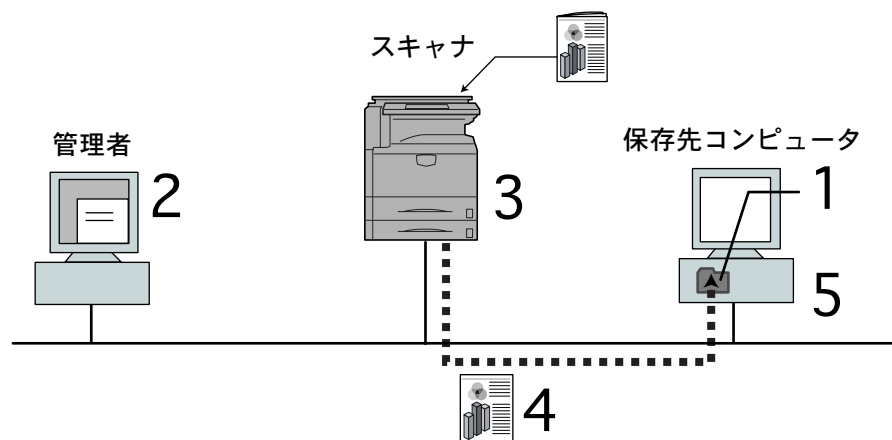
事前準備

Scanner File Utility を使う際は、まず下記に示す設定を行ってください。

1. Scanner File Utility をコンピューターにインストールします。（6-4 ページ参照）
2. Scanner File Utility を起動し、画像ファイルの保存先フォルダを登録します。（6-8 ページ参照）
3. Address Editor、アドレス帳 for Scanner または Web ブラウザからファイル保存先 PC の IP アドレス、登録名称と保存先番号を登録します。

参考：保存先番号入力欄に Scanner File Utility で登録した保存先フォルダの No.（1~100）と同じ番号を入力します。

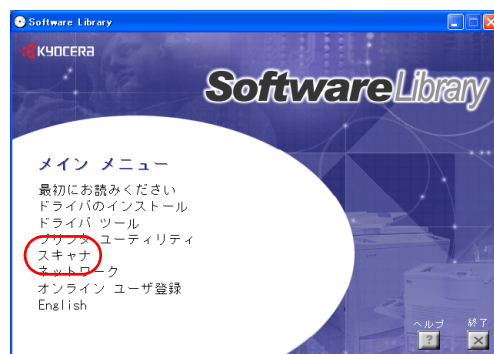
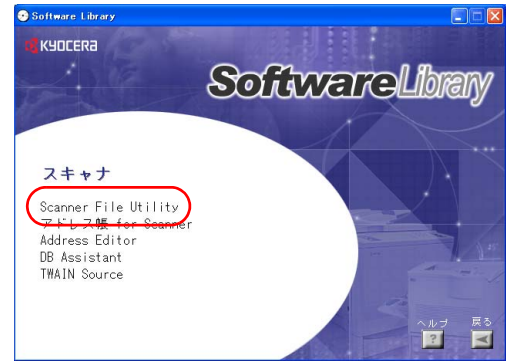
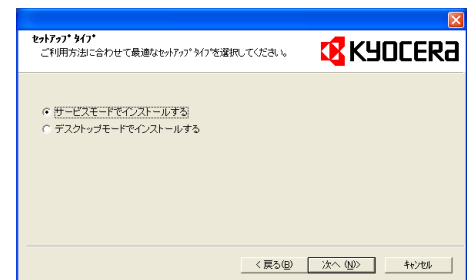
操作の流れ

Scanner File Utility を使って画面をコンピュータに保存するまでの操作の流れは、次のとおりです。

1. Scanner File Utility で保存先フォルダを作成
2. Address Editor、アドレス帳 for Scanner、または Web ブラウザからデータ保存先のコンピュータを登録
3. 原稿をスキャン
4. スキャンデータの通信
5. 保存先フォルダに画像データを受信

動作環境	
ハードウェア	IBM PC/AT 互換機
インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX
オペレーティングシステム	Windows NT 4.0（Service Pack 5 以降）、 Windows 2000（Service Pack 2 以降）、 Windows 98（Second Edition）、Windows 95（OSR2）、 Windows Me、Windows XP、Windows Server 2003

インストールとアンインストール

Scanner File Utility のインストール

1 Kyocera Mita Software Library CD-ROM のメインメニューで**スキャナ**をクリックしてください。

2 Scanner File Utility をクリックしてください。

3 ウィザードの指示にしたがって、インストールの操作を行ってください。

参考：Windows 2000、Windows XP または Windows Server 2003 の場合、セットアップタイプの選択画面が表示されます。以下のセットアップタイプを選択して次に進んでください。

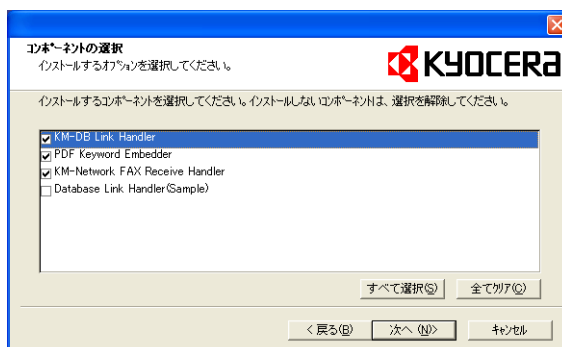
- **サービスモードでインストールする**

  Scanner File Utility をファイルサーバなど、共有で使用する場合に選択します。（コンピュータがログオフ状態でも、Scanner File Utility が使用できるようになります。）（6-14 ページ参照）

- **デスクトップモードでインストールする**

  Scanner File Utility を個人的に使用する場合に選択します。（コンピュータをログオンすると、Scanner File Utility が使用できるようになります。）

参考：一度 Scanner File Utility をインストールした後、セットアップタイプをデスクトップモードからサービスモードに変更したい場合は、Windows の**プログラムの追加と削除**機能で**修正**を行うとセットアップタイプを変更することができます。

インストール中、以下のコンポーネントを追加する画面が表示されます。DB Assistant または、Network FAX を用いて、以下の機能を使用する場合は選択して次に進んでください。

- PDF Keyword Embedder

  KM-DB アシスト（スキャンした画像に文書情報**キーワード**を追加します。）

- KM-DB Link Handler

  KM-DB アシスト（KM-DocumentBinder を使用する場合。）

- KM-Network FAX Receive Handler

  Network FAX を使用する場合に追加します。詳細はオプションのファクスキットの**使用説明書**を参照してください。

- DataBase Link Handler

  データベースアシスト（スキャンした画像と共に文書情報をもった CSV ファイルを作成します。）

参考：インストール完了後、コンピュータの起動時に Scanner File Utility も起動し、バックグラウンドで常時動作します。Windows のタスクバーにはそれを示すアイコンが表示されます。

Scanner File Utility のアンインストール

Windows の**プログラムの追加と削除**機能を使ってアンインストールを行ってください。

スタートダイアログボックス

Scanner File Utility は、インストール後自動的に起動しますが、このプログラムを終了させるときや、スキャナから受信した画像イメージの保存先フォルダの登録やフォルダパスワードの設定を行うときには、スタートダイアログボックスを表示させてください。

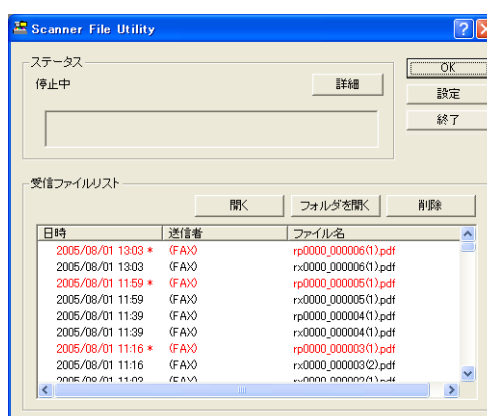
スタートダイアログボックスの表示方法

- **プログラムが起動中のとき**

  タスクバーのアイコンをダブルクリックしてください。Scanner File Utility のスタートダイアログボックスが表示されます。

- **プログラムが終了しているとき**

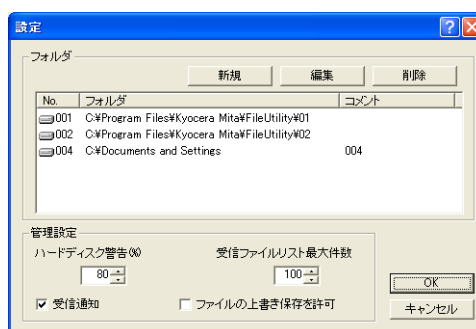
  Windows タスクバーのスタートボタンをクリックし、表示されるメニューから**プログラム→ Scanner User Software → Scanner File Utility** の順に選択してください。Windows のタスクバーに Scanner File Utility の起動を示すアイコンが表示されます。その後は表示されたアイコンをダブルクリックしてください。スタートダイアログボックスが表示されます。

スタートダイアログボックスについて

項目	説明
ステータス欄	スキャナのステータスが表示されます。
OK ボタン	クリックするとスタートダイアログボックスを閉じます。
設定ボタン	保存先フォルダの設定および変更やパスワードを設定するときなどにクリックしてください。(6-8 ページ参照) Scanner File Utility をサービスモードでインストールした場合は、Scanner File Utility の**停止**を行うと、**設定**ボタンがクリックできるようになります。(6-14 ページ参照)
終了ボタン	クリックすると Scanner File Utility が終了します。Scanner File Utility をサービスモードでインストールした場合、ここの**終了**ボタンはありません。
詳細ボタン	現在接続中のスキャナの一覧を表示します。
受信ファイルリスト	受信したファイルのリストを表示します。

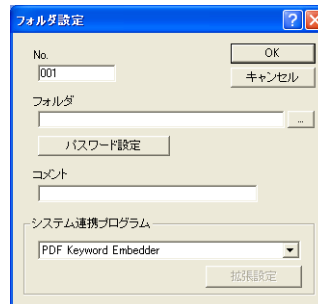
項目	説明
開くボタン	選択したリストの受信ファイルを開きます。
フォルダを開くボタン	選択したリストの受信フォルダを開きます。
削除ボタン	選択したリストを一件削除します。

ファイル保存先フォルダ設定

設定ダイアログボックスについて

保存先フォルダの設定および変更やパスワードを設定するときは、スタートダイアログボックスの**設定**ボタンをクリックしてください。**設定**ダイアログボックスが表示され、すでに設定されているフォルダを確認することができます。

項目	説明
新規ボタン	保存先フォルダを新規設定するときにクリックしてください。
編集ボタン	保存先フォルダの設定を変更するときにクリックしてください。
削除ボタン	保存先フォルダの設定を削除するときにクリックしてください。
No.	保存先フォルダのフォルダ番号です。
フォルダ	保存先フォルダを示しています。
コメント	各フォルダに対するコメントが表示されています。
ハードディスク警告（%）	ハードディスクドライブの使用量がここで入力する % に達したら、スタートダイアログボックスのステータス欄に警告メッセージが表示されます。 Scanner File Utility の起動中は Windows のタスクバー上にアイコンが表示されますが、ハードディスクドライブの使用量がここで入力する警告 % に達したときは、アイコンの色が黄色に変わり、そのことを知らせます。
受信通知	新規のファイル保存が行われるとディスプレイ上に受信通知を表示します。受信通知にチェックし、新しい画像を受信すると受信通知画面が表示されます。**開く**ボタンをクリックすると、スタートダイアログボックスを表示します。
ファイルの上書き保存を許可	受信フォルダに同じ名称のファイルが送信されたとき、上書きを許可します。許可しない場合、新規ファイルの名称を変更して保存します。
受信ファイルリスト最大件数	受信ファイルリストの最大表示件数を設定します。（10 件～ 100 件）
OK ボタン	保存先フォルダについての設定や変更などが終わったときは、このボタンをクリックしてください。スタートダイアログボックスに戻ります。

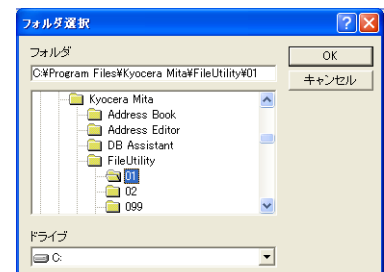
保存先フォルダの新規設定

保存先フォルダを新たに設定するときは、**設定**ダイアログボックスの**新規**ボタンをクリックしてください。新規設定用の**フォルダ設定**ダイアログボックスが表示されます。

1 No. 欄に任意の数字（1-100）を入力してください。

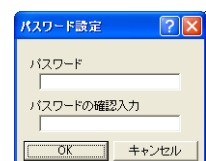
参考：ここで入力する数字は、保存先フォルダに対して番号付けを行うためのもので、保存先番号として使用されます。スキャナ本体側では、Web ブラウザを使った設定の中で（保存先番号）、この保存先番号を使って保存先フォルダの指定をします。

2 保存先として新しく設定するフォルダを入力するために、**フォルダ**欄の右横の ...（参照）ボタンをクリックしてください。**フォルダ選択**ダイアログボックスが表示されます。

参考：**フォルダ**欄に直接フォルダ名を入力することもできます。直接入力する場合は、目的フォルダまでのパスも併せて入力してください。

フォルダ選択ダイアログボックスには、ドライブに存在するフォルダがリスト表示されています。保存先フォルダとして指定するフォルダを選択し、OK ボタンをクリックしてください。

参考：事前にネットワークドライブを割り当てておくと、ネットワークドライブからフォルダを選択することができます。（Scanner File Utility をデスクトップモードでインストールした場合のみ）

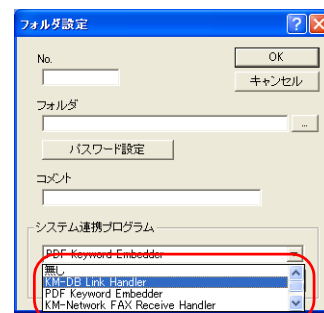
FD や MO などの取り外し可能なメディアドライブから選択することはできません。

3 指定するフォルダにセキュリティ用のパスワードを設定することができます。パスワードを設定する場合は、**パスワード設定**ボタンをクリックしてください。表示された**パスワード設定**画面の**パスワード**欄に 8 桁以内の数字で入力してください。

参考：このパスワードは不要であれば、特に設定する必要はありません。

4 **パスワード**欄にパスワードを入力したときは、入力に誤りがないかを確認するために、同じ入力内容を**パスワードの確認入力**欄にも入力してください。入力が完了したら OK ボタンをクリックしてください。**フォルダ設定**画面に戻ります。

参考：フォルダパスワードを設定した場合、スキャナ本体側での操作時にこのパスワードの入力が必要となります。

5 保存先フォルダについてのコメントを付加するときは、**コメント**欄に入力してください。

6 **システム連携プログラム**欄でシステム連携するプログラムを設定します。もし、スキャンする画像に以下の連携を行う場合は必ず選択してください。

参考：この機能をを使用するためには、DB Assistant（6-56 ページ参照）、または Network FAX の設定が必要です。（Network FAX の詳細はオプションのファクスキットの**使用説明書**を参照してください。）

- **無し**

  スキャンデータをそのまま、指定フォルダに保存します。

- PDF Keyword Embedder

  KM-DB アシスト機能（スキャンした画像に文書情報**キーワード**を付加します。）

- KM-DB Link Handler

  KM-DB アシスト機能（KM-DocumentBinder を使用する場合。）

- KM-Network FAX Receive Handler

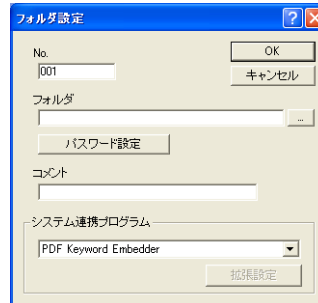
  Network FAX を使用する場合に追加します。詳細はオプションのファクスキットの**使用説明書**をご覧ください。

- DataBase Link Handler

  データベースアシスト機能（スキャンした画像と共に文書情報をもった CSV ファイルを作成します。）

7 入力が完了したら OK ボタンをクリックしてください。入力した内容で保存先フォルダが設定されます。

既存保存先フォルダの設定変更

既に設定された保存先フォルダについての設定内容を変更するときは、リスト表示された中から該当する保存先を選択し、**設定**ダイアログボックスの**編集**ボタンをクリックしてください。設定変更用の**フォルダ設定**ダイアログボックスが表示されます。

1. No. 欄、**フォルダ**欄、**コメント**欄の内容を変更する場合の入力については、6-9 ページの**保存先フォルダの新規設定**を参照して操作を行ってください。

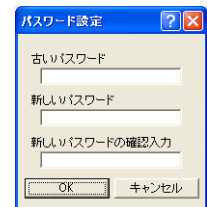
2. フォルダに設定されたセキュリティ用パスワードを変更するときは、**パスワード設定**ボタンをクリックしてください。**パスワード設定**画面が表示されます。**古いパスワード**欄に現在設定されているパスワードを入力してください。

3. **新しいパスワード**欄に新しくパスワードとして設定する数字を 8 桁以内で入力してください。

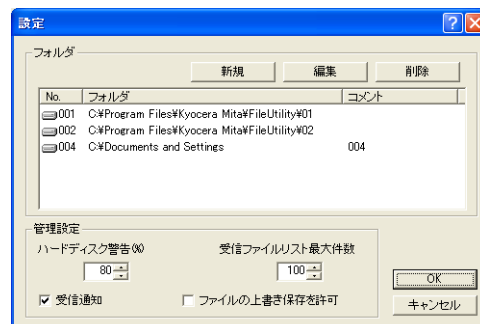
4. 確認のため、**新しいパスワードの確認入力**欄にも同じパスワードを入力してください。入力が完了したら、OK ボタンをクリックしてください。各パスワード欄の入力に誤りがなければ、**フォルダ設定**画面が表示されます。

5. 保存先フォルダについてのコメントを変更するときは、**コメント**欄に 32 文字以内（半角英数字半角カタカナ）または全角入力 16 文字以内で入力してください。

6. **システム連携プログラム**欄の内容を変更する場合は、6-9 ページの**保存先フォルダの新規設定**の手順 6 を参照して操作を行ってください。

7. OK ボタンをクリックしてください。保存先フォルダについての設定内容が変更されます。

既存保存先フォルダの指定解除

既に設定された保存先フォルダとしての指定を解除するときは、次の操作を行ってください。

1 **設定**ダイアログボックスにおいて、**フォルダ**欄にリスト表示されている保存先フォルダの中から指定を解除したいフォルダをクリックで選択してください。選択されると反転表示されます。

2 **削除**ボタンをクリックしてください。選択した保存先フォルダの指定が解除されます。

ファイル保存機能

操作手順の概要

Scanner File Utility を使ったスキャナからの画像イメージデータの受信方法は次のように行います。

1 画像イメージデータを受信するコンピュータ側で Scanner File Utility が起動中であることを確認してください。

参考：Scanner File Utility が起動していないときは、6-7 ページの**スタートダイアログボックスの表示方法**を参照して起動させてください。

2 スキャナ本体に原稿をセットしてください。

3 スキャナ本体操作部から送信先を選択してください。

4 保存先のフォルダにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力してください。

参考：パスワードを設定していないときは、この操作は不要です。

パスワードが正しくない場合は、エラーとなり次の操作に進めません。

5 本体操作部の［**スタート**］キーを押してください。原稿が読み取られ、スキャナからコンピュータ側にイメージデータの送信が行われます。コンピュータ側では、受信した画像イメージデータを圧縮ファイルに変換し、指定した保存先フォルダに保存します。

参考：指定のフォルダに保存されたファイルは、市販アプリケーションを使用して表示 / 編集 / メール送信などを行うことができます。

ファイル名について

コンピュータ側でデータファイルを保存する際、ファイル名（16 文字以内の文字列 + 拡張子）は事前に Web ブラウザからの設定で決めた内容が付加されます。特に設定していない場合は、一定のルールにしたがって自動的に付加されます。ファイル名が自動付加される際のルールは次の通りです。

ファイル名：*******nnnn __ mmm. 拡張子

文字列	説明
*******	スキャナごとに登録されているファイル名で、英数字で表現されます。
nnnn	文書読み込み番号を意味し、0000 ～ 9999 の 4 桁の数字で表現されます。
mmm	複数枚の原稿を 1 ページごとのファイルで保存する場合に使用され、000 ～ 999 までの 3 桁の数字で表現されます。
拡張子	拡張子は、Scanner File Utility が保存形式に応じて自動的に付加します。

注意：自動付加ルールによって番号が一巡したファイル名と同一のファイル名が同じフォルダに存在する場合で、設定ダイアログボックスの**ファイルの上書き保存を許可**にチェックしている（6-8 ページ参照）とき、先に存在するファイルは、後から保存されるファイルによって上書きされます。

画像データについて

- ファイル形式

  JPEG 形式、TIFF 形式および PDF 形式 † をサポートしています。

参考：JPEG 形式は、フルカラーまたは自動カラーでスキャンしたときに対応します。自動カラーは「**白黒選択**」で［**白黒グレー**］を選択した場合のみ対応します。

- 画像データサイズ

  定形サイズ：A3、A4、A5、B4、B5、B6、11 × 15"、Folio、11 × 17"、8 1/2 × 11"、8 1/2 × 14"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 13"、8 1/2 × 13 1/2 "、8K、16K
  不定形サイズ：幅 50 ～ 432 mm（17"）、高さ 50 ～ 297 mm（A4 長）

参考：複数ページの画像データ受信時、ページごとに読み込みサイズを変更することはできません。（連続読み込み設定時を除く。）

- 解像度（DPI）

  200 × 200 dpi、300 × 300 dpi、400 × 400 dpi、600 × 600 dpi の 4 とおりの解像度をサポートしています。

参考：複数ページの画像データ受信時、ページごとに解像度を変更することはできません。（連続読み込み設定時を除く。）

† HyperGEAR,Inc. 製 PDF 変換ライブラリを使用。

ハードディスク書込エラーが発生したとき

スキャナからの画像データを受信中にハードディスクの空き容量が不足したときは、それ以降の画像データの受信は中止され、それまでに受信した画像データは破棄されます。

注意：アイコンの色が黄色に変わったら注意！

ハードディスクドライブの使用量があらかじめ指定した警告 % に達したときは、Windows のタスクバー上に表示されているアイコンの色が黄色に変わり、そのことを知らせます。このときは、データを他のメディアに退避させるなどしてハードディスクの整理を行ってください。

サービスモードについて（Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 のみ）

Scanner File Utility をサービスモードでインストールした場合、以下の設定が追加されます。

1 PC がログオフ状態でも、Scanner File Utility でスキャンデータの配信ができるようになります。

2 Scanner File Utility の設定を変更する場合は、Scanner File Utility で**停止**を選択します。再び、スキャンデータの配信を行うには、Scanner File Utility で**開始**を選択します。

- Scanner File Utility の**停止**を行うには ...

  タスクバーのアイコンを右クリックし、ドロップダウンリストを表示させ、**停止**を選択してください。アイコンに禁止マークが表示され、Scanner File Utility でスキャンデータの配信が禁止されます。

  Scanner File Utility の停止

- Scanner File Utility の**開始**を行うには ...

  タスクバーのアイコンを右クリックし、ドロップダウンリストを表示させ、**開始**を選択してください。アイコンの禁止マークが解除され、Scanner File Utility でスキャンデータの配信が行えるようになります。

  Scanner File Utility の開始

Address Editor

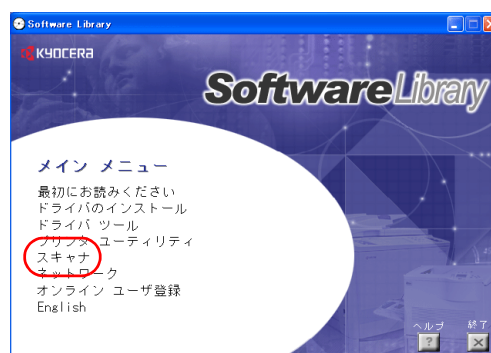
Address Editor について

Address Editor は、スキャナのアドレス帳（共通アドレス帳）の登録、編集をはじめ、ネットワーク設定、スキャナ機能の初期設定などを行うことができます。管理者がアドレス帳のメンテナンスなどをおこなう場合に使用します。Address Editor に対応したスキャナが複数存在している場合は、それら全てのスキャナに同じ送信先リストを設定することなども容易に行えます。

推奨動作環境	
ハードウェア	IBM PC/AT 互換機
インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX
オペレーティングシステム	Windows NT 4.0（Service Pack 5 以降）、 Windows 2000（Service Pack 2 以降）、 Windows 98（Second Edition）、Windows 95（OSR2）、 Windows Me、Windows XP、Windows Server 2003

インストールとアンインストール

Address Editor のインストール

1 Kyocera Mita Software Library CD-ROM のメインメニューで**スキャナ**をクリックしてください。

2 Address Editor をクリックしてください。

3 ウィザードの指示にしたがって、インストールの操作を行ってください。

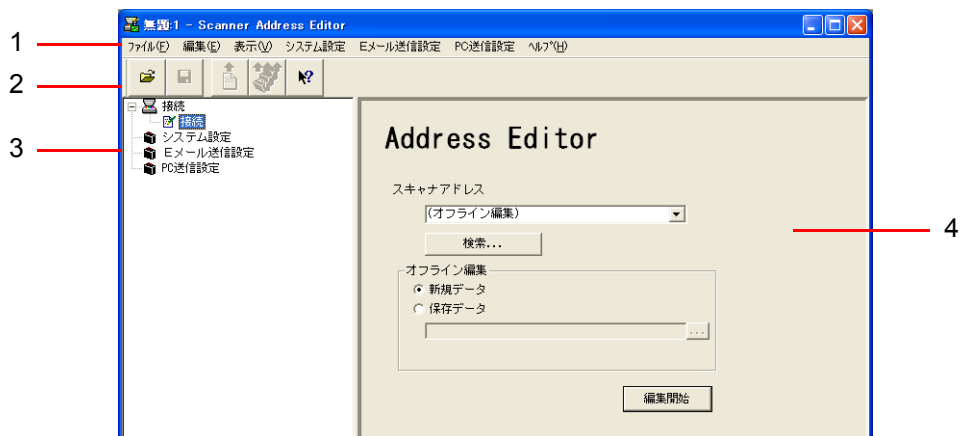
Address Editor のアンインストール

Windows の**プログラムの追加と削除**機能を使ってアンインストールを行ってください。

Address Editor の起動

1 Address Editor を起動してください

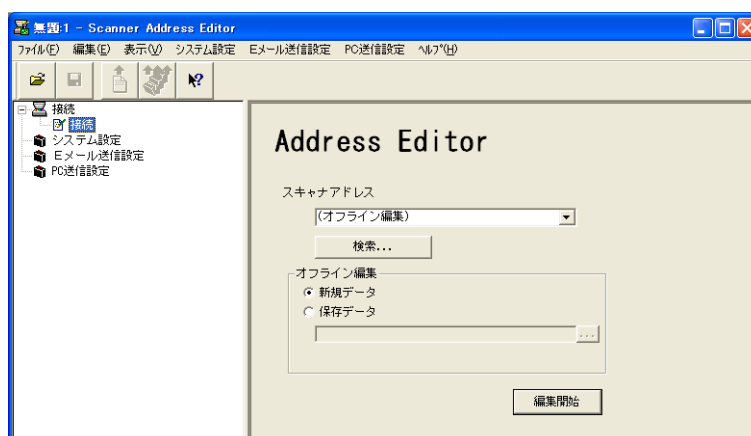
参考：Windows のスタートボタンをクリックし、表示されるメニューから**プログラム**→ Scanner User Software → Address Editor の順に選択すると、Address Editor が起動します。

2 Address Editor のメインメニュー画面が表示されます。

番号	項目	説明
1	メニューバー	ツールバーやメニューエリアのボタン操作などはメニューバーの中から選択して実行できます。
2	ツールバー	編集データのスキャナへの書き込みなどの操作を簡単に行うためのボタンが並んでいます。
3	メニューエリア	スキャナ、E メール送信などの設定したい項目の選択を行うことができます。
4	作業エリア	各設定ウインドウを表示して設定します。

編集データ選択画面

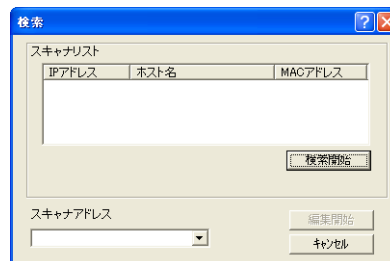
編集を行う Address Editor データを選択します。スキャナと接続を行い、直接スキャナの設定情報の編集・登録を行う方法とスキャナと接続を行わずに設定データの作成・編集を行う方法があります。スキャナと接続を行わずに作成・編集を行った設定データは、編集終了後スキャナと接続を行いスキャナに登録できます。

参考：Address Editor 起動時は**接続（スキャナアドレス設定）**が選択されます。

スキャナアドレス設定

項目	説明
スキャナアドレス	接続するスキャナのアドレス（ホスト名または IP アドレス）を入力します。ドロップダウンリストには、過去に通信を行った最大 10 件までのスキャナアドレスを表示します。ホスト名は 32 文字以内（半角英数字）で入力してください。
検索ボタン	接続するスキャナを検索します。DHCP サーバにより IP アドレスの設定を行っている場合やスキャナの IP アドレスがわからない場合に使用してください。スキャナ検索の操作方法は、6-18 ページの**スキャナ検索**を参照してください。
新規データ	スキャナと接続を行わず、新規に Address Editor データの作成・編集をします。
保存データ	すでに作成保存されている Address Editor データを開き、編集をします。
... ボタン	スキャナ設定データファイルを選択するダイアログボックスを開き、データを読み出します。
編集開始ボタン	Address Editor データの編集を開始します。 スキャナアドレスが指定されている場合、スキャナとの接続を行いスキャナの設定データを取り出します。 **オフライン編集**で新規データを選択した場合は、初期値にて編集を開始します。

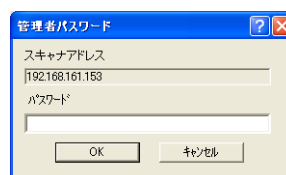
スキャナ検索

ネットワークに接続されているスキャナを検索します。

参考：スキャナ検索は、一定時間内に応答のあったスキャナのみリスト表示されます。

項目	説明
IP アドレス	スキャナに設定されている IP アドレスをリスト表示します。
ホスト名	スキャナに設定されているホスト名をリスト表示します。
MAC アドレス	スキャナの MAC アドレス（イーサネットアドレス）をリスト表示します。
検索開始ボタン	スキャナの検索を実行します。
スキャナアドレス	検索結果のリストをクリックするとスキャナアドレスが表示されます。 検索を実行せずに、ドロップダウンメニューから過去に通信を行ったスキャナアドレスを選択できます。 スキャナアドレスを直接入力できます。
編集開始ボタン	選択されたスキャナへの接続を行いスキャナの設定データの編集を開始します。 使用中のスキャナを検索した場合は、そのホスト名を表示しません。

パスワードの入力（スキャナ接続時）

スキャナへの接続時、スキャナ設定や情報読み出しのため管理者のパスワードの入力を行う必要があります。

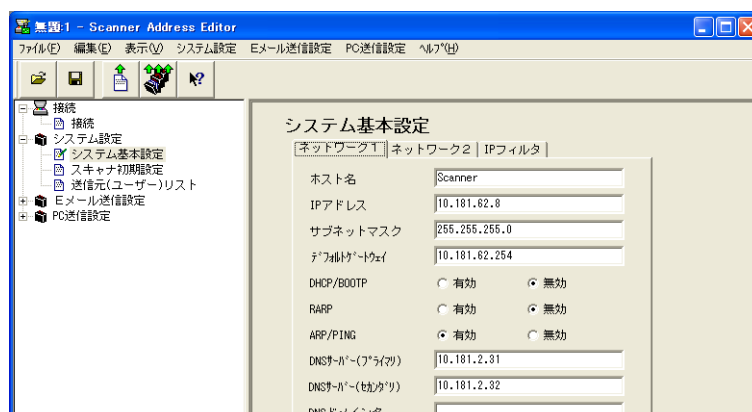
参考：管理者パスワードは 5-9 ページの**セットアップ - 管理者**（Web ブラウザ）、または 6-20 ページの**パスワードの設定**（Address Editor）で設定します。

項目	説明
スキャナアドレス	接続先スキャナの IP アドレスを表示します。
パスワード	接続先のスキャナに設定されている管理者のパスワードを入力してください。

システム設定

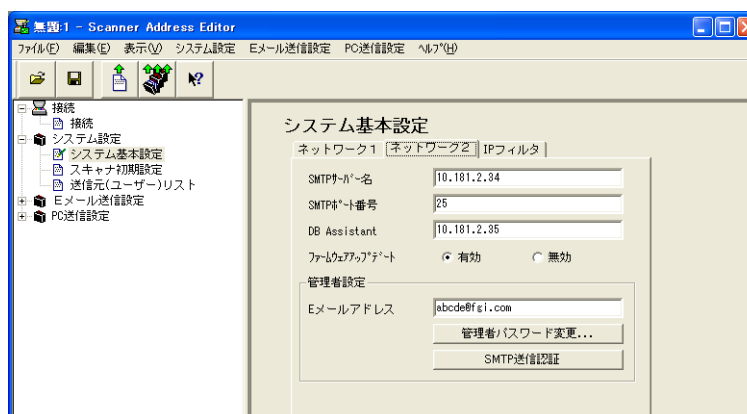
スキャナの基本設定を行います。

システム基本設定

スキャナの IP アドレスなど、ネットワークへの接続に関する設定をします。

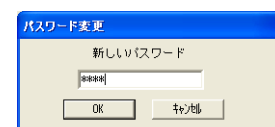
ネットワーク 1 タブ

項目	説明
ネットワーク 1/ ネットワーク 2 /IP フィルタ切替タブ	**ネットワーク 1**、**ネットワーク 2**、**IP フィルタ**設定の切替をします。
ホスト名	スキャナのホスト名を 32 文字以内（半角英数字）で入力してください。
IP アドレス	スキャナインタフェースの IP アドレスを XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力してください。設定を保存すると、変更確認のダイアログボックスが表示します。IP アドレスの確認をしてください。
サブネットマスク	スキャナインタフェースのサブネットマスクを XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力してください。
デフォルトゲートウェイ	スキャナのデフォルトゲートウェイを XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力してください。他のネットワークまたはサブネットにパケットを転送するために使用します。
DHCP/BOOTP	DHCP と BOOTP を**有効**と**無効**のどちらかにするかの設定をします。初期値は**有効**に設定されています。
RARP	RARP を**有効**と**無効**のどちらかにするかの設定をします。初期値は**有効**に設定されています。
ARP/PING	ARP/PING を**有効**と**無効**のどちらかにするかの設定をします。初期値は**有効**に設定されています。
DNS サーバ（プライマリ）	DNS サーバが設置された環境で、ホスト名を使ってデータ送信をする場合には、この欄にプライマリの DNS サーバの IP アドレスを XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力してください。
DNS サーバ（セカンダリ）	この欄にセカンダリの DNS サーバの IP アドレスを XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力してください。
DNS ドメイン名	ドメイン名を、32 文字以内（半角英数字）で入力してください。

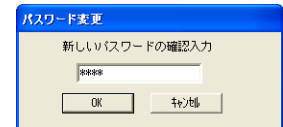
項目	説明
WINS サーバ（プライマリ）	コンピュータ名から IP アドレスへの解決に WINS（Windows Internet Name Service）を使用する場合には、この欄にプライマリの WINS サーバの IP アドレスを XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力してください。
WINS サーバ（セカンダリ）	この欄にセカンダリの WINS サーバの IP アドレスを XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力してください。
スコープ ID	この欄にスコープ ID を入力してください。

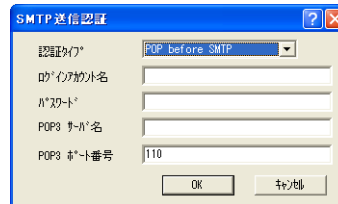
ネットワーク 2 タブ

項目	説明
SMTP サーバ名	この欄に SMTP サーバの IP アドレスを XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力するか、ホスト名を 32 文字以内（半角英数字）で入力してください。
SMTP ポート番号	この欄に SMTP ポート番号を入力してください。初期設定のポート番号は 25 です。
DB Assistant	DB Assistant をインストールしているコンピュータの IP アドレス、またはホスト名を 32 文字以内（半角英数字）で入力してください。
ファームウェアアップデート	ファームウェアのアップデートを許可する場合は**有効**、許可しない場合は、**無効**を選択します。
E メールアドレス	管理者の E メールアドレスを入力してください。E メールアドレスは 64 文字以内（半角英数字）で入力してください。
管理者パスワード変更ボタン	管理者のパスワードを設定します。（6-20 ページ参照）
SMTP 送信認証ボタン	管理者用のメール送信認証を設定します。（6-21 ページ参照）

パスワードの設定

管理者のパスワードを設定します。

1 新規パスワードを入力して、OK ボタンをクリックします。

参考：パスワードは 15 文字以内（半角英数字）で入力してください。

2　確認のため、再度同じパスワードを入力して、OK ボタンをクリックします。

SMTP 送信認証（管理者用）の設定

管理者用のメール送信認証を設定します。

1　SMTP **認証**、POP before SMTP、POP before SMTP（APOP）または**認証しない**を選択してください。

2　メール送信認証に使用する**ログインアカウント名**を入力します。

3　パスワードを**パスワード**欄に入力します。

参考：パスワードは 31 文字以内（半角英数字）で入力してください。

4　メール送信認証に使用する POP3 サーバの IP アドレスまたはサーバ名を POP3 **サーバ名**に入力してください。

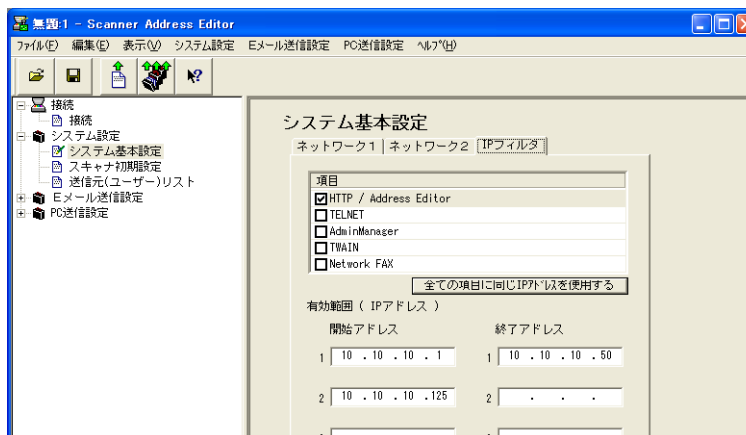
参考：POP before SMTP または POP before SMTP(APOP) で認証する場合に入力してください。

5　POP3 サーバのポート番号を POP3 **ポート番号**に入力してください。

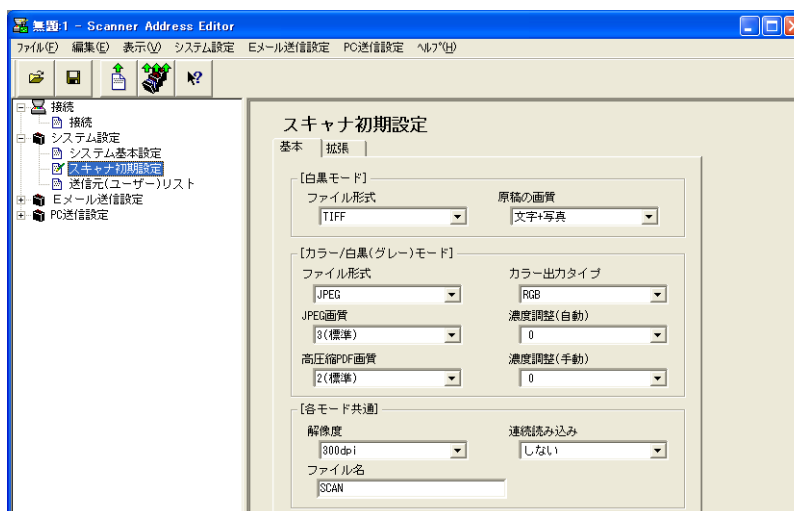
参考：POP before SMTP または POP before SMTP(APOP) で認証する場合に入力してください。

6　OK ボタンをクリックします。

IP フィルタタブ選択時

参考：IP フィルタの設定、詳細については 5-11 ページの **IP フィルタ**を参照してください。

項目	説明
項目	フィルタリングを行いたい項目にチェックしてください。
全ての項目に同じ IP アドレスを使用する	**項目**でチェックを入れた全ての項目に**有効範囲（IP アドレス）**で設定した同じ IP アドレスを有効にします。
有効範囲（IP アドレス）	有効にする IP アドレス範囲を 4 つまで入力できます。単一の IP アドレスを有効にする場合は、**開始アドレス**にのみ入力します。

スキャナ初期設定

スキャナの画像読み込みに関する初期設定を行うことができます。設定項目には、**基本**設定と**拡張**設定があり、**拡張**ボタンをクリックすると**拡張**設定が表示されます。

基本 - 白黒モード

設定内容は次のとおりです。

設定項目	設定値	説明
ファイル形式	TIFF/PDF	スキャン画像を保存する際のファイル形式を指定します。
原稿の画質	**写真** / **文字** / **文字** + **写真** /OCR	スキャンする原稿の種類に合わせて、次の 4 つのモードを選択することができます。

基本 - カラー / 白黒（グレー）モード

設定内容は次のとおりです。

設定項目	設定値	説明
ファイル形式	JPEG/TIFF† /PDF/ **高圧縮** PDF††	スキャン画像を保存する際のファイル形式を指定します。
JPEG **画質**	1（低）/2/3（標準）/4/5（高）	JPEG 画質を設定します。
高圧縮 PDF **画質**	1（圧縮率優先）/2（標準）/3（画質優先）	高圧縮 PDF の画質を設定します。
カラー出力タイプ	RGB/sRGB	カラー出力タイプを設定します。
濃度調整（自動）	-3 ～ +3	濃度調整で**自動**を設定している場合に、全体的な濃淡を調整します。
濃度調整（手動）	-3 ～ +3	濃度調整で**手動**を設定している場合に、全体的な濃淡を調整します。

† 本機では、フルカラーまたは白黒グレーモード時に TIFF ファイル形式をサポートしていないため、自動的に PDF ファイル形式に変換します。

†† PDF アップグレードキットを装備していないときは、**高圧縮** PDF にしていても、自動的に PDF ファイル形式に変換します。

基本 - 各モード共通

設定内容は次のとおりです。

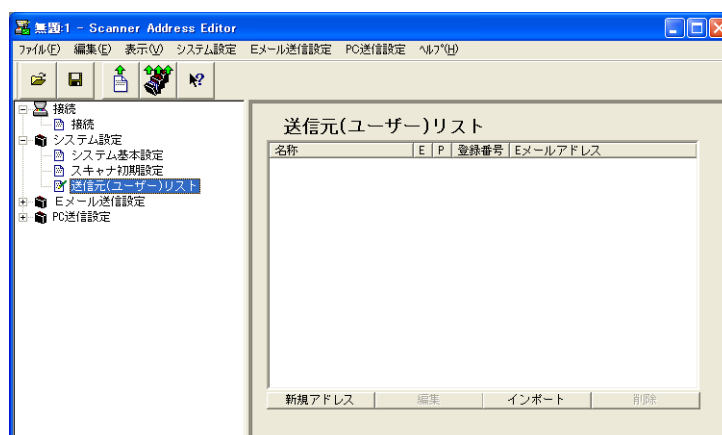
設定項目	設定値	説明
解像度	600dpi/400dpi/300dpi/200dpi	原稿読取時の解像度を 4 つの中から選ぶことができます。
連続読み込み	**する** / **しない**	継続して原稿を読み込むか選択します。
ファイル名	ファイル名は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字）で入力してください。	スキャン画像保存時の名称を設定します。

拡張

設定内容は次のとおりです。

設定項目	設定値	説明
フルスキャン	—	本スキャナでは機能しません。
センター移動	**設定する / 設定しない**	原稿サイズと送信サイズを指定して変倍でスキャンした場合、サイズによっては用紙の下側または左右どちらかに余白ができます。センター移動を設定していると、上下または左右に余白が均等になるように画像をセンターに移動させます。
圧縮サイズ超過時の非圧縮	—	本スキャナでは機能しません。
連続送信	**設定する / 設定しない**	一度送信が終了して、次の送信を実行する際に、前に送信した同じ設定で送信することができます。送信元（ユーザ）、宛先および各種設定が、保持された状態でスキャン機能画面に戻ります。
ファイル名入力	**手動 / 自動 / 手動**	ファイル名の自動 / 手動の選択画面を表示せずにファイル名の入力画面を表示させることができます。
送信元（ユーザ）選択省略	**設定する / 設定しない**	本スキャナを使用するには、まず、送信元（ユーザ）を選択する操作をします。**設定する**を設定すると、送信元（ユーザ）をユーザ番号 001 に固定して、送信元（ユーザ）の選択を省略することができます。
カラー設定	**自動カラー / フルカラー / 白黒**	初期設定モードでのカラーモードを設定します。
白黒選択	**白黒 2 階調 / 白黒グレー**	白黒でスキャンする際に、2 階調かグレースケールを選択することができます。

送信元リスト

ネットワークスキャナ機能（E メール送信、PC 送信）を使用できる送信元（ユーザ）リストの設定をします。

項目	説明
名称	送信元としてスキャナ本体の操作部上に表示する名称 < フリガナ > を表示します。
E	送信先リスト（E メール）に関連付けされているアドレスが登録されていると、この欄に＊が表示されます。編集の際には、送信先リスト（E メール）も同様に変更されます。
P	送信先リスト（PC）に関連付けされているアドレスが登録されていると、この欄に＊が表示されます。編集の際には、送信先リスト（PC）も同様に変更されます。
登録番号	送信元データの登録番号を表示します。登録番号はスキャナ本体の操作部にリスト表示されます。登録できる件数は最大 40 件です。
E メールアドレス	送信元の E メールアドレスを表示します。
新規アドレスボタン	送信元データを新規に作成するときにクリックしてください。送信元の編集ダイアログボックスが表示されます。（6-26 ページ参照）
編集ボタン	送信元データの編集をするときにクリックしてください。送信元の編集ダイアログボックスが表示されます。（6-26 ページ参照）
インポートボタン	Address Editor ファイルと CSV ファイルから送信元データをインポートするときにクリックしてください。インポートするためのダイアログボックスが表示されます。（6-33 ページ参照）
削除ボタン	選択中の送信元データを削除するときにクリックしてください。送信元を複数選択して削除することもできます。

送信元アドレス登録（編集）

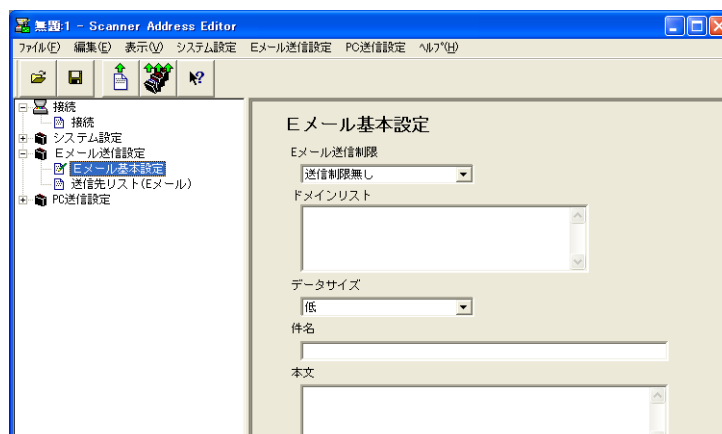
送信元アドレスの新規登録または編集をします。

項目	説明
名称（フリガナ）	登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
名称（日本語）	登録名称を入力する欄です。登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
登録番号	送信元データの登録番号を入力します。設定できる登録番号は 001 ～ 040 です。
E メールアドレス	送信元の E メールアドレスを入力します。
署名	E メール送信時の署名データを入力します。署名は全角 128 文字以内、半角 256 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
個人アドレス帳 PC アドレス	個人アドレス帳の PC アドレスを入力します。
保存先番号	PC 送信での送信先 PC の保存先番号を設定します。設定できる保存先番号は 001 ～ 100 です。
パスワード変更ボタン	各ユーザのパスワードを変更します。パスワードは半角数字 8 文字で入力してください。
SMTP 認証設定ボタン	各ユーザの SMTP 認証を設定します。 各ユーザに SMTP 認証を設定する場合は、事前にシステム基本設定で SMTP 認証を設定する必要があります。（6-19 ページ参照）
送信先リスト（E メールに追加する）	この項目にチェックすると、送信元（ユーザ）のアドレスを E メール送信先リストに追加します。
送信先リスト（PC に追加する）	この項目にチェックすると、送信元（ユーザ）のアドレスを PC 送信先リストに追加します。

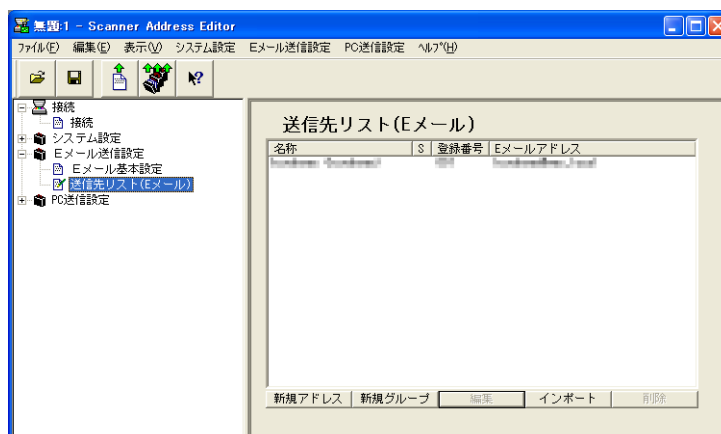
E メール送信設定

スキャンした画像を E メール送信でコンピュータに送信する際に、基本設定や送信先の登録 / 編集などの設定をします。

メール基本設定

E メール送信時に基本となる項目の設定をします。

項目	説明
E メール送信制限	送信制限無し / 送信許可ドメイン名 / 送信制限ドメイン名の中から送信ドメインを選択します。 **送信制限無し**を選択するとドメインによる E メール送信制限を行わず、ドメイン登録の内容は無視されます。 **送信許可ドメイン名**を選択すると登録ドメインと一致するドメインを持つ宛先だけに E メール送信を許可します。 **送信制限ドメイン名**を選択すると登録ドメインと一致するドメインを持つ宛先だけに E メール送信を許可しません。
ドメインリスト	ドメインデータを入力します。各ドメインは改行区切り、500 文字以内（半角英数字）で入力します。ドメインは最大 10 ドメインまで登録できます。アスタリスク（＊）などのワイルドカードは使用できません。 一括指定をする場合は「co.jp」のように入力してください。
データサイズ	E メール送信で送信する画像サイズを設定します。 **低**（512KB）/ **中**（1024KB）/ **高**（2048KB）/ **無制限**
件名	メールの件名を設定します。32 文字以内の半角英数文字または 16 文字以内の全角文字で入力します。
本文	メール本文の入力を行います。500 文字以内の半角英数字または 250 文字以内の全角文字で入力します。
文字コードセット	件名、本文で使用している文字のキャラクタセットを設定します。使用環境（各言語）に合わせて設定してください。 SHIFT-JIS（Japanese）/US-ASCII（English）/ISO-8859-1（West Europe）/Windows-1252（West Europe）/Windows-1250（Central Europe）

E メール送信先リスト

E メール送信時の E メール送信先リストの表示・編集をします。

項目	説明
名称	E メール送信先としてスキャナ本体の操作部に表示する名称＜フリガナ＞を表示します。
S	送信元（ユーザ）リストに関連付けされているアドレスが登録されていると、この欄に＊が表示されます。編集の際には、送信元（ユーザ）リストも同時に変更されます。
登録番号	送信先データの登録番号を表示します。登録できる登録番号は 001 ～ 100 です。
E メールアドレス	送信先の E メールアドレスを表示します。
新規アドレスボタン	送信先 E メールアドレスを新規に作成するときにクリックしてください。送信先の編集ダイアログボックスが表示されます。（6-29 ページ参照）
新規グループボタン	送信先 E メールグループを新規に作成するときにクリックしてください。送信先グループ登録ダイアログボックスが表示されます。（6-29 ページ参照）
編集ボタン	送信先の E メールアドレス / グループアドレスデータの編集をするときにクリックしてください。送信先の編集ダイアログボックスが表示されます。（6-29 ページ参照）
インポートボタン	Address Editor、アドレス帳 for Scanner、Outlook からのエクスポートを使った csv 形式のアドレスデータをインポートするときにクリックしてください。インポートするためのダイアログボックスが表示されます。（6-33 ページ参照）
削除ボタン	送信先の E メールアドレス / グループアドレスデータを削除するときにクリックしてください。送信先を複数選択して削除することもできます。

送信先の編集（E メール送信）

送信先 E メールアドレスの表示または編集をします。

項目	説明
名称（フリガナ）	登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
名称（日本語）	登録名称を入力する欄です。登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
登録番号	送信先データの登録番号を入力します。
E メールアドレス	送信先の E メールアドレスを入力します。

送信先グループ登録 / 編集

送信先 E メールグループアドレスの表示または編集をします。

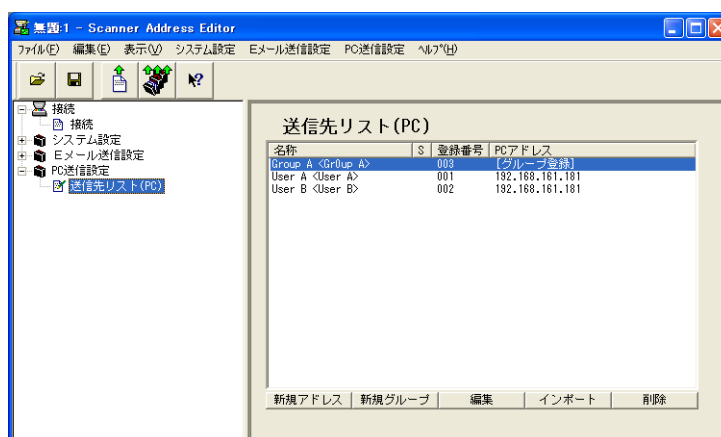
項目	説明
名称（フリガナ）	登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
名称（日本語）	登録名称を入力する欄です。登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
登録番号	送信先データの登録番号を入力します。
グループのメンバー	グループ内に登録されているメンバーの名称、登録番号、E メールアドレスを表示します。

項目	説明
削除ボタン	選択したアドレスをグループのメンバーから削除します。削除されたアドレスは、**追加可能なメンバー**に追加されます。
追加可能なメンバー	グループに追加できるメンバーの名称、登録番号、E メールアドレスを表示します。
追加ボタン	選択したアドレスをグループとして**グループのメンバー**に追加します。追加されたアドレスは、**追加可能なメンバー**から削除されます。**グループのメンバー**には、最大 30 件までアドレスを登録できます。

PC 送信設定

スキャンした画像を PC 送信で送信する際に、送信先の登録 / 編集などの設定をします。

送信先リスト

PC 送信時の送信先リストの表示・編集をします。

項目	説明
名称	PC 送信先としてスキャナ本体の操作部に表示する名称＜フリガナ＞を表示します。
S	送信元（ユーザ）リストに関連付けされているアドレスが登録されていると、この欄に＊が表示されます。編集の際には、送信元（ユーザ）リストも同時に変更されます。送信先としてスキャナ本体の操作部に表示する名称＜フリガナ＞を表示します。
登録番号	送信先 PC データの登録番号を表示します。登録できる登録番号は 001 ～ 100 です。
PC アドレス	送信先 PC のホスト名または IP アドレスを表示します。
新規アドレスボタン	送信先 PC アドレスを新規に作成するときにクリックしてください。送信先の編集ダイアログボックスが表示されます。（6-31 ページ参照）
新規グループボタン	送信先 PC グループを新規に作成するときにクリックしてください。送信先グループ登録ダイアログボックスが表示されます。（6-32 ページ参照）

項目	説明
編集ボタン	送信先 PC アドレス / グループの編集をするときにクリックしてください。送信先の編集ダイアログボックスが表示されます。（6-31 ページ参照）
インポートボタン	Address Editor、アドレス帳 for Scanner からアドレスデータをインポートするときにクリックしてください。インポートするためのダイアログボックスが表示されます。（6-33 ページ参照）
削除ボタン	選択中の配信先 PC アドレス /PC グループデータを削除するときにクリックしてください。送信先を複数選択して削除することもできます

送信先の編集（PC 送信）

送信先 PC アドレスの表示または編集をします。

項目	説明
名称（フリガナ）	登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
名称（日本語）	登録名称を入力する欄です。登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
登録番号	送信先 PC の登録番号を入力します。
PC アドレス	送信先 PC のホスト名または IP アドレスを入力します。
保存先番号	保存先のフォルダ番号を表示します。

送信先グループ登録 / 編集

送信先 PC グループアドレスの表示または編集をします。

項目	説明
名称（フリガナ）	登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
名称（日本語）	登録名称を入力する欄です。登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。
登録番号	送信先 PC の登録番号を入力します。
パスワード変更	PC グループアドレスのパスワード変更をします。
グループのメンバー	グループ内に登録されているメンバーの名称、登録番号、PC アドレスを表示します。
削除	選択したアドレスをグループのメンバーから削除します。削除されたアドレスは、**追加可能なメンバー**に追加されます。
追加可能なメンバー	グループに追加できるメンバーの名称、登録番号、PC アドレスを表示します。
追加ボタン	選択したアドレスをグループのメンバーに追加します。追加されたアドレスは、**追加可能なメンバー**から削除されます。**グループのメンバー**には、最大 30 件までアドレスを登録できます。

ツールバー

ツールバーには編集データのスキャナへの書き込みなどの操作を簡単におこなうためのボタンが並んでいます。

番号	項目	説明
1	開くボタン	Address Editor ファイルを指定して開きます。
2	保存ボタン	編集したデータをファイルに保存します。
3	データ送信ボタン	編集したページの設定データをスキャナに登録します。
4	一括送信ボタン	編集したすべての設定データをスキャナに登録します。
5	ヘルプボタン	ヘルプの表示をします。

アドレスデータのインポート

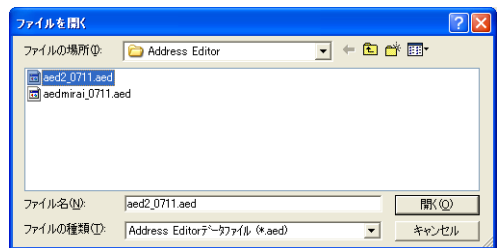
Address Editor では、送信元リスト、送信先リスト（E メール、PC）に Address Editor、アドレス帳 for Scanner、csv 形式のアドレスデータをインポートすることができます。

送信元リスト、送信先リスト（E メール、PC）へ、アドレスデータのインポート

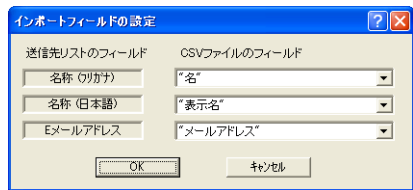
アドレスデータを送信元リスト、送信先リスト（E メール、PC）へインポートすることができます。

注意：送信元リストでインポートすることができるデータは Address Editor（*.aed）データ、outlook（*.csv）データです。

送信先リスト（E メール）でインポートすることができるデータは Address Editor（*.aed）データ、アドレス帳 for Scanner（*.dat）データ、outlook（*.csv）データです。

送信先リスト（PC）でインポートすることができるデータは Address Editor（*.aed）データ、アドレス帳 for Scanner（*.dat）データです。

項目	説明
ファイルの場所	インポートしたいファイルが保存されているフォルダを指定します。
ファイルの一覧	指定したフォルダ内のファイルが一覧表示されます。
ファイルの種類	インポートするデータのファイルの種類を設定します。
ファイル名	選択されたファイル名が表示します。
開くボタン	インポートするデータファイルを開きます。

フィールドの設定

csv ファイルを選択した場合、テキストフィールドを送信先リストの項目に対応付けることができます。

項目	説明
名称（フリガナ）	E メール送信先としてスキャナ本体の操作部に表示する名称のフリガナ。
名称（日本語）	E メール送信先としてスキャナ本体の操作部に表示する名称。
E メールアドレス	送信先リストの E メールアドレス。
csv ファイルのフィールド	csv ファイルに記述された項目名称が表示されます。送信先リストのフィールドに合わせて選択します。

インポート内容の確認

インポートするデータの内容を確認し、リスト（送信元、送信先）に追加します。

項目	説明
選択したアドレス数	インポートするためにリストから選択したエントリーの数を表示します。
編集ボタン	選択したエントリーの内容を編集します。
送信先リスト（Eメール）に追加するボタン	リストから選択したエントリーを送信先リストに追加します。
警告欄	インポートに問題のある内容を含むエントリーに警告記号を表示します。警告記号は以下の通りです。 ？ 名称文字数が制限を越えるときに表示します。編集により文字数を減らすと表示は消えます。 ！ 名称に漢字など（2 バイト文字）を含むときに表示します。編集により英数字に変更すると表示は消えます。 ！ E メールアドレスの文字数が制限が越えているか E メールアドレスとして使用できない文字が含まれているときに表示します。 警告欄が？の場合は、登録可能なデータへの自動変換を行い、送信先リスト（E メール）へ追加します。 警告欄が！の場合は、送信先リスト（E メール）へ追加しません。 送信先リストに同じ名称のデータが登録されていた場合には、インポート時に名称の変更を行った後、送信先リスト（E メール）への追加をします。 登録番号はインポート時に自動で作成されます。 Address Editor およびアドレス帳 for Scanner のグループデータはインポートすることができません。

アドレス帳 for Scanner

アドレス帳 for Scanner について

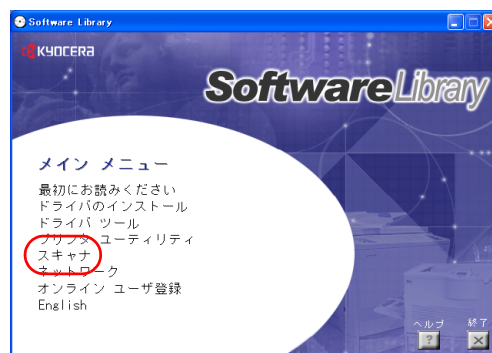
アドレス帳 for Scanner は、スキャナで読み込んだ画像イメージをスキャナからの操作でE メール送信したり PC 送信するときに参照する送信先リストの登録・編集を行うユーティリティです。

アドレス帳 for Scanner のインストール後は PC 起動時と同時にユーティリティも起動します。タスクバー上には、起動中を示すアイコンが表示されます。

動作環境	
ハードウェア	IBM PC/AT 互換機
インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX
オペレーティングシステム	Windows NT 4.0（Service Pack 5 以降)、 Windows 2000（Service Pack 2 以降)、 Windows 98（Second Edition)、Windows 95（OSR2)、 Windows Me、Windows XP、Windows Server 2003

インストールとアンインストール

アドレス帳 for Scanner のインストール

1 Kyocera Mita Software Library CD-ROM のメインメニューで**スキャナ**をクリックしてください。

2 アドレス帳 for Scanner をクリックしてください。

3 ウィザードの指示にしたがって、インストールの操作を行ってください。

参考：PC の起動時にアドレス帳 for Scanner も起動し、バックグラウンドで常時動作します。Windows のタスクバーにはそれを示すアイコンが表示されます。

アドレス帳 for Scanner のアンインストール

Windows の**プログラムの追加と削除**機能を使ってアンインストールを行ってください。

スタートダイアログボックス

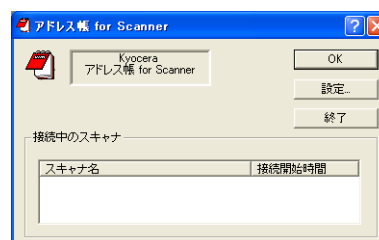
アドレス帳 for Scanner は、インストール後自動的に起動しますが、このプログラムを終了させるときや、送信先リストの登録・編集などをを行うときには、スタートダイアログボックスを表示させてください。

スタートダイアログボックスの表示方法

- **プログラムが起動中のとき**

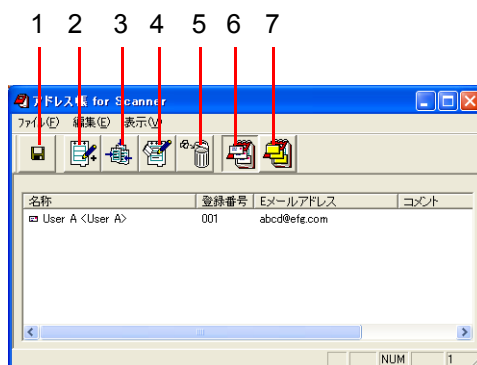
  タスクバーのアイコンをダブルクリックしてください。アドレス帳 for Scanner のスタートダイアログボックスが表示されます。
- **プログラムが終了しているとき**

  Windows タスクバーのスタートボタンをクリックし、表示されるメニューから**プログラム**→ Scanner User Software →**アドレス帳 for Scanner** の順に選択してください。Windows のタスクバーにアドレス帳 for Scanner の起動を示すアイコンが表示されます。その後は表示されたアイコンをダブルクリックしてください。スタートダイアログボックスが表示されます。

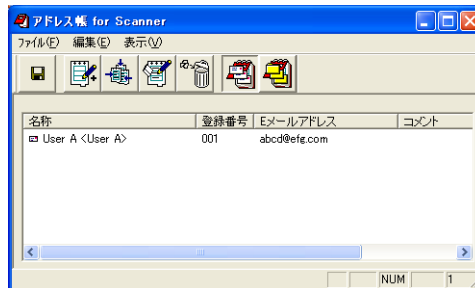
スタートダイアログボックスについて

項目	説明
接続中のスキャナ欄	接続中のスキャナのリストを表示します。**スキャナ名**にはスキャナに登録されているホスト名と IP アドレスを表示します。**接続開始時間**にはスキャナと接続が開始された時間が表示されます。
OK ボタン	クリックするとスタートダイアログボックスを閉じます。
設定ボタン	送信先アドレスの登録や編集を行うときなどにクリックしてください。**アドレス帳 for Scanner** ダイアログボックスが表示されます。
終了ボタン	クリックするとアドレス帳 for Scanner が終了します。

送信先リストの設定

アドレス帳 for Scanner ダイアログボックスについて

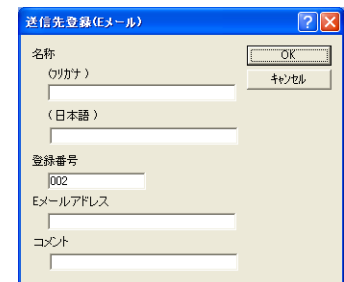
スキャン画像イメージを E メール送信または PC 送信するときの送信先アドレスの登録や編集を行うときは、スタートダイアログボックスの**設定**ボタンをクリックしてください。**アドレス帳 for Scanner** ダイアログボックスが表示され、すでに登録されている送信先アドレスを確認することができます。デフォルトでは E メール送信用の送信先リストが表示されます。

番号	項目	説明
1	**保存**ボタン	送信先リストの変更内容を保存するときにクリックしてください。
2	**新規アドレス**ボタン	E メール送信または PC 送信での送信先アドレスをリストに登録するときにクリックしてください。（6-39 ページまたは 6-42 ページ参照）
3	**新規グループ**ボタン	E メール送信または PC 送信での送信先グループを新規作成するときにクリックしてください。（6-40 ページまたは 6-43 ページ参照）
4	**編集**ボタン	送信先リストに登録されている送信先アドレスまたは送信先グループの登録内容を変更するときにクリックしてください。（6-39 ページまたは 6-42 ページ参照）
5	**削除**ボタン	送信先アドレスまたは送信先グループを送信先リストから削除するときにクリックしてください。
6	**E メールアドレス**ボタン	E メール送信用の送信先リストを表示するときにクリックしてください。
7	**PC アドレス**ボタン	PC 送信用の送信先リストを表示するときにクリックしてください。

E メール送信先リスト

アドレス帳 for Scanner ダイアログボックスで **E メール**ボタンをクリックしてください。E メール送信時の送信先リストが表示されます。

項目	説明
送信先リスト欄	送信先リストに登録されている E メール送信先を一覧表示します。
名称	送信先（グループ）の名称を表示します。スキャナの操作パネルにも同じ名称が表示されます。
登録番号	送信先（グループ）の登録番号を表示します。登録番号は送信先を送信先リストに登録した順に付けられます。
E メールアドレス	送信先の E メールアドレスを表示します。
コメント	送信先についてのコメントを表示します。

E メール送信先の登録と編集

E メール送信先を送信先リストに登録したり、すでに登録されている E メール送信先の登録内容を編集するには**送信先登録（E メール）**ダイアログボックスで設定をします。

1　**アドレス帳 for Scanner** ダイアログボックスで**新規アドレス**ボタンをクリックしてください。**送信先登録（E メール）**ダイアログボックスが表示されます。E メール送信先の編集をする場合は、送信先リストから編集する E メール送信先を選択し、**編集**ボタンをクリックしてください。設定方法は登録、編集いずれの場合も同じです。

2　**名称**に登録する送信先のフリガナを 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナで入力してください。登録する送信先名称（日本語）を 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナ、または漢字 8 文字以内（全角）で入力してください。

3　**登録番号**は、送信先の登録時には登録する順に 001 ～ 100 までの番号が自動的に付けられます。登録番号を変更することもできます。

4　**E メールアドレス**に送信先の E メールアドレスを 64 文字以内の半角英数字で入力してください。

5　コメントを入力してください。

6　OK ボタンをクリックしてください。入力した送信先が登録され、**アドレス帳 for Scanner** ダイアログボックスに戻ります。

7　**アドレス帳 for Scanner** ダイアログボックスで**保存**ボタンをクリックしてください。送信先リストの変更内容が保存されます。

E メール送信先グループの登録と編集

E メール送信先グループを送信先リストに登録したり、すでに登録されている E メール送信先グループの登録内容を編集するには、**送信先グループ登録（E メール）**ダイアログボックスで設定をします。

1　**アドレス帳 for Scanner** ダイアログボックスで**新規グループ**ボタンをクリックしてください。**送信先グループ登録（E メール）**ダイアログボックスが表示されます。E メール送信先グループの編集をする場合は、送信先リストから編集する E メール送信先グループを選択し、**編集**ボタンをクリックしてください。設定方法は登録、編集いずれの場合も同じです。

2　**名称**に登録する送信先のフリガナを 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナで入力してください。登録する送信先名称（日本語）を 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナ、または漢字 8 文字以内（全角）で入力してください。

3　**登録番号**は、送信先グループの登録時には登録する順に 001 ～ 100 までの番号が自動的に付けられます。登録番号を変更することもできます。

4　コメントを入力してください。

5　グループに送信先を追加する場合は**追加**ボタンをクリックしてください。**メンバー編集（E メール）**ダイアログボックスが表示されます。（6-41 ページ参照）

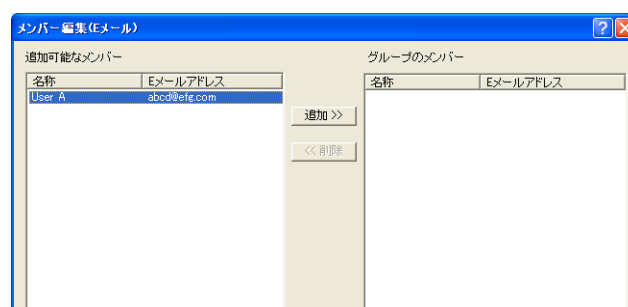
6　グループから送信先を削除する場合は、**E メールアドレス**欄から削除したい送信先を選択して**削除**ボタンをクリックしてください。

7　OK ボタンをクリックしてください。入力した送信先グループが登録され、**アドレス帳 forScanner** ダイアログボックスに戻ります。

8　**アドレス帳 for Scanner** ダイアログボックスで**保存**ボタンをクリックしてください。送信先リストの変更内容が保存されます。

E メール送信先グループへの送信先の追加

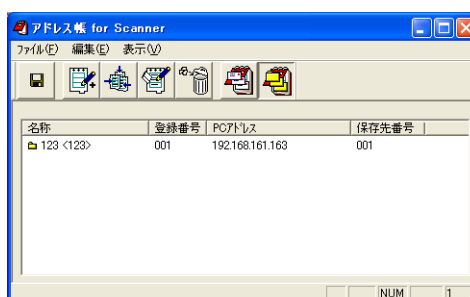
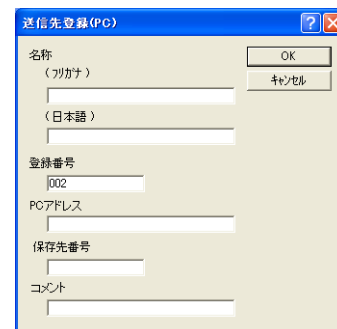
E メール送信先グループへの送信先の追加は**メンバー編集（E メール）**ダイアログボックスで行います。

1 **送信先グループ登録（E メール）**ダイアログボックスで**追加**ボタンをクリックしてください。**メンバー編集（E メール）**ダイアログボックスが表示されます。

2 **追加可能なメンバー**欄から追加する送信先を選択して**追加**ボタンをクリックしてください。

3 グループから送信先を削除する場合は、**グループのメンバー**欄から削除したい送信先を選択して**削除**ボタンをクリックしてください。

4 OK ボタンをクリックしてください。**送信先グループ登録（E メール）**ダイアログボックスに戻ります。

PC 送信先リスト

アドレス帳 for Scanner ダイアログボックスで **PC 送信**ボタンをクリックしてください。PC 送信時の送信先リストが表示されます。

項目	説明
送信先リスト欄	送信先リストに登録されている送信先 PC を一覧表示します。
名称	送信先（グループ）の名称を表示します。スキャナの操作パネルにも同じ名称が表示されます。
登録番号	送信先（グループ）の登録番号を表示します。登録番号は送信先を送信先リストに登録した順に付けられます。
PC アドレス	送信先の PC アドレス（IP アドレスまたはホスト名）を表示します。
保存先番号	送信先 PC の保存フォルダ番号を表示します。
コメント	送信先についてのコメントを表示します。

送信先 PC の登録と編集

送信先 PC を送信先リストに登録したり、すでに登録されている送信先 PC を編集するには、**送信先登録（PC）**ダイアログボックスで設定をします。

1 **アドレス帳 for Scanner** ダイアログボックスで**新規アドレス**ボタンをクリックしてください。**送信先登録（PC）**ダイアログボックスが表示されます。送信先 PC の編集をする場合は、送信先リストから編集する送信先 PC を選択し、**編集**ボタンをクリックしてください。設定方法は登録、編集いずれの場合も同じです。

2 **名称**に登録する送信先のフリガナを 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナで入力してください。登録する送信先名称（日本語）を 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナ、または漢字 8 文字以内（全角）で入力してください。

3 **登録番号**は、送信先 PC の登録時には登録する順に 001 ～ 100 までの番号が自動的に付けられます。登録番号を変更することもできます。

4 **PC アドレス**に送信先 PC の PC アドレス（IP アドレスまたはホスト名）を 32 文字以内の半角英数字で入力してください。

5 **保存先番号**に送信先 PC の保存フォルダ番号を 001 ～ 100 までの数字で入力してください。

6 コメントを入力してください。

7 OK ボタンをクリックしてください。入力した送信先 PC が登録され、**アドレス帳 for Scanner** ダイアログボックスに戻ります。

8 **アドレス帳 for Scanner** ダイアログボックスで**保存**ボタンをクリックしてください。送信先リストの変更内容が保存されます。

送信先 PC グループの登録と編集

送信先 PC グループを送信先リストに登録したり、すでに登録されている送信先 PC グループを編集するには、**送信先グループ登録（PC）**ダイアログボックスで設定をします。

登録手順

1 **アドレス帳 for Scanner** ダイアログボックスで**新規グループ**ボタンをクリックして**送信先グループ登録（PC）**ダイアログボックスを表示してください。送信先 PC グループの編集をする場合は、送信先リストから編集する送信先 PC グループを選択し、**編集**ボタンをクリックしてください。設定方法は登録、編集いずれの場合も同じです。

2 **名称**に登録する送信先のフリガナを 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナで入力してください。登録する送信先名称（日本語）を 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナ、または漢字 8 文字以内（全角）で入力してください。

3 **登録番号**は、送信先の登録時には登録する順に 001 ～ 100 までの番号が自動的に付けられます。登録番号を変更することもできます。

4 グループパスワードの設定または変更を行うときに**パスワード変更**ボタンをクリックしてください。**パスワード変更**ダイアログボックスが表示されます。(6-43 ページ)

5 コメントを入力してください。

6 グループに送信先 PC を追加する場合は、**追加**ボタンをリックしてください。**メンバー編集（PC）**ダイアログボックスが表示されます。(6-44 ページ参照)

7 グループから送信先 PC を削除する場合は、**PC アドレス**欄から削除したい送信先 PC を選択して**削除**ボタンをクリックしてください。

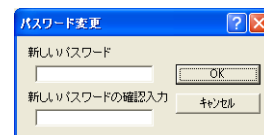
8 OK ボタンをクリックしてください。入力した送信先 PC グループが登録され、**アドレス帳 for Scanner** ダイアログボックスに戻ります。

9 **アドレス帳 for Scanner** ダイアログボックスで**保存**ボタンをクリックしてください。送信先リストの変更内容が保存されます。

送信先 PC グループパスワードの登録と変更

送信先 PC グループパスワードを設定したり、すでに設定されているパスワードを変更するには**パスワード変更**ダイアログボックスで設定をします。

注意：送信先 PC グループのメンバーとなる各 PC のフォルダパスワードは、ここで設定するグループパスワードと同じにしてください。

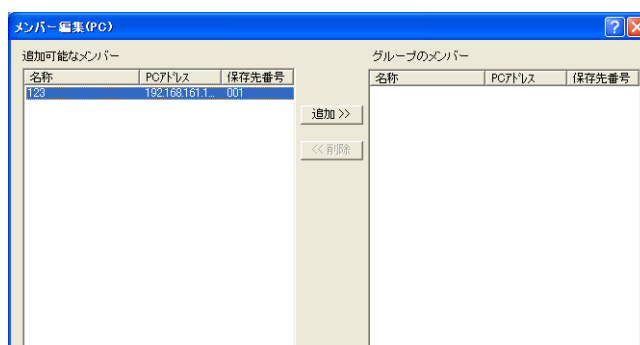
1 **送信先グループ登録**（PC）ダイアログボックスで**パスワード変更**ボタンをクリックしてください。**パスワード変更**ダイアログボックスが表示されます。

2 新しいパスワードを 8 桁以内の数字で入力してください。

3 新しいパスワードを再度確認入力してください。

4 OK ボタンをクリックしてください。**送信先グループ登録**（PC）ダイアログボックスに戻ります。

送信先 PC グループへの送信先 PC の追加

送信先 PC グループへの送信先 PC の追加は、**メンバー編集**（PC）ダイアログボックスで行います。

1 **送信先グループ登録**（PC）で**追加**ボタンをクリックしてください。**メンバー編集**（PC）ダイアログボックスが表示されます。

2 **追加可能なメンバー**欄から追加する送信先 PC を選択して**追加**ボタンをクリックしてください。

3 グループから送信先 PC を削除する場合は、**グループのメンバー**欄から削除したい送信先 PC を選択して**削除**ボタンをクリックしてください。

4 OK ボタンをクリックしてください。**送信先グループ登録**（PC）ダイアログボックスに戻ります。

アドレスデータファイルのインポート

アドレス帳 for Scanner のインポート

アドレス帳 for Scanner で作成し、保存されたアドレスデータを指定して開くと、そのアドレスデータを使用することができます。

1 **アドレス帳 for Scanner** ダイアログボックスでメニューバーの**ファイル→インポート→アドレスデータファイル**を選択してください。**開く**ダイアログボックスが表示されます。

2 アドレスデータファイルが保存されているフォルダを選択してください。デフォルトでは**アドレス帳 for Scanner** フォルダが選択されています。

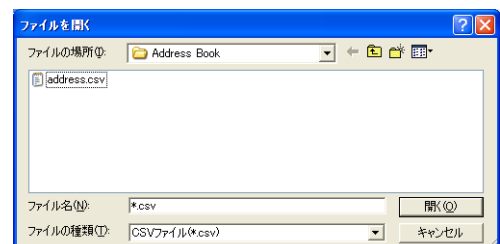
3 ファイルの種類を選択してください。dat ファイルのみ選択できます。

4 **ファイル名**欄にファイル名を入力してください。アドレスデータファイルの一覧からファイルを選択することもできます。

5 **開く**ボタンをクリックしてください。選択したアドレスデータファイルのアドレス情報が**アドレス帳 for Scanner** ダイアログボックスに表示されます。

csv ファイルのインポート

他のメールソフトで作成し、csv 形式で保存されたアドレスデータを指定して開き、そのアドレスデータをアドレス帳 for Scanner で使用することができます。

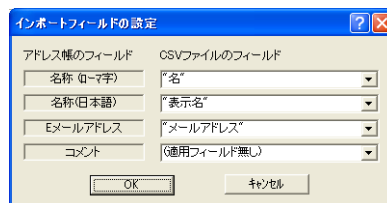
1 **アドレス帳 for Scanner** ダイアログボックスで E メールボタンをクリックし、メニューバーの**ファイル→インポート→ CSV ファイル**を選択してください。**開く**ダイアログボックスが表示されます。

2 csv 形式で保存されたアドレスデータファイルが保存されているフォルダを選択してください。

3 ファイルの種類を選択してください。csv ファイルのみ選択できます。

4 **ファイル名**欄にファイル名を入力してください。csv ファイルの一覧からファイルを選択することもできます。

5 **開く**ボタンをクリックしてください。**インポートフィールドの設定**ダイアログボックスが表示されます。

フィールドの対応付け

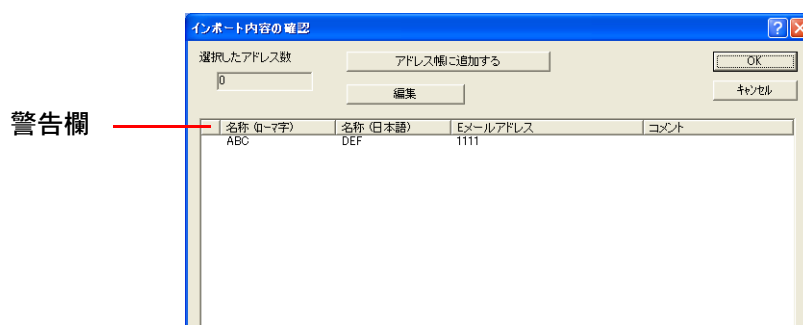
インポートする csv ファイルの項目をアドレス帳 for Scanner の E メール送信先リストの表示項目に対応付けをします。

6　E メール送信先リストの**名称（ローマ字）**、**名称（日本語）**に表示させる項目を選択してください。

7　E メール送信先リストの **E メールアドレス**に表示させる項目を選択してください。

8　E メール送信先リストの**コメント**に表示させる項目を選択してください。

9　OK ボタンをクリックしてください。**インポート内容の確認**ダイアログボックスが表示されます。

インポート内容の確認とアドレス帳 for Scanner への登録

インポートする csv ファイルの内容をリストで確認し、アドレス帳 for Scanner の E メール送信先リストに登録します。

10　インポートする E メールアドレスをリストから選択して**アドレス帳に追加する**ボタンをクリックしてください。**選択したアドレス数**欄には選択したアドレスの数が表示されます。

11　リストから選択した E メールアドレスの登録内容を編集する場合は**編集**ボタンをクリックしてください。送信先登録（E メール）ダイアログボックスが表示されます。（6-39 ページ参照）

12　OK ボタンをクリックしてください。選択した E メールアドレスがアドレス帳 for Scanner の E メール送信先リストに登録されます。

注意：警告欄について

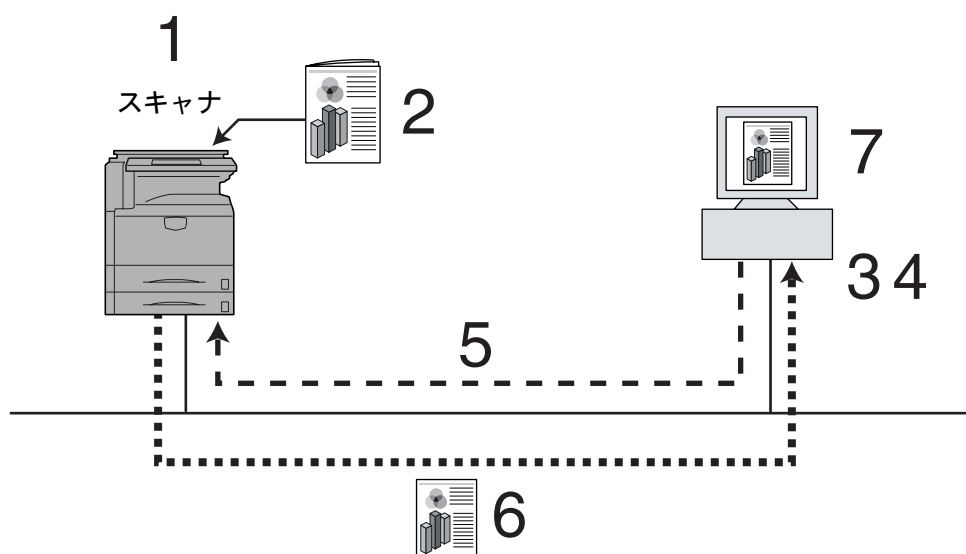
アドレス帳 for Scanner へのインポートに問題のある内容を含むために登録不可能な E メールアドレスに警告記号を表示します。その場合、**編集**ボタンをクリックしてください。送信先登録（E メール）ダイアログボックスが表示されます（6-39 ページ参照）。E メールアドレスの登録内容を登録可能な内容に編集してください。警告記号の表示が消えます。

警告記号の表示
?：名称が 16 文字を超えた場合に表示されます。
!：名称（ローマ字）に漢字などの 2 バイトの文字を含む場合や E メールアドレスが 64 文字を超えた場合に表示されます。

TWAIN Source

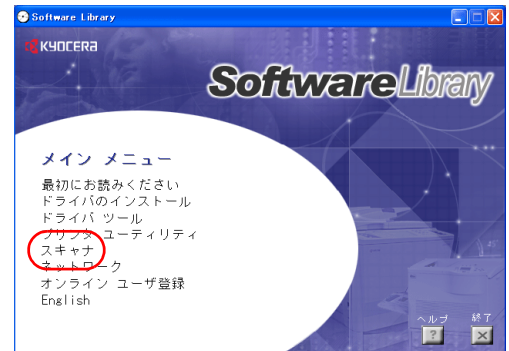
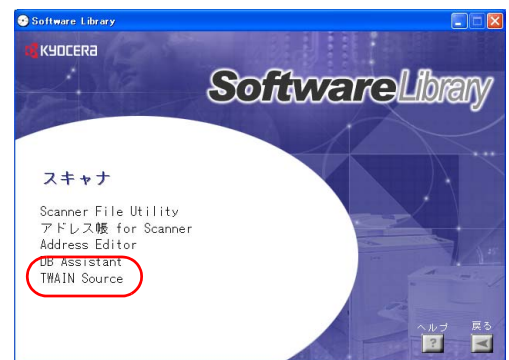
TWAIN Source について

スキャナからの画像の取込みは、TWAIN 対応アプリケーションから操作を行い、スキャナで読み込んだ画像イメージを TWAIN 対応アプリケーションに取り込むことを可能にするユーティリティです。この章では、TWAIN 対応の汎用アプリケーションを使用した画像取り込みについて説明しています。

注意：この方法で画像取り込みを行うためには、あらかじめ TWAIN Source をコンピュータにインストールしておく必要があります。使用するコンピュータが複数である場合は、各コンピュータに TWAIN Source をインストールしてください。

1. TWAIN モードの設定
2. 原稿のセット
3. TWAIN 対応アプリケーションからスキャナを選択
4. TWAIN Source で原稿サイズや解像度などを選択
5. 読み込み指示
6. 読み込み画像の送信
7. 読み込み画像表示

動作環境	
ハードウェア	IBM PC/AT 互換機
インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX
オペレーティングシステム	Windows NT 4.0（Service Pack 5 以降）、 Windows 2000（Service Pack 2 以降）、 Windows 98（Second Edition）、Windows 95（OSR2） Windows Me、Windows XP、Windows Server 2003

TWAIN Source のインストール

1 Kyocera Mita Software Library CD-ROM のメインメニューで**スキャナ**をクリックしてください。

2 TWAIN Source をクリックしてください。

3 ウィザードの指示にしたがって、インストールの操作を行ってください。

TWAIN Source のアンインストール

Windows の**プログラムの追加と削除**機能を使ってアンインストールを行ってください。

画像データについて

対応画像データの仕様は下記のとおりです。

TWAIN 仕様	
画像サイズ（MAX.）	画像幅：432mm（17"）、画像長：297mm（A4 長）
解像度（DPI）	200 × 200、300 × 300、400 × 400、600 × 600
階調	2 階調、256 階調（誤差拡散）

画像の取り込みかた

TWAIN 対応アプリケーションを使って本スキャナから画像を取り込む方法は大きく分けて 2 種類の方法があり、操作のながれは以下のようになります。作業状況にあわせて読み込みを行ってください。

参考：操作方法の詳細は、**使用説明書**を参照してください。

コンピュータ側からスキャンをはじめる場合

1 コンピュータで、TWAIN 対応アプリケーションから TWAIN Source を起動します。

2 **スキャナ設定**ボタンをクリックし、本スキャナが選択されているか確認して、OK ボタンをクリックしてください。

参考：本スキャナが選択されていない場合は、**編集**ボタンをクリックしてスキャナを選択してください。

3 TWAIN Source で**接続**ボタンをクリックします。

参考：本体が起動中または動作中の場合、接続できないことがあります。この場合は、本体で TWAIN モードを設定してから、**接続**ボタンを押してください。

4 **スキャン待ち**を設定して**スキャン**ボタンをクリックします。

5 本体に原稿をセットし、**［スタート］**キーを押します。

6 読み込んだ画像がコンピュータに送られます。

本体側からスキャンをはじめる場合

1 本体の操作部で TWAIN モードを設定します。

2 原稿をセットします。

3 コンピュータで、TWAIN 対応アプリケーションから TWAIN Source を起動します。

4 **スキャナ設定**ボタンをクリックし、本スキャナが選択されているか確認して、OK ボタンをクリックしてください。

参考：本スキャナが選択されていない場合は、**編集**ボタンをクリックしてスキャナを選択してください。

5 TWAIN Source の**接続**ボタンをクリックします。

6 **スキャン**ボタンをクリックすると、スキャンを開始します。

7 読み込んだ画像がコンピュータに送られます。

参考：コンピュータまたはスキャナ本体で解像度や原稿サイズなど設定を変更することができます。コンピュータでの TWAIN Source の設定方法は、次の**メインダイアログボックスについて**を、本体の操作部からの設定方法は、**使用説明書**を参照してください。

メインダイアログボックスについて

TWAIN Source メインダイアログボックスで表示されている項目の内容は次のとおりです。

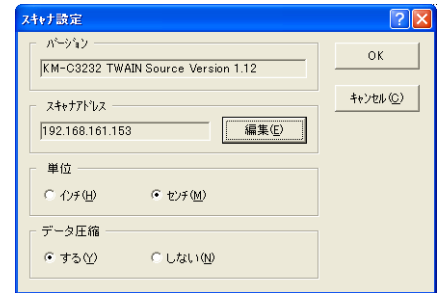
項目	説明
原稿画像サイズ	原稿読み込み時の定形サイズを選択してください。次のサイズが選択可能です。 自動、A3（297 × 420 mm）、Computer Form（11 × 15"）、A4（210 × 297 mm）、A5（148 × 210 mm）、JIS-B4（257 × 364 mm）、JIS-B5（182 × 257 mm）、JIS-B6（128 × 182 mm）、Folio（210 × 330 mm）、8K（273 × 394 mm）、16K（197 × 273 mm）、Letter（8 1/2 × 11"）、Ledger（11 × 17"）、Legal（8 1/2 × 14"）、Statement（5 1/2 × 8 1/2"）、Oficio II（8 1/2 × 13"）、Foolscap、不定形（選択すると不定形サイズ設定ダイアログボックスが表示されます。）
原稿方向	読み込む原稿のセット方向と文字方向を選択してください。
送信サイズ	原稿画像サイズで定形サイズを選択したときに、スキャナから画像を受け取る際のサイズを定形サイズで選択できます。次のサイズが選択可能です。 A3（297 × 420 mm）、Computer Form（11 × 15"）、A4（210 × 297 mm）、A5（148 × 210 mm）、JIS-B4（257 × 364 mm）、JIS-B5（182 × 257 mm）、JIS-B6（128 × 182 mm）、Folio（210 × 330 mm）、8K（273 × 394 mm）、16K（197 × 273 mm）、Ledger（11 × 17"）、Letter（8.5 × 11"）Legal（8 1/2 × 14"）、Statement（5 1/2 × 8 1/2"）、Oficio II（8 1/2 × 13"）、Foolscap
カラー	色の指定を行います。**カラー / グレー** /ACS/ **白黒（2 値）**の中から選択してください。
原稿の画質	原稿の種類を**写真 / 文字 / 文字 + 写真** /OCR の中から選択してください。
解像度	原稿読み取り時の解像度を 600 dpi/400 dpi/300 dpi/200 dpi の中から選択してください。

項目	説明
スキャナ動作	スキャナ動作を設定してください。 **自動**：コンタクトガラス上に原稿がセットされている場合は、その原稿の読み込みを行った後、次の読み込み指示待ちとなります。オプションの原稿送り装置に原稿がセットされている場合は、原稿送り装置上の原稿がなくなるまで読み込みを続けます。 **1 枚ごと**：オプションの原稿送り装置に原稿がセットされている場合、1 枚目の原稿だけをスキャンします。
両面	オプションの原稿送り装置で、原稿の両面を読み込むかどうかの設定です。 **なし**：原稿の片面だけ読み込みます。 **両面原稿（左 / 右とじ）**：左 / 右とじの両面原稿を読み込むときに設定します。 **両面原稿（上とじ）**：上とじの両面原稿を読み込むときに設定します。
ステータス欄	本体の状態が表示されます。
濃度	画像濃度を設定します。
スキャン / 接続ボタン	本体との接続が成功したときは**スキャン**ボタンとなり、クリックするとスキャンが実行できます。また、本体と接続されていないときは**接続**ボタンとして表示され、再接続を促します。高解像度でスキャンを行った場合、イメージの処理中に本体との接続を解除することがあります。
スキャン待ちチェックボックス	このチェックボックスにチェックマークを入れると、本体はスキャナモードに入った状態で停止します。この状態のとき、原稿の読み込みを開始させるには、本体操作部の［**スタート**］キーを押す必要があります。
プレビュー	このチェックボックスにチェックマークを入れると、画像としてコンピュータに取り込む前に画像の確認や、色の調整が行えます。
標準に戻すボタン	クリックすると、TWAIN Source での全ての設定を初期値に戻します。
スキャナ設定ボタン	クリックすると、**スキャナ設定**ダイアログボックスを表示します。ここではスキャナアドレスの変更（6-52 ページ参照）、単位（インチ、センチ）の切り替え、スキャン時のデータ圧縮の有無を設定できます
終了ボタン	設定をキャンセルして、メインダイアログボックスを閉じます。
ヘルプボタン	クリックすると、ヘルプ画面を表示します。

スキャナ IP アドレスの変更

TWAIN Source のインストール後にスキャナの IP アドレスの変更があった場合には、接続するスキャナの IP アドレスを変更することができます。下記の手順にしたがって操作を行ってください。

1 TWAIN Source のメインダイアログボックスの**スキャナ設定**ボタンをクリックしてください。**スキャナ設定**ダイアログボックスが表示されます。

2 **スキャナアドレス**欄に現在設定されているアドレスが表示されます。このアドレスを変更したいときは、**編集**ボタンをクリックしてください。**アドレス設定**ダイアログボックスが表示されます。

3 新しく設定したい IP アドレスを入力してください。

4 OK ボタンをクリックしてください。画面は**スキャナ設定**ダイアログボックスに戻ります。

5 OK ボタンをクリックしてください。スキャナの IP アドレスが変更されます。

部門管理設定

本体で部門管理を設定している場合、機械を使用する際に部門コードを入力する必要があります。この部門管理設定時は、読み込み指示を出すコンピュータと本体との間で部門コードの照合が行われます。したがってコンピュータ側では、TWAIN Source で、部門管理コード使用設定をする必要があります。

登録方法

1 TWAIN Source のメインダイアログボックスで**スキャナ設定**ボタンをクリックしてください。**スキャナ設定**ダイアログボックスが表示されます。

2 **編集**ボタンをクリックしてください。アドレス設定ダイアログボックスが表示されます。

3 **部門管理コード使用**チェックボックスをクリックし、チェックマークを入れてください。

4 常に同じコードで使用する場合、**コード**欄に所定の部門コード（8 桁以下）を入力してください。

5 **コード**欄に入力した部門コードを**確認**欄にもう一度入力してください。

6 OK ボタンをクリックしてください。

7 部門コードを設定していない場合は、接続時にコード入力用画面が表示されます。そのときに使用するコードを入力してください。

カラープロファイルについて

カラースキャナには、色調整のためにカラープロファイルを用意しています。

参考：カラープロファイルをデータに埋め込む方法については、TWAIN 対応ソフトによって異なります。ご利用の各 TWAIN 対応ソフト付属マニュアルをよく読んでご使用ください。

本機対応カラープロファイルの選択

1 Web ブラウザソフトを起動してください。

2 アドレス入力欄にスキャナの IP アドレスまたはホスト名を入力して、ENTER キーを押してください。

3 Web ページの機能トップページが表示されます。メインフレーム内にカラープロファイルと記載している右側にこのスキャナに対応するカラープロファイルのファイル名が表示されています。

4 次に本製品付属 CD（ソフトウェアライブラリ）内の、ColorProfile フォルダの中から手順 3 と同じファイル名のカラープロファイルを使用してください。

本体と接続できないとき

本体と正常に接続できない場合、次の要因が考えられますので、本体の操作部などを確認の後、再接続を試みてください。

- 本体がコピー中であるなど、スキャナ機能以外のモードで動作中である。
- 本体と接続する前に、オプションの原稿送り装置に原稿がセットされている。

画像最大サイズについて

画像サイズには，利用可能なメモリサイズにより、スキャンできない場合があります。

カラー、グレー選択時

	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
A3	22 MB	50 MB	89 MB	199 MB †
A4	11 MB	25 MB	44 MB	100 MB
11 × 17"	21 MB	48 MB	86 MB	193 MB †
81/2 × 11"	11 MB	24 MB	43 MB	96 MB

† Windows95 ではスキャンできません。

白黒 2 値選択時

	200 dpi	300 dpi	400 dpi	600 dpi
A3	0.9 MB	2.1 MB	3.7 MB	8.3 MB
A4	0.5 MB	1.0 MB	1.8 MB	4.1 MB
11 × 17"	0.9 MB	2.0 MB	3.6 MB	8.0 MB
81/2 × 11"	0.4 MB	1.0 MB	1.8 MB	4.0 MB

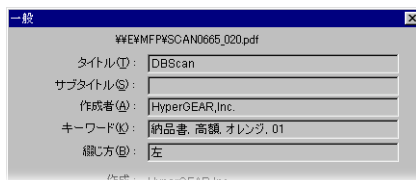
DB Assistant

DB Assistant について

DB Assistant は、本体で読み込んだ画像イメージをコンピュータ上で、検索に利用可能なキーワード追加（KM-DB アシスト）、また、文書情報として CSV ファイルの作成（データベースアシスト）の 2 つの機能を設定するユーティリティです。これらの機能はスキャンした画像を整理または、データベースなどで管理する場合に大変便利です。

DB Assistant のインストール後はコンピュータ起動と同時に起動します。タスクバー上には起動中を示すアイコンが表示され、本体からのデータを常時待ちうけます。

- KM-DB アシスト

  スキャンした画像の文書情報にキーワードを追加します。画像形式が PDF だと Acrobat Reader の文書情報にある一般画面（下図）でキーワード入力を確認することができます。また、同梱されているバンドルソフト（PaperPort）を使用して、コンピュータ上からキーワード検索をすることができます。大量のファイルの中から指定の画像を検索する場合に大変便利です。

- データベースアシスト

  スキャンした画像と共に、登録した文書情報を CSV ファイルとして作成します。CSV ファイルは表計算ソフトやデータベースソフトなどを利用して活用することができます。

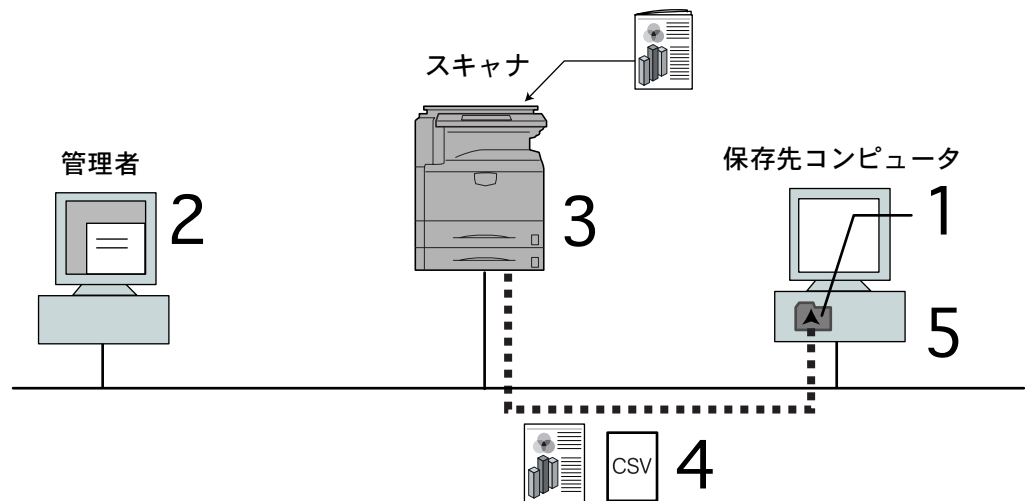
事前準備

DB Assistant を使う際は、まず下記に示す設定などを行ってください。

1. DB Assistant をコンピュータにインストールします。（6-58 ページ参照）
2. DB Assistant を起動し、KM-DB アシスト、またはデータベースアシストを登録します。（6-59 ページ参照）
3. 本体操作部、または Web ブラウザから DB Assistant をインストールしたコンピュータの IP アドレス、あるいはホスト名を登録します。
4. スキャンした画像の保存先 PC で、Scanner File Utility を起動し、保存先フォルダの設定から KM-DB アシストなら PDF Keyword Embedder、データベースアシストなら DataBase Link Handler を選択します。（6-10 ページ参照）

参考：KM-DocumentBinder を使用する場合は、KM-DB Link Handler を選択します。

操作の流れ

DB Assistant を使ってスキャンした画像に文書情報を追加し、指定フォルダに保存するまでの操作の流れは、下図のとおりです。

1. DB Assistant から、文書情報を登録

   Web ブラウザまたはスキャナ本体から管理者 PC の IP アドレスを登録

2. Scanner File Utility で KM-DB アシストか、データベースアシストとリンクするかを選択

3. ［データベース連携］を選択、文書情報を設定、原稿をスキャン

4. スキャンデータの通信

   KM-DB アシスト：文書情報キーワード付き画像

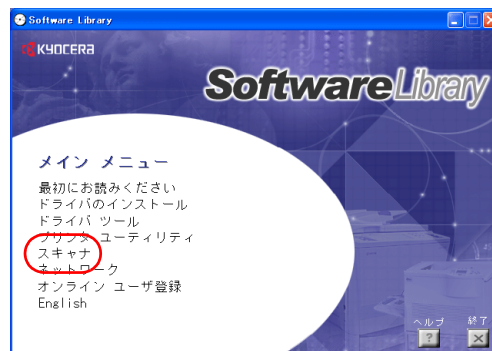
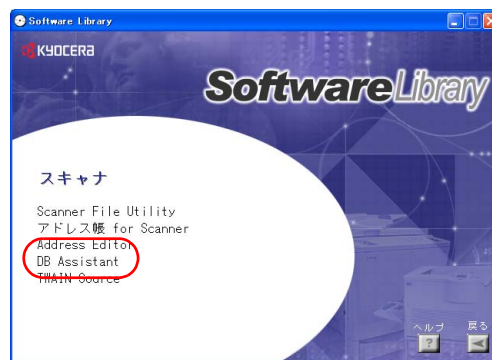
   データベースアシスト：画像データと CSV 文書情報ファイル

5. 保存先フォルダに画像データ、文書データを受信

動作環境	
ハードウェア	IBM PC/AT 互換機
インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX
オペレーティングシステム	Windows NT 4.0（Service Pack 5 以降）、 Windows 2000（Service Pack 2 以降）、 Windows 98（Second Edition）、Windows 95（OSR2）、 Windows Me、Windows XP、Windows Server 2003

インストールとアンインストール

DB Assistant のインストール

1 Kyocera Mita Software Library CD-ROM のメインメニューで**スキャナ**をクリックしてください。

2 DB Assistant をクリックしてください。

3 ウィザードの指示にしたがって、インストールの操作を行ってください。

参考：インストール中、次のコンポーネントを追加する画面が表示されます。DB Assistant を用いて、以下の機能を使用する場合は選択してください。

- PDF Keyword Embedder

  KM-DB アシスト（スキャンした画像に文書情報**キーワード**を追加します。）

- KM-DB Link Handler

  KM-DB アシスト（KM-DocumentBinder を使用する場合。）

- Database Link Handler

  データベースアシスト（スキャンした画像と共に文書情報をもった CSV ファイルを作成します。）

参考：インストール完了後、コンピュータの起動時に DB Assistant も起動し、バックグラウンドで常時動作します。Windows のタスクバーにはそれを示すアイコンが表示されます。

DB Assistant のアンインストール

Windows の**プログラムの追加と削除**機能を使ってアンインストールを行ってください。

操作画面について

DB Assistant は、インストール後自動的に起動しますが、KM-DB アシスト、データベースアシストの設定を行うときは、設定ダイアログボックスを表示させてください。

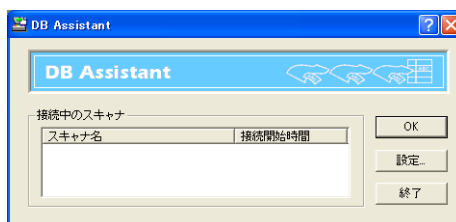
設定ダイアログボックスの表示方法

- **プログラムが起動中のとき**

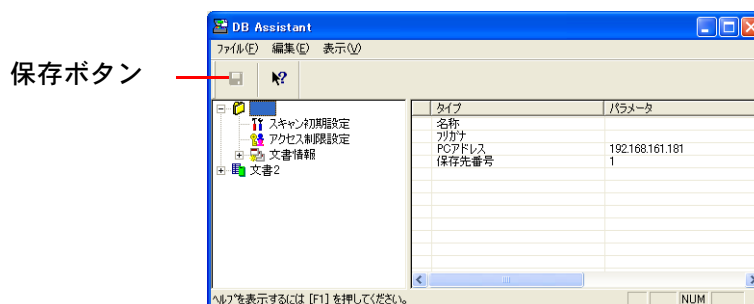
  タスクバーのアイコンをダブルクリックしてください。DB Assistant のスタートダイアログボックスが表示されます。次にそのスタートダイアログボックスの**設定**ボタンをクリックすると DB Assistant の設定ダイアログボックスが表示されます。

- **プログラムが終了しているとき**

  Windows タスクバーの**スタート**ボタンをクリックし、表示されるメニューから**プログラム**→ Scanner User Software → DB Assistant の順に選択してください。
  Windows のタスクバーに DB Assistant の起動を示すアイコンが表示されます。その後は表示されたアイコンをダブルクリックしてください。スタートダイアログボックスが表示されます。次にそのスタートダイアログボックスの**設定**ボタンをクリックすると DB Assistant の設定ダイアログボックスが表示されます。

スタートダイアログボックスについて

項目	説明
接続中のスキャナ	スキャナ名に接続中のスキャナで登録されているホスト名、または IP アドレスを表示します。接続開始時間には、スキャナと接続が開始された時間を表示します。
OK ボタン	スタートダイアログボックスを閉じます。
設定ボタン	設定ダイアログボックスを表示します。
終了ボタン	DB Assistant が終了します。

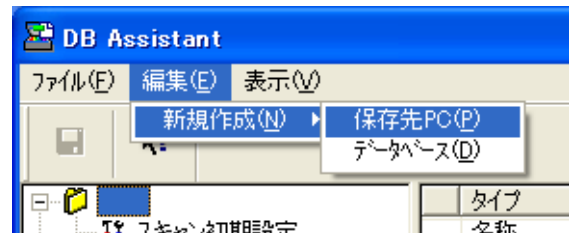
設定ダイアログボックスについて

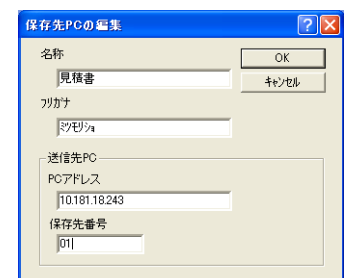
KM-DB アシスト、データベースアシストの設定を行うときは、スタートダイアログボックスの**設定**ボタンをクリックしてください。設定ダイアログボックスが表示されます。

項目	説明
保存ボタン	設定を変更したときはこのボタンをクリックして設定を更新してください。データを更新せず終了すると設定した項目は保存されません。

KM-DB アシスト機能の設定方法

DB Assistant での KM-DB アシスト機能（スキャンした画像に文書情報としてキーワードを追加）の設定、登録を中心に説明します。まず、DB Assistant の設定ダイアログボックスを表示させ、以下の手順にしたがってください。

参考：データベースアシスト機能（スキャンした画像の文書情報として CSV ファイルを作成）の設定は、KM-DB アシスト機能の設定方法を参考にしてください。

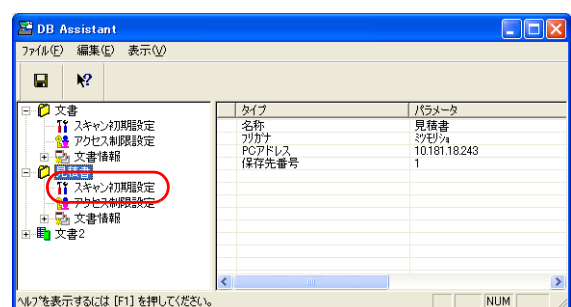
1 KM-DB アシスト機能を設定するときは、設定ダイアログボックスのメニューバーの**編集**をクリックし、新規作成を選択します。次に表示されたメニューから**保存先 PC** を選択してください。機能名称の設定画面が表示されます。

参考：データベースアシスト機能を作成する場合は、**データベース**を選択してください。

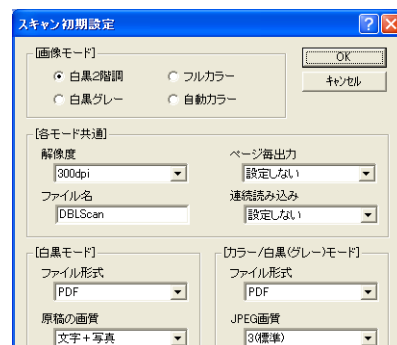
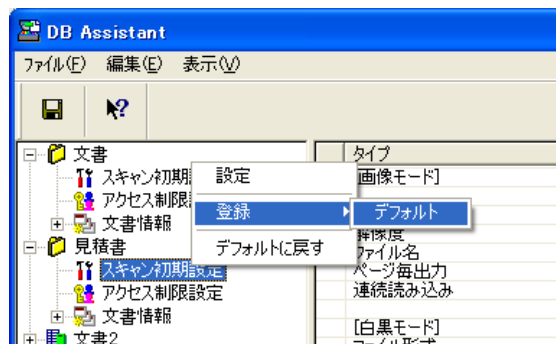
2 機能の名称を入力します。**名称**欄に 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）または、全角入力 8 文字以内で名称を入力してください。ここで入力した名称がスキャナ本体操作部上で表示されます。また、**フリガナ**欄にも上記設定名称を入力します。ここでは 16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）で入力してください。ここで入力したフリガナはシステム内でこの設定をソート（名称で並び替え）するときに利用されます。

3 送信先 PC（スキャンした画像を保存するコンピュータ）の IP アドレス、またはホスト名を **PC アドレス**欄に入力します。次に**保存先番号**欄に Scanner File Utility で設定した保存先番号を入力します。

参考：保存先番号については Scanner File Utility の**保存先フォルダの新規設定**（6-9 ページ）を参照してください。

手順 2、3 で設定する項目は全て入力しない限り登録できません。

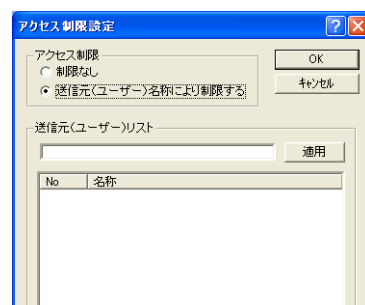
4 設定後に OK ボタンをクリックすると、KM-DB アシスト機能設定項目が作成されます。

5 スキャン初期設定を変更します。ここでどのように画像をスキャンするかの初期設定項目をある程度設定しておくことができます。作成された**スキャン初期設定**をダブルクリック（または右クリックして現れたメニューの**設定**を選択）します。**スキャン初期設定**画面が表示されます。

6 **スキャン初期設定**画面からお好みの機能を選択し、OK ボタンをクリックすると設定が保存され設定ダイアログボックスに戻ります。

参考：設定項目詳細は、4-2 ページの**スキャン機能設定**を参照してください。このスキャン初期設定は、後で本体操作部から変更することができます。

設定ダイアログボックスで**スキャナ初期設定**を選択し、右クリックすると**設定、登録→デフォルト、デフォルトに戻す**のメニューが現れます。

設定：**スキャン初期設定**画面を表示します。

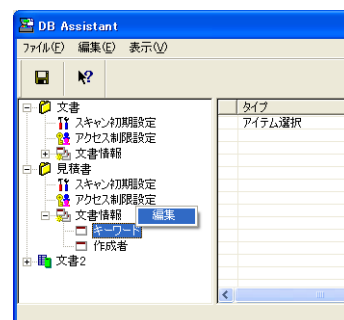
デフォルト：現在の設定をデフォルト（初期値）として保存します。

デフォルトに戻す：保存する前の設定に戻します。

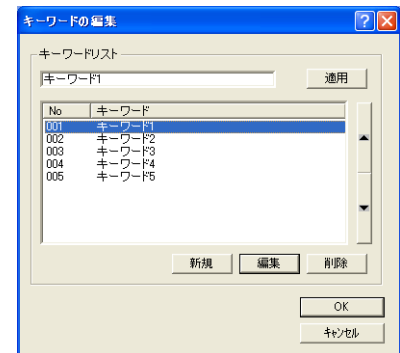
7 作成された**アクセス制御設定**をダブルクリック（または右クリックして現れたメニューの**設定**を選択）します。**アクセス制御設定**画面が表示されます。ここでは、現在登録している機能を、使用するユーザによってアクセス制限させることができます。

制限なし：制限なしでアクセスできます。

送信元（ユーザ）名称により制限する：アクセスを許可するユーザを設定します。選択したユーザ以外はこの設定にアクセスできません。スキャナで登録している送信元ユーザリストの中から使用許可するユーザを選択してください。設定方法詳細は、6-64 ページの**「送信元（ユーザ）名称により制限する」の設定方法**を参照してください。

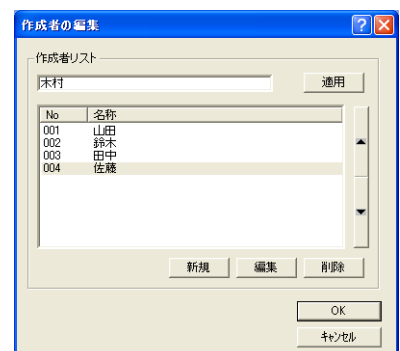
参考：データベースアシスト機能では上記以外にパスワードでの制限をかけることができます。パスワードは半角数字 8 文字で入力してください。

8 **文書情報**を設定します。ここで設定した項目が、スキャンした画像の文書情報（キーワード）として設定できます。作成された**文書情報**左の＋をクリックしてください。**キーワード**と**作成者**が表示されます。

参考：スキャンした画像に文書情報として、**キーワード**、**作成者**を設定すると、本製品バンドルソフト（PaperPort）のキーワード検索機能を使用して、画像の検索をかけることができます。

9 **キーワード**を設定します。**キーワード**をダブルクリック（または右クリックして**編集**をクリック）してください。**キーワードの編集**画面が表示されます。

10 リスト変更欄にキーワードを入力します。32 文字以内（半角英数字　半角カタカナ）または全角入力 16 文字以内で入力してください。**適用**ボタンをクリックする（または Enter キーを押す）と**登録リスト**欄にキーワードが登録されます。入力したキーワードを変更したい場合は、変更したいキーワードを選択（反転表示）し、**編集**ボタンをクリックしてください。再び、リスト変更欄に選択したキーワードが表示され、修正することができます。編集が終了したら、OK ボタンをクリックしてください。キーワードが設定され、設定ダイアログボックスに戻ります。

参考：**キーワード**は登録リスト内に最大 100 個登録できます。

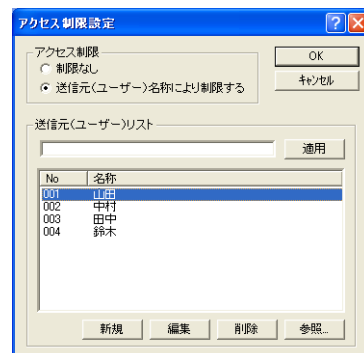
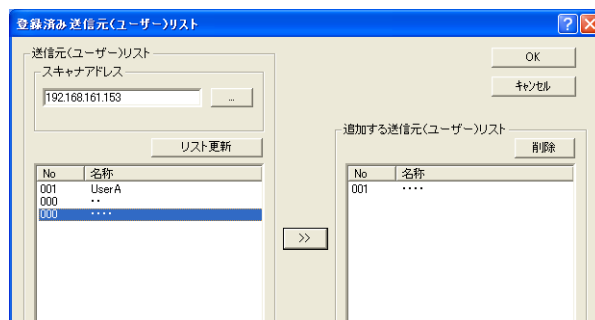
登録リスト内のキーワードを選択（反転表示）させ、▲、▼をクリックするとリストの順番を入れ替えることができます。

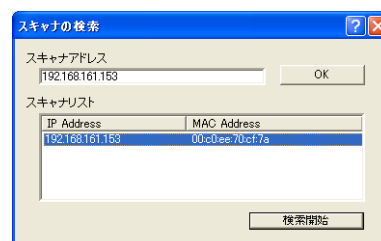
11 作成者を設定します。**作成者**をダブルクリック（または右クリックして**編集**を選択）してください。**作成者の編集**画面が表示されます。リスト変更欄に作成者を入力します。32 文字以内（半角英数字　半角カタカナ）または全角入力 16 文字以内で入力してください。以下、手順 10 のキーワードの設定方法を参考に設定してください。

参考：バンドルソフト「PaperPort」を使用し、この**作成者**で検索をかける場合は、キーワードの検索項目で検索してください。**作成者**は登録リスト内に最大 100 個登録できます。登録リスト内の作成者を選択（反転表示）させ、▲、▼をクリックするとリストの順番を入れ替えることができます。

以上で DB Assistant 上での KM-DB アシスト機能（スキャンした画像に文書情報を追加する）の設定は終了です。

「送信元（ユーザ）名称により制限する」の設定方法

6-60 ページの **KM-DB アシスト機能の設定方法**、手順 7 の「**送信元（ユーザ）名により制限する**」の設定方法を説明します。

1. 送信元（ユーザ）リスト変更欄にアクセス許可するユーザ名を入力します。16 文字以内（半角英数字、半角カタカナ）または全角入力 8 文字以内で入力してください。**適用**ボタンをクリックする（または Enter キーを押す）と登録リスト欄に名称が登録されます。入力したユーザ名を変更したい場合は、変更したいユーザ名を選択（反転表示）し、**編集**ボタンをクリックしてください。再び、リスト変更欄に選択したユーザ名が表示され、修正することができます。編集が終了したら、OK ボタンをクリックしてください。ユーザ名が設定され、設定ダイアログボックスに戻ります。

2. スキャナにあらかじめ登録された送信元（ユーザ）を確認するには、**参照 ...** ボタンをクリックしてください。**登録済み送信元（ユーザ）リスト**画面が表示されます。

3. **スキャナアドレス**欄に接続するスキャナの IP アドレスまたは、ホスト名を入力します。**リスト更新**ボタンをクリックすると、スキャナの送信元（ユーザ）として登録されているリストを表示します。その中から追加したい送信者を選び、追加ボタンをクリックしてください。画面右の**追加する送信元（ユーザ）リスト**に表示されます。ここで OK ボタンをクリックすると追加した送信元（ユーザ）はアクセス可能となり、**アクセス制御設定**画面に戻ります。

4. 現在、ネットワーク上に接続されているスキャナで登録している送信元（ユーザ）を確認したいときは、**登録済み送信元（ユーザ）リスト**画面の**スキャナアドレス**欄右にある ... ボタンをクリックしてください。**スキャナ検索**画面が表示されます。

5. **検索開始**ボタンをクリックしてください。ネットワーク上に接続されているスキャナの IP アドレスまたはホスト名と MAC アドレスをそれぞれ表示します。そのリスト中から選択したい送信元（ユーザ）を登録しているスキャナのアドレスを選び（反転表示させ）ます。選択したスキャナの IP アドレス、またはホスト名が**スキャナアドレス**欄に表示されたら、OK ボタンをクリック（または Enter キーを押す）してください。再び**登録済み送信元（ユーザ）リスト**画面に戻り、選択したスキャナのアドレスがスキャナアドレス入力欄に表示されます。

6 **リスト更新**ボタンをクリックしてください。スキャナ送信元（ユーザ）リストに、手順 5 で選択したスキャナで登録されている送信元（ユーザ）を表示します。これで指定のスキャナで設定している送信元（ユーザ）を確認することができます。

7　システムメニュー

この章では、本機の動作全般に関わるシステムメニューについて説明します。

設定できる主な内容は次のとおりです。

- 初期設定 ...7-2 ページ
- 手差し用紙設定 ...7-34 ページ
- 原稿サイズ登録 ...7-35 ページ
- ユーザ調整 ...7-36 ページ
- 文書管理初期設定 ...7-44 ページ
- ハードディスク管理 ...7-49 ページ
- レポート出力 ...7-50 ページ
- トータルカウンタの参照と印刷 ...7-53 ページ
- 言語切替 ...7-55 ページ
- 文字入力の方法 ...7-56 ページ

初期設定

本機では、ウォームアップが終了した後や［リセット］キーを押した後の状態を初期設定モードといいます。初期設定モードのときに自動的に設定される内容を初期設定と呼びます。初期設定は**コピー初期設定**、**マシン初期設定**に分かれます。使用のしかたに応じてこれらの設定は自由に変更できます。

コピー初期設定

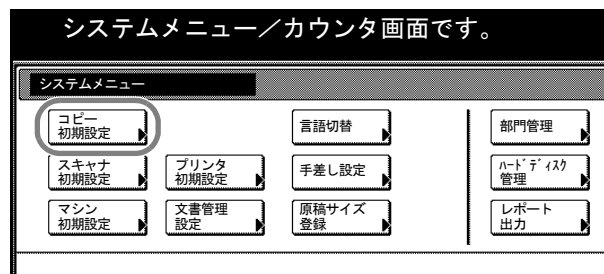
コピー初期設定では次の項目を設定できます。

- 濃度モード設定 ...7-3 ページ
- 濃度ステップ設定 ...7-4 ページ
- 原稿の画質 ...7-4 ページ
- カラーモード設定 ...7-5 ページ
- 自動カラー判別基準設定 ...7-5 ページ
- エコプリント設定 ...7-6 ページ
- 黒筋軽減処理 ...7-6 ページ
- 用紙選択 ...7-7 ページ
- 自動用紙選択設定 ...7-7 ページ
- 用紙種類（カラー自動用紙）...7-7 ページ
- 用紙種類（白黒自動用紙）...7-8 ページ
- 優先カセット設定 ...7-9 ページ
- 表紙用紙カセット設定 ...7-9 ページ
- 自動倍率優先設定 ...7-10 ページ
- 自動濃度調整 ...7-10 ページ
- 手動濃度調整 ...7-11 ページ
- 縮小 / 拡大設定 ...7-11 ページ
- ソート / 仕分けコピー設定 ...7-12 ページ
- 自動回転コピー設定 ...7-12 ページ
- とじしろ初期値の設定 ...7-13 ページ
- 枠消し初期値の設定 ...7-13 ページ
- コピー部数制限 ...7-13 ページ
- 再コピー設定 ...7-14 ページ
- 登録ボタンの表示 ...7-14 ページ
- 画面変更（基本機能）...7-15 ページ
- 画面変更（追加機能）...7-15 ページ

「コピー初期設定」画面の表示方法

次の手順にしたがって、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。

2 ［**コピー初期設定**］キーを押してください。

3 テンキーで 4 桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は 25/20 枚機では 2500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 3200 となっています。

暗証番号が合致すれば、**「コピー初期設定」**画面が表示されます。

参考：4 桁の暗証番号は変更することができます。7-29 ページの**管理者暗証番号変更**を参照してください。

オプションのセキュリティキットを装着したときは、暗証番号は 8 桁です。工場出荷時は 25/20 枚機では 25002500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 32003200 となっています。

---

4 以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

濃度モード設定

初期設定モードでの濃度モードを設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
手動	手動濃度モードが設定されます。
自動	自動濃度モードが設定されます。

濃度モードについては**使用説明書**を参照してください。

1 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「濃度モード」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**手動**］または［**自動**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

濃度ステップ設定

濃度調整の段階数を変更します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
1 ステップ	7 段階の濃度調整ができます。
0.5 ステップ	より細かい 13 段階の濃度調整ができます。

1 7-3 ページの **「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「濃度ステップ」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**1 ステップ**］または［**0.5 ステップ**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

原稿の画質

初期設定モードでの原稿の画質を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
文字 + 写真	文字と写真が混在する原稿に適しています。
印画紙写真	カメラで撮った写真などの原稿に適しています。
印刷写真	雑誌など印刷された写真原稿に適しています。
文字	書類など文字が多い原稿に適しています。
地図	地図原稿に適しています。

1 7-3 ページの **「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「原稿の画質」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**文字 + 写真**］、［**印画紙写真**］、［**印刷写真**］、［**文字**］または［**地図**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

カラーモード設定

初期設定モードでのカラーモードを設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
自動カラー	カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別し、カラー原稿はフルカラーで、白黒原稿は白黒でコピーします。
フルカラー	フルカラーでコピーします。
白黒	白黒でコピーします。

1 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 [▲] または [▼] キーを押して、**「自動カラー / フルカラー / 白黒」**を選択し、[**設定値変更**] キーを押してください。

3 [**自動カラー**]、[**フルカラー**]、または [**白黒**] を選択してください。

4 設定を確定するときは [**閉じる**] キーを、設定をキャンセルするときは [**元に戻す**] キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

自動カラー判別基準設定

自動カラーコピー時のカラー原稿と白黒原稿の識別レベルを調整できます。数値を小さくするとカラー原稿と識別することが多くなり、数値を大きくすると白黒原稿と識別することが多くなります。

1 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 [▲] または [▼] キーを押して、**「自動カラー判別基準」**を選択し、[**設定値変更**] キーを押してください。

3 [◀] または [▶] キーを押して、数値を調整してください。

4 設定を確定するときは [**閉じる**] キーを、設定をキャンセルするときは [**元に戻す**] キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

エコプリント設定

初期設定モードでのエコプリントを設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
設定しない	エコプリントを設定しません。
設定する	エコプリントを設定します。

エコプリントについては、1-45 ページを参照してください。

1. 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。
2. ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「エコプリント」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。
3. ［**設定しない**］または［**設定する**］を選択してください。
4. 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

黒筋軽減処理

黒筋軽減処理を設定すると、オプションの原稿送り装置を使用したコピーに黒筋（原稿にない筋状の汚れ）が発生した場合に、黒筋をめだたなくすることができます。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
設定しない	黒筋軽減処理をしません。
設定する（弱く）	黒筋軽減処理を弱めに実行します。
設定する（強く）	黒筋軽減処理を強めに実行します。

参考：黒筋軽減処理を行うときは、まず［**設定する（弱く）**］を設定してください。それでも黒筋が軽減されない場合は［**設定する（強く）**］を設定してください。

黒筋軽減処理を行うと細かい文字の再現性が低下しますので、通常は工場出荷時のまま（［**設定しない**］）をお勧めします。

1. 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。
2. ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「黒筋軽減処理」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。
3. ［**設定しない**］、［**設定する（弱く）**］または［**設定する（強く）**］を選択してください。
4. 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

用紙選択

初期設定モードで、原稿をセットしたときの用紙の選択方法を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
自動用紙	自動的に同じサイズの用紙が入ったカセットを選択します。
優先カセット	優先カセット（7-9 ページ参照）で設定されているカセットを選択します。

1 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「用紙選択」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**自動用紙**］または［**優先カセット**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

自動用紙選択設定

自動用紙選択時に、倍率を変更した場合の用紙サイズの選択方法を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
最適サイズ	変倍後のサイズに合わせて用紙サイズを変更します。
原稿サイズと同じ	変倍後も原稿と同じ用紙サイズのままにしておきます。

1 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「自動用紙選択設定」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**最適サイズ**］または［**原稿サイズと同じ**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

用紙種類（カラー自動用紙）

カラーコピー時に、自動用紙選択モードで選択する用紙を、用紙種類で限定することができます。例えば［**カラー紙**］を設定すると、同じサイズの用紙がセットされ、用紙種類の設定がカラー紙であるカセットを選択します。［**設定しない**］を設定すると、用紙種類に関係なく、同じサイズの用紙がセットされたカセットを選択します。

設定できる用紙種類は次のとおりです。

普通紙、薄紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、上質紙、カスタム 1 〜 8

参考：現在カセットに設定されている用紙種類が選択できます。詳細は 7-18 ページの**用紙種類の設定**を参照してください。

1. 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。
2. [▲] または [▼] キーを押して、**「用紙種類（カラー自動用紙）」**を選択し、[**設定値変更**] キーを押してください。
3. [**設定しない**] または [**設定する**] を選択してください。

   [**設定する**] を選択したときは、用紙種類を選択してください。
4. 設定を確定するときは [**閉じる**] キーを、設定をキャンセルするときは [**元に戻す**] キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

用紙種類（白黒自動用紙）

白黒コピー時に、自動用紙選択モードで選択する用紙を、用紙種類で限定することができます。例えば [**普通紙**] を設定すると、同じサイズの用紙がセットされ、用紙種類の設定が普通紙であるカセットを選択します。[**設定しない**] を設定すると、用紙種類に関係なく、同じサイズの用紙がセットされたカセットを選択します。

設定できる用紙種類は次のとおりです。

普通紙、薄紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、上質紙、カスタム１～８

参考：現在カセットに設定されている用紙種類が選択できます。詳細は 7-18 ページの**用紙種類の設定**を参照してください。

1. 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。
2. [▲] または [▼] キーを押して、**「用紙種類（白黒自動用紙）」**を選択し、[**設定値変更**] キーを押してください。
3. [**設定しない**] または [**設定する**] を選択してください。

   [**設定する**] を選択したときは、用紙種類を選択してください。
4. 設定を確定するときは [**閉じる**] キーを、設定をキャンセルするときは [**元に戻す**] キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

優先カセット設定

自動的に優先して使用するカセット（1 ～ 4）を選択します。

参考：手差しは優先カセットとして設定することはできません。

「カセット 3」、**「カセット 4」**はオプションのペーパーフィーダまたは 3000 枚ペーパーフィーダを装着したときに表示されます。

---

1. 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。
2. ［▲］または［▼］キーを押して、**「優先カセット」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。
3. 優先して使用するカセットを選択してください。
4. 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

表紙用紙カセット設定

表紙用紙をセットする給紙元を、カセット（1 ～ 4）と手差しから設定します。表紙用紙は、表紙付け（1-26 ページ参照）や小冊子（1-27 ページ、1-29 ページ参照）で使用します。

参考：「カセット 3」、**「カセット 4」**はオプションのペーパーフィーダまたは 3000 枚ペーパーフィーダを装着したときに表示されます。

---

1. 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。
2. ［▲］または［▼］キーを押して、**「表紙用紙カセット」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。
3. 表紙用紙をセットする給紙元を選択してください。
4. 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

自動倍率優先設定

任意で選択したカセットが原稿と違うサイズの場合に、自動倍率させるかどうか設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
設定しない	等倍（100%）を設定します。
設定する	自動的に用紙サイズに合わせた倍率を設定します。

1 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「自動倍率優先」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**設定しない**］または［**設定する**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

自動濃度調整

自動濃度モードでコピーを行うときの全体的な濃淡を調整します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
うすく	自動濃度モードでコピーを行うときの全体的な濃度をうすくします。
こく	自動濃度モードでコピーを行うときの全体的な濃度をこくします。

1 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「濃度調整（自動）」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**うすく**］または［**こく**］キーを押して、濃度を調整してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

手動濃度調整

手動濃度モードでコピーを行うときの全体的な濃淡を調整します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
うすく	手動濃度モードでコピーを行うときの全体的な濃度をうすくします。
こく	手動濃度モードでコピーを行うときの全体的な濃度をこくします。

1 7-3 ページの **「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「濃度調整（手動）」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**うすく**］または［**こく**］キーを押して、濃度を調整してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

縮小 / 拡大設定

初期設定モードでの縮小 / 拡大を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
自動倍率	自動的に用紙サイズに合わせた倍率を設定します。
100%	等倍（100%）を設定します。

1 7-3 ページの **「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「縮小 / 拡大」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**自動倍率**］または［100%］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

ソート / 仕分けコピー設定

初期設定モードでのソートコピー / 仕分けコピーについて設定します。設定項目は次のとおりです。

項目		説明
ソート	ソートしない	ソートコピーを設定しません。
	ソートする	ソートコピーを設定します。
仕分け	しない	仕分けコピーを設定しません。
	1 部ごと（ページごと）	仕分けコピーを設定します。（[ソートしない] を設定しているときは［ページごと］になります）

ソートコピーについては**使用説明書**、仕分けコピーについては 1-9 ページを参照してください。

1 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「ソート / 仕分け」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 **「ソート」**で［**ソートしない**］または［**ソートする**］を選択してください。

4 **「仕分け」**で［**しない**］または［**1 部ごと**］（［**ページごと**］）を選択してください。

5 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

自動回転コピー設定

初期設定モードでの自動回転コピーを設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
回転しない	自動回転コピーを設定しません。
自動回転する	自動回転コピーを設定します。

自動回転コピーについては、1-43 ページを参照してください。

1 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「自動回転」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**回転しない**］または［**自動回転する**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

とじしろ初期値の設定

とじしろ幅の初期値を設定します。設定範囲は 0 ～ 18 mm（1 mm 単位）です。

とじしろコピーについては、1-17 ページを参照してください。

1 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「とじしろ初期値」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［▲］、［▼］、［◀］または［▶］キーを押して、とじしろ幅を設定してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

枠消し初期値の設定

枠消し幅の初期値を設定します。設定範囲は 0 ～ 50 mm（1 mm 単位）です。

枠消しコピーについては、1-20 ページを参照してください。

1 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「枠消し初期値」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［+］または［−］キーで、**「外枠」**（原稿の回り）と**「中枠」**（中央）の枠消し幅の初期値を設定してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

コピー部数制限

1 回のコピーで設定できる部数を制限します。設定できる部数は 1 ～ 999 部です。

1 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「コピー部数制限」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 テンキーを使って、コピー部数制限値を設定してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

再コピー設定

再コピーの使用を禁止したり、初期設定モードで再コピーを設定することができます。設定項目は次のとおりです。

項目		説明
機能	**使用しない**	再コピーの使用を禁止します。
	使用する	再コピーの使用を許可します。
初期状態	**設定しない**	再コピーをしません。
	設定する	再コピーをします。

再コピーについては、1-37 ページを参照してください。

参考：この設定は、オプションのセキュリティキットを装着したときには表示されません。

1. 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。
2. ［▲］または［▼］キーを押して、**「再コピー」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。
3. **「機能」**で［**使用しない**］または［**使用する**］を選択してください。
4. **「初期状態」**で［**設定しない**］または［**設定する**］を選択してください。
5. 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

登録ボタンの表示

機能登録キーを登録 / 削除する際に使用する［**登録**］キーの表示 / 非表示を設定します。機能登録キーについては、1-61 ページを参照してください。

1. 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。
2. ［▲］または［▼］キーを押して、**「登録ボタンの表示」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。
3. ［**表示する**］または［**表示しない**］を選択してください。
4. 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

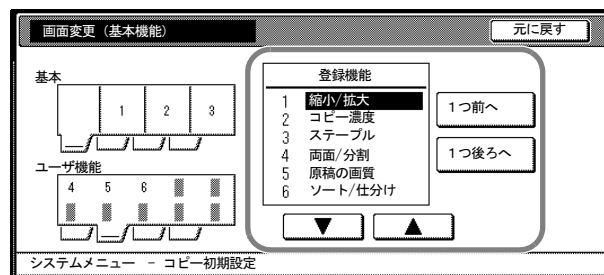
画面変更（基本機能）

基本機能の画面を使いやすいようにレイアウト変更します。[**基本**] 画面の 3 箇所と [**ユーザ機能**] 画面の 3 箇所の機能を並べ替えることができます。

1 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 [▲] または [▼] キーを押して、**「画面変更（基本機能）」**を選択し、[**設定値変更**] キーを押してください。

3 **「登録機能」**に現在の機能が表示されています。

[▼] または [▲] キーで並べ替える機能を選択してください。[**1 つ前へ**] と [**1 つ後ろへ**] キーを押すと、**「登録機能」**の順番が変わります。

「登録機能」の番号は表示位置（画面左側）の番号と対応しています。

4 設定を確定するときは [**閉じる**] キーを、設定をキャンセルするときは [**元に戻す**] キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

画面変更（追加機能）

よく使用する機能を使いやすいように画面をレイアウト変更します。[**ユーザ機能**] 画面の 6 箇所をよく使用する機能に変更することができます。

1 7-3 ページの**「コピー初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「コピー初期設定」**画面を表示させてください。

2 [▲] または [▼] キーを押して、**「画面変更（追加機能）」**を選択し、[**設定値変更**] キーを押してください。

3 **「登録機能」**には現在の機能が、[**登録候補**] には現在の機能から変更可能な機能が表示されています。

「登録候補」の [▼] または [▲] キーで変更する機能を選択してください。**「登録機能」**の [▼] または [▲] キーで入れ替える機能を選択し、[←] キーを押すと、機能が移動します。

「登録機能」の番号は表示位置（画面左側）の番号と対応しています。

4 設定を確定するときは [**閉じる**] キーを、設定をキャンセルするときは [**元に戻す**] キーを押してください。**「コピー初期設定」**画面に戻ります。

マシン初期設定

マシン初期設定では次の項目を設定できます。

- オートカセットチェンジ設定 ...7-17 ページ
- 用紙サイズの設定 ...7-18 ページ
- 用紙種類の設定 ...7-18 ページ
- 手差し用紙サイズ登録 ...7-19 ページ
- 手差し設定の確認画面表示設定 ...7-20 ページ
- 用紙種類自動設定（はがき）...7-20 ページ
- 用紙種類の属性（用紙の重さ）設定 ...7-21 ページ
- 用紙種類の属性（両面印刷）設定 ...7-22 ページ
- 特定用紙種類の動作設定 ...7-23 ページ
- 原稿自動検知設定 ...7-24 ページ
- 原稿セット向きの設定 ...7-24 ページ
- スリープモード移行時間設定 ...7-25 ページ
- 低電力モード移行時間設定 ...7-25 ページ
- オートクリア時間設定 ...7-26 ページ
- コピー排出先設定 ...7-26 ページ
- ファクス排出先設定 ...7-27 ページ
- 電源投入時モード ...7-27 ページ
- 報知音設定 ...7-28 ページ
- 静音モード ...7-28 ページ
- 日付 / 時刻の設定 ...7-29 ページ
- 時差の設定 ...7-29 ページ
- 管理者暗証番号変更 ...7-29 ページ
- オートスリープ設定 ...7-31 ページ
- オートクリア設定 ...7-31 ページ
- 高濃度印刷設定 ...7-32 ページ
- コピージョブ優先設定 ...7-32 ページ
- ハードディスク消去方法の設定 ...7-32 ページ
- ハードディスク暗号化キーの設定 ...7-33 ページ

「マシン初期設定」画面の表示方法

次の手順にしたがって、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。

2 ［**マシン初期設定**］キーを押してください。

3 テンキーで 4 桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は 25/20 枚機では 2500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 3200 となっています。

暗証番号が合致すれば、**「マシン初期設定」**画面が表示されます。

参考：4 桁の暗証番号は変更することができます。7-29 ページの**管理者暗証番号変更**を参照してください。

オプションのセキュリティキットを装着したときは、暗証番号は 8 桁です。工場出荷時は 25/20 枚機では 25002500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 32003200 となっています。

---

4 以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

オートカセットチェンジ設定

オートカセットチェンジを使用すると、使用中のカセットの用紙がなくなったときに、自動的に同じサイズ / 同じ向きの他のカセットから給紙するように切り替えて出力を続けます。また、違う用紙種類を設定しているカセットには切り替えないように設定することもできます。

設定項目は次のとおりです。

項目		説明
機能	**使用しない**	オートカセットチェンジを使用しません。
	使用する	オートカセットチェンジを使用します。
用紙種類	**区別しない**	用紙が同じサイズ / 同じ向きであれば、違う用紙種類を設定しているカセットにも自動的に切り替えます。
	区別する	違う用紙種類を設定しているカセットには切り替えません。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「オートカセットチェンジ」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 **「機能」**で［**使用しない**］または［**使用する**］を選択してください。

4 **「用紙種類」**で［**区別しない**］または［**区別する**］を選択してください。

5 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

用紙サイズの設定

カセット 1 ～ 4 の用紙サイズを設定できます。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
自動検知	用紙サイズの検知を自動で行います。［**センチ**］または［**インチ**］から単位の選択が必要です。
定形サイズ	定形サイズを設定します。設定できる用紙サイズは A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 13 1/2"、8 1/2 × 13"（Oficio 2）、8K、16K、16KR です。

参考：「カセット 3」、**「カセット 4」**はオプションのペーパーフィーダを装着したときに表示されます。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「用紙サイズ（カセット 1 ～ 4）」**から用紙サイズを設定するカセットを選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**自動検知**］または［**定形サイズ**］を選択してください。

［**自動検知**］を選択した場合は、単位を選択してください。

［**定形サイズ**］を選択した場合は、用紙サイズを選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

用紙種類の設定

カセット 1 ～ 4 の用紙の種類を設定できます。

設定できる用紙の種類は、**普通紙**、**薄紙**、**再生紙**、**プレプリント**、**ボンド紙**、**カラー紙**、**パンチ済み紙**、**レターヘッド**、**上質紙**、**カスタム 1 ～ 8** です。

参考：「カセット 3」、**「カセット 4」**はオプションのペーパーフィーダまたは 3000 枚ペーパーフィーダを装着したときに表示されます。

用紙種類の属性（用紙の重さ）設定（7-21 ページ参照）で、カセットにセットできない重さ（用紙の厚さ）に設定されている用紙種類は選択できません。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「用紙種類（カセット 1 ～ 4）」**から用紙種類を設定するカセットを選択し、**［設定値変更］**キーを押してください。

3 用紙の種類を選択してください。

4 設定を確定するときは**［閉じる］**キーを、設定をキャンセルするときは**［元に戻す］**キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

手差し用紙サイズ登録

手差しで使用する不定形の用紙サイズを、あらかじめ 4 種類まで登録しておくことができます。登録したサイズはユーザ登録サイズとして用紙サイズの選択時に表示されます。また、各登録サイズに対して用紙種類を設定できます。設定内容は次のとおりです。

設定内容	設定項目
用紙サイズ	たて：98 ～ 297 mm（1 mm 単位） よこ：148 ～ 432 mm（1 mm 単位）
用紙種類	普通紙、OHP フィルム、薄紙、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、封筒、加工紙、上質紙、カスタム 1 ～ 8

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「手差し用紙登録」**を選択し、**［設定値変更］**キーを押してください。

3 ［▲］または［▼］キーを押して、**「用紙サイズ（ユーザ登録 1 ～ 4）」**から登録する番号を選択し、**［設定値変更］**キーを押してください。

4 **［設定する］**キーを押し、［▲］または［▼］キーを押して、**「たて」**と**「よこ」**のサイズを設定してください。

［テンキー］キーを押すとテンキーで入力することができます。

用紙種類を選択する場合は**［用紙種選択］**キーを押してください。用紙種類を選択して**［閉じる］**キーを押してください。

5 設定を確定するときは**［閉じる］**キーを、設定をキャンセルするときは**［元に戻す］**キーを押してください。

6 **［閉じる］**キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

手差し設定の確認画面表示設定

［**基本**］画面で手差しを選択したときに、**「手差し設定」**画面を表示するか、しないかを設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
使用しない	手差し選択時に**「手差し設定」**画面を表示しません。
使用する	手差し選択時に**「手差し設定」**画面を表示します。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「手差し設定の確認画面表示」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**使用しない**］または**「使用する」**を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

用紙種類自動設定（はがき）

手差しにはがきをセットし、手差しの用紙サイズを**「はがき」**に設定した場合、手差しの用紙種類を自動的に**「はがき」**に変更するか、しないかを設定します。設定項目は次のとおりです。

設定項目	説明
設定しない	手差しの用紙サイズを**「はがき」**に設定した場合でも、手差しの用紙種類は変更しません。
設定する	手差しの用紙サイズを**「はがき」**に設定した場合は、手差しの用紙種類を自動的に**「はがき」**に変更します。

参考：手差しの用紙種類が自動的に**「はがき」**に変更された後、**「はがき」**以外の用紙種類に変更できます。

手差しの用紙サイズおよび用紙種類の設定については、**使用説明書**の 2 章、**カセットおよび手差しのサイズを操作部で設定**を参照してください。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「用紙種類自動設定（はがき）」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**設定しない**］または［**設定する**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

用紙種類の属性（用紙の重さ）設定

各用紙種類に対して重さ（用紙の厚さ）を設定します。設定できる用紙種類と重さは次のとおりです。

カセットにセットする用紙種類

用紙の重さ	軽い	普通 1	普通 2	普通 3	重い 1	重い 2	重い 3	超重い
秤量（g/m²）、用紙種類	64 g/m² 以下	60 g/m² ～ 75 g/m²	76 g/m² ～ 90 g/m²	91 g/m² ～ 105 g/m²	106 g/m² ～ 135 g/m²	136 g/m² ～ 170 g/m²	171 g/m² 以上	OHP フィルム
普通紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
プレプリント	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
ボンド紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
再生紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
薄紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
レターヘッド	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
カラー紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
パンチ済み紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
上質紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
カスタム 1 ～ 8	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N

Y：選択できます。　N：選択できません。

手差しにセットする用紙種類

用紙種類	軽い	普通 1	普通 2	普通 3	重い 1	重い 2	重い 3	超重い
秤量（g/m²）、用紙種類	64 g/m² 以下	60 g/m² ～ 75 g/m²	76 g/m² ～ 90 g/m²	91 g/m² ～ 105 g/m²	106 g/m² ～ 135 g/m²	136 g/m² ～ 170 g/m²	171 g/m² 以上	OHP フィルム
普通紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
OHP フィルム	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y
プレプリント	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
ラベル紙	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
ボンド紙	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N
再生紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
薄紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
レターヘッド	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
カラー紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
パンチ済み紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
封筒	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y
はがき	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y
加工紙	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
厚紙	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y
上質紙	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N
カスタム 1 ～ 8	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y

Y：選択できます。　N：選択できません。

参考：用紙種類の設定（7-18 ページ参照）で、カセットに設定されている用紙種類の場合、カセットにセットできない重さ（[**超重い**]、[**重い 1 〜 3**]）は選択できません。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「用紙種類の属性（用紙重さ）」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、重さを設定する用紙種類を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

4 重さを選択してください。設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。

5 ［**閉じる**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

用紙種類の属性（両面印刷）設定

用紙種類のカスタム 1 〜 8 をそれぞれ両面印刷に使用するか、しないかを設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
使用しない	両面印刷に使用できません。
使用する	両面印刷に使用できます。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「用紙種類の属性（両面印刷）」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「カスタム 1」**〜**「カスタム 8」**から設定する用紙種類を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

4 ［**使用しない**］または［**使用する**］を選択してください。設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。

5 ［**閉じる**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

特定用紙種類の動作設定

パンチ済み紙、プレプリント、レターヘッドに印刷する際、原稿のセット方法やコピー機能の組み合わせによって、穴の位置が揃わなくなったり、画像の天地が逆に印刷されることがあります。この設定で、仕上がりの向きを揃えることができます。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
印刷方向を合わせる	仕上がりの向きを揃えて印刷します。
速度優先	［印刷方向を合わせる］の設定を解除します。

［印刷方向を合わせる］を設定した場合は、次の方法で用紙をセットしてください。

例：レターヘッドにコピーする場合

参考：カセットまたは手差しに用紙をセットするときは、印刷される面を上にしてセットしてください。

［印刷方向を合わせる］を設定すると、印刷の速度がやや遅くなります。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「特定用紙種動作設定」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**印刷方向を合わせる**］または［**速度優先**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

原稿自動検知設定

似ている大きさの原稿を自動検知したときの用紙サイズを設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
はがき /A6	はがきと A6R について、どちらのサイズに検知するか選択します。
B4/Folio	B4 と Folio について、どちらのサイズに検知するか選択します。
11 × 15"	11 × 15" のサイズを自動検知するかどうか選択します。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 [**▲**] または [**▼**] キーを押して、**「原稿自動検知設定」**を選択し、[**設定値変更**] キーを押してください。

3 [**▲**] または [**▼**] キーを押して、設定する用紙サイズを選択し、[**設定値変更**] キーを押してください。

4 「**はがき /A6**」を選択したときは、[**はがき**] または [**A6**] を選択してください。

「**B4/Folio**」を選択したときは、[**B4**] または [**Folio**] を選択してください。

「**11 × 15"**」を選択したときは、[**使用する**] または [**使用しない**] を選択してください。

5 設定を確定するときは [**閉じる**] キーを、設定をキャンセルするときは [**元に戻す**] キーを押してください。

6 [**閉じる**] キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

原稿セット向きの設定

初期設定モードでの原稿の向きの初期値を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
奥	原稿の上辺が奥側に設定されます。
左	原稿の上辺が左側に設定されます。

原稿セット向きについては、1-7 ページを参照してください。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 [**▲**] または [**▼**] キーを押して、**「原稿セット向き」**を選択し、[**設定値変更**] キーを押してください。

3 [**奥**] または [**左**] を選択してください。

4 設定を確定するときは [**閉じる**] キーを、設定をキャンセルするときは [**元に戻す**] キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

スリープモード移行時間設定

7-31 ページの**オートスリープ設定**で［**使用する**］を選択したときに、オートスリープモードが働くまでの時間を設定します。設定範囲は 1 ～ 240 分（1 分単位）です。オートスリープモードについては、**使用説明書**の 3 章、**スリープモード**を参照してください。

参考：本機を頻繁に使用する場合は、オートスリープモードが働くまでの時間を長めに、使用しない時間が長い場合は短めに設定することをお勧めします。

---

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「スリープモード移行時間」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［+］または［−］キーを押して、オートスリープモードが働くまでの時間を設定してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

低電力モード移行時間設定

自動低電力モードが働くまでの時間を設定します。設定範囲は 1 ～ 240 分（1 分単位）です。自動低電力モードについては、**使用説明書**の 3 章、**低電力モード**を参照してください。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「低電力モード移行時間」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［+］または［−］キーを押して、自動低電力モードが働くまでの時間を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

オートクリア時間設定

7-31 ページの**オートクリア設定**で［**使用する**］を選択したときに、操作が終了してからオートクリアが働くまでの時間を設定できます。設定範囲は 10 〜 270 秒（10 秒単位）です。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「オートクリア時間」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［+］または［−］キーを押して、オートクリアが働くまでの時間を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

コピー排出先設定

コピー出力時に優先される排出先を設定できます。

排出先	説明
上トレイ	本体の排紙トレイに排出します。
ジョブセパレータ	ジョブセパレータ（オプション）に排出します。
フィニッシャトレイ	オプションのドキュメントフィニッシャのトレイに排出します。
トレイ A	オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャのトレイ A に排出します。
トレイ B	オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャのトレイ B に排出します。
トレイ C	オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャのトレイ C に排出します。
トレイ 1 〜 7	オプションのメールボックスのトレイ 1 〜 7（1 が最上段）に排出します。

参考：この設定はオプションのジョブセパレータ、ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャを装着しているときに表示されます。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「コピー排出先設定」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 排出先を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

ファクス排出先設定

ファクスで受信した原稿、各種レポートの出力時に優先される排出先を設定します。

排出先	説明
上トレイ	本体の排紙トレイに排出します。
ジョブセパレータ	ジョブセパレータ（オプション）に排出します。
フィニッシャトレイ	オプションのドキュメントフィニッシャのトレイに排出します。
トレイ B	オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャのトレイ B に排出します。
トレイ 1 ～ 7	オプションのメールボックスのトレイ 1 ～ 7（1 が最上段）に排出します。

参考：この設定はオプションのファクスキットとジョブセパレータ、ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャを装着しているときに表示されます。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「ファクス排出先設定」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 排出先を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

電源投入時モード

電源を入れて最初に表示される画面を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
コピー画面	電源を入れると最初の画面はコピー画面（［**コピー**］キーを押したときの画面）になります。
ファクス画面	電源を入れると最初の画面はファクス画面（［**ファクス**］キーを押したときの画面）になります。

参考：この設定は、オプションのファクスキットを装着しているときに表示されます。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「電源投入時モード」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**コピー画面**］または［**ファクス画面**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

報知音設定

本機の操作中に鳴る報知音を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
操作確認音	操作パネルやタッチパネルのキーを押したときに鳴る「ピッ」という音です。
正常終了音	コピーや印刷の処理が正常に終了したときに鳴る音です。
準備完了音	ウォームアップが終了したときに鳴る音です。
注意音	エラーが発生したときに鳴る音です。

それぞれの報知音を鳴らすときは［**設定する**］、鳴らさないときは［**設定しない**］を設定してください。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「報知音（操作確認音）」**、**「報知音（正常終了音）」**、**「報知音（準備完了音）」**または**「報知音（注意音）」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**設定しない**］または［**設定する**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

静音モード

本機の動作音を低減します。本機の動作音が気になる場合は、静音モードを［**使用する**］に設定してください。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
使用しない	静音モードを設定しません。
使用する	静音モードを設定して、本機の動作音を低減します。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「静音モード」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**使用しない**］または［**使用する**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

日付 / 時刻の設定

現在の日付、時刻を設定します。

注意：日付 / 時刻を設定する前に、次の**時差の設定**を行ってください。

1. 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。
2. ［▲］または［▼］キーを押して、**「日付 / 時刻」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。
3. ［+］または［−］キーを押して、**「年」**、**「月」**、**「日」**、**「時分」**をそれぞれ設定してください。サマータイムを設定する場合は、**「サマータイム」**の［**設定する**］を選択してください。
4. 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

時差の設定

時差を設定します。

注意：時差の設定は、**日付 / 時刻の設定**を行う前に設定してください。

1. 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。
2. ［▲］または［▼］キーを押して、**「時差」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。
3. ［+］または［−］キーを押して、時差を設定してください。
4. 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

管理者暗証番号変更

本機管理者の暗証番号を変更できます。

注意：管理者暗証番号を変更したときは必ずメモを取るようにしてください。万一忘れたときは、サービス担当者に連絡してください。

参考：工場出荷時は 25/20 枚機では 2500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 3200 となっています。

管理者暗証番号は 0000 ～ 9999 の範囲で変更できます。必ず 4 桁で設定してください。

オプションのセキュリティキットを装着したときは、暗証番号は 8 桁です。工場出荷時は 25/20 枚機では 25002500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 32003200 となっています。管理者暗証番号は 00000000 ～ 99999999 の範囲で変更できます。必ず 8 桁で設定してください。

管理者暗証番号には、「11111111」や「12345678」など、推測されやすい番号の使用はできるだけ避けてください。

管理者暗証番号の入力が必要な設定は次のとおりです。

- **コピー初期設定**
- **マシン初期設定**
- **スキャン機能初期設定**
- **自動階調調整**
- **カラー印刷位置補正**
- **現像リフレッシュ**
- **レポート出力**
- **文書管理初期設定**
- **ハードディスク管理**
- **部門管理**

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 [▲] または [▼] キーを押して、**「管理者暗証番号変更」**を選択し、**[設定値変更]** キーを押してください。

3 テンキーを使って、新しい管理者暗証番号を入力してください。

4 設定を確定するときは **[閉じる]** キーを、設定をキャンセルするときは **[元に戻す]** キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

オートスリープ設定

オートスリープモードは、一定時間操作がないと自動的にスリープモードに移行する機能です。ここではオートスリープモードの使用 / 不使用を設定します。スリープモードについては、**使用説明書**の 3 章、**スリープモード**を参照してください。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
使用しない	オートスリープモードを使用しません。
使用する	オートスリープモードを使用します。

参考：本機の操作においてオートスリープモードが使用上の不便さを与える場合には、オートスリープモードを使用しない設定にしてください。オートスリープモードを使用しない設定にする前に、まずオートスリープが働くまでの時間（スリープモード移行時間）を長めに設定することをお勧めします。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「オートスリープ」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**使用しない**］または［**使用する**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

オートクリア設定

オートクリアは、本機の操作終了後一定時間が経過すると、設定されていた諸機能を解除して、自動的に初期設定モードに戻る機能です。ここではオートクリアの使用 / 不使用を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
使用しない	オートクリアを使用しません。
使用する	オートクリアを使用します。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「オートクリア」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**使用しない**］または［**使用する**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

高濃度印刷設定

高濃度の原稿を連続して印刷するときの、印刷速度と画質の優先順位を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
印刷速度優先	印刷速度を優先します。
画質優先	画質を優先します。印刷速度は遅くなります。
画質最優先	画質を優先します。写真などの高濃度原稿をコピーするときに設定します。印刷速度は画質優先よりさらに遅くなります。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「高濃度印刷設定」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**印刷速度優先**］、［**画質優先**］または［**画質最優先**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

コピージョブ優先設定

出力待ちのジョブの中で、コピージョブをプリンタジョブより優先させることができます。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
使用しない	出力待ちのジョブの中でコピージョブを優先しません。
使用する	出力待ちのジョブの中でコピージョブを優先して、プリンタジョブより先に出力します。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「コピージョブ優先」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**使用しない**］または［**使用する**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

ハードディスク消去方法の設定

オプションのセキュリティキット装着時に、ハードディスクの消去方法を［**1 回上書き方式**］と［**3 回上書き方式**］から選択します。ハードディスクの消去方法の詳細は、オプションのセキュリティキットの**使用説明書**を参照してください。

参考：この設定は、オプションのセキュリティキットを装着したときに表示されます。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「ハードディスク消去方法」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**3 回上書き方式**］または［**1 回上書き方式**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

ハードディスク暗号化キーの設定

オプションのセキュリティキット装着時に、暗号化キーの設定を行うことができます。暗号化キーの詳細は、オプションのセキュリティキットの**使用説明書**を参照してください。

参考：この設定は、オプションのセキュリティキットを装着したときに表示されます。

1 7-17 ページの**「マシン初期設定」画面の表示方法**を参照して、**「マシン初期設定」**画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「ハードディスク暗号化キー」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 **「暗号化キー」**の［**設定値変更**］キーを押してください。

4 半角英数 16 文字で暗号化キーを入力し、［**入力終了**］キーを押してください。

文字の入力方法は、7-56 ページの**文字入力の方法**を参照してください。

5 入力に誤りがないかを確認するために、**「暗号化キー確認」**の［**設定値変更**］キーを押して、同じ暗号化キーを入力し、［**入力終了**］キーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。

7 ［**はい**］キーを押してください。ハードディスクのデータが消去され、入力した暗号化キーが設定されます。**「マシン初期設定」**画面に戻ります。

手差し用紙設定

手差しにセットする用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を設定してください。

手差し用紙サイズの設定

手差し用紙サイズの設定方法と、設定できる用紙サイズは次のとおりです。

設定方法	単位設定	用紙サイズ
自動検知	センチ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、B6R、はがき
	インチ	11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、5 1/2 × 8 1/2"
その他定形サイズ		ISO B5、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、Comm. #10、Comm. #9、Comm. #6-3/4、Monarch、Executive、往復はがき、洋形 2 号、洋形 4 号、8 1/2 × 13 1/2"、8 1/2 × 13"（Oficio 2）、8K、16K、16KR
サイズ入力		たて：98 ～ 297 mm（1 mm 単位） よこ：148 ～ 432 mm（1 mm 単位）
ユーザ登録サイズ		あらかじめ登録している用紙サイズ（1 ～ 4） 登録できる用紙サイズ たて：98 ～ 297 mm（1 mm 単位） よこ：148 ～ 432 mm（1 mm 単位）

参考：手差し用紙サイズの設定方法は、**使用説明書**の 2 章、**手差し用紙サイズの設定**を参照してください。

手差し用紙種類の設定

手差しに設定できる用紙の種類は次のとおりです。

普通紙、OHP フィルム、薄紙、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、封筒、加工紙、上質紙、カスタム 1 ～ 8

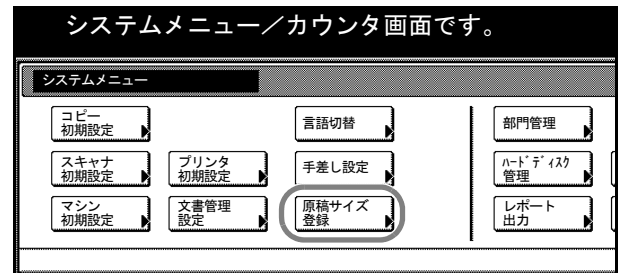
参考：手差し用紙種類の設定方法は、**使用説明書**の 2 章、**手差し用紙種類の設定**を参照してください。

原稿サイズ登録

不定形の原稿サイズをあらかじめ 4 種類まで登録しておくことができます。登録したサイズは、ユーザ登録サイズとして原稿サイズの選択時に表示されます。

登録できるサイズの範囲は縦 50 ～ 297 mm（1 mm 単位）、横 50 ～ 432 mm（1 mm 単位）です。

1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。

2 ［**原稿サイズ登録**］キーを押してください。

3 「**原稿サイズ（ユーザ登録 1 ～ 4）**」から登録する番号を選択して［**設定値変更**］キーを押してください。

4 ［**設定する**］キーを押してください。

5 ［**+**］または［**−**］キーを押して、「**Y**」（縦）と「**X**」（横）のサイズを設定してください。

6 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。

7 ［**閉じる**］キーを押してください。「**システムメニュー**」画面に戻ります。

ユーザ調整

カラーや画質に関する調整ができます。ユーザ調整では次の項目を設定できます。

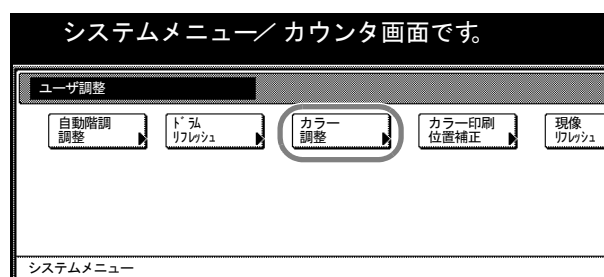
- カラー調整 ...7-36 ページ
- 自動階調調整 ...7-36 ページ
- カラー印刷位置補正 ...7-38 ページ
- ドラムリフレッシュ ...7-41 ページ
- 現像リフレッシュ ...7-42 ページ

カラー調整

長期間の使用や、周辺の温度や湿度の影響で、カラー出力の色合いが変わってきたり、色ずれが起こったりすることがあります。この機能を使うと、色合いと色ずれの微調整をして最適なカラーで印刷できるようになります。このカラー調整を実行しても色合いが改善されないときは、自動階調調整（7-36 ページ参照）を、また、色ずれが改善されないときは、カラー印刷位置補正（7-38 ページ参照）を行ってください。

1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。

2 ［**ユーザ調整**］キーを押してください。

3 ［**カラー調整**］キーを押してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。カラー調整を開始します。約 45 秒お待ちください。

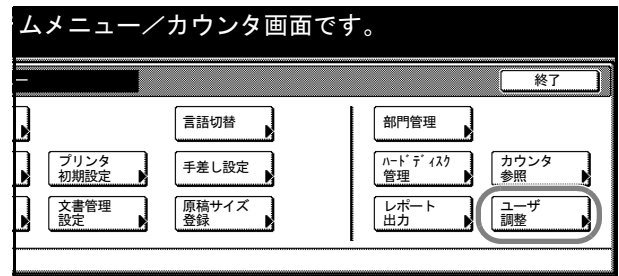
5 カラー調整が終了したら、［**閉じる**］キーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。「**システムメニュー**」画面に戻ります。

自動階調調整

長期間の使用や、周辺の温度や湿度の影響で、カラー出力の色合いにズレが生じる場合があります。原稿やデータと出力の色合いが異なる場合、この機能を使って色合いを自動的に補正することができます。この自動階調調整を実行する前に、カラー調整（7-36 ページ参照）を実行してください。カラー調整を実行しても色合いが改善されないときに、自動階調調整を行ってください。

参考：自動階調調整を行うときは、カセットに A4 の用紙がセットされていることを確認してください。

1　［システムメニュー / カウンタ］キーを押してください。

2　［ユーザ調整］キーを押してください。

3　［自動階調調整］キーを押してください。

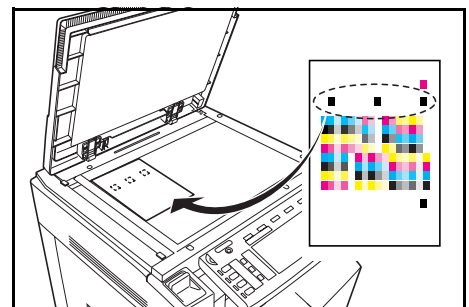
4　テンキーで 4 桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は 25/20 枚機では 2500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 3200 となっています。

暗証番号が合致すれば、**「自動階調調整」**画面が表示されます。

参考：4 桁の暗証番号は変更することができます。7-29 ページの**管理者暗証番号変更**を参照してください。

オプションのセキュリティキットを装着したときは、暗証番号は 8 桁です。工場出荷時は 25/20 枚機では 25002500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 32003200 となっています。

5　［実行］キーを押してください。カラーパターンが出力されます。カラーパターンの右上にマゼンタ色の■が 1 つあることを確認してください。

6　イラストのように、黒色の■が 3 つ並んでいる方を奥側に、印刷されている面を下向きにしてコンタクトガラスにセットしてください。

7　［スタート］キーを押してください。カラーパターンの読み込みを開始し、調整を実行します。

8　2 枚目のカラーパターンが出力されます。カラーパターンの右上にあるマゼンタ色の■が 2 つあることを確認して、手順 6 と 7 を繰り返してください。

「自動階調調整」画面に戻ります。

注意：カラーパターンの右上にあるマゼンタ色の■は、カラーパターンの枚数を表しています。1 枚目と 2 枚目のカラーパターンを間違えないように注意してください。

9 ［**閉じる**］キーを押してください。

10 ［**閉じる**］キーを押してください。「**システムメニュー**」画面に戻ります。

カラー印刷位置補正

本機を初めて設置したときや移動などで再設置した場合に、印刷時に色ずれが起こる場合があります。この機能を使うと、シアン、マゼンダ、イエロー各色の印刷位置を補正し、色ずれを解消できます。

カラー印刷位置補正には、通常の補正と詳細設定があります。色ずれは通常の補正でほぼ解消できますが、万一解消できない場合や、より精密な補正が必要な場合は詳細設定を行ってください。

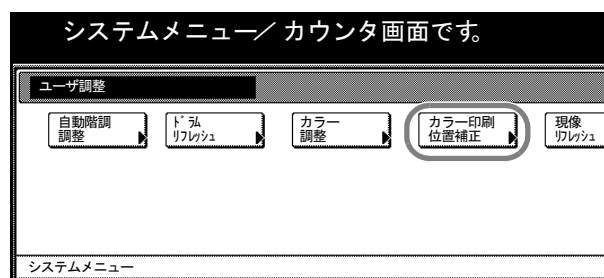
参考：カラー印刷位置補正を行うときは、カセットに A4 の用紙がセットされていることを確認してください。

通常の補正

通常の色ずれを解消する手順は次のとおりです。

1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。

2 ［**ユーザ調整**］キーを押してください。

3 ［**カラー印刷位置補正**］キーを押してください。

4 テンキーで 4 桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は 25/20 枚機では 2500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 3200 となっています。

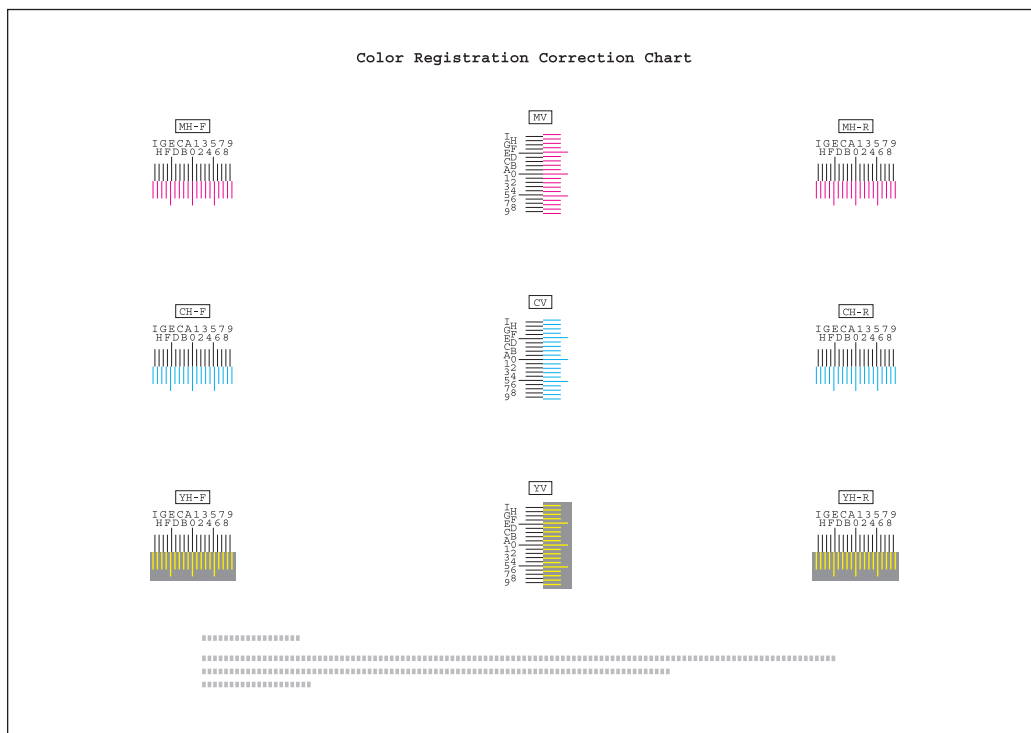
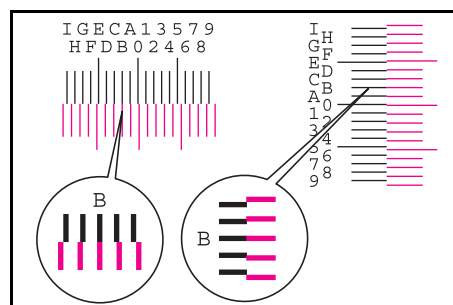
暗証番号が合致すれば、「**カラー印刷位置補正**」画面が表示されます。

参考：4 桁の暗証番号は変更することができます。7-29 ページの**管理者暗証番号変更**を参照してください。

オプションのセキュリティキットを装着したときは、暗証番号は 8 桁です。工場出荷時は 25/20 枚機では 25002500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 32003200 となっています。

5 **［チャート印刷］**キーを押してください。チャートが出力されます。

チャートには M（マゼンダ）、C（シアン）、Y（イエロー）各色について、H-F（左）、V（中央）、H-R（右）の 3 種類のチャートが印刷されます。

チャートサンプル

6 それぞれのチャートから、2 つの線が最もよく合っている箇所を見つけてください。「0」の位置であれば補正の必要はありません。イラストの場合、「B」が設定すべき値です。

7 **［補正値入力］**キーを押してください。

8 ［+］または［−］キーを押して、チャートから読み取った M（マゼンタ）の H-F、V、H-R の値を入力してください。

［+］キーを押すと、値が 0 から 9 へと進みます。逆に進むときは［−］キーを押してください。

カラー印刷位置補正(M)
印刷されたチャートを参照し、それぞれの黒色と色線が
一直線に見える部分の英数字を+/−キーで入力してください。
MH-F B MV 0 MH-R 0
＋ ＋ ＋
− − −
システムメニュー － ユーザ調整

［−］キーを押すと、値が 0 からアルファベットになり、A から I へと進みます。逆に進むときは［+］キーを押してください。

9 ［次へ］キーを押すと、順に C（シアン）、Y（イエロー）の数値を入力できます。各色について、手順 8 と同様にチャートから読み取った数値を入力してください。

［前へ］キーを押すと、ひとつ前の画面に戻って数値を入れなおすことができます。

10 すべての数値入力が完了したら、**［終了］**キーを押してください。カラー印刷位置補正を開始します。

11 カラー印刷位置補正が終了したら、**［閉じる］**キーを押してください。

12 ［閉じる］キーを押してください。**「システムメニュー」**画面に戻ります。

詳細設定

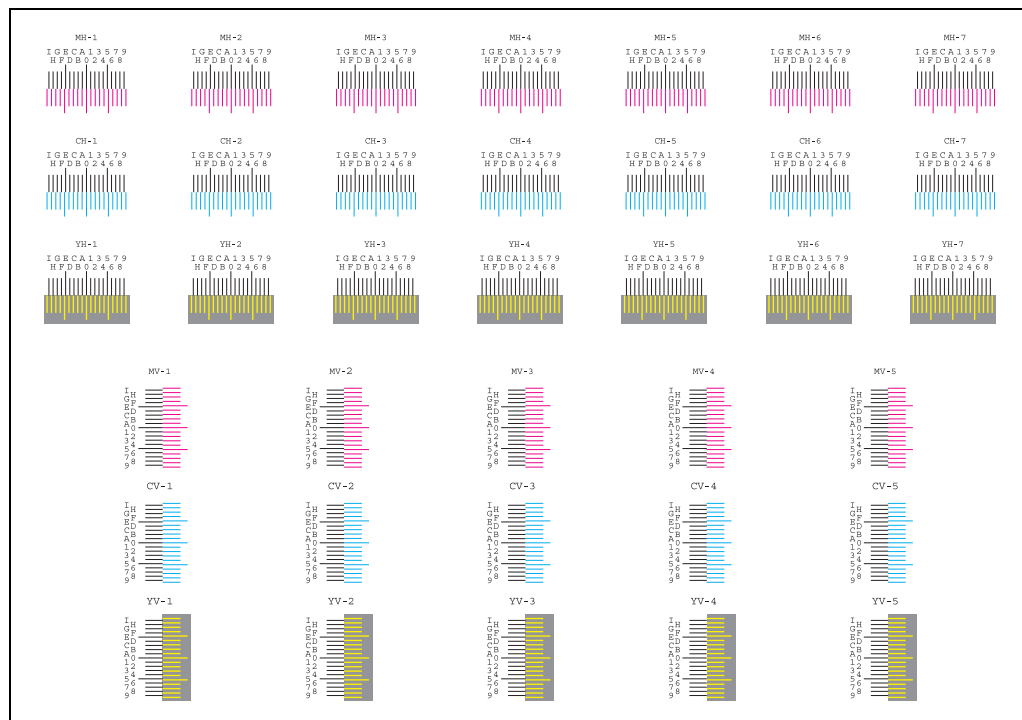
より精密な補正の手順は次のとおりです。

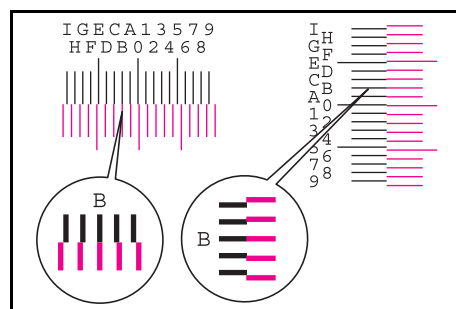
1 **通常の補正**の手順 1 ～ 4 を参照して、**「カラー印刷位置補正」**画面を表示させてください。

2 ［**詳細設定**］キーを押してください。

3 ［**チャート印刷（詳細）**］キーを押してください。チャートが出力されます。

チャートには M（マゼンダ）、C（シアン）、Y（イエロー）各色について、H-1 ～ 7（上部）、V-1 ～ 5（下部）のチャートが印刷されます。

チャートサンプル

4　それぞれのチャートから、2 つの線が最もよく合っている箇所を見つけてください。「0」の位置であれば補正の必要はありません。イラストの場合、「B」が設定すべき値です。

V-1 ～ 5 のチャートからは V-3（中央）の数値のみを読み取ってください。

5　**［補正値入力（詳細）］**キーを押してください。

6　［+］または［−］キーを押して、チャートから読み取った M（マゼンダ）、C（シアン）、Y（イエロー）各色の H-1 の数値を入力してください。

［+］キーを押すと、値が 0 から 9 へと進みます。逆に進むときは［−］キーを押してください。

［−］キーを押すと、値が 0 からアルファベットになり、A から I へと進みます。逆に進むときは［+］キーを押してください。

7　**［次へ］**キーを押すと、順に H-2 ～ H-7、V-3 の数値を入力できます。各色について、手順 6 と同様にチャートから読み取った数値を入力してください。

［前へ］キーを押すと、ひとつ前の画面に戻って数値を入れなおすことができます。

8　すべての数値入力が完了したら、**［終了］**キーを押してください。カラー印刷位置補正を開始します。

9　カラー印刷位置補正が終了したら、**［閉じる］**キーを押してください。

10　**［閉じる］**キーを押してください。**「システムメニュー」**画面に戻ります。

ドラムリフレッシュ

印刷に画像が流れたようなにじみや、部分的に白い抜けが発生する場合は、ドラムリフレッシュを行ってください。

1　**［システムメニュー / カウンタ］**キーを押してください。

2　**［ユーザ調整］**キーを押してください。

3 **［ドラムリフレッシュ］**キーを押してください。

4 **［実行］**キーを押してください。ドラムリフレッシュを開始します。約 100 秒お待ちください。

5 ドラムリフレッシュが終了したら、**［閉じる］**キーを押してください。

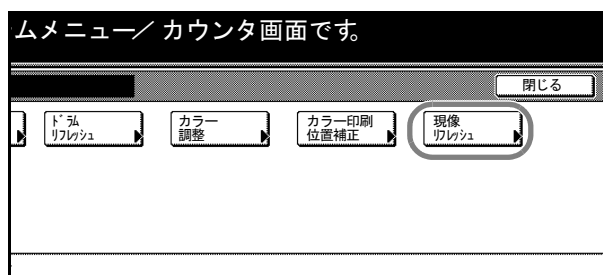
6 **［閉じる］**キーを押してください。**「システムメニュー」**画面に戻ります。

現像リフレッシュ

トナーが十分ある状態でも、印刷がうすくなったりかすれたりする場合は、現像リフレッシュを行ってください。

1 **［システムメニュー / カウンタ］**キーを押してください。

2 **［ユーザ調整］**キーを押してください。

3 **［現像リフレッシュ］**キーを押してください。

4 テンキーで 4 桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は 25/20 枚機では 2500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 3200 となっています。

暗証番号が合致すれば、**「現像リフレッシュ」**画面が表示されます。

参考：4 桁の暗証番号は変更することができます。7-29 ページの**管理者暗証番号変更**を参照してください。

オプションのセキュリティキットを装着したときは、暗証番号は 8 桁です。工場出荷時は 25/20 枚機では 25002500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 32003200 となっています。

---

5 **［実行］**キーを押してください。現像リフレッシュを開始します。約 140 秒お待ちください。

参考：現像リフレッシュを実行中に機械内部でトナー補給動作が行われると、待ち時間が長くなることがあります。

---

6 現像リフレッシュが終了したら、［**閉じる**］キーを押してください。

7 ［**閉じる**］キーを押してください。「**システムメニュー**」画面に戻ります。

文書管理初期設定

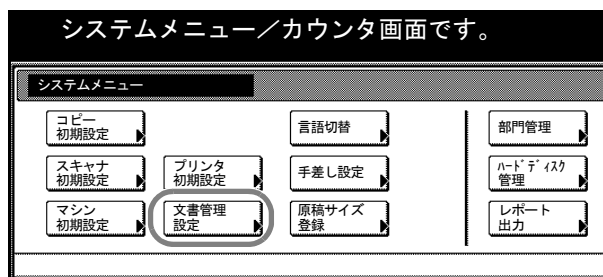
文書管理機能で使用する蓄積共有ボックス、ジョブ結合ボックスを設定します。ここでできる設定は次のとおりです。

- 文書リスト出力 ...7-45 ページ
- ボックスの初期化 ...7-46 ページ
- ボックス名 / ボックスパスワードの設定 ...7-46 ページ
- ボックス内文書の全削除 ...7-47 ページ
- 文書保存期間設定 ...7-48 ページ

「文書管理設定」画面の表示方法

文書管理初期設定は**「文書管理設定」**画面から行います。次の手順にしたがって**「文書管理設定」**画面を表示させてください。

1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。

2 ［**文書管理設定**］キーを押してください。

3 テンキーで 4 桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は 25/20 枚機では 2500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 3200 となっています。

暗証番号が合致すれば、**「文書管理設定」**画面が表示されます。

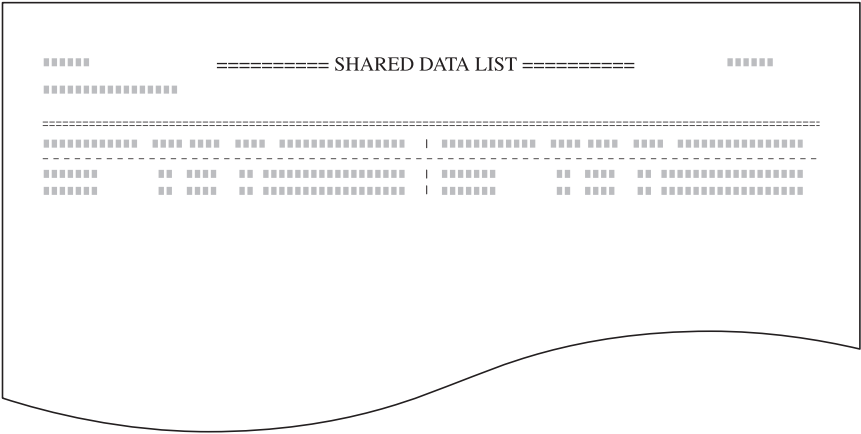
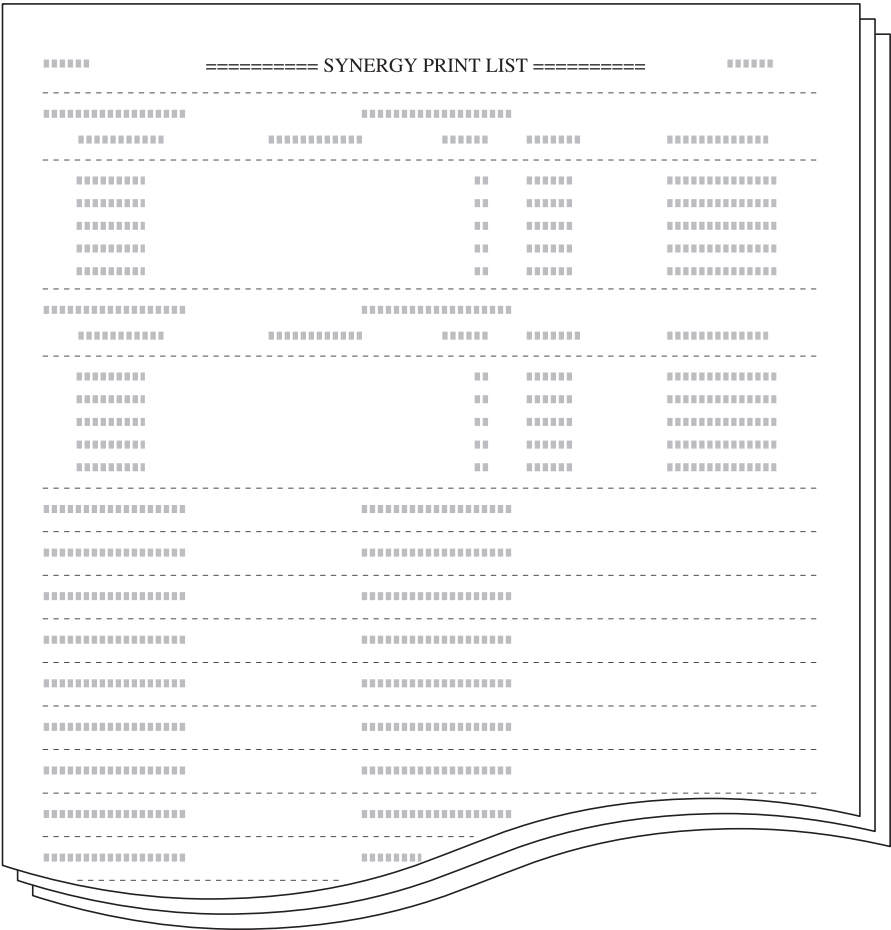
参考：4 桁の暗証番号は変更することができます。7-29 ページの**管理者暗証番号変更**を参照してください。

オプションのセキュリティキットを装着したときは、暗証番号は 8 桁です。工場出荷時は 25/20 枚機では 25002500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 32003200 となっています。

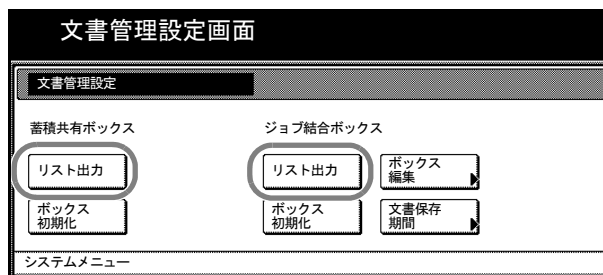
4 以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

文書リスト出力

蓄積共有ボックス、ジョブ結合ボックスの文書リストを出力します。

文書リスト（蓄積共有ボックス）

文書リスト（ジョブ結合ボックス）

参考：リストを出力するときは、カセットに A4 の用紙がセットされていることを確認してください。

1 7-44 ページの**「文書管理設定」画面の表示方法**を参照して、**「文書管理設定」**画面を表示させてください。

2 **「蓄積共有ボックス」**、**「ジョブ結合ボックス」**から、文書リストを出力するボックスの［**リスト出力**］キーを押してください。

3 リストの出力を開始します。出力が終了すると**「文書管理設定」**画面に戻ります。

ボックスの初期化

蓄積共有ボックス、ジョブ結合ボックスに保管されている文書を一挙に削除します。削除する前に文書を確認してください。

1 7-44 ページの**「文書管理設定」画面の表示方法**を参照して、**「文書管理設定」**画面を表示させてください。

2 **「蓄積共有ボックス」**、**「ジョブ結合ボックス」**から、初期化するボックスの［**ボックス初期化**］キーを押してください。

3 ［**はい**］キーを押してください。

ボックス内のすべての文書を削除して、**「文書管理設定」**画面に戻ります。

ボックス名 / ボックスパスワードの設定

ジョブ結合ボックスの各ボックスにボックス名、ボックスパスワードを設定します。ボックスパスワードを設定すると、ジョブ結合ボックス内の文書を出力するときや、消去するときにボックスパスワードの入力が必要になります。設定項目は次のとおりです。

設定項目	説明
ボックス名	ボックスの名称を半角英数 16 文字以内で設定します。
パスワード	ボックスにパスワードを数字 8 桁以内で設定します。

1 7-44 ページの**「文書管理設定」画面の表示方法**を参照して、**「文書管理設定」**画面を表示させてください。

2 **「ジョブ結合ボックス」**の［**ボックス編集**］キーを押してください。

3 設定するボックスを選択してください。直接ボックスキーを押すか、テンキーでボックス番号を入力して［**設定**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、**「ボックス名」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5　ボックス名を入力して、［**入力終了**］キーを押してください。

文字の入力方法は、7-66 ページの**直接入力**を参照してください。

6　［▲］または［▼］キーを押して、「**パスワード**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

7　テンキーでパスワードを入力してください。設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。

参考：パスワードを設定しないときは［**クリア**］キーを押して、何も入力していない状態で［**閉じる**］キーを押してください。

8　［**閉じる**］キーを押してください。別のボックスの設定を行う場合は、手順 3 ～ 8 を繰り返してください。

9　［**作業中止**］キーを押してください。「**文書管理設定**」に戻ります。

ボックス内文書の全削除

ジョブ結合ボックスの各ボックス内のすべての文書を削除します。

1　7-44 ページの「**文書管理設定」画面の表示方法**を参照して、「**文書管理設定**」画面を表示させてください。

2　「**ジョブ結合ボックス**」の［**ボックス編集**］キーを押してください。

3　すべての文書を削除するボックスを選択してください。直接ボックスキーを押すか、テンキーでボックス番号を入力して［**設定**］キーを押してください。

4　［**ボックス初期化**］キーを押してください。

5　［**はい**］キーを押してください。ボックス内のすべての文書を削除します。

6　［**閉じる**］キーを押してください。

7　［**作業中止**］キーを押してください。「**文書管理設定**」に戻ります。

文書保存期間設定

ジョブ結合ボックス内の文書を、一定期間保存した後で消去されるように設定します。設定内容は次のとおりです。

設定	説明
保存期間を設定	保存期間を 1 ～ 7 日間から設定します。保存期間が終了すると、文書は自動的に消去されます。
期限なしで保存	ジョブ結合ボックス内の文書は削除しない限り保存されます。

1 7-44 ページの**「文書管理設定」画面の表示方法**を参照して、**「文書管理設定」**画面を表示させてください。

2 **「ジョブ結合ボックス」**の［**文書保存期間**］キーを押してください。

3 ［**保存期間を設定**］または［**期限なしで保存**］を選択してください。

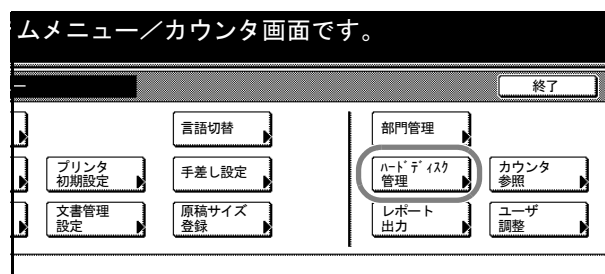
［**保存期間を設定**］を選択したときは、［**+**］または［**−**］キーで保存期間を設定してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。**「文書管理設定」**に戻ります。

ハードディスク管理

ハードディスク管理画面では、ハードディスクの空き容量の確認と無効なデータの消去を行うことができます。次の手順で行ってください。

1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。

2 ［**ハードディスク管理**］キーを押してください。

3 テンキーで 4 桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は 25/20 枚機では 2500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 3200 となっています。

暗証番号が合致すれば、「**ハードディスク管理**」画面が表示されます。

参考：4 桁の暗証番号は変更することができます。7-29 ページの**管理者暗証番号変更**を参照してください。

オプションのセキュリティキットを装着したときは、暗証番号は 8 桁です。工場出荷時は 25/20 枚機では 25002500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 32003200 となっています。

---

4 ハードディスクの空き容量と全容量を確認するときは、「**ハードディスク容量の確認**」の下（画面左側）の［**実行**］キーを押してください。

無効なデータの消去を行うときは、「**無効なデータの消去**」の下（画面右側）の［**実行**］キーを押してください。

参考：オプションのセキュリティキットを装着している場合は、「**ハードディスクのフォーマット**」が表示されます。詳しくはオプションのセキュリティキットの**使用説明書**を参照してください。

---

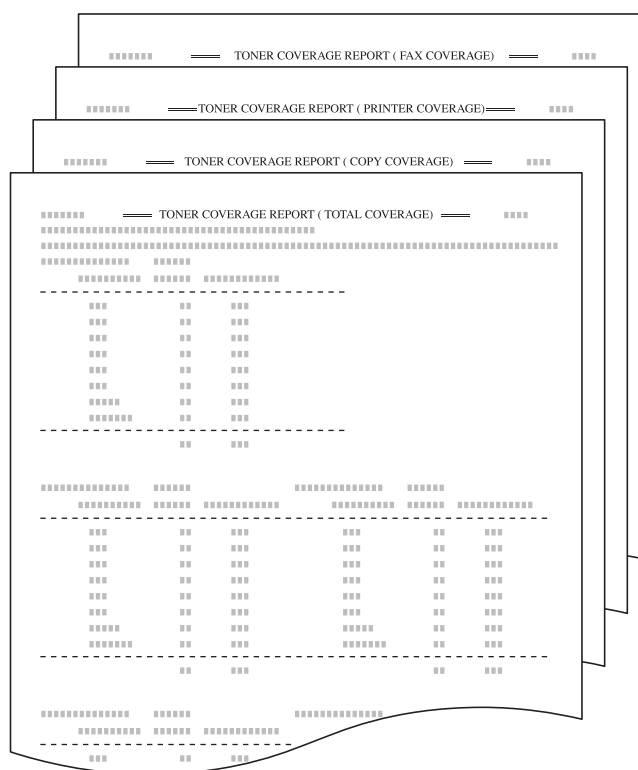
5 ［**閉じる**］キーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。「**システムメニュー**」画面に戻ります。

レポート出力

操作部から次のレポートを出力することができます。

コピーステータスレポート

マシンステータスレポート

トナーカバレッジレポート

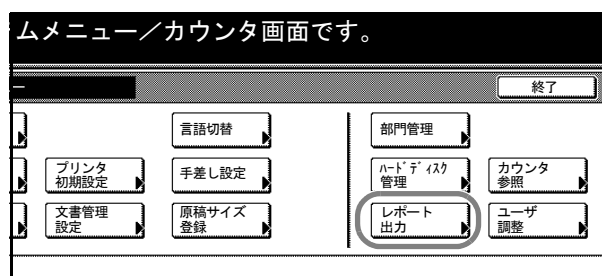
トナーカバレッジレポートは、用紙サイズごとに出力枚数と黒比率の平均値を記載したレポートです。次の 4 種類のレポートが印刷できます。

- トータルトナーカバレッジレポート
- コピートナーカバレッジレポート
- プリンタトナーカバレッジレポート
- ファクストナーカバレッジレポート

トナーカバレッジレポートに記載されている情報から換算した出力枚数と、トナーコンテナの保証枚数とは、完全には一致しません。実際に出力できる枚数は、使用状態（出力内容や単発の出力と連続出力の頻度など）、設置環境（温度や湿度）によって異なるからです。

参考：レポートを出力するときは、カセットに A4 の用紙がセットされていることを確認してください。

1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。

2 ［**レポート出力**］キーを押してください。

3 テンキーで 4 桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は 25/20 枚機では 2500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 3200 となっています。

暗証番号が合致すれば、**「レポート出力メニュー」**画面が表示されます。

参考：4 桁の暗証番号は変更することができます。7-29 ページの**管理者暗証番号変更**を参照してください。

オプションのセキュリティキットを装着したときは、暗証番号は 8 桁です。工場出荷時は 25/20 枚機では 25002500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 32003200 となっています。

---

4 印刷するレポートを押してください。レポートの印刷を開始します。

参考：**［トナーカバレッジレポート］**を選択すると、4 種類のトナーカバレッジレポートを一度に出力します。

---

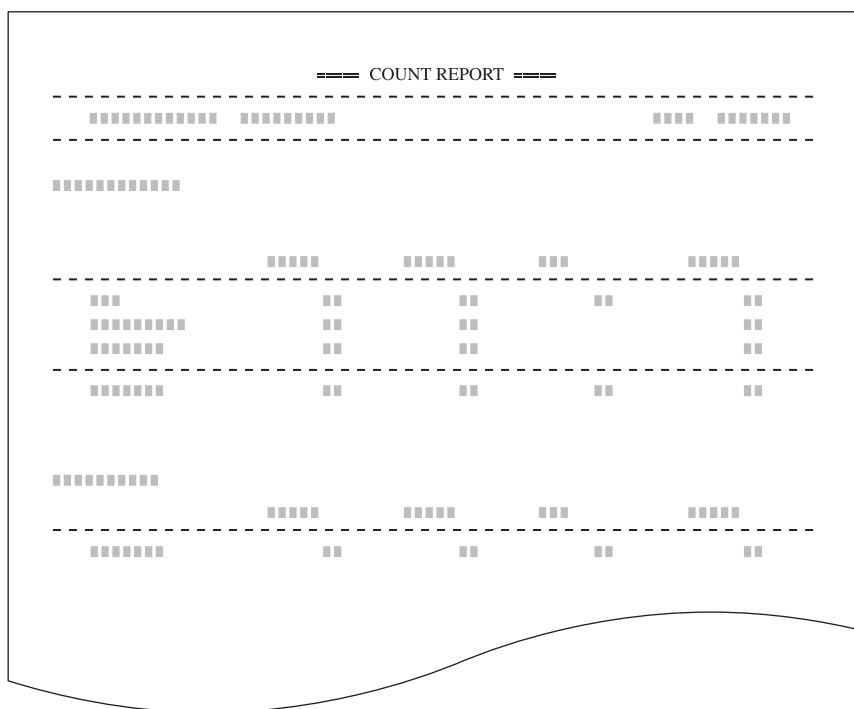
5 **［閉じる］**キーを押してください。**「システムメニュー」**画面に戻ります。

トータルカウンタの参照と印刷

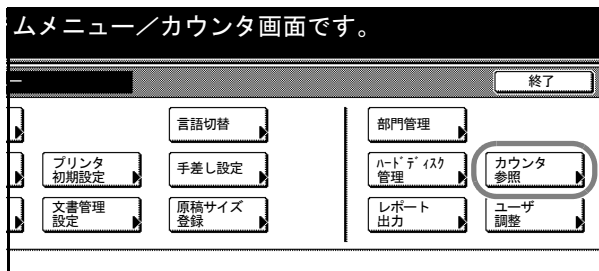
操作パネルでトータルカウントを参照することができます。参照できる数値は次のとおりです。

- カラーモード別のコピー枚数、印刷枚数、ファクス出力枚数およびその合計
- コピー機能、スキャナ機能、ファクス送信時における原稿の読み込み枚数、およびその合計

また、その内容をカウンタレポートとして出力することができます。

カウンタレポート

参考：レポートを出力するときは、カセットに A4 の用紙がセットされていることを確認してください。

1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。

2 ［**カウンタ参照**］キーを押してください。

3 タッチパネルにそれぞれの数値が表示されます。

カウンタレポートを印刷するときは、［レポート印刷］キーを押してください。

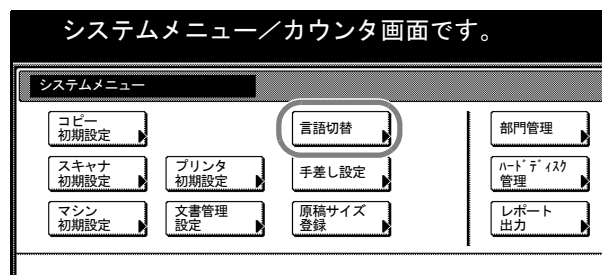
確認を終了するときは、［閉じる］キーを押してください。「システムメニュー」画面に戻ります。

言語切替

タッチパネルに表示される言語を選択することができます。

選択できる言語：日本語、英語（English)、フランス語（Français)、スペイン語（Español)、ポルトガル語（Português）

1　［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。

2　［**言語切替**］キーを押してください。

3　切り替えたい言語のキーを押してください。タッチパネルの言語が変更されます。

文字入力の方法

文字入力には漢字変換ができる変換入力と、半角カタカナおよび英数字を直接入力する直接入力があります。使用する機能によって、入力方法は異なります。

変換入力

漢字の入力はローマ字入力とかな入力の両方からできます。また、漢字変換の際には文節変換が可能です。

この入力方法は次の機能で使用します。

- プログラムコピー（1-59 ページ）
- PDF 暗号化機能（4-10 ページ）
- プログラムスキャン（4-23 ページ）
- ハードディスク暗号化キーの設定（7-33 ページ）
- 部門管理（8-1 ページ）
- ユーザ登録の表示名入力（**使用説明書**参照）
- 共通アドレス帳編集の表示名、ユーザ名、パスワード入力（**使用説明書**参照）

文字を入力するときはまず［**入力方式**］と［**入力文字**］をそれぞれ選択してください。

入力方式の選択

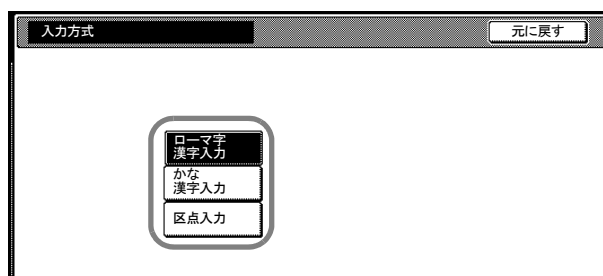
入力方式には次の 3 種類があります。

ローマ字漢字入力－ローマ字入力（例えば、「か」と入力するとき「K」「A」と入力する）で漢字等を入力するときに使用してください。

かな漢字入力－かな入力で漢字等を入力するときに使用してください。

区点入力－ 4 桁の区点コードを入力して漢字等を入力するときに使用してください。

1 ［**入力方式**］キーを押してください。

2 入力方式を選択して、［**閉じる**］キーを押してください。

入力文字の選択

入力文字には次の 5 種類があります。

全角ひらがな－漢字変換できます。無変換のときは全角ひらがなになります。

全角カタカナ－全角カタカナを入力するときに使用してください。

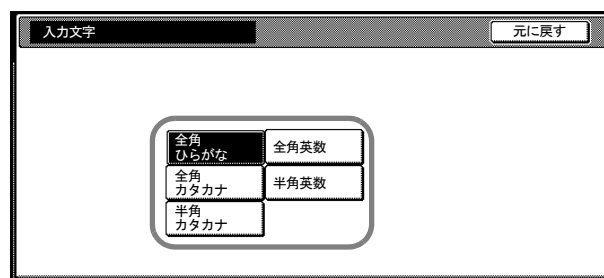
半角カタカナ－半角カタカナを入力するときに使用してください。

全角英数－無変換で全角アルファベット、全角数字を入力するときに使用してください。

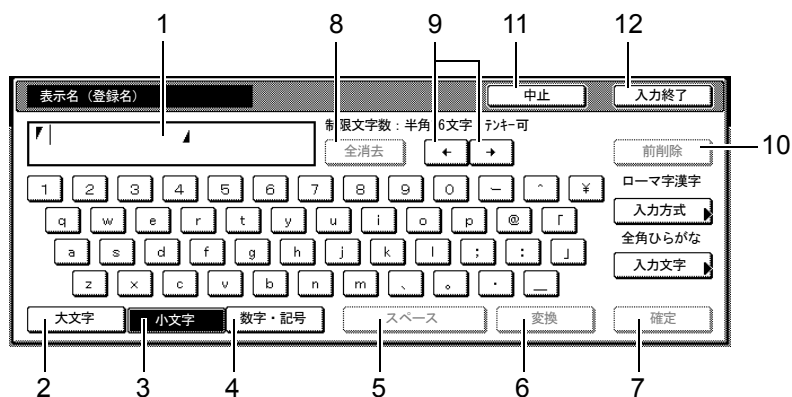
半角英数－無変換で半角アルファベット、半角数字を入力するときに使用してください。

1 ［**入力文字**］キーを押してください。

2 入力文字を選択して、［**閉じる**］キーを押してください。

参考：入力方式として「**区点入力**」を選択したときは、入力文字は選択できません。

入力画面

ローマ字漢字入力

次の画面は入力文字として［**全角ひらがな**］を選択した場合です。

1　**文字表示部**－入力した文字を表示します。

2　［**大文字**］**キー**－アルファベットの大文字を使用するときに押してください。

3 ［**小文字**］**キー**－アルファベットの小文字を使用するときに押してください。

4 ［**数字・記号**］**キー**－数字や記号を入力するときに押してください。

5 ［**スペース**］**キー**－スペースを入力するときに押してください。

6 ［**変換**］**キー**－入力した文字を漢字等に変換するときに押してください。

7 ［**確定**］**キー**－文字表示部で入力した文字を確定するときに押してください。

8 ［**全消去**］**キー**－確定した文字を全て消去するときに押してください。

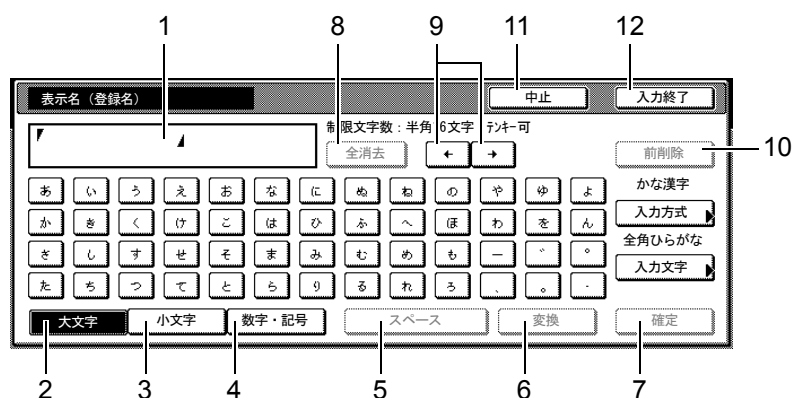
9 ［←］［→］**キー**－カーソルを移動させるときに押してください。

10 ［**前削除**］**キー**－カーソルの左の文字を削除するときに押してください。

11 ［**中止**］**キー**－文字入力の前の画面に戻るときに押してください。

12 ［**入力終了**］**キー**－入力した名称の内容を確定するときに押してください。

かな漢字入力

次の画面は入力文字として［**全角ひらがな**］を選択した場合です。

1 **文字表示部**－入力した文字を表示します。

2 ［**大文字**］**キー**－全角ひらがなを使用するときに押してください。

3 ［**小文字**］**キー**－ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、っ、ゃ、ゅ、ょを入力するときに押してください。

4 ［**数字・記号**］**キー**－数字や記号を入力するときに押してください。

5 ［**スペース**］**キー**－スペースを入力するときに押してください。

6 ［**変換**］**キー**－入力した文字を漢字等に変換するときに押してください。

7 ［**確定**］**キー**－文字表示部で入力した文字を確定するときに押してください。

8 ［**全消去**］**キー**－確定した文字を全て消去するときに押してください。

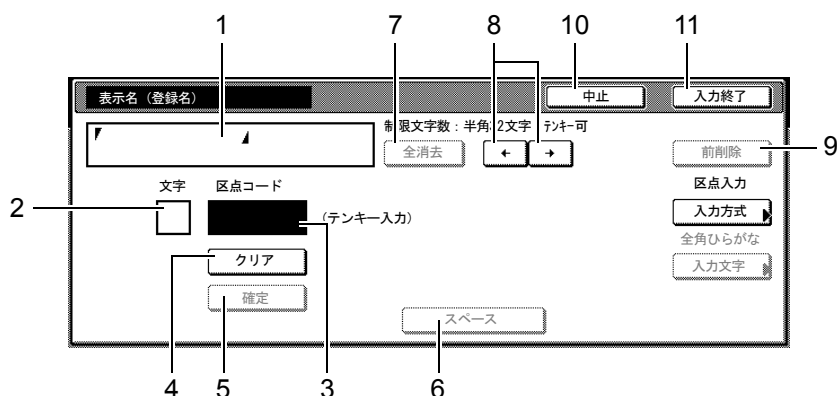
9 ［←］［→］**キー**－カーソルを移動させるときに押してください。

10 ［**前削除**］**キー**－カーソルの左の文字を削除するときに押してください。

11 ［**中止**］**キー**－文字入力の前の画面に戻るときに押してください。

12 ［**入力終了**］**キー**－入力した名称の内容を確定するときに押してください。

区点入力

次の画面は入力方式として**「句点入力」**を選択した場合です。

1　**文字表示部**－入力した文字を表示します。

2　**入力文字表示部**－区点コードに対応した文字を表示します。

3　**区点コード表示部**－入力した区点コードを表示します。

4　**［クリア］キー**－入力した区点コードを消去するときに押してください。

5　**［確定］キー**－区点コードに対応した文字を確定するときに押してください。

6　**［スペース］キー**－スペースを入力するときに押してください。

7　**［全消去］キー**－入力を全て消去するときに押してください。

8　**［←］［→］キー**－カーソルを移動させるときに押してください。

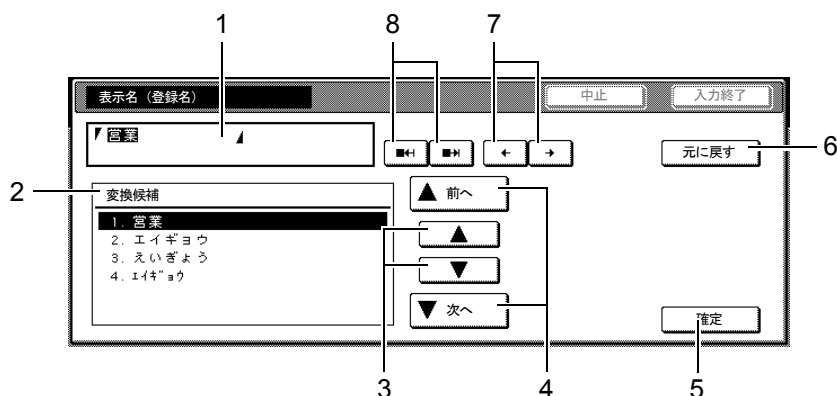
9　**［前削除］キー**－カーソルの左の文字を削除するときに押してください。

10　**［中止］キー**－文字入力の前の画面に戻るときに押してください。

11　**［入力終了］キー**－入力した名称の内容を確定するときに押してください。

参考：各文字の区点コードは、**付録** -29 ページの**区点コード表**を参照してください。

ローマ字漢字入力とかな漢字入力での文字変換

ローマ字漢字入力、かな漢字入力のそれぞれの入力画面で変換前の文字を入力した後、**［変換］**キーを押すと次のような文字変換画面が表示されます。

1　**文字表示部**－入力した文字を表示します。

2 **変換候補リスト**－選択中の文節に対する変換候補を表示します。

3 **［▲］［▼］キー**－変換候補を選択するときに押してください。

4 **［▲前へ］［▼次へ］キー**－表示されている以外に変換候補がある場合、変換候補をスクロールするときに押してください。

5 **［確定］キー**－未確定文字をすべて確定するときに押してください。

6 **［元に戻す］キー**－［**変換**］キーを押す前に戻るときに押してください。

7 **［←］［→］キー**－変換対象の文節を移動させるときに押してください。

8 **［■←｜］［■→｜］キー**－変換対象文節の長さを変更するときに押してください。

【入力例】「京都営業所」と入力するとき

一文字づつ入力できますが、ここでは一度にひらがなを入力し文節に変換していく方法を説明します。

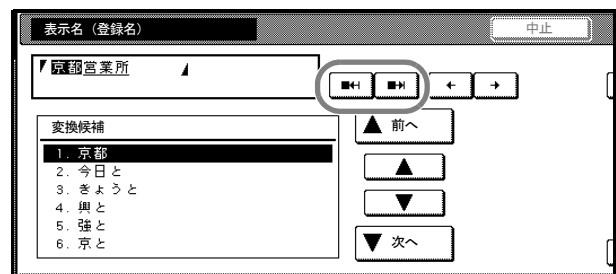
1 ローマ字漢字入力の場合、「KYOUTOEIGYOUSHO」と順にタッチパネル上で入力してください。

漢字かな入力の場合**「きょうとえいぎょうしょ」**と順にタッチパネル上で入力してください。

文字表示部に**「きょうとえいぎょうしょ」**と表示されます。

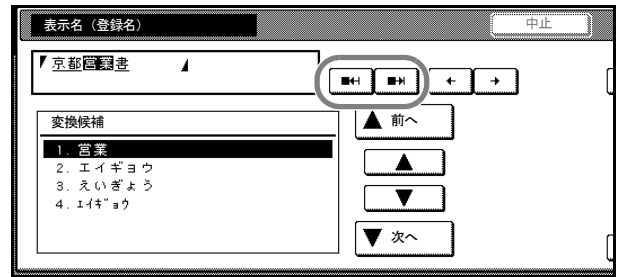
2 ［**変換**］キーを押してください。文字変換画面に替わります。

反転されている部分が変換する文字です。

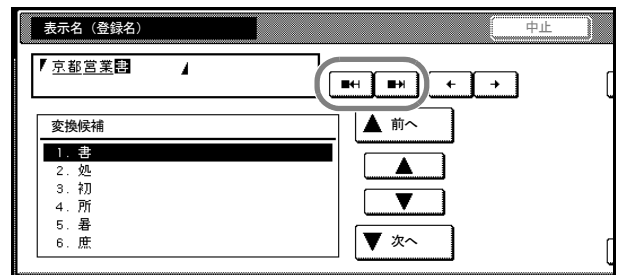
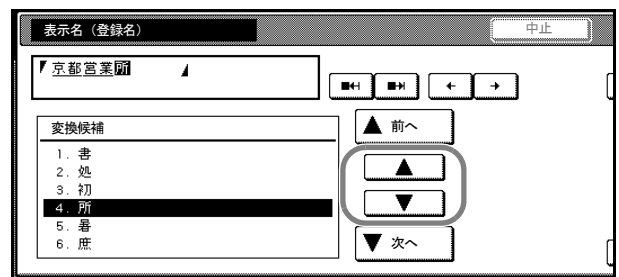
3 ［■←｜］または［■→｜］キーを押して、変換する部分（この場合まず**「きょうと」**）を反転させてください。変換候補が表示されます。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、変換する文字（この場合**「京都」**）を選択してください。

参考：表示されている以外の変換候補がある場合、［**▲前へ**］または［**▼次へ**］キーを押して画面をスクロールしてください。

5 ［→］キーを押してください。**「京都」**が確定します。

6 [■←｜] または [■→｜] キーを押して、次の変換する部分（この場合**「えいぎょう」**）を反転させてください。変換候補が表示されます。

7 [▲] または [▼] キーを押して、変換する文字（この場合**「営業」**）を選択してください。

8 [→] キーを押してください。**「営業」**が確定します。

9 [■←｜] または [■→｜] キーを押して、次の変換する部分（この場合**「しょ」**）を反転させてください。変換候補が表示されます。

10 [▲] または [▼] キーを押して、変換する文字（この場合**「所」**）を選択してください。

11 文字の変換が終了するれば、[**確定**] キーを押してください。

12 [**入力終了**] キーを押してください。各名称の登録画面に戻ります。

区点入力での文字変換

参考：入力できる文字は全角文字に限ります。半角文字は入力できません。

各文字の区点コードは、**付録** -29 ページの**区点コード表**を参照してください。

【入力例】「大阪」と入力する場合

1 **付録** -29 ページの**区点コード表**を参照して、入力に必要な全ての文字の区点コード（4 桁）をメモしてください。

この例で入力する**「大」**の区点コードは「3471」、**「阪」**の区点コードは「2669」となります。

参考：漢字を探すときは、音読みで探してください。

---

2 テンキーを使って「3」、「4」、「7」、「1」と入力してください。入力文字表示部に**「大」**の文字が表示されます。

3 ［**確定**］キーを押してください。文字表示部に**「大」**の文字が表示されます。

4 手順 2 〜 3 と同様にして、区点コード「2669」を入力してください。**「阪」**の文字が**「大」**の後に続いて入力されます。

5 入力が終了したときは、［**入力終了**］キーを押してください。各名称の登録画面に戻ります。

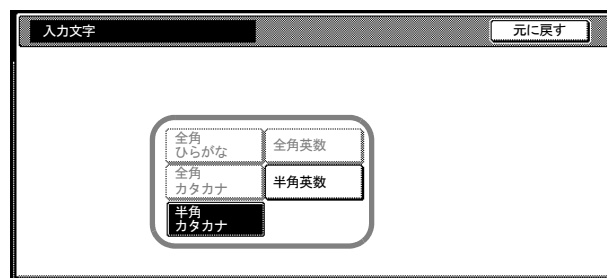
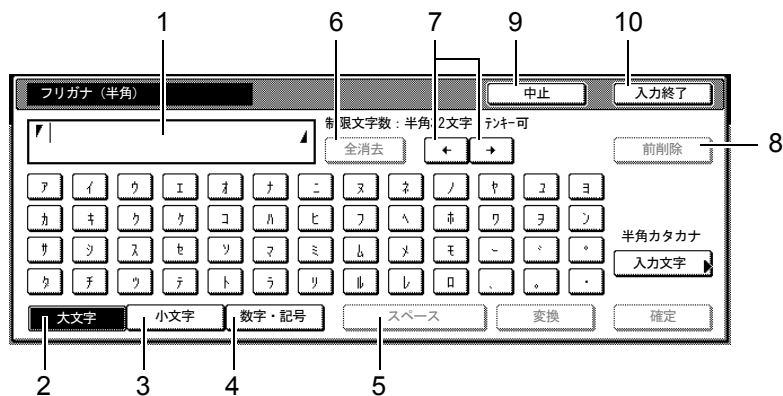
半角文字の入力

入力画面の切替

入力画面は**「半角カタカナ」**と**「半角英数」**の 2 種類です。

1 ［**入力文字**］キーを押してください。

入力文字の選択画面が表示されます。

2 入力文字を選択して、［**閉じる**］キーを押してください。

「半角カタカナ」画面

1 **文字表示部**－入力した文字を表示します。半角で 32 文字表示できます。

2 ［**大文字**］**キー**－半角カタカナを入力するときに押してください。

3 ［**小文字**］**キー**－ァ、ィ、ゥ、ェ、ォ、ッ、ャ、ュ、ョを入力するときに押してください。

4 ［**数字・記号**］**キー**－数字や記号を入力するときに押してください。

5 ［**スペース**］**キー**－スペースを入力するときに押してください。

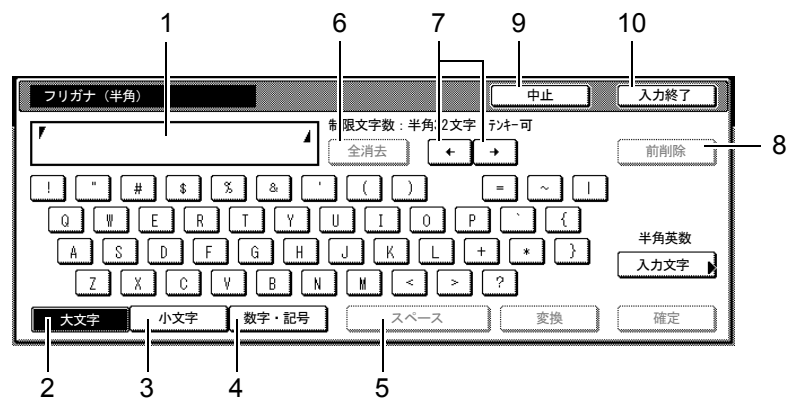
6 ［**全消去**］**キー**－確定した文字を全て消去するときに押してください。

7 ［←］［→］**キー**－カーソルを移動させるときに押してください。

8 ［**前削除**］**キー**－カーソルの左の文字を削除するときに押してください。

9 ［**中止**］**キー**－文字入力の前の画面に戻るときに押してください。

10 ［**入力終了**］**キー**－入力した名称の内容を確定するときに押してください。

「半角英数」画面

1　**文字表示部**－入力した文字を表示します。

2　**［大文字］キー**－アルファベットの大文字を使用するときに押してください。

3　**［小文字］キー**－アルファベットの小文字を使用するときに押してください。

4　**［数字・記号］キー**－数字や記号を入力するときに押してください。

5　**［スペース］キー**－スペースを入力するときに押してください。

6　**［全消去］キー**－確定した文字を全て消去するときに押してください。

7　**［←］［→］キー**－カーソルを移動させるときに押してください。

8　**［前削除］キー**－カーソルの左の文字を削除するときに押してください。

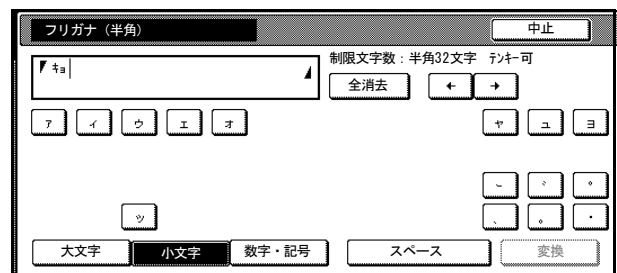
9　**［中止］キー**－文字入力の前の画面に戻るときに押してください。

10　**［入力終了］キー**－入力した名称の内容を確定するときに押してください。

【入力例】「ｷｮｳﾄ Sp」

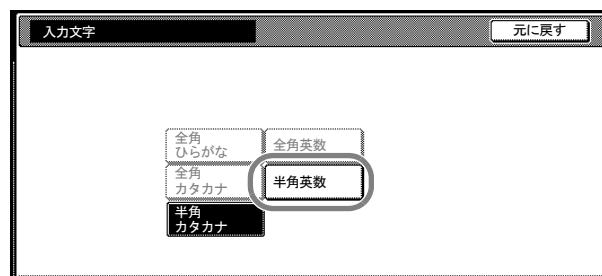
1　入力文字で**「半角カタカナ」**を選択していることを確認して、**「ｷ」**を入力してください。

2　［**小文字**］キーを押してください。

3　「ｮ」を入力してください。

4　［**大文字**］キーを押してください。

5 「ｳﾄ」と順に入力してください。

6 ［**入力文字**］キーを押してください。

7 ［**半角英数**］キーを押して、［**閉じる**］キーを押してください。

8 「S」を入力してください。

9 ［**小文字**］キーを押してください。

10 「p」を入力してください。

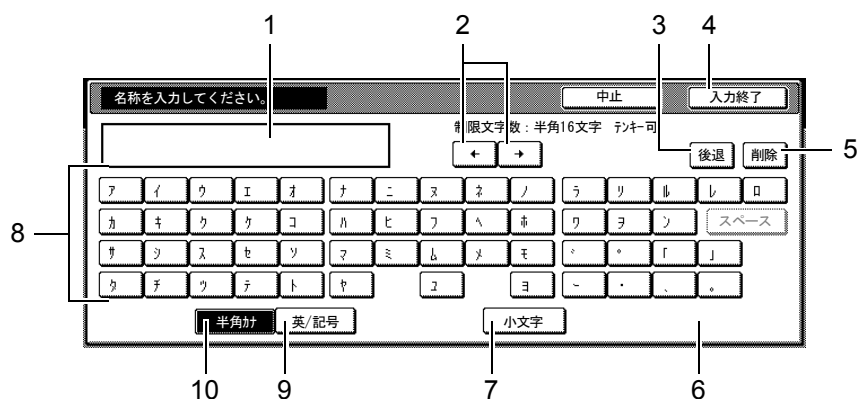
11 入力が全て終了したら、［**入力終了**］キーを押してください。

直接入力

半角カタカナと英数字を、タッチパネル上の文字入力キーをテンキーを使用して、直接入力します。

この入力方法は次の機能で使用します。

- 文書管理機能（2-1 ページ）
- スキャン機能設定（4-2 ページ）
- スキャナ基本設定（**使用説明書**参照）
- ユーザ登録の E-Mail アドレス、IP アドレス入力（**使用説明書**参照）
- 共通アドレス帳編集の E-Mail アドレス入力、IP アドレス、ホスト名入力（**使用説明書**参照）

入力画面

1　**入力表示欄**－入力した文字が表示されます。

2　［←］、［→］**キー**－入力表示欄のカーソルを左右に移動させるときに押してください。

3　［**後退**］**キー**－左に向かって後退しながら文字を 1 文字ずつ消去するときに押してください。

4　［**中止**］**キー**－入力を中止して、前の画面に戻るときに押してください。

5　［**削除**］**キー**－カーソルから右側すべての文字を一度に消去するときに押してください。

6　［**入力終了**］**キー**－入力を確定するときに押してください。前の画面に戻ります。

7　［**小文字**］⇔［**大文字**］**切り替えキー**－［**小文字**］キーを押すと「ｧ」、「ｨ」、「ｩ」、「ｪ」、「ｫ」、「ｯ」、「ｬ」、「ｭ」、「ｮ」の小文字が表示されます。［**英 / 記号**］キーボードのときは［**Shift**］キーで大文字、小文字に切り替えます。キーボードの表示も大文字表示、小文字表示に切り替わります。

8　**文字入力キー**－これらのキーを押して文字を入力してください。［**半角カナ**］キーを押すと半角カナキーが表示され、［**英 / 記号**］キーを押すと英 / 記号キーが表示されます。

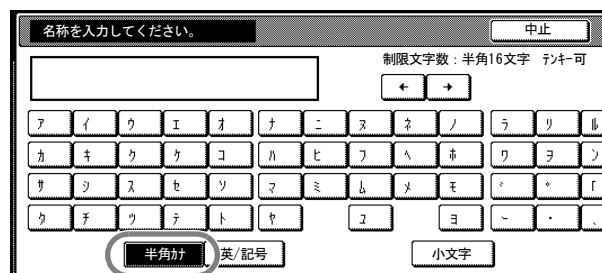
9　［**英 / 記号**］**キー**－［**英 / 記号**］キーで入力するときに押してください。英 / 記号キー配列となります。

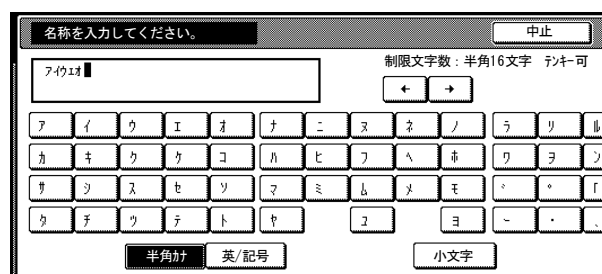
10 ［半角カナ］キー－［半角カナ］キーで入力するときに押してください。半角カナキー配列となります。

参考：数字の入力はテンキーで行ってください。

カタカナ入力の例

1 ［半角カナ］キーを押してください。

キーボードが半角カナ配列となります。

2 ［ｱ］、［ｲ］、［ｳ］、［ｴ］、［ｵ］キーを順番に押してください。

入力表示欄に「ｱｲｳｴｵ」と表示されます。

3 ［入力終了］キーを押してください。

4 ［はい］キーを押すと入力が登録され、前の画面に戻ります。

英 / 記号入力の例

1 ［英 / 記号］キーを押してください。

キーボードが英 / 記号配列となります。

2 ［Shift］キーを押して大文字、小文字を選んでください。

3 ［a］、［b］、［c］、［d］、［e］キーを順番に押してください。入力表示欄に「abcde」と表示されます。

4 ［入力終了］キーを押してください。

5 ［はい］キーを押すと入力が登録され、前の画面に戻ります。

8　部門管理

この章では、本機の部門管理について説明します。

- 部門管理について ...8-2 ページ
- 部門編集 ...8-4 ページ
- 部門管理集計 ...8-16 ページ
- 部門管理の設定 ...8-19 ページ
- 部門管理初期設定 ...8-20 ページ
- 部門管理時の操作 ...8-26 ページ

部門管理について

部門管理では、部門別に部門コードを設定することにより、部門別の使用枚数を管理することができます。

本機の部門管理は、次の特長を備えています。

- 同じ部門コードで、コピー / プリンタ / スキャナ機能を一括管理することができます。
- 最大 1,000 部門の管理ができます。
- 部門コードは 0 〜 99999999 までの最大 8 桁で設定できます。
- 全部門または部門別で使用枚数を集計することができます。
- フルカラーコピー、単色カラーコピーの管理ができます。
- 制限枚数を 1 枚単位で 999,999 枚まで設定することができます。
- カウンタのクリアは全部門でも各部門ごとでもできます。
- 部門コード入力で自部門の使用枚数の集計を参照することができます。

注意：部門編集で使用制限の設定を行う場合は、部門管理初期設定の**コピー部門管理**、**プリンタ部門管理**、**スキャナ部門管理**を［**設定する**］に変更しておく必要があります。詳細は 8-20 ページの**部門管理初期設定**を参照してください。

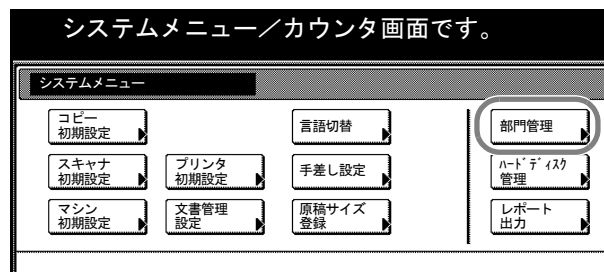
部門管理で設定できる内容は次のとおりです。

設定	説明	参照ページ
部門編集	新規部門登録－新しい部門を登録します。最大、1,000 部門まで登録することができます。 部門削除－登録された部門を抹消します。 部門情報修正－部門名称や部門コードを変更します。 使用制限変更－各部門の使用制限を変更します。	8-4 ページ
部門管理集計	全部門集計－全部門のトータル枚数の集計、部門管理レポート出力と、カウンタのクリアができます。 部門別集計－部門別の集計と、カウンタのクリアができます。	8-16 ページ
部門管理の設定	部門管理を行うか行わないかを設定します。	8-19 ページ
部門管理初期設定	部門管理機能の初期設定を変更します。	8-20 ページ

「部門管理」画面の表示方法

部門管理は**「部門管理」**画面から設定します。次の手順にしたがって**「部門管理」**画面を表示させてください。

1 ［**システムメニュー / カウンタ**］キーを押してください。

2 ［**部門管理**］キーを押してください。

3 テンキーで 4 桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は 25/20 枚機では 2500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 3200 となっています。

暗証番号が合致すれば、**「部門管理」**画面が表示されます。

参考：4 桁の暗証番号は変更することができます。7-29 ページの**管理者暗証番号変更**を参照してください。

オプションのセキュリティキットを装着したときは、暗証番号は 8 桁です。工場出荷時は 25/20 枚機では 25002500、32/25 枚機と 32/32 枚機では 32003200 となっています。

---

4 以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

部門編集

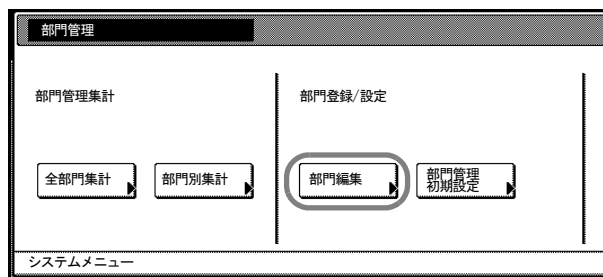
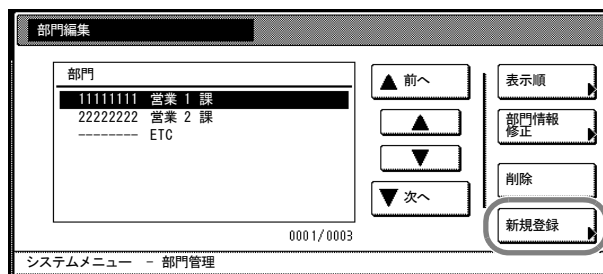
新しい部門の登録や、部門の削除、制限内容を修正します。

新規部門登録

新しい部門を登録します。必要な設定は次のとおりです。

設定	説明
部門コード	部門ごとの暗証番号を、0 ～ 99999999 までの最大 8 桁で設定します。
表示名（登録名）	部門名を全角 16 文字、半角 32 文字以内で設定します。
フリガナ（半角）	部門名のフリガナを半角 32 文字以内で設定します。
使用制限	コピー / プリンタ / スキャナの各機能の使用について、制限を設定します。設定方法は 8-5 ページの**使用制限の設定**を参照してください。

1 8-3 ページの**「部門管理」画面の表示方法**を参照して、**「部門管理」**画面を表示させてください。

2 ［**部門編集**］キーを押してください。

3 ［**新規登録**］キーを押してください。

4 ［▲］または［▼］キーを押して、**「部門コード」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

5 部門コードをテンキーで入力してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。

7 ［▲］または［▼］キーを押して、**「表示名（登録名）」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

8 部門名を入力し、［**入力終了**］キーを押してください。

文字の入力方法は、7-56 ページの**変換入力**を参照してください。

9 ［▲］または［▼］キーを押して、**「フリガナ（半角）」**を選んで、［**設定値変更**］キーを押してください。

10 部門名のフリガナを入力し、［**入力終了**］キーを押してください。

文字の入力方法は、7-56 ページの**変換入力**を参照してください。

11 すべての登録ができたら、［**次へ**］キーを押してください。

注意：「部門コード」、「表示名（登録名）」、「フリガナ（半角）」で登録していない項目があるとエラーになり、次の画面に進みません。登録もれが無いか確認をしてください。

すでに登録している部門コードで登録しようとするとエラーになり、次の画面に進みません。別の部門コードに変更してください。

---

12 使用制限の設定を行ってください。

設定方法は次の**使用制限の設定**を参照してください。

13 使用制限の設定が終了したら、［**登録**］キーを押してください。

続けて部門を登録するときは［**新規登録**］キーを押して、手順 4 ～ 13 を繰り返してください。

14 ［**閉じる**］キーを押してください。「**部門管理**」画面に戻ります。

使用制限の設定

使用制限の設定では、部門ごとにコピー / プリンタ / スキャナの使用を禁止したり、使用できる枚数を制限することができます。

部門管理初期設定の**コピー / プリンタ出力の管理**で［**一括**］と［**個別**］のどちらを選択するかによって使用制限の設定項目が変わります。8-22 ページの**コピー / プリンタ出力の管理**を参照してください。

コピー / プリンタ出力の管理で［一括］を設定した場合（工場出荷時）

コピーとプリンタの出力枚数を一括して管理します。設定できる項目は次のとおりです。

- コピー使用制限 ...8-6 ページ
- プリンタ使用制限 ...8-6 ページ
- 出力制限（全体）...8-7 ページ
- 出力制限（単色カラー）...8-7 ページ
- 出力制限（フルカラー）...8-8 ページ
- スキャナ送信使用制限 ...8-9 ページ
- ファクス送信使用制限 ...8-9 ページ

コピー / プリンタ出力の管理で［個別］を設定した場合

コピーとプリンタの出力枚数を個別に管理します。設定できる項目は次のとおりです。

- コピー使用制限（全体）...8-10 ページ
- コピー使用制限（単色カラー）...8-10 ページ
- コピー使用制限（フルカラー）...8-11 ページ
- プリンタ使用制限（全体）...8-12 ページ
- プリンタ使用制限（フルカラー）...8-12 ページ
- スキャナ送信使用制限 ...8-9 ページ
- ファクス送信使用制限 ...8-9 ページ

コピー使用制限

コピーの使用を許可するか、禁止するか設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
使用可	コピーの使用を許可します。
使用不可	コピーの使用を禁止します。

参考：部門管理初期設定の**コピー部門管理**（8-20 ページ参照）を［**設定しない**］に設定している場合は、この項目は表示されません。

1 8-4 ページの**新規部門登録**の手順 1 ～ 11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、「**コピー**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**使用可**］または［**使用不可**］を選択してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

プリンタ使用制限

プリンタの使用を許可するか、禁止するか設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
使用可	プリンタの使用を許可します。
使用不可	プリンタの使用を禁止します。

参考：部門管理初期設定の**プリンタ部門管理**（8-21 ページ参照）を［**設定しない**］に設定している場合は、この項目は表示されません。

1 8-4 ページの**新規部門登録**の手順 1 ～ 11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「プリンタ」**を選択し、**［設定値変更］**キーを押してください。

3 **［使用可］**または**［使用不可］**を選択してください。

4 設定を確定するときは**［閉じる］**キーを、設定をキャンセルするときは**［元に戻す］**キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

出力制限（全体）

コピーとプリンタで使用する合計の制限枚数を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
制限なし	コピーとプリンタで使用する枚数を制限しません。
カウンタ制限	コピーとプリンタで使用する合計枚数を、1 ～ 999,999 枚の範囲（1 枚単位）で制限します。

参考：**コピー使用制限**（8-6 ページ参照）と**プリンタ使用制限**（8-6 ページ参照）を両方とも**［使用不可］**に設定している場合は、この項目は表示されません。

1 8-4 ページの**新規部門登録**の手順 1 ～ 11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、**「制限（全体）」**を選択し、**［設定値変更］**キーを押してください。

3 **［制限なし］**または**［カウンタ制限］**を選択してください。

［カウンタ制限］を選択した場合は、テンキーを使って制限枚数を入力してください。

4 設定を確定するときは**［閉じる］**キーを、設定をキャンセルするときは**［元に戻す］**キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

出力制限（単色カラー）

単色カラーコピーについて使用制限を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
制限なし	単色カラーコピーの使用枚数を制限しません。
カウンタ制限	単色カラーコピーの使用枚数を、1 ～ 999,999 枚の範囲（1 枚単位）で制限します。
使用不可	単色カラーコピーの使用を禁止します。

参考：**コピー使用制限**（8-6 ページ参照）を**［使用不可］**に設定している場合は、この項目は表示されません。

［カウンタ制限］で設定した制限枚数を超えていなくても、**出力制限（全体）**で設定した制限枚数を超えると使用禁止または警告メッセージが表示されます。

1 8-4 ページの**新規部門登録**の手順 1 ～ 11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「制限（単色カラー）」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**制限なし**］、［**カウンタ制限**］または［**使用不可**］を選択してください。

［**カウンタ制限**］を選択した場合は、テンキーを使って制限枚数を入力してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

出力制限（フルカラー）

フルカラーコピーとフルカラー印刷の合計で使用制限を設定できます。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
制限なし	フルカラーコピーとフルカラー印刷の使用枚数を制限しません。
カウンタ制限	フルカラーコピーとフルカラー印刷の合計使用枚数を、1 ～ 999,999 枚の範囲（1 枚単位）で制限します。
使用不可	フルカラーコピーとフルカラー印刷の使用を禁止します。

参考：コピー使用制限（8-6 ページ参照）と**プリンタ使用制限**（8-6 ページ参照）を両方とも［**使用不可**］に設定している場合は、この項目は表示されません。

［**カウンタ制限**］で設定した制限枚数を超えていなくても、**出力制限（全体）**（8-7 ページ参照）で設定した制限枚数を超えると使用禁止または警告メッセージが表示されます。

1 8-4 ページの**新規部門登録**の手順 1 ～ 11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。

2 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「制限（フルカラー）」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**制限なし**］、［**カウンタ制限**］または［**使用不可**］を選択してください。

［**カウンタ制限**］を選択した場合は、テンキーを使って制限枚数を入力してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

スキャナ送信使用制限

スキャナの読み込みについて使用制限を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
制限なし	スキャナの読み込み枚数を制限しません。
カウンタ制限	スキャナの読み込み枚数を、1 ～ 999,999 枚の範囲（1 枚単位）で制限します。
使用不可	スキャナの読み込みの使用を禁止します。

参考：部門管理初期設定の**スキャナ部門管理**（8-23 ページ参照）を［**設定しない**］に設定している場合は、この項目は表示されません。

1 8-4 ページの**新規部門登録**の手順 1 ～ 11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、「**スキャナ送信**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**制限なし**］、［**カウンタ制限**］または［**使用不可**］を選択してください。

［**カウンタ制限**］を選択した場合は、テンキーを使って制限枚数を入力してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

ファクス送信使用制限

オプションのファクスキットを装着しているとき、ファクスの送信について使用制限を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
制限なし	ファクスの送信枚数を制限しません。
カウンタ制限	ファクスの送信枚数を、1 ～ 999,999 枚の範囲（1 枚単位）で制限します。
使用不可	ファクス送信の使用を禁止します。

参考：この設定は、オプションのファクスキットを装着したときに表示されます。

部門管理初期設定の**ファクス部門管理**（8-23 ページ参照）を［**設定しない**］に設定している場合は、この項目は表示されません。

1 8-4 ページの**新規部門登録**の手順 1 ～ 11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、「**ファクス送信**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**制限なし**］、［**カウンタ制限**］または［**使用不可**］を選択してください。

［**カウンタ制限**］を選択した場合は、テンキーを使って制限枚数を入力してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

コピー使用制限（全体）

コピーの使用制限を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
制限なし	コピーの使用枚数を制限しません。
カウンタ制限	コピーの使用枚数を、1 ～ 999,999 枚の範囲（1 枚単位）で制限します。
使用不可	コピーの使用を禁止します。

参考：部門管理初期設定の**コピー部門管理**（8-20 ページ参照）を［**設定しない**］に設定している場合は、この項目は表示されません。

1 8-4 ページの**新規部門登録**の手順 1 ～ 11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、「**コピー（全体）**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**制限なし**］、［**カウンタ制限**］または［**使用不可**］を選択してください。

［**カウンタ制限**］を選択した場合は、テンキーを使って制限枚数を入力してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

コピー使用制限（単色カラー）

単色カラーコピーの使用制限を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
制限なし	単色カラーコピーの使用枚数を制限しません。
カウンタ制限	単色カラーコピーの使用枚数を、1 ～ 999,999 枚の範囲（1 枚単位）で制限します。
使用不可	単色カラーコピーの使用を禁止します。

参考：**コピー使用制限（全体）**を［**使用不可**］に設定している場合は、この項目は表示されません。

部門管理初期設定の**コピー部門管理**（8-20 ページ参照）を［**設定しない**］に設定している場合は、この項目は表示されません。

1 8-4 ページの**新規部門登録**の手順 1 〜 11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、「**コピー（単色カラー）**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**制限なし**］、［**カウンタ制限**］または［**使用不可**］を選択してください。

［**カウンタ制限**］を選択した場合は、テンキーを使って制限枚数を入力してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

コピー使用制限（フルカラー）

フルカラーコピーの使用制限を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
制限なし	フルカラーコピーの使用枚数を制限しません。
カウンタ制限	フルカラーコピーの使用枚数を、1 〜 999,999 枚の範囲（1 枚単位）で制限します。
使用不可	フルカラーコピーの使用を禁止します。

参考：コピー使用制限（全体）（8-10 ページ参照）を［**使用不可**］に設定している場合は、この項目は表示されません。

部門管理初期設定の**コピー部門管理**（8-20 ページ参照）を［**設定しない**］に設定している場合は、この項目は表示されません。

1 8-4 ページの**新規部門登録**の手順 1 〜 11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、「**コピー（フルカラー）**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**制限なし**］、［**カウンタ制限**］または［**使用不可**］を選択してください。

［**カウンタ制限**］を選択した場合は、テンキーを使って制限枚数を入力してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

プリンタ使用制限（全体）

プリンタの使用制限を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
制限なし	プリンタの使用枚数を制限しません。
カウンタ制限	プリンタの使用枚数を、1 ～ 999,999 枚の範囲（1 枚単位）で制限します。
使用不可	プリンタの使用を禁止します。

参考：部門管理初期設定の**プリンタ部門管理**（8-21 ページ参照）を［**設定しない**］に設定している場合は、この項目は表示されません。

1 8-4 ページの**新規部門登録**の手順 1 ～ 11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、「**プリンタ（全体）**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**制限なし**］、［**カウンタ制限**］または［**使用不可**］を選択してください。

［**カウンタ制限**］を選択した場合は、テンキーを使って制限枚数を入力してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

プリンタ使用制限（フルカラー）

フルカラー印刷の使用制限を設定します。設定項目は次のとおりです。

項目	説明
制限なし	フルカラー印刷の使用枚数を制限しません。
カウンタ制限	フルカラー印刷の使用枚数を、1 ～ 999,999 枚の範囲（1 枚単位）で制限します。
使用不可	フルカラー印刷の使用を禁止します。

参考：**プリンタ使用制限（全体）**（8-12 ページ参照）を［**使用不可**］に設定している場合は、この項目は表示されません。

部門管理初期設定の**プリンタ部門管理**（8-21 ページ参照）を［**設定しない**］に設定している場合は、この項目は表示されません。

1 8-4 ページの**新規部門登録**の手順 1 ～ 11 を参照して、使用制限の設定画面を表示させてください。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、「**プリンタ（フルカラー）**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

3 ［**制限なし**］、［**カウンタ制限**］または［**使用不可**］を選択してください。

［**カウンタ制限**］を選択した場合は、テンキーを使って制限枚数を入力してください。

4 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。使用制限の設定画面に戻ります。

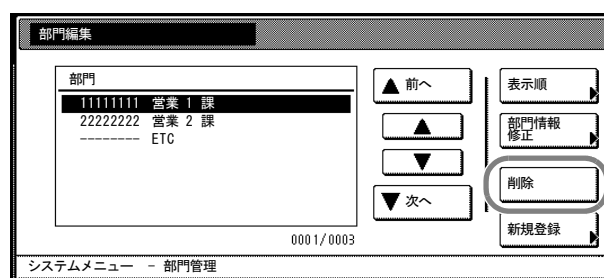
部門削除

登録された部門を抹消します。

1 8-3 ページの**「部門管理」画面の表示方法**を参照して、**「部門管理」**画面を表示させてください。

2 ［**部門編集**］キーを押してください。

3 削除したい部門コードを選択して、［**削除**］キーを押してください。

参考：**「部門」**の表示順を変更することができます。［**表示順**］キーを押して、［**コードによる並び替え**］（［1 → 9］と［9 → 1］）と［**名称による並べ替え**］（［A → Z］と［Z → A］）から選択してください。

4 削除する部門コードを確認して、［**はい**］キーを押してください。

参考：その他の部門を削除するときは手順 3 ～ 4 を繰り返してください。

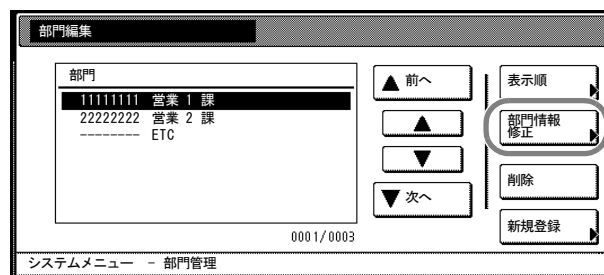
5 ［**閉じる**］キーを押してください。**「部門管理」**画面に戻ります。

部門情報修正

一度登録した部門名や部門コードを変更します。

1 8-3 ページの**「部門管理」画面の表示方法**を参照して、**「部門管理」**画面を表示させてください。

2 ［**部門編集**］キーを押してください。

3 変更したい部門コードを選択して、［**部門情報修正**］キーを押してください。

参考：部門の表示順を変更することができます。[**表示順**] キーを押して、[**コードによる並び替え**]（[1 → 9] と [9 → 1]）と [**名称による並べ替え**]（[A → Z] と [Z → A]）から選択してください。

---

4 部門コードを変更するときは、[▲] または [▼] キーを押して、「**部門コード**」を選択し、[**設定値変更**] キーを押してください。

5 [**クリア**] キーを押して、古い部門コードを削除し、新しい部門コード（最大 8 桁）をテンキーで入力してください。[**閉じる**] キーを押してください。

6 部門名を変更するときは、[▲] または [▼] キーを押して、「**表示名（登録名）**」を選択し、[**設定値変更**] キーを押してください。

7 [**全消去**] キーを押して、古い部門名を削除してください。新しい部門名を入力して、[**入力終了**] キーを押してください。

文字の入力方法は、7-56 ページの**変換入力**を参照してください。

8 フリガナを変更するときは、[▲] または [▼] キーを押して、「**フリガナ（半角）**」を選んで、[**設定値変更**] キーを押してください。

9 [**全消去**] キーを押して、古いフリガナを削除してください。新しいフリガナを入力して、[**入力終了**] キーを押してください。

文字の入力方法は、7-56 ページの**変換入力**を参照してください。

10 [**閉じる**] キーを押してください。

11 設定を確定するときは [**閉じる**] キーを、設定をキャンセルするときは [**元に戻す**] キーを押してください。「**部門管理**」画面に戻ります。

使用制限の変更

部門ごとに設定された使用制限を変更します。

注意：部門編集で使用制限の設定を行う場合は、部門管理初期設定の**コピー部門管理**、**プリンタ部門管理**、**スキャナ部門管理**を [**設定する**] に変更しておく必要があります。詳細は 8-20 ページの**部門管理初期設定**を参照してください。

---

1 8-3 ページの「**部門管理」画面の表示方法**を参照して、「**部門管理**」画面を表示させてください。

2 [**部門編集**] キーを押してください。

3 変更したい部門コードを選択して、［**使用制限**］キーを押してください。

参考：**部門**の表示順を変更することができます。［**表示順**］キーを押して、［**コードによる並び替え**］（[1 → 9］と［9 → 1]）と［**名称による並べ替え**］（[A → Z］と［Z → A]）から選択してください。

---

4 使用制限の変更を行ってください。使用制限の設定方法は 8-5 ページの**使用制限の設定**を参照してください。

5 ［**閉じる**］キーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。「**部門管理**」画面に戻ります。

部門管理集計

全部門または各部門別に使用枚数を集計します。また、一定期間管理した使用枚数をクリアして、新たに使用枚数のカウントを始めることができます。

全部門集計

全部門の使用枚数を集計します。集計された枚数を部門管理レポートとして出力することもできます。また、全部門の使用枚数を一括でクリアできます。

参考：部門管理レポートを出力するときは、カセットに A4 の用紙がセットされていることを確認してください。

1 8-3 ページの**「部門管理」画面の表示方法**を参照して、**「部門管理」**画面を表示させてください。

2 **［全部門集計］**キーを押してください。

3 全部門の使用枚数が表示されますので確認してください。

部門管理レポートを出力する場合は**［レポート印刷］**キーを押し、レポートの種類を選択してください。

機能ごとに集計する場合は、**［機能別レポート］**キーを押してください。

部門管理初期設定の**集計サイズ** 1 ～ 5（8-25 ページ参照）で設定している用紙サイズごとに集計する場合は、**［サイズ別レポート］**キーを押してください。

サンプル：部門管理レポート

機能別レポート（コピーとプリンタの管理が**［一括］**の場合）

機能別レポート（コピーとプリンタの管理が［**個別**］の場合）

DEPT. COUNT REPORT

サイズ別レポート

参考：部門管理初期設定の**コピー / プリンタ出力の管理**（8-22 ページ参照）の設定によって、出力されるフォームが変わります。

4 使用枚数のクリアを行う場合は、［**カウンタクリア**］キーを押してください。

5 ［**はい**］キーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。**「部門管理」**画面に戻ります。

部門別集計

部門別のコピー枚数を集計します。また、各部門別にコピー枚数のクリアができます。

1 8-3 ページの**「部門管理」画面の表示方法**を参照して、**「部門管理」**画面を表示させてください。

2 ［**部門別集計**］キーを押してください。

3 希望の部門コードを選択して、[**集計**] キーを押してください。

参考：リストに表示される「**---ETC**」は、部門コードを入力しないで印刷された枚数をカウントします。「**---ETC**」でカウントされる印刷は次のとおりです。

- **各種レポートの印刷**
- **プリンタエラーレポートの印刷**
- **部門コードを設定していないコンピュータからの印刷（部門管理初期設定の部門登録外の印刷（プリンタ）を「設定する」にしている場合）**

部門の表示順を変更することができます。[**表示順**] キーを押して、「**コードによる並び替え**」（「1 → 9」と「9 → 1」）と「**名称による並べ替え**」（「A → Z」と「Z → A」）から選択してください。

4 選択した部門の使用枚数が表示されますので確認してください。

参考：「1,234（999,999）」のように、出力枚数の後にカッコで制限枚数が表示されます。

5 使用枚数のクリアを行う場合は、[**カウンタクリア**] キーを押してください。

6 [**はい**] キーを押してください。

7 [**閉じる**] キーを押してください。

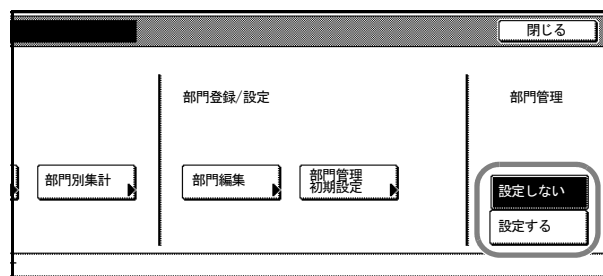
8 [**閉じる**] キーを押してください。「**部門管理**」画面に戻ります。

部門管理の設定

部門管理を有効または無効に設定します。設定項目は次のとおりです。

設定	説明
設定しない	部門管理を無効にします。
設定する	部門管理を有効にします。

1 8-3 ページの**「部門管理」画面の表示方法**を参照して、**「部門管理」**画面を表示させてください。

2 ［**設定しない**］または［**設定する**］を選択してください。

3 ［**閉じる**］キーを押してください。

4 ［**終了**］キーを押してください。

［**設定する**］を選択した場合は、部門コード入力画面が表示されます。

［**設定しない**］を選択した場合は、［**基本**］画面が表示されます。

部門管理初期設定

部門管理の初期設定を変更します。

部門管理初期設定では次の項目が設定できます。

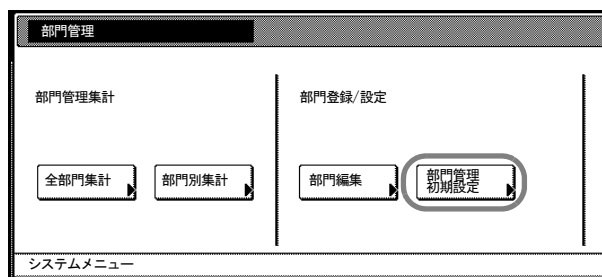
- コピー部門管理 ...8-20 ページ
- プリンタ部門管理 ...8-21 ページ
- プリンタエラーレポート ...8-21 ページ
- 部門登録外の印刷（プリンタ）...8-22 ページ
- コピー / プリンタ出力の管理 ...8-22 ページ
- スキャナ部門管理 ...8-23 ページ
- ファクス部門管理 ...8-23 ページ
- 制限超過時の設定 ...8-24 ページ
- カウンタ制限の初期値 ...8-24 ページ
- 集計サイズ 1 〜 5...8-25 ページ

コピー部門管理

コピー機能で部門管理を有効または無効に設定します。設定項目は次のとおりです。

設定	説明
設定しない	コピー機能で部門管理を無効にします。
設定する	コピー機能で部門管理を有効にします。

1 8-3 ページの**「部門管理」画面の表示方法**を参照して、**「部門管理」**画面を表示させてください。

2 ［**部門管理初期設定**］キーを押してください。

3 ［▲］または［▼］キーを押して、**「コピー部門管理」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

4 ［**設定しない**］または［**設定する**］を選択してください。

5 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。**「部門管理」**画面に戻ります。

プリンタ部門管理

プリンタ機能で部門管理を有効または無効に設定します。設定項目は次のとおりです。

設定	説明
設定しない	プリンタ機能で部門管理を無効にします。
設定する	プリンタ機能で部門管理を有効にします。

1 8-3 ページの**「部門管理」画面の表示方法**を参照して、**「部門管理」**画面を表示させてください。

2 ［**部門管理初期設定**］キーを押してください。

3 ［▲］または［▼］キーを押して、**「プリンタ部門管理」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

4 ［**設定しない**］または［**設定する**］を選択してください。

5 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。**「部門管理」**画面に戻ります。

プリンタエラーレポート

プリンタ機能で部門管理を有効にしている場合、まちがった部門コードで印刷したときに、エラーレポートを出力するかどうか設定します。

まちがった部門コードで印刷した場合は、**「この部門コードは登録されていません。」**を表示し出力されません。エラーレポートは［**作業中止**］キーを押すと出力されます。

設定項目は次のとおりです。

設定	説明
設定しない	まちがった部門コードで印刷したときに、エラーレポートを出力しません。
設定する	まちがった部門コードで印刷したときに、エラーレポートを出力します。

参考：プリンタ部門管理を［**設定しない**］に設定している場合は、この項目は表示されません。

1 8-3 ページの**「部門管理」画面の表示方法**を参照して、**「部門管理」**画面を表示させてください。

2 ［**部門管理初期設定**］キーを押してください。

3 ［▲］または［▼］キーを押して、**「プリンタエラーレポート」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

4 ［**設定しない**］または［**設定する**］を選択してください。

5 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。「**部門管理**」画面に戻ります。

部門登録外の印刷（プリンタ）

プリンタ機能で部門管理を有効にしている場合、部門管理機能の無いプリンタドライバからでも出力できるように設定します。設定項目は次のとおりです。

設定	説明
設定しない	部門管理機能の無いプリンタドライバからは出力できません。
設定する	部門管理機能の無いプリンタドライバからでも出力できます。

参考：**プリンタ部門管理**（8-21 ページ参照）を［**設定しない**］に設定している場合は、この項目は表示されません。

1 8-3 ページの「**部門管理」画面の表示方法**を参照して、「**部門管理**」画面を表示させてください。

2 ［**部門管理初期設定**］キーを押してください。

3 ［▲］または［▼］キーを押して、「**部門登録外の印刷（プリンタ）**」を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

4 ［**設定しない**］または［**設定する**］を選択してください。

5 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。「**部門管理**」画面に戻ります。

コピー / プリンタ出力の管理

コピーとプリンタの管理を一括で行うか、個別に行うかを選択します。設定項目は次のとおりです。

設定	説明
一括	コピーとプリンタの出力枚数を合計で管理します。
個別	コピーとプリンタの出力枚数を個別に管理します。

参考：この設定を変更すると、コピーとプリンタの使用制限の設定項目が変わります。詳細は 8-5 ページの**使用制限の設定**を参照してください。

1 8-3 ページの「**部門管理」画面の表示方法**を参照して、「**部門管理**」画面を表示させてください。

2 ［**部門管理初期設定**］キーを押してください。

3 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「コピー / プリンタ出力の管理」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

4 ［**一括**］または［**個別**］を選択してください。

5 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。**「部門管理」**画面に戻ります。

スキャナ部門管理

スキャナ機能で部門管理を有効または無効に設定します。設定項目は次のとおりです。

設定	説明
設定しない	スキャナ機能で部門管理を無効にします。
設定する	スキャナ機能で部門管理を有効にします。

1 8-3 ページの**「部門管理」画面の表示方法**を参照して、**「部門管理」**画面を表示させてください。

2 ［**部門管理初期設定**］キーを押してください。

3 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、**「スキャナ部門管理」**を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

4 ［**設定しない**］または［**設定する**］を選択してください。

5 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。**「部門管理」**画面に戻ります。

ファクス部門管理

オプションのファクス機能で部門管理を有効または無効に設定します。設定項目は次のとおりです。

設定	説明
設定しない	ファクス機能で部門管理を無効にします。
設定する	ファクス機能で部門管理を有効にします。

参考：この設定は、オプションのファクスキットを装着したときに表示されます。

1 8-3 ページの**「部門管理」画面の表示方法**を参照して、**「部門管理」**画面を表示させてください。

2 ［**部門管理初期設定**］キーを押してください。

3 ［▲］または［▼］キーを押して、**「ファクス部門管理」**を選択し、**［設定値変更］**キーを押してください。

4 **［設定しない］**または**［設定する］**を選択してください。

5 設定を確定するときは**［閉じる］**キーを、設定をキャンセルするときは**［元に戻す］**キーを押してください。

6 **［閉じる］**キーを押してください。**「部門管理」**画面に戻ります。

制限超過時の設定

使用制限で設定されている制限枚数を超えたときの動作を設定します。設定項目は次のとおりです。

設定	制限方法
即時使用禁止	制限枚数を超えたらすぐに使用禁止にして、出力を停止します。
次ジョブから使用禁止	出力中または読み込み中のジョブは続行し、次のジョブから使用禁止にします。
警告のみ	警告メッセージの表示のみを行います。

1 8-3 ページの**「部門管理」画面の表示方法**を参照して、**「部門管理」**画面を表示させてください。

2 **［部門管理初期設定］**キーを押してください。

3 ［▲］または［▼］キーを押して、**「制限超過時の設定」**を選択し、**［設定値変更］**キーを押してください。

4 **［即時使用禁止］**、**［次ジョブから使用禁止］**または**［警告のみ］**を選択してください。

5 設定を確定するときは**［閉じる］**キーを、設定をキャンセルするときは**［元に戻す］**キーを押してください。

6 **［閉じる］**キーを押してください。**「部門管理」**画面に戻ります。

カウンタ制限の初期値

新規部門登録を行う際の、制限枚数の初期値を変更することができます。設定範囲は 1 枚単位で 1 ～ 999,999 枚です。

1 8-3 ページの**「部門管理」画面の表示方法**を参照して、**「部門管理」**画面を表示させてください。

2 **［部門管理初期設定］**キーを押してください。

3 ［▲］または［▼］キーを押して、**「カウンタ制限の初期値」**を選択し、**［設定値変更］**キーを押してください。

4 テンキーを使って制限枚数の初期値を入力してください。

5 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。

6 ［**閉じる**］キーを押してください。「**部門管理**」画面に戻ります。

集計サイズ 1 〜 5

特定の用紙サイズを指定して、その用紙の使用枚数を集計し、確認することができます。また、用紙サイズと用紙種類を指定して集計することもできます。

参考：集計する用紙サイズは、集計サイズ 1 〜 5 の 5 種類を指定することができます。

用紙種類を設定していない場合は、用紙種類にかかわらず指定したサイズの使用枚数を集計します。ただし、別の集計サイズが同じサイズで用紙種類を指定している場合、その集計サイズで指定している用紙種類の使用枚数を除いて集計します。

1 8-3 ページの「**部門管理」画面の表示方法**を参照して、「**部門管理**」画面を表示させてください。

2 ［**部門管理初期設定**］キーを押してください。

3 ［**▲**］または［**▼**］キーを押して、「**集計サイズ 1 〜 5**」から設定する番号を選択し、［**設定値変更**］キーを押してください。

4 ［**設定する**］キーを押してください。

5 ［**サイズ選択**］キーを押してください。

6 指定する用紙サイズを選択して、［**閉じる**］キーを押してください。

7 用紙種類を指定する場合は、［**用紙種選択**］キーを押してください。

8 指定する用紙種類を選択して、［**閉じる**］キーを押してください。

9 設定を確定するときは［**閉じる**］キーを、設定をキャンセルするときは［**元に戻す**］キーを押してください。

10 ［**閉じる**］キーを押してください。「**部門管理**」画面に戻ります。

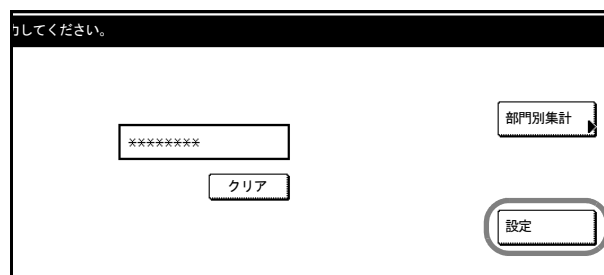
参考：集計サイズ 1 〜 5 で指定した用紙の使用枚数は部門管理集計のレポート印刷で出力することができます。詳細は 8-16 ページの**全部門集計**を参照してください。

部門管理時の操作

コピー操作

部門管理を行っているときは、所属する部門コードを入力することによってのみコピー操作ができます。

注意：コピー終了後は、必ず［**部門管理**］キーを押してください。部門コード入力画面が表示されます。

1 部門コードをテンキーで入力して、［**設定**］キーを押してください。［**基本**］画面が表示されます。

参考：入力を間違えたときは、［**クリア**］キーを押して入力しなおしてください。

入力された部門コードが登録された部門コードと一致しない場合はエラー音が鳴ります。正しい部門コードを入力してください。

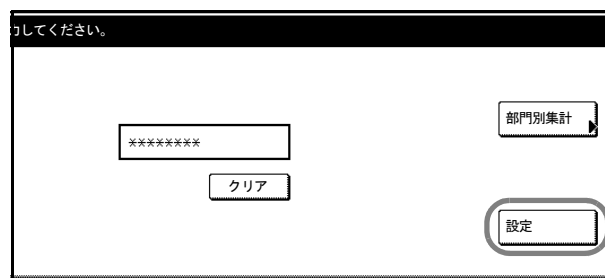
部門コードを入力し、［**部門別集計**］キーを押すと、自部門の使用枚数が表示されます。

2 通常のコピー操作を行ってください。

3 コピー終了後、［**部門管理**］キーを押してください。部門コード入力画面が表示されます。

プリント操作

部門管理を行っているときは、印刷の際にコンピュータでの部門コード入力が必要です。詳細は **KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

スキャン操作

部門管理を行っているときは、所属する部門コードをテンキー入力することによってのみスキャン操作ができます。

参考：［**送信履歴**］は部門コードを入力しなくても参照することができます。

TWAIN を使用するときは、コンピュータ側で操作する際に部門コードの入力が必要です。詳細は 6-53 ページの**部門管理設定**を参照してください。

1 ［**スキャナ**］キーを押してください。

2 ［**E-Mail 送信**］、［**PC 送信**］、［**FTP 送信**］または［**データベース連携**］から、使用する機能を選択してください。

3　部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードをテンキーで入力して、［設定］キーを押してください。各機能の画面が表示されます。

参考：入力を間違えたときは、［クリア］キーを押して入力しなおしてください。

入力された部門コードが登録された部門コードと一致しない場合はエラー音が鳴ります。正しい部門コードを入力してください。

部門コードを入力し、［部門別集計］キーを押すと、自部門の使用枚数が表示されます。

4　通常のスキャン操作を行ってください。

5　スキャン終了後、手順 1 の画面に戻ります。次のスキャンの際には、再び部門コードの入力が必要となります。

9　困ったときは

この章では、トラブルが発生したときの対処方法を説明します。

- トラブルが発生した場合 ...9-2
- こんな表示が出たら ...9-5

トラブルが発生した場合

次の表は一般的なトラブルが発生したときの対処方法をまとめたものです。

トラブルが発生した場合は、次のことをお調べください。それでも直らない場合は、サービス担当者までご連絡ください。

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
メインスイッチを ON（｜）にしても操作パネルに何も表示されない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか。	電源プラグをコンセントに接続してください。	—
［スタート］キーを押してもコピーが排出されない。	タッチパネルにメッセージが表示されていませんか。	各メッセージに対する処理方法を確認して、適切な処理を行ってください。	9-5 ページ
原稿サイズが正しく検知されない。	原稿が正しくセットされていますか。	コンタクトガラスに原稿をセットするときは、原稿を下向きにし、原稿サイズ指示板に合わせてセットしてください。	**使用説明書**の**2 章**参照
		オプションの原稿送り装置に原稿をセットするときは、原稿を上向きにセットしてください。	**使用説明書**の**2 章**参照
	蛍光灯の真下に機械を設置していませんか。	機械を蛍光灯の真下に設置しないでください。	—
白紙が排出される。	原稿が正しくセットされていますか。	コンタクトガラスに原稿をセットするときは、原稿を下向きにし、原稿サイズ指示板に合わせてセットしてください。	**使用説明書**の**2 章**参照
		オプションの原稿送り装置に原稿をセットするときは、原稿を上向きにセットしてください。	**使用説明書**の**2 章**参照
	蛍光灯の真下に機械を設置していませんか。	機械を蛍光灯の真下に設置しないでください。	—
印刷がうすい。	自動濃度モードですか。	自動濃度調整を行って、適正な濃度を設定してください。	7-10 ページ
	手動濃度モードですか。	濃度調節キーで適正な濃度を設定してください。	**使用説明書**の**3 章**参照
		初期の濃度を変更するときは、手動濃度調整を行って、適正な濃度を設定してください。	7-11 ページ
	トナーコンテナのかくはんは十分ですか。	トナーコンテナを 10 回程度上下に振ってください。	**使用説明書**の**5 章**参照
	エコプリントが設定されていませんか。	エコプリントの設定を［**設定しない**］にしてください。	1-45 ページ
	トナー補給のメッセージが表示されていませんか。	トナーコンテナを交換してください。	**使用説明書**の**5 章**参照
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	**使用説明書**の**2 章**参照

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
印刷がこい。	自動濃度モードですか。	自動濃度調整を行って、適正な濃度を設定してください。	7-10 ページ
	手動濃度モードですか。	濃度調節キーで適正な濃度を設定してください。	**使用説明書**の3章参照
		初期の濃度を変更するときは、手動濃度調整を行って、適正な濃度を設定してください。	7-11 ページ
モアレ（網点が均等に配列されず斑紋が出る状態）が発生する。	原稿は印刷された写真ですか。	画質を［**印刷写真**］にしてください。	**使用説明書**の3章参照
原稿とコピーの色の感じが異なる。	画像調整は適切ですか。	カラーバランス調整を行ってください。	1-52 ページ
		自動階調調整を行ってください。	7-36 ページ
印刷が鮮明でない。	原稿の種類に合った画質を選択していますか。	適切な画質を選択してください。	**使用説明書**の3章参照
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	**使用説明書**の2章参照
	カラーコピー専用紙を使用していますか。	カラーコピー専用紙を使用してください。	—
印刷が汚れる。	原稿押さえやコンタクトガラスが汚れていませんか。	原稿押さえやコンタクトガラスを清掃してください。	**使用説明書**の5章参照
印刷がぼける。	本機を湿度の高い状態で使用していませんか。	ドラムリフレッシュを行ってください。	7-41 ページ
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	**使用説明書**の2章参照
	カラーコピー専用紙を使用していますか。	カラーコピー専用紙を使用してください。	—
印刷がずれる。	原稿が正しくセットされていますか。	コンタクトガラスに原稿をセットするときは、原稿サイズ指示板に原稿を確実に合わせてください。	**使用説明書**の2章参照
		原稿送り装置に原稿をセットするときは、原稿挿入ガイドを確実に合わせてから原稿をセットしてください。	**使用説明書**の2章参照
	用紙が正しくセットされていますか。	カセットの横ガイドの位置を確認してください。	**使用説明書**の2章参照
紙づまりがたびたび起こる。	用紙が正しくセットされていますか。	用紙を正しくセットし直してください。	**使用説明書**の2章参照
	用紙の種類や保管状態。	用紙を一度取り出し、裏返してからセットし直してください。	**使用説明書**の2章参照
	用紙がカールしたり、折れやしわがありませんか。	新しい用紙に交換してください。	**使用説明書**の2章参照
	つまった用紙や紙片が本機内部に残っていませんか。	つまった用紙を取り除いてください。	**使用説明書**の6章参照
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	**使用説明書**の2章参照
	カラーコピー専用紙を使用していますか。	カラーコピー専用紙を使用してください。	—

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
オプションの原稿送り装置使用時にコピーに黒いすじが写る。	スリットガラスが汚れていませんか。	スリットガラスを清掃してください。	**使用説明書**の**5章**参照
		黒筋軽減処理を設定してください。黒すじをめだたなくすることができます。	7-6 ページ
印刷にしわがでる。	セパレータ部が汚れていませんか。	セパレータ部の清掃を行ってください。	**使用説明書**の**5章**参照
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	**使用説明書**の**2章**参照
	カラーコピー専用紙を使用していますか。	カラーコピー専用紙を使用してください。	—
	用紙のセット方向は正しいですか。	用紙のセット方向を変更してください。	—
写真などの画像を含んだ原稿を連続して印刷すると画像部分の印刷がうすい。	高濃度印刷設定の設定値。	高濃度印刷設定で［**画質優先**］または［**画質最優先**］を選択してください。	7-32 ページ
印刷できない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか。	電源プラグをコンセントに接続してください。	—
	本体側に電源が入っていますか。	メインスイッチを ON（｜）にしてください。	—
	プリンタケーブルが接続されていますか。	正しいプリンタケーブルを確実に接続してください。	**使用説明書**の**2章**参照
	プリンタケーブルを接続時に本体の電源が入っていませんでしたか。	プリンタケーブルを接続してから本機の電源を入れてください。	**使用説明書**の**2章**参照
	オフライン状態になっていませんか。	［**プリンタ**］キーを押し、［**印刷可／解除**］キーを押してオンライン状態にしてください。	—
正しい文字がでない。	プリンタケーブルが接続されていますか。	正しいプリンタケーブルを確実に接続してください。	**使用説明書**の**2章**参照
	コンピュータ側で正しく設定されていますか。	プリンタドライバまたはアプリケーションソフト側の設定を確認してください。	—
正しく印刷されない。	コンピュータ側で正しく設定されていますか。	プリンタドライバまたはアプリケーションソフト側の設定を確認してください。	—

こんな表示が出たら

タッチパネルに次のような表示が出たときは、処理方法にしたがって作業してください。

コピーのエラーメッセージ

コピーモードのタッチパネルに下表のような表示が出たときは、処理方法にしたがって作業してください。

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
〇〇カバーを閉じてください。	表示されているカバーが開いていませんか。	カバーを確実に閉めてください。	—
カバーを確認してください。	開いているカバーがありませんか。 メッセージに開いているカバーの指示がありませんか。	カバーを確実に閉めてください。	—
原稿送り装置を閉じてください。	原稿をセットした状態で、原稿送り装置（オプション）が開いていませんか。	原稿送り装置（オプション）を閉じてください。	—
原稿送り装置カバーを閉じてください。	原稿送り装置（オプション）の原稿送り装置カバーが開いていませんか。	原稿送り装置カバーを確実に閉めてください。	**使用説明書**の 2 章参照
カセット〇をセットしてください。	表示されているカセットがしっかりセットされていますか。	カセットを一度引き出して、しっかり押し込んでください。	—
カセット〇を引き出して、機械内部の用紙を確認してください。	—	表示されているカセットを引き出して完全に取り外し、内部の用紙を取り除いてください。	—
給紙ユニットをセットしてください。	給紙ユニットがしっかりセットされていますか。	給紙ユニットを一度引き出して、しっかり押し込んでください。	**使用説明書**の 6 章参照
用紙補給してください。カセット〇	表示されているカセットの用紙がなくなっていませんか。	用紙を補充してください。別のカセットに同じサイズ、同じ向きの用紙がセットされている場合は、タッチパネル左側の用紙選択キーでそのカセットを選択すると、カセットを変更してコピーを再開することができます。	—
手差しに用紙を補給してください。〇〇用紙	手差しに設定されたサイズの用紙がセットされていますか。	手差しに設定されたサイズの用紙をセットしてください。	**使用説明書**の 2 章参照
手差しに用紙がありません。 **用紙を補給してください。**	手差しの用紙がなくなっていませんか。	手差しに用紙を補充してください。	**使用説明書**の 2 章参照
手差しに OHP フィルムをセットしてください。	手差しに OHP フィルムがセットされていますか。	手差しに OHP フィルムをセットしてください。	**使用説明書**の 2 章参照
手差しのサイズを変更してください。	設定されたサイズの用紙が、手差しに設定されていますか。	手差しのサイズを設定しなおしてください。	**使用説明書**の 2 章参照
適当な用紙がありません。	設定されたサイズの用紙がセットされていますか。	使用可能なサイズの用紙をセットしてください。	—
原稿の向きが違います。	選択した用紙の方向が原稿の向きと合っていますか。	原稿のセット方向を変えてください。そのまま［**スタート**］キーを押すと等倍でコピーします。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
設定用紙サイズと実際の用紙サイズが異なっています。 **確認してください。**	設定されている用紙がセットされていますか。また設定は正しいですか。	設定されている用紙をセットしてください。また設定が間違っている場合は設定を変更してください。	—
原稿サイズを確認してください。 **原稿サイズ** : A3, A4R	拡大連写を設定していませんか。	A3、A4R 以外のサイズの原稿がセットされています。拡大連写で使用できる原稿サイズは A3、A4R です。	1-23 ページ
原稿の置き方向を変えてください。 **原稿サイズ** : A4R	拡大連写を設定していませんか。	現在セットされている原稿の向きでは拡大連写は使用できません。A4 の原稿は、横向きにセットしてください。	1-23 ページ
原稿と用紙の向きが違います。	選択した用紙の方向と原稿の向きが合っていますか。	原稿のセット方向を変えてください。	—
	蛍光灯の真下に機械を設置していませんか。	機械を蛍光灯の真下に設置しないでください。	—
原稿をもう一度セットし直してください。	—	原稿送り装置（オプション）から原稿を取り出し、そろえてからセットし直してください。	**使用説明書**の **2 章**参照
原稿をもう一度初めからセットしてください。	—	原稿送り装置（オプション）から原稿を取り出し、元の順番に並べてセットし直してください。	**使用説明書**の **2 章**参照
原稿送り装置の原稿を取り除いてください。	原稿送り装置（オプション）に原稿が残っていませんか。	原稿送り装置（オプション）の原稿を取り除いてください。	—
この用紙種はコピーできません。	設定されているコピー機能で使用できない用紙種類の用紙が選択されていませんか。	別の用紙を選択してください。	—
この用紙種はステープルできません。	ステープルできない用紙種類の用紙が選択されていませんか。	別の用紙を選択してください。	—
この用紙種はパンチできません。	パンチできない用紙種類の用紙が選択されていませんか。	別の用紙を選択してください。	—
このサイズは仕分けできません。	仕分けコピーできない用紙サイズ（A3、B4、A5R、B6R、Folio、11 × 17"、8 1/2 × 14"、5 1/2 × 8 1/2"、8K）をセットしていませんか。	用紙サイズを変更してください。	1-9 ページ
このサイズはステープルできません。	ステープルできない用紙サイズをセットしていませんか。詳細はドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャの**使用説明書**を参照してください。	用紙サイズを変更してください。	—
このサイズはパンチできません。	パンチできない用紙サイズをセットしていませんか。詳細は 3000 枚ドキュメントフィニッシャの**使用説明書**を参照してください。	用紙サイズを変更してください。	—
ステープルできません。___ 枚 : **最大ステープル枚数**	表示されている最大ステープル枚数を超えていませんか。詳細はドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャの**使用説明書**を参照してください。	ステープルする枚数を減らして、最大ステープル枚数以下にしてください。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
上トレイ用紙オーバーです。 **用紙を取り除き、スタートキーを押してください。**	コピー中に、排紙トレイに収納できる枚数を超えていませんか。	排紙トレイから用紙を取り出して、［**スタート**］キーを押してください。出力を再開します。	—
上トレイ用紙オーバーです。 **用紙を取り除き、継続キーを押してください。**	プリンタ出力中に、排紙トレイに収納できる枚数を超えていませんか。	排紙トレイから用紙を取り出して、［**継続**］キーを押してください。出力を再開します。	—
フィニッシャ用紙オーバーです。（トレイ〇） **用紙を取り除き、スタートキーを押してください。**	コピー中に、ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）に収納できる枚数を超えていませんか。	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）のトレイから用紙を取り出して、［**スタート**］キーを押してください。出力を再開します。	—
フィニッシャ用紙オーバーです。（トレイ〇） **用紙を取り除き、継続キーを押してください。**	プリンタ出力中に、ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）に収納できる枚数を超えていませんか。	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）のトレイから用紙を取り出して、［**継続**］キーを押してください。出力を再開します。	—
用紙を取り除いてください。フィニッシャトレイ	ドキュメントフィニッシャ（オプション）に収納できる枚数を超えていませんか。	ドキュメントフィニッシャ（オプション）のトレイから用紙を取り出してください。	—
選ばれたモードは設定できません。	同時に設定できない機能を選択していませんか。	設定を確認してください。	—
制限枚数終了のためコピーできません。	部門管理で設定されている制限枚数を超えていませんか。	部門管理で設定されている制限枚数に達したため、これ以上のコピーができません。部門管理でコピーカウントをクリアしてください。	8-16 ページ
コピーできません。（フルカラー） **部門管理の制限がかかっています。**	部門管理でフルカラーコピーが［**使用不可**］に設定されていませんか。	部門管理でフルカラーコピーの制限内容を変更してください。	8-4 ページ
コピーできません。（フルカラー） **部門管理の制限を超えました。**	フルカラーコピーが部門管理で設定されている制限枚数を超えていませんか。	部門管理でカウントをクリアしてください。	8-16 ページ
コピー部数制限を超えるためコピーできません。 **「配布コピー」の部数の設定を変更してください。**	配布コピーで設定しているコピー部数が、部門管理で設定している制限枚数を超えていませんか。	カラーコピーと白黒コピーの部数の合計が、部門管理で設定しているコピーの制限枚数以内になるように設定してください。	1-56 ページ
キーカウンタをセットしてください。	キーカウンタが正しくセットされていますか。	キーカウンタを奥まで確実にセットしてください。	—
キーカードをセットしてください。	キーカードが正しくセットされていますか。	キーカードを奥まで確実にセットしてください。	

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
メモリオーバーです。	—	コピーの空きメモリが無くなったか、または原稿制限枚数 999 ページに達したため、現在のコピーを処理できません。次のメッセージが表示されますので、処理方法を選択してください。 **[作業中止]**：コピーをキャンセルします。 **[継続]**：読み込みが終了しているページまでをコピーします。	—
メモリオーバーです。 **文書管理内の登録文書を削除してください。**	—	文書管理機能で使用しているボックス内のデータが許容量に達しています。各ボックスに新たな原稿を登録するときは、不必要なデータを削除してください。	2-2 ページ
トナーが残り少なくなりました。[C]、[M]、[Y]、[K]	—	トナーコンテナの交換時期が近づいています。表示されている色のトナーコンテナを準備してください。	**使用説明書**の 5 章参照
コピーできます。 **トナーを補給してください。[C]、[M]、[Y]、[K]**	—	機内のトナーが残り少なくなったので、1 枚ずつの印刷しかできません。交換するトナーコンテナを準備してください。	**使用説明書**の 5 章参照
トナーを補給してください。[C]、[M]、[Y]、[K]	—	表示されている色のトナーコンテナを交換してください。	**使用説明書**の 5 章参照
トナー補給中です。	—	トナーを補給中です。しばらくお待ちください。	—
しばらくお待ちください。 **定着温度調整中です。**	—	内部の調整を行っています。しばらくお待ちください。	—
廃棄トナーボックスを確認してください。	廃棄トナーボックスがしっかりセットされていますか。	廃棄トナーボックスを確実にセットしてください。	**使用説明書**の 5 章参照
廃棄トナーボックスを交換してください。	—	廃棄トナーボックスを交換してください。	**使用説明書**の 5 章参照
スリットガラスを清掃してください。	—	付属の清掃用布でスリットガラスを乾拭きしてください。	**使用説明書**の 5 章参照
パンチくずボックスをセットしてください。	3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）のパンチくずボックスがしっかりセットされていますか。	3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の**使用説明書**を参照して、パンチくずボックスを確実にセットしてください。	—
パンチくずを捨ててください。	3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）のパンチくずボックスがいっぱいになっていませんか。	3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の**使用説明書**を参照して、パンチくずボックス内のパンチくずを取り除いてください。	—
ステープルの針がありません。 **針をセットしてください。**	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の針が無くなっていませんか。	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の**使用説明書**を参照して、針ケースを交換してください。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
定期点検の時期です。 **定期点検間近です。**	—	本機を良好に保つために定期点検が必要です。ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
紙づまりです。	—	紙づまりが発生した場合には、紙づまり位置がメッセージ表示に表示され、機械が停止します。メインスイッチは ON（｜）のまま手順にしたがい、取り除いてください。	**使用説明書**の 6 章参照
フィニッシャ内部トレイの用紙を取り除いてください。	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）のトレイに用紙が残っていませんか。	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）のトレイの用紙をすべて取り除いてください。	—
中折りユニットの用紙を取り除いてください。	3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の中折りユニットに用紙が残っていませんか。	3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の**使用説明書**を参照して、中折りユニット（排出部）の用紙をすべて取り除いてください。	—
ステープル針づまりです。	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）でステープルの針がつまっていませんか。	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の**使用説明書**を参照して、つまった針を取り除いてください。	—
エラーが発生しました。 **サービス担当者に連絡してください。**	前カバーの開閉、メインスイッチの OFF/ON、電源プラグをコンセントから抜き差ししても再度表示されますか。	表示されている C と数字を書きとめてください。メインスイッチを OFF（○）にして電源コードを抜き、サービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
このカセットは使用できません。 **他のカセットを選んでください。**	—	使用しているカセットは故障のため使用を中止しています。ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。コピーを行うときは、他のカセットを使用してください。	—
システムエラーです。 **主電源を OFF/ON してください。**	—	システムエラーが発生しています。メインスイッチをいったん OFF にし、再度 ON にしてください。	—
HDD エラーです。 **部門管理を設定できません。**	前カバーの開閉、メインスイッチの OFF/ON、電源プラグをコンセントから抜き差ししても再度表示されますか。	ハードディスクでエラーが発生しています。サービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
しばらくお待ちください。 **リモート編集中です。**	ネットワークに接続されたコンピュータから部門管理の編集を行っていませんか。	編集を行っている間はコピーできません。	—
KMAS を確認してください。	前カバーの開閉、メインスイッチの OFF/ON、電源プラグをコンセントから抜き差ししても再度表示されますか。	KMAS ユニットを確認し、サービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
セキュリティキーが抜けているため使用できません。	前カバーの開閉、メインスイッチの OFF/ON、電源プラグをコンセントから抜き差ししても再度表示されますか。	サービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—

プリンタのエラーメッセージ

［プリンタ］キーを押して、プリンタモードのタッチパネルに下表のような表示が出たときは、処理方法にしたがって作業してください。

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
用紙を補給してください。 **○○用紙（○○○）**	印刷データと給紙元にセットされている用紙サイズまたは用紙種類が一致していますか。	給紙元にセットされている用紙を入れ替えてください。 給紙元を変更するときは、タッチパネルで給紙元を選択し、**［印刷可／解除］**キーを押してください。 セットされている用紙で印刷するときは、**［プリンタ］**キーを押し、**［印刷可／解除］**キーを押してください。 印刷をキャンセルするときは、**［プリンタ］**キーを押し、**［キャンセル］**キーを押してください。	**使用説明書**の２章参照
代用給紙します。 **解除を押してください。**	—	給紙元を変更したときに表示されます。**［印刷可／解除］**キーを押してください。	—
手差しに用紙を入れて解除を押してください。	—	用紙を複数枚セットしていても 1 枚ずつ給紙できるモードです。1 枚給紙するごとに**［印刷可／解除］**キーを押してください。	—
用紙を補給してください。	用紙がなくなっていませんか。	新しい用紙を補充してください。	**使用説明書**の２章参照
ステープルの針がありません。 **針をセットしてください。**	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の針が無くなっていませんか。	ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の**使用説明書**を参照して、針ケースを交換してください。	—
サービス担当者に電話してください。	—	機械内部で異常が発生しています。サービス担当者またはサービス実施店までご連絡ください。	—
この部門コードは登録されていません。	—	部門コードが一致しません。ドライバで登録した部門コードを確認してください。	—
制限枚数終了のためプリントできません。	部門管理で設定されている制限枚数を超えていませんか。	印刷を行うには本体の部門管理を設定しなおしてください。	8-4 ページ
エラーが発生しています。プリンタ画面に切替え確認してください	—	プリンタモード以外の表示になっている時に、プリンタエラーが発生すると表示されます。**［プリンタ］**キーを押してプリンタ画面にすると、具体的なエラーメッセージが表示されます。	—
RAM ディスクエラー／解除を押してください。 **コード：##**	—	9-13 ページの **RAM ディスクのエラー**を参照してください。	9-13 ページ

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
メモリカードエラー／解除を押してください。 コード：##	—	9-13 ページの**メモリカードのエラー**を参照してください。	9-13 ページ
ハードディスクエラー／解除を押してください。 コード：##	—	9-14 ページの**ハードディスクのエラー**を参照してください。	9-14 ページ
KPDL エラー／解除を押してください。	—	現在の印刷を続行して処理できません。プリンタメニューから「KPDL エラーの印刷」を表示して［On］を選択するとエラーレポートが出力されます。 ［印刷可／解除］キーを押すと、途中までのデータは印刷されます。自動継続時の復帰時間を設定している場合は、設定時間が経過すると自動的に印刷を継続します。	3-12 ページ
メモリカードエラー／カードが抜かれました。	プリンタ設定中にメモリカード（コンパクトフラッシュ）を抜きましたか。	メモリカードを挿入してください。メモリカードを挿入するときは、メインスイッチを OFF にしてください。	3-31 ページ
同じメモリカードを差してください。	—	メモリカード（コンパクトフラッシュ）よりデータを読み込む際に、メモリカードを認識できませんでした。再度メモリカードを挿入してください。メモリカードを挿入するときは、メインスイッチを OFF にしてください。	3-31 ページ
メモリカードのフォーマットをしてください。	—	挿入されたメモリカード（コンパクトフラッシュ）はフォーマットが必要です。メモリカードをフォーマットしてください。	3-32 ページ
オプションインタフェースエラー コード：##	オプションインタフェースを装着するスロットが間違っていませんか。	メインスイッチを OFF にして正しいスロットに装着してください。	—
ファイルエラー／解除を押してください。	—	ファイルエラーです。［印刷可／解除］キーを押してください。	—
フォントを読み込めませんでした。	—	フォントデータの読み込みに失敗しました。再度、フォントデータを読み込んでください。	3-33 ページ
マクロを読み込めませんでした。	—	マクロデータの読み込みに失敗しました。再度、マクロデータを読み込んでください。	3-33 ページ
メモリが不足しています。	—	メモリが不足しています。ステータスページを印刷すると、現在のプリンタメモリ容量が確認できます。不要なフォントデータやマクロデータを削除してください。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
メモリ不足のため印刷が簡素化されました。	—	メモリ不足のため現在設定されている解像度では印刷できません。プリンタにメモリを増設するか解像度を変更してください。	—
プリントオーバーラン／解除を押してください。	—	メモリ不足のため、オーバーランが発生しました。 ［プリンタ］キーを押し、プリンタモードにしてください。［印刷可／解除］キーを押すと印刷を継続します。［キャンセル］キーを押すと印刷をキャンセルします。 自動継続時の復帰時間を設定している場合は、設定時間が経過すると自動的に印刷を継続します。このエラーメッセージが表示された後、ページ保護モードが自動的に［On］になります。	—
メモリオーバーフロー／解除を押してください。	—	プリンタの空きメモリが無くなったため、現在の印刷を処理できません。 ［プリンタ］キーを押し、プリンタモードにしてください。［印刷可／解除］キーを押すと、印刷を継続します。処理されているところまでを出力し、残りを次のページに印刷します。［キャンセル］キーを押すと印刷をキャンセルします。 RAM ディスク機能を使用している場合は RAM ディスクのサイズを下げてください。頻繁に発生する場合は、プリンタのメモリを増設することをお勧めいたします。プリンタのメモリ増設については、サービス担当者またはサービス実施店にご相談ください。自動継続時の復帰時間を設定している場合は、設定時間が経過すると自動的に印刷を継続します。	—
VMB がいっぱいです。	—	バーチャルメールボックスの領域が不足しています。バーチャルメールボックスに蓄積したデータを出力してください。	3-42 ページ
インタフェース使用中です。	選択したインタフェースは現在使用中ですか。	しばらく待って再度操作を行ってください。	—
オプション ROM エラー／解除を押してください。	—	オプション ROM の読み込みでエラーが発生しています。［プリンタ］キーを押し、プリンタモードにしてから［印刷可／解除］キーを押してください。エラーが解除されます。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
ハードディスクのフォーマットをしてください。	—	ハードディスクのフォーマットをしてください。	3-38 ページ
パンチくずボックスを確認してください。	3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）のパンチくずボックスがしっかりセットされていますか。	3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）の**使用説明書**を参照して、パンチくずボックスを確実にセットしてください。	—

記憶装置のエラーメッセージ

RAM ディスクのエラー

「RAM ディスクエラー／解除を押してください」と表示された場合は、エラーコード（数字）を確認して、次の表を参照してください。

コード	詳細内容
01	フォーマットエラーです。再度電源を入れ直してください。
02	RAM ディスクモードが［Off］になっています。RAM ディスクモードを［On］にしてください。
03	書き込みでエラーが発生しています。書き込みプロテクトが有効になっているので無効にしてください。
04	RAM ディスクに必要な容量が不足しています。RAM ディスク内のデータを整理し、領域を拡大してください。
05	指定のファイルが存在しません。指定のファイル名、RAM ディスク内のファイルの有無を確認してください。
06	システム用のメモリが足りません。メモリを増設してください。
98	ソート中のデータが読み込めません。保存されているジョブデータが破損しています。

メモリカードのエラー

「メモリカードエラー／解除を押してください」と表示された場合は、エラーコード（数字）を確認して、次の表を参照してください。

コード	詳細内容
01	フォーマットエラーです。再度フォーマットをしてください。
02	メモリカード装着エラーです。メモリカードを正しく装着してください。
03	書き込みでエラーが発生しています。書き込みプロテクトが有効になっているので無効にしてください。
04	メモリカードに必要な容量が不足しています。メモリカード内のデータを整理し、領域を拡大してください。
05	指定のファイルが存在しません。指定のファイル名、メモリカード内のファイルの有無を確認してください。

ハードディスクのエラー

「ハードディスクエラー／解除を押してください」と表示された場合は、エラーコード（数字）を確認して、次の表を参照してください。

コード	詳細内容
01	フォーマットエラーです。再度フォーマットをしてください。
02	ハードディスク装着エラーです。ハードディスクを正しく装着してください。
03	書き込みでエラーが発生しています。書き込みプロテクトが有効になっているので無効にしてください。
04	ハードディスクに必要な容量が不足しています。ハードディスク内のデータを整理し、領域を拡大してください。
05	指定のファイルが存在しません。指定のファイル名、ハードディスク内のファイルの有無を確認してください。
06	システム用のメモリが足りません。メモリを増設してください。
20	ハードディスクを間違ったスロットに装着しています。ハードディスクに対応しているスロットに装着してください。
85	バーチャルメールボックスのトレイの名称が不正です。正しい名称設定を行ってください。
86	バーチャルメールボックスのパスワードが不正です。正しいパスワードを入力してください。
88	バーチャルメールボックスの中に読み込めないデータがあります。保存されているジョブデータが破損しています。
97	登録ジョブ数が限界です。これ以上保存できません。登録可能数または使用可能サイズを多くしてください。
98	ジョブ中に読み込めないデータがあります。保存されているジョブデータが破損しています。

スキャナのエラーメッセージ

［スキャナ］キーを押して、スキャンモードのタッチパネルに下表のような表示が出たときは、処理方法にしたがって作業してください。

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
スキャナが使用できません。	ネットワークケーブルが正しく接続されていますか。	ネットワークケーブルを正しく接続してください。スキャナの起動直後すぐであれば、しばらく（約 2 分）待ってから使用してください。	**使用説明書**の 2 章参照
送信先 PC が見つかりません。PC を確認してください。	使用中のコンピュータで Scanner File Utility が起動していますか。	Scanner File Utility を起動して、受信可能状態にしてください。	6-7 ページ
すでに同じ名称が登録されています。 **再度名称を入力してください。**	—	登録名称を変更して再度登録してください。	—
同じ番号が使用されています。再度番号を入力してください。	—	登録番号を変更して再度登録してください。	—
登録件数がいっぱいです。これ以上登録できません。	—	不要な登録を削除してから新規登録してください。	—
E-Mail 送信サイズの制限を超えました。	—	送信枚数を減らすか、解像度を落して再度送信してください。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
入力番号が登録されていません。再度番号を入力してください。	—	該当する番号がありません。 もう一度、番号を確かめてから選択してください。	**使用説明書**の **2 章**参照
SMTP サーバが見つかりません。管理者に連絡してください。	ネットワークケーブルが正しく接続されていますか。	ネットワークケーブルが正しく接続してください。スキャナの起動直後であれば、しばらく（約 2 分）待ってから使用してください。	—
	SMTP サーバが正しく起動していますか。	システム管理者等に確認してください。	—
SMTP 認証エラーが発生しました。 **管理者に連絡してください。**	SMTP 認証で使用するログインアカウント名とパスワードが、正しく設定されていますか。	システム管理者等に確認してください。	—
個人アドレス帳 PC が見つかりません。 **PC を確認してください。**	アドレス帳 for Scanner がコンピュータ上で起動していますか。	アドレス帳 for Scanner を起動してください。	—
	使用中のコンピュータがネットワークに正しく接続されていますか。	コンピュータをネットワークに正しく接続してください。	—
	スキャナネットワークインタフェースにネットワークケーブルが正しく接続されていますか。	スキャナネットワークインタフェースにネットワークケーブルを正しく接続してください。	**使用説明書**の **2 章**参照
ネットワークスキャナでシステムエラーが発生しました。	—	本体を再度、立ち上げてください。	—
通信エラーが発生しました。	PC 送信の場合： 送信先のコンピュータの状態。	再度送信してください。	—
	E-Mail 送信の場合： SMTP サーバが正しく起動していますか。	システム管理者に確認してください。	—
	データベース連携の場合： 保存先のコンピュータの状態。	DB Assistant からサポート外の応答を受信しました。DB Assistant がインストールされているコンピュータを確認してください。	—
送信先 PC でエラーが発生しました。	送信先のコンピュータの状態。	再度送信してください。	—
ファイルが保存できませんでした。 **送信先 PC を確認してください。**	送信先 PC の Scanner File Utility で設定したハードディスクの制限容量を超えていませんか。	空き容量を増やしてから、再度送信してください。	—
	複数のスキャナから同時に同じファイル名で送信していませんか。	しばらく待ってから再度送信するか、ファイル名を変更してください。	—
送信先 PC 上のアプリケーションが動作していません。	送信先 PC で Scanner File Utility が起動していますか。	Scanner File Utility を起動してください。	6-7 ページ
送信先 PC が使用中です。しばらくしてからやり直してください。	—	送信先 PC とスキャナが接続中です。しばらくしてから再度送信してください。	—
個人アドレス帳 PC のバージョンが異なります。 **管理者に連絡してください。**	アドレス帳 for Scanner のバージョンが異なりませんか。	システム管理者等に確認してください。	—

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
個人アドレス帳 PC が使用中です。 **しばらくしてからやり直してください。**	—	指定のアドレス帳 for Scanner とスキャナが接続中です。しばらくしてから、再度選択してください。	—
送信元（ユーザ）が登録されていません。 **管理者に連絡してください。**	本スキャナ、送信元（ユーザ）リストの、ユーザ番号 001 に送信元（ユーザ）が登録されていますか。	ユーザ番号 001 に新規登録するか、スキャナ初期設定の［**送信元（ユーザ）選択の省略**］の設定を［**設定なし**］にしてから、別の送信元（ユーザ）を選択してください。	**使用説明書**の 2 章参照
送り先が登録されていません。	指定の送り先が登録されていますか。	新規登録するか、別の送り先を選択してください。	—
パスワードが違います。	—	正しいパスワードを入力してください。	—
ドメイン名、ホスト名を確認してください。	スキャナのドメイン名、ホスト名が設定されていません。	ドメイン名、ホスト名を設定しているか確認してください。	5-8 ページ
原稿枚数オーバーです。 **読み取り終了分まで送信しました。**	1 度に送信できる原稿制限枚数 999 ページに達しました。	超過分は分けて送信してください。 両面、ブック原稿などの設定によっては、998 ページで送信する場合があります。	—
DB Assistant PC を確認してください。 **管理者に連絡してください。**	—	DB Assistant が認識できません。DB Assistant がインストールされているコンピュータで DB Assistant が正しく起動しているか確認してください。	—
DB Assistant のバージョンが異なります。 **管理者に連絡してください。**	DB Assistant のバージョンが異なりませんか。	システム管理者等に確認してください。	—
DB Assistant PC でエラーが発生しました。 **管理者に連絡してください。**	—	DB Assistant または、DB Assistant がインストールされているコンピュータでエラーが発生したため通信を継続できません。DB Assistant がインストールされているコンピュータを確認してください。	—
DB Assistant PC が使用中です。 **しばらくしてからやり直してください。**	—	DB Assistant とその他のスキャナが接続中です。しばらくしてから再度接続してください。	—
FTP サーバが見つかりません。 **管理者に連絡してください。**	ネットワークケーブルが正しく接続されていますか。	ネットワークケーブルを正しく接続してください。	**使用説明書**の 2 章参照
	FTP サーバが正しく起動していますか。	サーバ管理者等に確認してください。	—
FTP サーバにログインできません。	—	FTP サーバへのログインに失敗しました。ユーザ名、パスワードが正しく設定されているか確認してください。	5-28 ページ
保存しようとしたパスが存在しません。	—	保存先フォルダが無い、または保存先フォルダへのパスが間違っています。FTP サーバ内の保存先フォルダと本機で登録しているパスの設定があっているか確認してください。	5-28 ページ

表示	確認事項	処理方法	参照ページ
FTP サーバでエラーが発生しました。 管理者に連絡してください。	—	FTP サーバから予期せぬ応答があり保存できませんでした。ログインしているユーザアカウントの書き込みが許可されているかなど、サーバ管理者等に確認してください。	—
POP3 サーバが見つかりません。 管理者に連絡してください。	ネットワークケーブルが正しく接続されていますか。	ネットワークケーブルを正しく接続してください。	**使用説明書**の2章参照
	POP3 サーバが起動していますか。	POP3 サーバを起動してください。	—
POP3 サーバにログインできません。 管理者に連絡してください。	POP3 のユーザアカウントまたはパスワードが間違っていませんか。	POP3 のユーザアカウントおよびパスワードを確認してください。	**使用説明書**の2章参照
POP3 サーバにログインできません。 SMTP 送信認証のログインアカウント名とパスワードを確認してください。			
POP3 サーバでエラーが発生しました。 管理者に連絡してください。	—	POP3 サーバの設定を確認してください。	—

スキャナのエラーコード

スキャナの送信履歴に表示されるエラーコードとその処置方法は次のとおりです。

エラーコード	詳細内容	処理方法	参照ページ
E001	送信中にユーザがキャンセルを行った。	—	—
E010	データ送信中に送信先 PC が認識できなくなった（E011 以後のエラーで分類できないエラーが発生している）。または、アドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）を起動しているコンピュータが認識できなくなった。	・ネットワークケーブルが正しく接続されているかなど回線に異常が無いか確認してください。 ・送信先 PC が正常に起動しているか確認してください。	**使用説明書**の2章参照
E011	画像データの送信でデータ自体に問題があり送信が中止された。	再度操作をやり直してください。	—
E012	本体が画像送信時にアドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）のデータにアクセスした際、回線異常が発生したためにアクセスできなかった。	アドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）を起動しているコンピュータが正常に接続されているかを確認してください。	—
E020	スキャナ本体が E-Mail 送信を開始する際に、SMTP サーバが認識できなくなった。	ネットワークケーブルが正しく接続されているかなど回線に異常が無いか確認してください。その他の場合は SMTP サーバが正しく起動しているか、システム管理者等に確認してください。	**使用説明書**の2章参照
E021	E-Mail 送信先が送信先制限で制限を受けているか、送信先許可で許可されていない。	・送信制限ドメインを確認し、正しく設定してください。 ・E-Mail 送信先のアドレスが正しく入力されているか確認してください。	5-22 ページ
E022	SMTP サーバが認識できない E-Mail アドレスが含まれている。	E-Mail 送信先のアドレスが正しく入力されているか確認してください。	—

エラーコード	詳細内容	処理方法	参照ページ
E023	SMTP サーバが正しく動作していない。	SMTP サーバが正しく起動しているか、システム管理者等に確認してください。	—
E024	SMTP 認証エラーが発生した。	SMTP 認証で使用するユーザアカウントとパスワードが正しく設定されているか、システム管理者等に確認してください。	5-10 ページ
E030	送信先 PC が認識できなくなった。 Scanner File Utility が起動していない、またはすでに他のスキャナと接続している。	・送信先 PC で Scanner File Utility が正しく起動しているか、または別のスキャナと接続していないか確認してください。 ・ネットワークケーブルが正しく接続されているかなど回線に異常が無いか確認してください。	**使用説明書**の **2 章**参照
E031	スキャナ本体が画像送信を開始する際に、設定されているパスワードが送信先 PC と一致しなかった。	送信先 PC のパスワードを確認してください。	—
E032	PC 送信時に送信先 PC のハードディスクが制限容量を越えた。	送信先 PC で使用しているハードディスクの空き容量を増やしてから、再度送信してください。	—
E033	Scanner File Utility のバージョンが異なっている。	Scanner File Utility のバージョンを確認してください。	—
E034	Scanner File Utility が他のスキャナと接続中のため、送信できなかった。	他のスキャナとの接続が解除された後、PC 送信を開始してください。	—
E035	グループ送信時に Scanner File Utility のフォルダ番号が一致しなかった。送信操作中に設定が変更された。	Scanner File Utility の設定を確認してください。	6-11 ページ
E036	読み込んだ画像データを圧縮する際、圧縮後のデータがメモリ容量をオーバーした。	次の処理を行ってデータ容量を減らし、もう一度送信してください。 ・解像度を下げてください。 ・画質を OCR に設定してください。 ・一度に読み込む原稿枚数を減らしてください。	—
E039	PC 送信中にコンピュータから受信したコマンドが正常なコマンドでない。送信先 PC に予期しないトラブルが発生している。	・送信先 PC の Scanner File Utility が正常に起動しているかを確認してください。 ・送信先 PC に Scanner File Utility 以外のネットワークを受信するプログラムが起動していないか確認してください。 ・送信先 PC でトラブルが発生している場合は、トラブルを解消してください。	—
E059	コンピュータから受信したコマンドが正常なコマンドでない。アドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）を起動しているコンピュータでトラブルが発生している。	・送信先 PC のアドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）が正常に起動しているか確認してください。 ・送信先 PC にアドレス帳 for Scanner（個人アドレス帳）以外のネットワークを受信するプログラムが起動していないか確認してください。 ・送信先 PC でトラブルが発生している場合は、トラブルを解消してください。	—

エラーコード	詳細内容	処理方法	参照ページ
E061	E-Mail 送信、PC 送信で送信先にグループを選択していたときに、そのグループのメンバー（構成員）に何らかのトラブルが発生した。	グループのメンバー（構成員）のコンピュータを確認し、トラブルが発生している場合は、トラブルを解消してください。	—
E080	ネットワークケーブルが正しく接続されていない。	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、FTP サーバが正しく起動しているか、サーバ管理者等に確認してください。	**使用説明書**の２章参照
E081	FTP サーバへのログインに失敗した。	ユーザ名、パスワードが正しく設定されているか確認してください。	5-28 ページ
E082	保存先フォルダが無い、または保存先フォルダへのパスが間違っている。	FTP サーバ内の保存先フォルダと本機で登録しているパスの設定があっているか確認してください。	—
E083	FTP サーバから予期せぬ応答があり保存できない。	ログインしているユーザアカウントの書き込みが許可されているかなど、サーバ管理者等に確認してください。	—
E090	POP3 サーバが見つからない。	・ POP3 サーバが正常に起動しているか確認してください。 ・ ネットワークケーブルが正しく接続されているかなど回線に異常が無いか確認してください。	**使用説明書**の２章参照
E091	POP3 サーバのユーザアカウントもしくはパスワードに誤りがあり、POP3 サーバにログインできない。	POP3 サーバのユーザアカウントもしくはパスワードを修正してください。	5-8 ページ
E092	POP3 サーバでエラーが発生した。	POP3 サーバの設定を確認してください。	—
E101	送信先を複数選択しているときに、エラーが発生した。	個別のエラーを確認し、エラーを解消してください。	—

付録

この章では次の内容を説明します。

- 用紙について ... 付録 -2 ページ
- 仕様 ... 付録 -10 ページ
- 機能組み合わせ表 ... 付録 -16 ページ
- 用語集 ... 付録 -25 ページ
- 区点コード表 ... 付録 -29 ページ

用紙について

用紙の基本仕様

本機は、乾式複写機およびページプリンタ用の用紙（普通紙）に印刷できるように設計してありますが、本章の制限の範囲内で様々な用紙に印刷することができます。

本機に適さない用紙を使用すると、紙づまりになったり紙にシワがよったりするので、用紙の選択は慎重に行ってください。

OHP フィルム、ラベル紙、封筒などの用紙は、手差しから給紙してください。

参考：再生紙は下表に示した基本仕様のうち、保水度やパルプ含有率などの基本条件が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。このため、再生紙は少量をご購入になってサンプル印刷を行ってください。印刷の結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

規格に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

使用できる用紙

通常の乾式複写機またはページプリンタ用のコピー用紙（普通紙）を使用してください。用紙の品質は、印刷の品質にも影響を与えます。質の悪い用紙を使うと満足のできる結果が得られません。

用紙の基本仕様

次の表は、本機で使用できる用紙の基本的な仕様です。詳細は以下のページで説明します。

項目	仕様
重さ	カセット : 60 〜 105 g/m² 手差し : 60 〜 220 g/m²
厚さ	0.086 〜 0.110 mm
寸法誤差	±0.7 mm
四隅の角度	90° ±0.2°
保水度	4 〜 6 %
繊維の方向	縦目（給紙方向）
パルプ含有率	80 % 以上

適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

紙の状態

角の折れているもの、全体が丸まっているもの、汚れているもの、破れているもの、または繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙は避けてください。このような用紙を使用すると仕上がりが悪くなるだけでなく、用紙送りがうまくいかないために紙づまりを起こし、製品の寿命を縮めることになりかねません。用紙表面が滑らかで均一なものを選んでください。ただし、コーティング加工や、その他の表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めますので使用を避けてください。

用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や、表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。そのような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、またドラムを傷めます。

普通紙は、少なくとも 80 % 以上のパルプを含むものにしてください。コットンやその他の繊維が用紙成分の 20 % を超えないものをご使用ください。

用紙サイズ

次の表に記載したサイズの用紙がカセットまたは手差しで使用できます。

寸法誤差の許容範囲は縦横ともに ±0.7 mm です。用紙四隅の角度は、90° ±0.2° のものを使用してください。

手差し	カセットまたは手差し
B6R（128 × 182 mm）	A3（297 × 420 mm）
はがき（100 × 148 mm）	B4（257 × 364 mm）
往復はがき（148 × 200 mm）	A4（297 × 210 mm）
Executive（7 1/4 × 10 1/2"）	A4R（210 × 297 mm）
Envelope DL（110 × 220 mm）	B5（257 × 182 mm）
Envelope C5（162 × 229 mm）	B5R（182 × 257 mm）
Envelope C4（229 × 324 mm）	A5R（148 × 210 mm）
ISO B5（176 × 250 mm）	Folio（210 × 330 mm）
Comm.#10（4 1/8 × 9 1/2"）	11 × 17"
Comm.#9（3 7/8 × 8 7/8"）	8 1/2 × 14"
Comm.#6-3/4（3 5/8 × 6 1/2"）	11 × 8 1/2"
Monarch（3 7/8 × 7 1/2"）	8 1/2 × 11"
洋形 2 号（114 × 162 mm）	5 1/2 × 8 1/2"
洋形 4 号（105 × 235 mm）	8 1/2 × 13"
サイズ入力（98 × 148 ～ 297 × 432 mm）	8 1/2 × 13 1/2"
	8K（273 × 394 mm）
	16K（273 × 197 mm）
	16KR（197 × 273 mm）

滑らかさ

用紙表面は滑らかで均一であることが重要ですが、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が送られて、紙づまりの原因になります。

基本重量

基本重量とは、用紙 1 枚を 1 m² の大きさに換算した時の重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙送りの失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、製品の消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定していないと、同時に複数枚の用紙を給紙してしまったり、トナーの定着不良によって印刷がぼやけるなどの印刷品質の問題を引き起こすことがあります。

用紙の適正な重さはカセットで 60 〜 105 g/m²、手差しで 60 〜 220 g/m² の範囲です。

厚さ

本機で使用する用紙は極端に厚いものや、または薄いものは避けてください。同時に複数枚の用紙が給紙されたり、紙づまりが頻繁に起きたりする場合は紙が薄すぎることが考えられます。反対に紙が厚すぎる場合も、紙づまりが起こることがあります。適正な用紙の厚さは 0.086 〜 0.110 mm の範囲です。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は室内の湿度によって変わります。室内の湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い印刷になります。

波打ったり乾燥していると、紙送りにずれが起きることがあります。用紙の保水度は 4 〜 6 % の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない紙は、もう一度密封してください。
- 用紙は購入時の箱や梱包紙に封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- 長時間放置した用紙は、少なくとも 48 時間は正しいレベルの保水度を満たしてからご使用ください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に紙を放置しないでください。

繊維の方向

用紙が製造されるとき、用紙の長さに対して紙の繊維が垂直（縦目）になるようにカットされているものと、用紙の幅に対して繊維が垂直（横目）になるようにカットされているものがあります。横目の用紙は給紙時に問題を起こす原因になりますので、用紙は縦目のものをお使いください。

その他の仕様

多孔性：紙の繊維の密度を表します。

硬さ：柔らかすぎる紙は、本体内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

カール：ほとんどの用紙は、開封した状態で放置しておくとどちらかの方向へ自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。これを利用して、カセットにセットする面を考えてカールを打ち消し合うようにすると、仕上がりがより平らになります。

静電気：トナーを付着させるために、印刷の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

用紙の白さ：印刷されたページのコントラストは使用した用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用したほうがシャープで鮮明な印刷がえられます。

品質について：サイズの不揃い、角がきちんとそれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因で製品が正しく機能しないことがあります。特にご自分で裁断された用紙を使用する場合はご注意ください。

梱包について：きちんと梱包され、さらに箱に詰められている紙をお選びください。梱包紙は内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

特殊処理：次のような処理をほどこした用紙については、基本仕様を満たす用紙であっても使用しないようお勧めします。使用される場合は、多くの量を購入される前にサンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

特殊な用紙

ここでは、普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本機には、次のような特殊な用紙を使用することができます。

- OHP フィルム
- プレプリント
- ボンド紙
- 再生紙
- 薄紙（60 g/m² 以上 64 g/m² 以下）
- レターヘッド
- カラー紙
- パンチ済み紙
- 封筒
- はがき
- 厚紙（106 g/m² 以上 220 g/m² 以下）
- ラベル紙
- 加工紙
- 上質紙

以上の用紙を使用するときはコピー用またはページプリンタ用として指定されているものをお使いください。また、OHP フィルム、薄紙、封筒、はがき、厚紙は手差しから給紙してください。

特殊な用紙の選択

特殊用紙は次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で使用することが可能ですが、これらの用紙は構造および品質に大きなばらつきがあるために、規定紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙はサンプル用紙を本機で印刷してみて、満足のいく仕上がりとなるかを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意を次項より説明します。印刷中に、湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、本機または操作員に被害が生じても当社は一切の責任を負いかねます。

特殊用紙を使用する際は、カセットまたは手差しに使用する用紙種類を設定してください。（7-18 ページの**用紙種類の設定**、および**使用説明書**の **2 章**、**手差し用紙種類の設定**を参照してください。）

OHP フィルム

OHP フィルムは、印刷中の定着熱に耐えるものである必要があります。

次の表は、本機で使用できる OHP フィルムの条件です。

項目	仕様
耐熱性	最低 190 °C までの熱に耐えること。
厚さ	0.100 ～ 0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90° ±0.2°

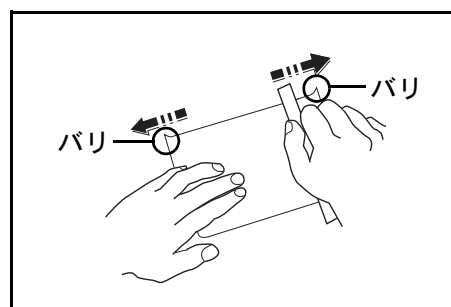
トラブルを避けるために、OHP フィルムは手差しから給紙してください。その際、必ず縦に（用紙の長手方向を本機に向けて）セットしてください。

OHP フィルムが排出部分で頻繁に紙づまりを起こす場合は、排紙される際に OHP フィルムの先を慎重に少しだけ手で引いてみてください。

はがき

はがきは、さばいて端を揃えてから、手差しにセットしてください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してからセットしてください。反りがあるまま印刷を行うと、紙づまりの原因になります。

往復はがきに印刷する場合は、折り目のないものを使用してください。

また、はがきによっては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）があるものがあります。その場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く 1 ～ 2 回こするようにして、バリを取り除いてください。

封筒

封筒は必ず手差しから給紙してください。

封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、本機を通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒での印刷が満足いくものであるかをサンプル印刷で確認してください。

封筒は長時間放置しておくとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、以下の点に留意してください。

糊が露出している封筒はどのような封筒でも使用できません。たとえ露出していなくても、紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式のタイプもご使用になれません。糊をカバーしている小さな台紙が、本機内部ではがれ落ちると大きな故障の原因となります。

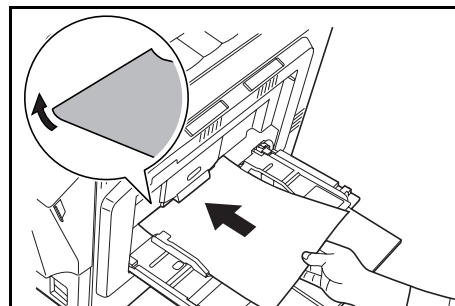
封筒に特殊加工のあるタイプも使用できません。紐を巻き付ける丸い鳩目の打ってあるものや、窓の開いているもの、窓部にフィルム加工がされているものなどは使用できません。

紙づまりが起きる場合は、一度にセットする封筒の枚数を少なくしてみてください。

複数の封筒を印刷する際は、紙づまりを避けるため排紙トレイに 10 枚以上残らないようご注意ください。

厚紙

厚紙はさばいて端を揃えてから、手差しにセットしてください。用紙によっては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）があるものがあります。その場合は用紙を平らなところに置き、**はがき**と同様に定規のようなもので軽く 1 ～ 2 回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのあるまま印刷を行うと紙づまりの原因になります。

参考：バリを取り除いても給紙されない場合は、図のように用紙の先端を数ミリ上にそらせてから手差しにセットしてください。

カラー紙

カラー紙は**付録** -2 ページの表を満たすものでなければなりません。さらに、用紙に含まれている色素は印刷中の熱（最高 200 ℃）に耐えるものでなければなりません。

プレプリント

プレプリント用紙は**付録** -2 ページの表を満たすものでなければなりません。着色に使われているインクは印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる表面加工を施してある紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が**付録** -2 ページの表を満たすものでなければなりません。

参考：再生紙を購入する前に、仕上がりが満足いくものであるかをサンプル印刷で確認してください。

仕様

参考：仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

本体

名称	25/20 枚機　KM-C2520 32/25 枚機　KM-C3225 32/32 枚機　KM-C3232
複写方式	乾式静電転写方式（レーザ方式）、タンデムドラム方式
原稿の種類	シート、ブック、立体物（最大原稿サイズ：A3）
複写サイズ	
カセット 1、2	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 13"、8 1/2 × 13 1/2"、8K、16K、16KR
手差し	A3 ～ A6R、はがき、11 × 17" ～ 5 1/2 × 8 1/2"、8K、16K、16KR、洋形 2 号、洋形 4 号
両面使用時	A3 ～ A5R
欠け幅	4 mm 以下
使用用紙	付録 -2 ページの用紙についてを参照してください。
給紙元容量	
カセット 1	500 枚（80 g/m^2、A4 以下）、250 枚（80 g/m^2、B4 以上）
カセット 2、3、4	500 枚（80 g/m^2）
手差し	100 枚（80 g/m^2、A4 以下）、50 枚（80 g/m^2、B4 以上）
排紙トレイ容量	250 枚（80 g/m^2）
ウォームアップタイム	45 秒以下 低電力モードからの復帰時間：10 秒以下 スリープモードからの復帰時間：45 秒以下 （室温 22 ℃、湿度 60 %）
メモリ	
コピー / スキャナ用	768 MB
プリンタ用	256 MB
増設メモリ	プリンタ用：128 MB、256 MB、512 MB
設置環境	
温度	10 ～ 32.5 ℃
湿度	15 ～ 80 %
海抜	2,500 m 以下
照度	1,500 lux 以下
電源	AC 100 V 50/60 Hz 15 A
本体寸法 （W）×（D）×（H）	605 mm × 645 mm × 745 mm
質量	98 kg（トナーコンテナ、廃棄トナーボックス除く）
本体占有寸法 （W）×（D）	877 mm × 645 mm

コピー機能

複写速度		
25/20 枚機	カラーコピー A3/11 × 17"：10 枚 / 分 B4/8 1/2 × 14"：10 枚 / 分 A4/11 × 8 1/2"：20 枚 / 分 A4R/8 1/2 × 11"：14 枚 / 分 B5：20 枚 / 分 B5R：14 枚 / 分	白黒コピー A3/11 × 17"：13 枚 / 分 B4/8 1/2 × 14"：13 枚 / 分 A4/11 × 8 1/2"：25 枚 / 分 A4R/8 1/2 × 11"：17 枚 / 分 B5：25 枚 / 分 B5R：17 枚 / 分
32/25 枚機	カラーコピー A3/11 × 17"：13 枚 / 分 B4/8 1/2 × 14"：13 枚 / 分 A4/11 × 8 1/2"：25 枚 / 分 A4R/8 1/2 × 11"：17 枚 / 分 B5：25 枚 / 分 B5R：17 枚 / 分	白黒コピー A3/11 × 17"：16 枚 / 分 B4/8 1/2 × 14"：16 枚 / 分 A4/11 × 8 1/2"：32 枚 / 分 A4R/8 1/2 × 11"：22 枚 / 分 B5：32 枚 / 分 B5R：22 枚 / 分
32/32 枚機	カラーコピー A3/11 × 17"：16 枚 / 分 B4/8 1/2 × 14"：16 枚 / 分 A4/11 × 8 1/2"：32 枚 / 分 A4R/8 1/2 × 11"：22 枚 / 分 B5：32 枚 / 分 B5R：22 枚 / 分	白黒コピー A3/11 × 17"：16 枚 / 分 B4/8 1/2 × 14"：16 枚 / 分 A4/11 × 8 1/2"：32 枚 / 分 A4R/8 1/2 × 11"：22 枚 / 分 B5：32 枚 / 分 B5R：22 枚 / 分
ファーストコピータイム	フルカラー：7.9 秒以下（1：1、A4/11 × 8 1/2"） 白黒・単色カラー：5.9 秒以下（1：1、A4/11 × 8 1/2"）	
解像度	読み取り：600 × 600 dpi 書き込み：600 × 600 dpi	
連続複写	1 〜 999 枚	
複写倍率	25 〜 400 ％（1 ％毎）の任意倍率 および固定倍率	

プリンタ機能

印刷速度	複写速度と同じ
ファーストプリントタイム	ファーストコピータイムと同じ
解像度	300 dpi、600 dpi、Fast 1200 mode
対応 OS	Windows 95（OSR2）、Windows 98（Second Edition）、Windows NT 4.0（Service Pack 5 以降）、Windows 2000（Service Pack 2 以降）、Windows Me、Windows XP、Windows Server 2003、Apple Macintosh OS 9.x/OS X 10.x
インタフェース	パラレルインタフェース：1（IEEE1284 準拠） ネットワークインタフェース：1 USB 2.0：1（USB Hi-Speed） ネットワークインタフェースカード（オプション）：1 シリアルインタフェース（オプション）：1

スキャナ機能

ハードウェア	IBM PC/AT 互換機	
対応 OS	Windows 95（OSR2）、Windows 98（Second Edition）、Windows NT 4.0（Service Pack 5 以降）、Windows 2000（Service Pack 2 以降）、Windows Me、Windows XP、Windows Server 2003、Mac OS 9.1 ～ 9.2.2、Mac OS 10.1.5 ～ 10.4（TWAIN: Mac OS 10.2 ～ 10.4）	
動作環境	CPU	Pentium 133 MHz 以上（Windows Me 150 MHz 以上、Windows XP Celeron 600 MHz 以上、Macintosh Power PC G3 以上）
	RAM	64 MB 以上（Windows XP 128 MB）
	HDD	20 MB 以上
推奨環境	CPU	Celeron 266 MHz 以上（Windows XP Celeron 800 MHz 以上）
	RAM	64 MB 以上
	HDD	300 MB 以上
CD-ROM	ディスクドライブ 1 ドライブ	
イーサネット	10BASE-T/100BASE-TX	
ネットワークプロトコル	TCP/IP	
転送プロトコル	独自方式（画像転送時 / ユーティリティによる設定時）、SMTP（E-Mail 送信時）、HTTP（Web 設定時）、FTP（FTP 送信時）、TWAIN（TWAIN 使用時）	

原稿送り装置（オプション）

原稿の送り方式	自動給紙方式
原稿の種類	シート原稿
原稿サイズ	最大：A3 最小：A5R
原稿の厚さ	片面原稿：45 ～ 160 g/m^2 両面原稿：50 ～ 120 g/m^2
原稿セット枚数	A4 以下：100 枚以下（50 ～ 80 g/m^2） B4 以上：70 枚以下（50 ～ 80 g/m^2）
機械寸法 （W）×（D）×（H）	571 mm × 488 mm × 134 mm
質量	約 11.5 kg

ペーパーフィーダ（オプション）

給紙方式	フリクションリタード方式（収納枚数 550 枚（64 g/m²）× 2 段）
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 13"、8 1/2 × 13 1/2"、8K、16K、16KR
使用用紙	紙厚：60 ～ 105 g/m² 用紙種類：普通紙、再生紙、カラーペーパー
本体寸法 （W）×（D）×（H）	585 mm × 590 mm × 315 mm
質量	約 26 kg

3000 枚ペーパーフィーダ（オプション）

給紙方式	フリクションリタード方式（収納枚数 3000 枚（80 g/m²））
用紙サイズ	A4、B5
使用用紙	紙厚：60 ～ 105 g/m² 用紙種類：普通紙、再生紙、カラーペーパー
本体寸法 （W）×（D）×（H）	585 mm × 600 mm × 314 mm
質量	約 23 kg

ドキュメントフィニッシャ（オプション）

トレイ数	1 トレイ
用紙サイズ （ノンステープル時）	A3、B4：500 枚 A4、A4R、B5、B5R、Folio：1000 枚
使用用紙の厚さ	ステープル時：80 g/m² 以下
ステープル制限枚数†	B4、A3：20 枚、A4、A4R、B5：30 枚［用紙の厚さ 80 g/m² 以下］
本体寸法 （W）×（D）×（H）	558 mm × 526 mm × 916 mm
質量	約 25 kg

† カラーコピー専用紙を使用した場合、紙質により制限枚数までステープルできない場合があります。

参考：ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャを使用する場合は、オプションのジョブセパレータを装着する必要があります。

ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャで排出できる用紙は、カセットから給紙される用紙に限られます。

3000 枚ドキュメントフィニッシャ（オプション）

トレイ数	3 トレイ
用紙サイズ	
トレイ A （ノンステープル時） トレイ B	A3、B4、8K：1500 枚 A4、A4R、B5、Folio、16K：3000 枚 A3、B4、8K：100 枚 A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R、B6R、A6R、Folio、16K、16KR：200 枚
トレイ C	はがき：50 枚 A4、B5、A5、A5R、B6R、A6R、16K：50 枚 はがき：10 枚
使用用紙の厚さ	ステープル時：90 g/m^2 以下 パンチ時（オプション）：45 ～ 200 g/m^2
ステープル制限枚数†	B4、A3：30 枚、A4、A4R、B5：50 枚［用紙の厚さ 90 g/m^2 以下］
本体寸法 （W）×（D）×（H）	684 mm × 563 mm × 1087 mm
質量	約 48 kg 以下

† カラーコピー専用紙を使用した場合、紙質により制限枚数までステープルできない場合があります。

参考：ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャを使用する場合は、オプションのジョブセパレータを装着する必要があります。

ドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャで排出できる用紙は、カセットから給紙される用紙に限られます。

ジョブセパレータ（オプション）

トレイ数	1 トレイ
収納制限枚数	100 枚（80 g/m^2）
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 11"、7 1/4 × 10 1/2"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 13"、8 1/2 × 13 1/2"
使用用紙ペーパー	紙厚：60 ～ 105 g/m^2 用紙種類：普通紙、再生紙、カラーペーパー、薄紙、レターヘッド
機械寸法 （W）×（D）×（H）	570 mm × 570 mm × 240 mm
質量	2.3 kg 以下

環境仕様

低電力モードからの復帰時間	10 秒以下
低電力モード移行時間（出荷時設定）	15 分
スリープモード移行時間（出荷時設定）	60 分
両面機能	標準
給紙搬送性	古紙 100 % 配合紙使用可能

参考：推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

機能組み合わせ表

本機のさまざまな機能を組み合わせて、さらに効率的に使用することができます。

コピー機能組み合わせ表

コピー機能の組み合わせは下の一覧表をご参照ください。

先に設定する機能 ＼ 後から設定する機能	自動カラー	フルカラー	白黒	カラーバランス調整	色相調整	ワンタッチ画質調整	配布コピー	単色カラーコピー	用紙選択	両面 / 分割コピー：片面→両面	両面→両面	見開き→両面	両面→片面	見開き→片面	原稿サイズ選択：定形 / 不定形サイズ	サイズ入力	自動検知	ユーザー登録サイズ	集約コピー	自動濃度モード	手動濃度モード	地色調整	縮小 / 拡大コピー：等倍（100%）	たてよこ独立変倍	自動倍率	ズームコピー	原稿サイズ混載コピー（サイズ混在）†	原稿サイズ混載コピー（サイズ統一）†	連続読み込みコピー	画質：文字＋写真	印画紙写真	印刷写真	文字	地図	とじしろコピー
自動カラー		Y	Y	Y	Y	Y	54	85	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
フルカラー	Y		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	62	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
白黒	Y	Y		59	58	57	54	55	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	68	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
カラーバランス調整	Y	Y	56		Y	N	Y	55	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	59	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
色相調整	Y	Y	56	Y		N	Y	55	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	58	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
ワンタッチ画質調整	Y	Y	56	N	N		Y	55	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	57	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
配布コピー	54	Y	56	Y	Y	Y		54	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
単色カラーコピー	Y	Y	56	55	55	55	54		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
用紙選択	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	31	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
両面 / 分割コピー：片面→両面	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	12	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
両面 / 分割コピー：両面→両面	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N		N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
両面 / 分割コピー：見開き→両面	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N		N	N	70	14	Y	14	15	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	12	12	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
両面 / 分割コピー：両面→片面	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N		N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
両面 / 分割コピー：見開き→片面	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N		70	14	Y	14	15	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	12	12	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
原稿サイズ選択：定形 / 不定形サイズ	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	75	Y	75		N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	12	12	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
原稿サイズ選択：サイズ入力	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	21	Y	21	N		N	N	32	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	12	12	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
原稿サイズ選択：自動検知	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N		N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
原稿サイズ選択：ユーザー登録サイズ	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	21	Y	21	N	N	N		32	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	12	12	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
集約コピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	73	Y	73	Y	32	Y	32		Y	Y	Y	Y	2	Y	Y	12	12	Y	Y	Y	Y	Y	Y	5
自動濃度モード	Y	61	Y	59	58	57	N[1]	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		N	68	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	69	69	Y	69	Y
手動濃度モード	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
地色調整	Y	Y	56	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	62	Y		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	68	68	Y	N[1]	Y
縮小 / 拡大コピー：等倍（100%）	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	2	Y	Y	Y		N	N	N	3	2	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
縮小 / 拡大コピー：たてよこ独立変倍	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	2	Y	Y	Y	N		N	N	3	2	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
縮小 / 拡大コピー：自動倍率	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	2	Y	Y	Y	N	N		N	3	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
縮小 / 拡大コピー：ズームコピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	2	Y	Y	Y	N	N	N		3	2	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
原稿サイズ混載コピー（サイズ混在）†	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	12	12	Y	12	Y	12	12	12	Y	12	12	Y	Y	Y	3	3	3	3		N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
原稿サイズ混載コピー（サイズ統一）†	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	12	Y	12	12	12	Y	12	12	Y	Y	Y	2	2	Y	2	N		33	Y	Y	Y	Y	Y	Y
連続読み込みコピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	27		Y	Y	Y	Y	Y	Y
画質：文字＋写真	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		N	N	N	N	Y
画質：印画紙写真	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	1	Y	68	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N		N	N	N	Y
画質：印刷写真	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	1	Y	68	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N		N	N	Y
画質：文字	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N		N	Y
画質：地図	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	1	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N		Y
とじしろコピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	5	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	
センター移動コピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N
ページ付け	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	12	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
拡大連写	Y	Y	Y	Y	Y	Y	53	Y	Y	53	53	53	53	53	Y	Y	Y	Y	53	Y	Y	Y	53	53	53	53	53	53	53	Y	Y	Y	Y	Y	53
ソートコピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
仕分けコピー（ページごと）	Y	Y	Y	Y	Y	Y	87	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
仕分けコピー（1 部ごと）	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
枠消しコピー：シート枠消し	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	6	Y	6	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	7	7	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
枠消しコピー：ブック枠消し	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	6	Y	6	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	7	7	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
枠消しコピー：個別枠消し	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	6	Y	6	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	7	7	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
表紙付け	Y	Y	Y	Y	Y	Y	54	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	24	Y	24	25	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	12	12	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
小冊子（シート原稿）	Y	Y	Y	Y	Y	Y	54	Y	Y	10	10	10	10	10	86	20	Y	20	23	Y	Y	Y	Y	2	Y	Y	12	12	Y	Y	Y	Y	Y	Y	4
小冊子（見開き原稿）	Y	Y	Y	Y	Y	Y	54	Y	Y	10	10	10	10	10	70	20	Y	20	23	Y	Y	Y	74	74	Y	74	12	12	Y	Y	Y	Y	Y	Y	4

† オプションの原稿送り装置が必要です。

先に設定する機能		後から設定する機能						枠消しコピー														排出先選択												
		センター移動コピー	ページ付け	拡大連写	ソートコピー	仕分けコピー（ページごと）	仕分けコピー（1部ごと）	シート枠消し	ブック枠消し	個別枠消し	表紙付け	小冊子（シート原稿）	小冊子（見開き原稿）	自動回転コピー	OHP合紙モード	試しコピー	書き込み余白	エコプリント	原稿セット向き	白黒反転コピー	鏡像コピー	再コピーの設定	ジョブセパレータ	上トレイ	トレイA	トレイB	トレイC	トレイ1～7	シャープネス調整	2色カラーコピー	ステープルコピー	パンチコピー	中とじ＋中折り	イメージリピートコピー	割り込みコピー
自動カラー		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	52	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	66	Y	Y	Y	Y	Y
フルカラー		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	66	Y	Y	Y	Y	Y
白黒		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
カラーバランス調整		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	66	Y	Y	Y	Y	Y
色相調整		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	66	Y	Y	Y	Y	Y
ワンタッチ画質調整		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	66	Y	Y	Y	Y	Y
配布コピー		Y	Y	53	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	54	54	54	Y	54	54	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	66	Y	Y	N[1]	Y	34
単色カラーコピー		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	66	Y	Y	Y	Y	Y
用紙選択		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
片面→両面	両面 / 分割コピー	Y	Y	53	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	10	10	Y	11	Y	Y	Y	Y	13	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	67	Y
両面→両面	両面 / 分割コピー	Y	Y	53	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	10	10	Y	11	Y	Y	Y	Y	13	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	67	Y
見開き→両面	両面 / 分割コピー	Y	Y	53	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	10	10	Y	11	Y	N[1]	Y	9	13	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	67	Y
両面→片面	両面 / 分割コピー	Y	Y	53	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	10	10	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	67	Y
見開き→片面	両面 / 分割コピー	Y	Y	53	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	10	10	Y	Y	Y	N[1]	Y	9	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	67	Y
定形 / 不定形サイズ	原稿サイズ選択	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	86	75	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
サイズ入力	原稿サイズ選択	Y	Y	Y	Y	Y	Y	6	6	6	24	21	21	Y	29	Y	32	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
自動検知	原稿サイズ選択	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
ユーザー登録サイズ	原稿サイズ選択	Y	Y	Y	Y	Y	Y	6	6	6	24	21	21	Y	29	Y	32	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
集約コピー		Y	Y	53	Y	Y	Y	Y	Y	Y	25	23	23	Y	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	63	Y	Y	Y	N[1]	67	Y
自動濃度モード		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	66	Y	Y	Y	83	Y
手動濃度モード		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
地色調整		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
等倍（100%）	縮小 / 拡大コピー	Y	Y	76	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	2	2	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	76	Y
たてよこ独立変倍	縮小 / 拡大コピー	Y	Y	53	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	2	2	Y	Y	Y	2	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	76	Y
自動倍率	縮小 / 拡大コピー	Y	Y	76	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	2	2	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	76	Y
ズームコピー	縮小 / 拡大コピー	Y	Y	76	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	2	2	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	76	Y
原稿サイズ混載コピー（サイズ混在）†		Y	12	53	Y	Y	Y	7	7	7	12	12	12	Y	12	Y	12	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	12	Y	N[1]	67	Y
原稿サイズ混載コピー（サイズ統一）†		Y	Y	53	Y	Y	Y	7	7	7	12	12	12	Y	12	Y	12	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	67	Y
連続読み込みコピー		Y	Y	53	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	67	Y
文字＋写真	画質	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
印画紙写真	画質	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
印刷写真	画質	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
文字	画質	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
地図	画質	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
とじしろコピー		N	Y	53	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	4	4	Y	Y	Y	5	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	67	Y
センター移動コピー			Y	53	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	67	Y
ページ付け		Y		53	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	67	Y
拡大連写		53	53		Y	Y	Y	53	53	53	53	53	53	Y	53	Y	53	Y	Y	53	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	63	Y	Y	Y	53	67	34
ソートコピー		Y	Y	Y		Y	Y	Y	Y	Y	Y	18	18	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
仕分けコピー（ページごと）		Y	Y	Y	Y		N	Y	Y	Y	Y	27	27	Y	27	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	N	81	Y
仕分けコピー（1部ごと）		Y	Y	Y	Y	N		Y	Y	Y	Y	27	27	Y	27	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	N	81	Y
シート枠消し	枠消しコピー	Y	Y	53	Y	Y	Y		N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	67	Y
ブック枠消し	枠消しコピー	Y	Y	53	Y	Y	Y	N		N	Y	8	Y	Y	Y	Y	Y	Y	9	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	67	Y
個別枠消し	枠消しコピー	Y	Y	53	Y	Y	Y	N	N		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	67	Y
表紙付け		Y	Y	53	Y	Y	Y	Y	Y	Y		18	18	Y	19	Y	25	Y	Y	26	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	67	Y
小冊子（シート原稿）		Y	Y	53	18	17	17	Y	8	Y	18		N	Y	11	Y	23	Y	Y	13	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	63	Y	22	22	Y	67	Y
小冊子（見開き原稿）		Y	Y	53	18	17	17	Y	Y	Y	18	N		Y	11	Y	23	Y	9	13	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	63	Y	22	22	Y	67	Y

† オプションの原稿送り装置が必要です。

先に設定する機能		自動カラー	フルカラー	白黒	カラーバランス調整	色相調整	ワンタッチ画質調整	配布コピー	単色カラーコピー	用紙選択	両面 / 分割コピー：片面→両面	両面 / 分割コピー：両面→両面	両面 / 分割コピー：見開き→両面	両面 / 分割コピー：両面→片面	両面 / 分割コピー：見開き→片面	原稿サイズ選択：定形 / 不定形サイズ	原稿サイズ選択：サイズ入力	原稿サイズ選択：自動検知	原稿サイズ選択：ユーザー登録サイズ	集約コピー	自動濃度モード	手動濃度モード	地色調整	縮小 / 拡大コピー：等倍（100%）	縮小 / 拡大コピー：たてよこ独立変倍	縮小 / 拡大コピー：自動倍率	縮小 / 拡大コピー：ズームコピー	原稿サイズ混載コピー（サイズ混在）	原稿サイズ混載コピー（サイズ統一）	連続読み込みコピー	画質：文字＋写真	画質：印画紙写真	画質：印刷写真	画質：文字	画質：地図	とじしろコピー
	自動回転コピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	OHP 合紙モード	Y	Y	Y	Y	Y	Y	54	Y	Y	11	11	11	Y	Y	Y	29	Y	29	60	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	12	12	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	試しコピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	54	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	書き込み余白	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N1	Y	N1	Y	32	Y	32	N	Y	Y	Y	Y	71	Y	Y	12	12	Y	Y	Y	Y	Y	Y	5
	エコプリント	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	原稿セット向き	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	72	Y	72	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	白黒反転コピー	52	N1	Y	N1	N1	N1	N1	N1	Y	27	27	27	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	鏡像コピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	再コピーの設定	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
排出先選択†	ジョブセパレータ	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
排出先選択†	上トレイ	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
排出先選択†	トレイ A	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
排出先選択†	トレイ B	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
排出先選択†	トレイ C	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
排出先選択†	トレイ 1 ～ 7	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	シャープネス調整	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	64	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	2 色カラーコピー	66	66	Y	66	66	66	66	66	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	66	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	ステープルコピー††	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	12	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	パンチコピー†††	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	中とじ＋中折り††††	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N1	Y	Y	N1	N1	N1	N1	N1	Y	N1	Y	N1	N1	Y	Y	Y	Y	N1	Y	Y	N1	N1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	イメージリピートコピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	67	67	67	67	67	Y	Y	Y	Y	67	82	Y	Y	67	67	67	67	67	67	67	Y	Y	Y	Y	Y	67
	割り込みコピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	34	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
文書管理機能	蓄積共有ボックス（文書登録）	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N	Y	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N
文書管理機能	ジョブ結合ボックス（文書登録）	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N	Y	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N
文書管理機能	蓄積共有ボックス（文書出力）	N	N	N	N	N	N	N	N	Y	Y	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	Y
文書管理機能	ジョブ結合ボックス（文書出力）	N	N	N	N	N	N	N	N	Y	Y	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	Y
	応用コピー（ステップ 1）	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	応用コピー（ステップ 2 ～）	N	N	N	Y	Y	N	N	N	Y	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	N
	出力管理機能	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
	再コピー出力	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N

† オプションのジョブセパレータ、ドキュメントフィニッシャ、3000 枚ドキュメントフィニッシャやメールボックスが必要です。

†† オプションのドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャが必要です。

††† オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャとパンチユニットが必要です。

††††オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャと中折りユニットが必要です。

Y：組み合わせできます。

N：組み合わせできません。

N1：先に設定する機能が優先されて、後から設定する機能が選択できません。

1 印画紙写真、印刷写真は自動濃度モードがありません。
2 自動倍率のみのため自動倍率に移行。
3 自動用紙のみのため自動用紙に移行。
4 とじしろコピーと小冊子は組み合わせできません。
5 とじしろコピーと集約コピーは組み合わせできません。
6 枠消しコピーと原稿サイズ入力は組み合わせできません。
7 枠消しコピーと原稿サイズ混載コピーは組み合わせできません。
8 ブック枠消しと小冊子（シート原稿）は組み合わせできません。

後から設定する機能																																			
						枠消しコピー															排出先選択													先に設定する機能	
センター移動コピー	ページ付け	拡大連写	ソートコピー	仕分けコピー（ページごと）	仕分けコピー（1部ごと）	シート枠消し	ブック枠消し	個別枠消し	表紙付け	小冊子（シート原稿）	小冊子（見開き原稿）	自動回転コピー	OHP 合紙モード	試しコピー	書き込み余白	エコプリント	原稿セット向き	白黒反転コピー	鏡像コピー	再コピーの設定	ジョブセパレータ	上トレイ	トレイ A	トレイ B	トレイ C	トレイ 1 ～ 7	シャープネス調整	2 色カラーコピー	ステープルコピー	パンチコピー	中とじ＋中折り	イメージリピートコピー	割り込みコピー		
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	80	Y	自動回転コピー	
Y	Y	53	60	30	30	Y	Y	Y	19	11	11	Y		Y	60	Y	Y	28	Y	Y	60	60	60	60	60	60	Y	Y	30	30	N[1]	Y	34	OHP 合紙モード	
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	34	試しコピー	
Y	Y	53	Y	Y	Y	Y	Y	Y	25	23	23	Y	Y	Y		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	63	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	書き込み余白	
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	エコプリント	
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	72	Y	Y	Y	72	Y	Y	Y	Y	Y		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	79	Y	原稿セット向き	
Y	Y	53	Y	Y	Y	Y	Y	Y	27	27	27	Y	27	Y	Y	Y	Y		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	白黒反転コピー	
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	67	Y	鏡像コピー	
Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	再コピーの設定	
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		N	N	N	N	N	Y	Y	77	78	88	Y	Y	ジョブセパレータ	排出先選択†
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N		N	N	N	N	Y	Y	77	78	88	Y	Y	上トレイ	排出先選択†
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	60	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N		N	N	N	Y	Y	Y	Y	88	Y	Y	トレイ A	排出先選択†
Y	Y	Y	Y	77	77	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	60	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N		N	N	Y	Y	77	Y	88	Y	Y	トレイ B	排出先選択†
Y	Y	Y	Y	N[1]	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	60	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N		N	Y	Y	77	78	88	Y	Y	トレイ C	排出先選択†
Y	Y	Y	Y	N[1]	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	60	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N	N		Y	Y	77	78	88	Y	Y	トレイ 1 ～ 7	排出先選択†
Y	Y	64	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	64	64	Y	Y	Y	64	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		Y	Y	Y	Y	Y	Y	シャープネス調整	
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		Y	Y	Y	Y	Y	2 色カラーコピー	
Y	Y	Y	Y	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	27	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	Y	N	N	N	Y	Y		Y	N	67	Y	ステープルコピー††	
Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	22	22	Y	27	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y		N	Y	Y	パンチコピー†††	
Y	Y	53	N[1]	N	N	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	N[1]	Y	Y	N[1]	Y	Y	89	89	89	89	89	89	Y	Y	N	N		67	Y	中とじ＋中折り††††	
67	67	67	Y	81	81	67	67	67	67	67	67	80	Y	Y	Y	Y	79	Y	67	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	67	Y	67		Y	イメージリピートコピー	
Y	Y	34	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		割り込みコピー	
N	N	N	N	N	N	Y	Y	Y	N	N	N	N	N	N	N	N	Y	N	N	N	N	N	N	N	N	N	Y	N	N	N	N	N	N	蓄積共有ボックス（文書登録）	文書管理機能
N	N	N	N	N	N	Y	Y	Y	N	N	N	N	N	N	N	N	Y	N	N	N	N	N	N	N	N	N	Y	N	N	N	N	N	N	ジョブ結合ボックス（文書登録）	文書管理機能
N	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N	Y	Y	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	Y	Y	Y	N	N	蓄積共有ボックス（文書出力）	文書管理機能
N	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N	Y	Y	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	Y	Y	Y	N	N	ジョブ結合ボックス（文書出力）	文書管理機能
Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	N	Y	N	N	N	N	N	N	N	Y	Y	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	Y	N	N	応用コピー（ステップ 1）	
N	N	N	N	N	N	Y	N	Y	N	N	N	N	N	N	N	N	Y	N	N	N	N	N	N	N	N	N	Y	N	N	N	N	N	N	応用コピー（ステップ 2 ～）	
N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	出力管理機能	
N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	再コピー出力	

† オプションのジョブセパレータ、ドキュメントフィニッシャ、3000 枚ドキュメントフィニッシャやメールボックスが必要です。

†† オプションのドキュメントフィニッシャまたは 3000 枚ドキュメントフィニッシャが必要です。

††† オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャとパンチユニットが必要です。

††††オプションの 3000 枚ドキュメントフィニッシャと中折りユニットが必要です。

9 見開き原稿は上辺が奥側のみになるため組み合わせできません。

10 両面コピー / 分割コピーが設定されていた場合は小冊子を優先します。

11 OHP フィルムには両面コピーできません。

12 原稿サイズ混載コピーとは組み合わせできません。

13 両面コピーの白黒反転は禁止。

14 分割コピー（見開き→片面）では原稿サイズ選択はできません。

15 分割コピー（見開き→片面）では集約コピーはできません。

16 分割コピー（見開き→片面）と OHP 合紙モードの組み合わせは禁止。

17 小冊子と仕分けコピーの組み合わせは禁止。

18 小冊子の操作手順で表紙の設定ができます。

19 表紙付けと OHP 合紙モードの組み合わせは禁止。

20 小冊子と原稿サイズ選択（サイズ入力）の組み合わせは禁止。
21 後から設定する機能が優先されて、自動検知に修正されます。
22 ステープルコピー / パンチコピーは禁止。
23 小冊子と集約 コピーの組み合わせはできません。
24 表紙付けと原稿サイズ選択（サイズ入力）は組み合わせできません。
25 表紙付けと集約コピーは組み合わせできません。
26 表紙付けと白黒反転コピーの組み合わせは禁止。
27 後から設定する機能が優先されて、先に設定した機能は解除されます。
28 OHP 合紙モードと白黒反転コピーの組み合わせは禁止。
29 OHP 合紙モードと原稿サイズ選択（サイズ入力）の組み合わせは禁止。
30 OHP 合紙モードと仕分けコピー / ステープルコピー / パンチコピーの組み合わせは禁止。
31 自動用紙に移行するため解除されます。
32 集約コピーと原稿サイズ選択（サイズ入力）は組み合わせできません。
33 連続読み込みコピーとの組み合わせは禁止。
34 割り込みコピーとの組み合わせは禁止。
35 仕分けコピーとの組み合わせは禁止。
36 原稿サイズ混載コピーとセンター移動コピーは組み合わせできません。
51 ページ付けは自動倍率固定になります。
52 自動カラーとの組み合わせはできません。
53 拡大連写との組み合わせはできません。
54 配布コピーとの組み合わせはできません。
55 単色カラーコピーとの組み合わせは禁止。
56 後から設定する機能が優先されて、カラー機能が解除されます。
57 ワンタッチ画質調整との組み合わせは禁止。
58 色相調整との組み合わせは禁止。
59 カラーバランス調整との組み合わせは禁止。
60 OHP 合紙モード、または手差しの用紙種類を OHP/ 厚紙に設定している場合の組み合わせは禁止。
61 フルカラーコピーが優先されて、自動濃度モードが解除されます。
62 フルカラーコピーと自動濃度モードとの組み合わせは禁止。
63 シャープネス調整との組み合わせは禁止。（白黒 / 単色カラーコピー時）
64 後から設定する機能が優先されて、シャープネス調整が解除されます。（白黒 / 単色カラーコピー時）
65 後から設定する機能が優先されて、自動濃度モードが解除されます。（白黒 / 単色カラーコピー時）
66 2 色カラーコピーとの組み合わせは禁止。
67 イメージリピートコピーとの組み合わせは禁止。
68 地色調整との組み合わせは禁止。
69 印画紙写真、印刷写真は自動濃度モードがありません。（手動濃度モードへ移行）
70 原稿サイズ選択（B6、B6R、A6R、11 × 15"、はがき）はできません。
71 書き込み余白との組み合わせは禁止。
72 後から設定する機能が優先されて、原稿の向きは**「奥」**になります。
73 集約コピーとの組み合わせは禁止。
74 小冊子との組み合わせは禁止。（自動倍率へ移行）
75 原稿サイズ選択（B6、B6R、A6R、11 × 15"、はがき）時は、後から設定する機能が優先されて、自動検知となる
76 後から設定する機能が優先されて、倍率は 100% になります。（100% 設定時は変更なし）

77 後から設定する機能が優先されて、トレイ A になります。

78 後から設定する機能が優先されて、トレイ B になります。

79 原稿セット向きは**「奥」**になります。

80 自動回転コピーは**「回転しない」**になります。

81 仕分けコピーは、**「しない」**になります。

82 イメージリピートコピーの**「原稿範囲指定」**との組み合わせは禁止。

83 イメージリピートコピーの**「原稿範囲指定」**との組み合わせは禁止。（手動濃度モードへ移行）

84 後から設定する機能が優先されて、先に設定した機能は解除されます。

85 フルカラーに変更されます。

86 原稿サイズ選択（B6、B6R、A6R、11 × 15"、はがき）は、設定変更を促すメッセージが表示されます。

87 **「ソートしない」**になります。

88 後から設定する機能が優先されて、中折りトレイに設定されます。

89 後から設定する機能が優先されて、ステープルの解除を促すメッセージが表示されます。

スキャナ機能組み合わせ表

スキャナ機能の組み合わせは下の一覧表をご参照ください。

先に設定する機能 ＼ 後から設定する機能	基本																			画質										応用									
					原稿サイズ選択					原稿セット向き			送信サイズ選択			ファイル形式				濃度		原稿の画質				白黒選択				枠消し							両面 / 分割		
	自動カラー	フルカラー	白黒（2階調）	白黒（グレー）	自動検知	サイズ選択	サイズ入力	ユーザー登録サイズ	その他定形サイズ	奥	左	ファイル名入力	自動サイズ	サイズ選択	読み込み解像度	PDF	TIFF	JPEG	高圧縮 PDF	自動（白黒機能）	手動	文字＋写真	写真	文字	OCR	白黒2階調	白黒グレー	地色調整	シャープネス	シート枠消し	ブック枠消し	個別枠消し	原稿サイズ混載	センター移動	連続読み込み	ページ毎出力	片面原稿	両面原稿	見開き原稿
基本選択機能 / PC送信（ステップ1）	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
基本選択機能 / PC送信（ステップ2～）	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	Y	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	Y	Y	Y
基本選択機能 / E-Mail送信（ステップ1）	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
基本選択機能 / E-Mail送信（ステップ2～）	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	Y	N	N	N	N	Y	Y	Y	N	Y	Y	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	Y	Y	Y
基本選択機能 / TWAIN（ステップ1）	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	Y	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	Y
基本選択機能 / TWAIN（ステップ2～）	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
基本選択機能 / データベース連携（ステップ1）	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
基本選択機能 / データベース連携（ステップ2～）	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	Y	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	Y	Y	Y
基本選択機能 / FTP送信（ステップ1）	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
基本選択機能 / FTP送信（ステップ2～）	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	Y	Y	Y	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	Y	Y	Y
自動カラー		1	1	1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	N[7]	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	N[8]	N[8]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
フルカラー	1		1	1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	N[1]	N[1]	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
白黒（2階調）	1	1		N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
白黒（グレー）	1	1	N		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	N[1]	N[1]	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
基本 / 原稿サイズ選択 / 自動検知	Y	Y	Y	Y		N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
基本 / 原稿サイズ選択 / サイズ選択	Y	Y	Y	Y	N		N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	N[4]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	1	Y	Y	Y	Y	Y	5
基本 / 原稿サイズ選択 / サイズ入力	Y	Y	Y	Y	N	N		N	N	Y	Y	Y	N[1]	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	1	Y	Y	Y	Y	N[1]	N[1]
基本 / 原稿サイズ選択 / ユーザー登録サイズ	Y	Y	Y	Y	N	N	N		N	Y	Y	Y	N[1]	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	1	Y	Y	Y	Y	N[1]	N[1]
基本 / 原稿サイズ選択 / その他定形サイズ	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N		Y	Y	Y	Y	Y	N[4]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	1	Y	Y	Y	Y	Y	5
基本 / 原稿セット向き / 奥	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
基本 / 原稿セット向き / 左	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	3	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	3
基本 / ファイル名入力	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
基本 / 送信サイズ選択 / 自動サイズ	Y	Y	Y	Y	Y	Y	7	7	Y	Y	Y	Y		N	N[4]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
基本 / 送信サイズ選択 / サイズ選択	Y	Y	Y	Y	Y	Y	7	7	Y	Y	Y	Y	N		N[4]	Y	Y	Y	1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	6	Y	Y	Y	Y	Y	6
基本 / 読み込み解像度	Y	Y	Y	Y	Y	N[4]	Y	Y	N[4]	Y	Y	Y	N[4]	N[4]		Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
基本 / ファイル形式 / PDF	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
基本 / ファイル形式 / TIFF	1	1	Y	1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N		N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	1	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
基本 / ファイル形式 / JPEG	1	Y	1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N		N	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y
基本 / ファイル形式 / 高圧縮PDF†	1	Y	1	1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	N[1]	N[1]	N	N	N		N[1]	Y	N[5]	N[5]	N[5]	Y	1	1	Y	N[1]	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y
画質 / 濃度 / 自動（白黒機能）	Y	1	Y	1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N		N	Y	2	Y	Y	Y	2	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
画質 / 濃度 / 手動	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
画質 / 原稿の画質 / 文字＋写真	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	4	Y	Y		N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
画質 / 原稿の画質 / 写真	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	4	N[1]	Y	N		N	N	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
画質 / 原稿の画質 / 文字	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	4	Y	Y	N	N		N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
画質 / 原稿の画質 / OCR	1	1	Y	1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N		Y	4	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
画質 / 白黒選択 / 白黒2階調	Y	1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y		1	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
画質 / 白黒選択 / 白黒グレー	Y	1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	N[1]	N[6]	Y	Y	Y	Y	N[1]	1		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
画質 / 地色調整	Y	Y	1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	N[1]	Y	Y	N[1]	Y	Y	N[1]	Y		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
画質 / シャープネス	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
応用 / 枠消し / シート枠消し	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		N	N	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y
応用 / 枠消し / ブック枠消し	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N		N	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y
応用 / 枠消し / 個別枠消し	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N		N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y
応用 / 原稿サイズ混載††	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	N[1]	N[1]	N[1]	Y	Y	Y	N[1]	N[1]	Y	Y	Y	Y	1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	N[1]	N[1]		N[1]	Y	Y	Y	N[1]	N[1]
応用 / センター移動	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]		Y	Y	Y	Y	Y
応用 / 連続読み込み	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		Y	Y	Y	Y
応用 / ページ毎出力	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		Y	Y	Y
応用 / 両面 / 分割 / 片面原稿	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y		N	N
応用 / 両面 / 分割 / 両面原稿††	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	N[1]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	N		N
応用 / 両面 / 分割 / 見開き原稿	Y	Y	Y	Y	Y	N[2]	N[1]	N[1]	N[2]	N[1]	N[1]	Y	Y	N[3]	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N[1]	Y	Y	Y	N	N	

† オプションの PDF アップグレードキットが必要です。

†† オプションの原稿送り装置が必要です。

Y：組み合わせできます。

N：組み合わせできません。

N1：先に設定する機能が優先されて、後から設定する機能が選択できません。

N2：先に設定する機能が優先されて、後から設定する機能が選択できません。（原稿サイズ選択が、A4、A5、B5、B6R、B6、11 × 15"、11 × 8 1/2"、8 1/2 × 14"、5 1/2 × 8 1/2"、8 1/2 × 5 1/2"、8 1/2 × 13 1/2"、8 1/2 × 13"、Folio、16KR、16K の時）

N3：先に設定する機能が優先されて、後から設定する機能が選択できません。（送信サイズ選択が、A3、B4、Folio、11 × 17"、8 1/2 × 14"、11 × 15"、8 1/2 × 13 1/2"、8 1/2 × 13"、8K」の時）

N4：先に設定する機能が優先されて、後から設定する機能が選択できません。（選択する解像度と送信サイズによっては組み合わせできないものがあります）

N5：先に設定する機能が優先されて、後から設定する機能が選択できません。（原稿の画質の設定が、**「文字＋写真」**に変更されます）

N6：先に設定する機能が優先されて、後から設定する機能が選択できません。（白黒モードの時）

N7：先に設定する機能が優先されて、後から設定する機能が選択できません。（2 値の時）

N8：先に設定する機能が優先されて、後から設定する機能が選択できません。（TWAIN の時）

1　後から設定する機能が優先されて、先に設定した機能が解除されます。

2　濃度の設定が、**「手動」**に変更されます。

3　原稿セット向きの設定が、**「奥」**に変更されます。

4　原稿の画質の設定が、**「文字＋写真」**に変更されます。

5　原稿サイズ選択の設定が、**「自動検知」**に変更されます。

6　送信サイズ選択の設定が、**「自動サイズ」**に変更されます。

7　送信サイズ選択の設定が、「ーーーーーー」に変更されます。

デュアルアクセス表

コピー機能、プリンタ機能、スキャナ機能から、2 つの処理を並行して行うことができます。機能の組み合わせは下の一覧表をご参照ください。

				追加処理												
				コピー					プリンタ		スキャナ					
				通常	メモリコピー†						多値			2 値		
				読込 / 出力	読込	出力	予約コピー	文書管理出力	スプール	出力	読込	送信	TWAIN	読込	送信	TWAIN
先行処理	コピー	通常	読込 / 出力中		N[1]	N[2]	N	N[2]	Y	N[2]	N[1]	N[1]	N[1]	N[1]	N[1]	N[1]
		メモリコピー†	読込中	N[1]		N[1]	N	N[2]	Y	Y[3]	N[1]	N[1]	N[1]	N[1]	N[1]	N[1]
			出力中	N[2]	N		Y	N[2]	Y	N[2]	Y	Y	Y	Y	Y	Y
		予約コピー	コピー出力中	N	N	N		N	Y	N	N	N	N	N	N	N
			プリンタ出力中	N	N	N		N	Y	N	N	N	N	N	N	N
			ファクス出力中	N	N	N		N	Y	N	N	N	N	N	N	N
		文書管理	出力中	N[2]	N	N[2]	Y		Y	N[2]	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	プリンタ	スプール中		Y	Y	Y	N[5]	Y		Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
		出力中		N[2]	Y[2]	N[2]	Y	N[2]	Y		Y[1]	Y	Y	Y[1]	Y	Y
	スキャナ	多値	読込中	N[1]	N[1]	N[1]	N[1]	N[1]	Y	Y[1]		N[4]	N[3]	N[1]	N[4]	N[3]
			送信中	Y[4]	Y[4]	Y[4]	N[5]	Y[4]	Y	Y	N[3]		N[3]	N[3]	N[3]	N[3]
			TWAIN	N[1]	N[1]	N[1]	N[1]	N[1]	Y	Y	N[3]	N[3]		N[3]	N[3]	N[3]
		2 値	読込中	N[1]	N[1]	N[1]	N[1]	N[1]	Y	Y[1]	N[1]	N[4]	N[3]		N[4]	N[3]
			送信中	Y[4]	Y[4]	Y[4]	N[5]	Y[4]	Y	Y	N[3]	N[3]	N[3]	N[3]		N[3]
			TWAIN	N[1]	N[1]	N[1]	N[1]	N[1]	Y	Y	N[1]	N[3]	N[3]	N[1]	N[3]	

† 読み取った原稿をいったん本体内のハードディスクに記憶してから出力します。

Y：組み合わせできます。

N：組み合わせできません。

Y1：プリンタ画面への切り替えはできません。

Y2：先行処理で読み込み実施後、出力部が空いた時点で出力をを開始します。

Y3：自動的に出力を開始せず、追加処理時に操作部から出力を開始する。

Y4：スキャナが「**連続送信 ON**」の場合の「送信中 / 圧縮中」は、送信終了後再び読込設定画面または読込中になるので N1 になります。

N1：先行処理が操作部を使用しているので、追加処理ができません。

N2：先行処理が印字部を使用しているので、追加処理ができません。

N3：先行処理がスキャナのネットワークインタフェースを使用しているので、追加処理ができません。

N4：先行処理が終了しないと追加処理が始まらないので、同時に処理できません。

N5：出力中でないと予約コピーにはなりえないので処理が実現しません。

用語集

AppleTalk

Apple 社の Mac OS に標準搭載されているネットワーク機能です。また、AppleTalk のネットワーク機能を実現するプロトコル群の総称です。AppleTalk ではファイル共有やプリンタ共有などのサービスが提供されます。AppleTalk ネットワーク上の別のコンピュータのアプリケーションソフトを起動することもできます。

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

DHCP は TCP/IP ネットワーク上で、IP Address や Subnet Mask、Gateway Address を自動的に解決するプロトコルです。特にクライアント数の多いネットワーク環境において、プリンタを含めて個々のクライアントに IP Address を個別に割当てる必要がないため、ネットワーク管理の負担を軽減できます。

dpi （dots per inch）

解像度を表す単位です。1 インチ（25.4 mm）当たりのドット数を表します。

E-Mail 送信

あらかじめ登録している E-Mail アドレスまたは、キー入力した E-Mail アドレス宛へ、スキャンした画像を送信する機能です。

FTP（File Transfer Protocol）

インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルです。現在のインターネットで HTTP や SMTP/POP と並んで頻繁に利用されています。

IEEE1284

プリンタとコンピュータを接続する国際標準規格です。この規格は IEEE （Institute of Electrical and ElectronicEngineers）で、1994 年に制定されました。

IP アドレス

ネットワークに接続されたコンピュータ 1 台ずつに割り振られた識別番号です。「192.168.110.171」などのように、0 から 255 までの数字を 4 つ並べて表現します。

KPDL

Adobe PostScript Level 3 と互換の京セラのページ記述言語です。

NetBEUI（NetBIOS Extended User Interface）設定

1985 年に IBM 社が開発したネットワークプロトコルです。NetBIOS をベースに拡張したもので、小規模なネットワークでは TCP/IP などのほかのプロトコルよりも高い性能を発揮できます。ただし、複数の経路の中から最適な経路を選択するルーティング機能は持っていないため、大規模なネットワーク構築には向きません。IBM 社の OS/2 や Microsoft 社の Windows シリーズの標準プロトコルで、NetBEUI を利用したファイル共有サービスやプリントサービスなどが提供されています。

NetWare

Novell 社のネットワーク OS（ネットワーク管理ソフトウェア）です。NetWare は様々な OS 上で動作することができます。

POP3（Post Office Protocol 3）

インターネットやイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバからメールを受信するための標準的なプロトコルです。

PostScript

Adobe Systems 社が開発したページ記述言語です。柔軟なフォント機能および高性能のグラフィックスを提供し、高品質な印刷が可能です。現在 Level 1 と呼ばれている最初のバージョンは 1985 年に登場しました。1990 年にはカラー印刷や日本語などの 2 バイト言語に対応した Level 2 が、1996 年にはインターネットへの対応や実装水準の段階化、PDF 形式への対応などを追加した Level 3 が発表されています。

PPM（prints per minute）

A4 用紙を 1 分間当りに印刷（プリント）できる枚数を示します。

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）

インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバ間でメールのやり取りや、クライアントがサーバにメールを送信する際に用いられます。

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）

コンピュータ同士やその他のデバイスとの間で、データ通信の規約を定めたネットワークプロトコルのひとつです。

TWAIN（Technology Without Any Interested Name）

スキャナ、デジタルカメラなどの画像入力機器とコンピュータを接続するための技術仕様のひとつです。機器が TWAIN に対応していれば、TWAIN に対応したあらゆるアプリケーションソフトからでも画像の入力ができます。TWAIN は、Adobe Photoshop を始めとするグラフィックソフト、OCR ソフトで多く採用されています。

USB（Universal Serial Bus）

Hi-Speed USB 2.0 に準拠した USB インタフェースを装備しています。最大通信速度は 480 Mbps で、データ転送を高速に行います。

エコプリント

トナーを節約するための印刷モードです。エコプリントでの印刷は通常モードでの印刷よりも薄くなります。

エミュレーション

他のプリンタのページ言語を解釈し、実行する機能です。本プリンタは PCL 6、KPDL、KC-GL のエミュレーションを備えています。

オートスリープモード

省電力のために設けられているモードで、本体の操作やデータの送受信が一定の時間行われないとスリープモードに移行します。スリープモード時は電力の消費は最小に抑えられます。スリープモードへの移行時間は初期設定で 60 分に設定されていますが、操作パネルから設定を変更することができます。

グレースケール

コンピュータ上での色の表現方法のひとつです。画像を白から黒までの明暗だけで表現し、色の情報は含まない「モノクロ」のことです。灰色を何階調で表現するかをビット数によって表します。1 ビットの場合は白と黒のみで中間色がない状態、8 ビットなら（白と黒を含めて）256 階調、16 ビットなら 65536 階調の灰色で表現されます。

サブネットマスク

ネットワークの識別するためのネットワークアドレスに、IP Address の何ビットを使用するかを定義する 32 ビットの数値です。

自動改ページ待ち時間

データをプリンタへ送信している間に、時間的な切れ目が発生する場合があります。このときプリンタは、データが途切れても改ページせずに、次にある程度途切れた後のデータが送信される場合に備えます。自動改ページ待ち時間とは、この自動改ページを発行するまでの間、あらかじめ設定されている改ページ時間だけ待機する機能です。待機を始めてから設定された改ページ時間を越えた時点で、プリンタは自動的に排紙処理を行います。ただし、最終ページに印刷データがなにもない場合は、プリンタは排紙処理を行いません。

自動低電力モード

省電力のために設けられているモードで、本体の操作やデータの送受信が一定の時間行われないと低電力モードに移行します。低電力モード時は待機状態より消費電力が少なくなります。低電力モードへの移行時間は初期設定で 15 分に設定されていますが、操作パネルから設定を変更することができます。

自動用紙選択機能

コピー時に、原稿サイズと同じサイズの用紙を自動的に選択する機能です。

ステータスページ

ステータスページを印刷すると、搭載メモリ容量、コピーや印刷の総枚数、給紙元の設定など本機に関する様々な情報を確認することができます。ステータスページは本体操作パネルから出力できます。

増設メモリ

プリンタ用にメモリを増設することができます。メモリを増設するとより複雑なデータの印刷が可能になります。増設できるメモリは 128 MB、256 MB、512 MB です。本機で使用できるメモリについては弊社製品取り扱い店等にお問い合わせください。

手差し

本体右側にある給紙トレイです。封筒、ハガキ、OHP シート、ラベル用紙などを使用するときは、カセットではなく手差しにセットしてください。

デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークの外のコンピュータへアクセスする際に使用する、コンピュータやルータなどの出入り口の代表となるアドレスです。アクセス先の IP Address について特定のゲートウェイを指定していない場合は、デフォルトゲートウェイに指定されているホストにデータが送信されます。

パラレルインタフェース

パラレルインタフェースを使用した場合、本機とコンピュータ間のデータ転送は 8 ビットで行われます。本機は、IEEE1284 準拠の双方向通信に対応しています。

プリンタドライバ

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。プリンタドライバは、付属の CD-ROM に収録されています。本機に接続したコンピュータにインストールしてください。

区点コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0100			、	。	，	．	・	：	；	？
0110	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
0120	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
0130	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
0140	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
0150	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
0160	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
0170	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
0180	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
0190	★	○	●	◎	◇					
0200		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
0210	→	←	↑	↓	〓					
0220							∈	∋	⊆	⊇
0230	⊂	⊃	∪	∩						
0240			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
0250										
0260	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
0270	∽	∝	∵	∫	∬					
0280			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
0290					◯					
0300										
0310							０	１	２	３
0320	４	５	６	７	８	９				
0330				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
0340	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0350	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
0360						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
0370	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
0380	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
0390	ｚ									
0400		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
0410	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
0420	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
0430	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
0440	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
0450	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
0460	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
0470	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
0480	ゐ	ゑ	を	ん						
0490										
0500		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
0510	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
0520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
0530	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
0540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
0550	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
0560	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
0570	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
0580	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
0590										

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0600		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
0610	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
0620	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
0630				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
0640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
0650	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
0660										
0670										
0680										
0690										
0700		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
0710	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
0720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
0730	Ь	Э	Ю	Я						
0740										а
0750	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
0760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
0770	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
0780	ю	я								
0790										
0800		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
0810	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
0820	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
0830	┥	┸	╂							
0840										

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0850										
0860										
0870										
0880										
0890										
0900										
0910										
0920										
0930										
0940										
0950										
0960										
0970										
0980										
0990										
1000										
1010										
1020										
1030										
1040										
1050										
1060										
1070										
1080										
1090										

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1100										
1110										
1120										
1130										
1140										
1150										
1160										
1170										
1180										
1190										
1200										
1210										
1220										
1230										
1240										
1250										
1260										
1270										
1280										
1290										
1300		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1310	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
1320	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
1330	Ⅹ									
1340										

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1350										
1360							№	㏍	℡	
1370					㈱	㈲	㈹			
1380										
1390										
1400										
1410										
1420										
1430										
1440										
1450										
1460										
1470										
1480										
1490										
1500										
1510										
1520										
1530										
1540										
1550										
1560										
1570										
1580										
1590										

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	1600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	1610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	1620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	1630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	1640	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
イ	1650	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	1660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	1670	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	1680	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	1690	引	飲	淫	胤	蔭					
	1700		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽
ウ	1710	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	1720	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	1730	云	運	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映
エ	1740	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	1750	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	1760	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	1770	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥
オ	1790	凹	央	奥	往	応					
	1800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	1810	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	1820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化
カ	1830	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	1840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
カ	1850	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	1860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	1870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	1880	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	1890	恢	懐	戒	拐	改					
	1900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	1910	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	1930	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	1940	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	1950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	1960	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	1970	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	1980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
	1990	噛	鴨	栢	茅	萱					
	2000		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	2010	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	2020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	2030	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	2050	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	2060	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	2070	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
キ	2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	2090	旗	既	期	棋	棄					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ	2100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	2110	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	2120	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	2130	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	2140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	2150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	2160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	2170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	2190	禦	魚	亨	享	京					
	2200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	2210	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	2220	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	2230	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	2240	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	2250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九
ク	2270	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	2290	串	櫛	釧	屑	屈					
	2300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	2310	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	2320	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
ケ	2330	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	2340	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ケ	2350	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	2360	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	2370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	2390	建	憲	懸	拳	捲					
	2400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	2410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	2420	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	2430	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固
コ	2440	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	2450	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	2460	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	2470	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	2490	効	勾	厚	口	向					
	2500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	2510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	2520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	2530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	2540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	2550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	2560	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	2570	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	2590	忽	惚	骨	狛	込					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
コ	2600		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	2610	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些
サ	2620	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	2630	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	2640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	2650	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	2660	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	2670	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	2680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	2690	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	2710	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	2720	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	2730	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺
シ	2740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	2750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	2760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	2770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	2790	字	寺	慈	持	時					
	2800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	2810	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	2820	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	2830	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	2840	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
シ	2850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	2860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	2890	綬	需	囚	収	周					
	2900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2910	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	2920	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	2930	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	2940	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	2950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	2970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	2990	恕	鋤	除	傷	償					
	3000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	3010	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	3030	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	3050	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	3060	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	3070	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3080	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	3090	醸	錠	嘱	埴	飾					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
シ	3100		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	3110	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	3120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	3130	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	3140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	3150	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏
ス	3160	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	3170	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3180	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	3190	椙	菅	頗	雀	裾					
	3200		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制
セ	3210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	3220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	3230	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	3240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	3250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	3260	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
	3270	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	3280	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	3290	煽	旋	穿	箭	線					
	3300		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
	3310	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	3320	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾
ソ	3330	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	3340	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ソ	3350	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	3360	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	3370	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	3380	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	3390	霜	騒	像	増	憎					
	3400		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	3410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	3420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
タ	3430	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	3440	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	3450	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	3460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	3470	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	3480	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	3490	諾	茸	凧	蛸	只					
	3500		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	3510	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	3520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	3530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	3540	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥
チ	3550	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	3560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	3570	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	3580	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	3590	丁	兆	凋	喋	寵					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
チ	3600		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	3610	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	3620	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	3630	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎
ツ	3640	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	3650	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
	3660	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵
テ	3670	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3690	艇	訂	諦	蹄	逓					
	3700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	3710	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	3720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	3730	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐
ト	3740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	3770	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	3780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	3790	答	筒	糖	統	到					
	3800		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	3810	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	3820	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	3830	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	3840	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ト	3850	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	3860	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	凪	薙
ナ	3870	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	3880	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
ニ	3890	虹	廿	日	乳	入					
ヌ	3900		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰
ネ	3910	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	3920	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
ノ	3930	脳	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷
ハ	3940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	3950	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	3960	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	3970	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	3990	爆	縛	莫	駁	麦					
	4000		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	4010	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	4020	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	4030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	4040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	4050	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪
ヒ	4060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090	枇	毘	琵	眉	美					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ヒ	4100		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	4110	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	4120	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	4130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	4140	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	4150	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
フ	4160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	4170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	4190	伏	副	復	幅	服					
	4200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	4210	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	4220	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀
ヘ	4230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	4240	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	4250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	4260	鞭	保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
ホ	4270	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290	抱	捧	放	方	朋					
	4300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	4310	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	4330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	4340	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ホ	4350	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	4360	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹
マ	4370	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4380	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	4390	繭	麿	万	慢	満					
	4400		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密
ミ	4410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務
ム	4420	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥
メ	4430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	4440	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄
モ	4450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	4460	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	4470	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
ヤ	4480	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	4490	鑓	愉	愈	油	癒					
ユ	4500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	4510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予
ヨ	4530	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	4540	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	4550	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	4560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅
ラ	4570	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏
リ	4590	履	李	梨	理	璃					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
リ	4600		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	4610	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	4620	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	4630	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	4640	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	4650	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
ル	4660	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
レ	4670	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	4680	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	4690	漣	煉	簾	練	聯					
	4700		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路
ロ	4710	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	4720	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	4730	肋	録	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑
ワ	4740	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	4750	碗	腕								
	4760										
	4770										
	4780										
	4790										

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4800		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
4810	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
4820	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
4830	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
4840	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
4850	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
4860	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
4870	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
4880	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
4890	傀	傚	傅	傴	傲					
4900		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
4910	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
4920	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
4930	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
4940	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
4950	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
4960	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
4970	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
4980	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
4990	劒	剱	劈	劑	辧					
5000		辮	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
5010	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
5020	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
5030	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
5040	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5050	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
5060	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
5070	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
5080	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
5090	咥	咬	哄	哈	咨					
5100		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
5110	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
5120	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
5130	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
5140	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
5150	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
5160	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
5170	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
5180	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
5190	囹	圀	囿	圄	圉					
5200		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
5210	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
5220	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
5230	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
5240	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
5250	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
5260	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
5270	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
5280	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
5290	奢	奠	奧	奬	奩					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5300		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
5310	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
5320	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
5330	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
5340	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
5350	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
5360	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
5370	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
5380	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
5390	尹	屁	屆	屎	屓					
5400		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
5410	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
5420	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
5430	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
5440	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
5450	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
5460	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
5470	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
5480	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
5490	廁	廂	廈	廐	廏					
5500		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
5510	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
5520	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
5530	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
5540	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5550	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
5560	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
5570	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
5580	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
5590	悁	悍	惧	悃	悚					
5600		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
5610	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
5620	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
5630	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
5640	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
5650	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
5660	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
5670	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
5680	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
5690	戉	戍	戌	戔	戛					
5700		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
5710	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
5720	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
5730	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
5740	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
5750	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
5760	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
5770	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5780	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
5790	撓	撥	撩	撈	撼					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5800		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
5810	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
5820	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
5830	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
5840	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
5850	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
5860	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
5870	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5880	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
5890	曁	暹	曉	暾	暼					
5900		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
5910	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
5920	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
5930	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
5940	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
5950	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
5960	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
5970	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
5980	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
5990	椢	椦	棡	椌	棍					
6000		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
6010	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
6020	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
6030	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
6040	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6050	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
6060	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
6070	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
6080	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
6090	檍	檠	檄	檢	檣					
6100		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
6110	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
6120	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
6130	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
6140	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
6150	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
6160	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
6170	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
6180	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
6190	泅	泝	沮	沱	沾					
6200		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
6210	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
6220	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
6230	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
6240	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
6250	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
6260	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
6270	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
6280	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
6290	滲	漱	滯	漲	滌					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6300		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
6310	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
6320	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
6330	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
6340	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
6350	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
6360	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
6370	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
6380	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
6390	燠	燬	燧	燵	燼					
6400		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
6410	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
6420	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
6430	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
6440	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
6450	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
6460	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
6470	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
6480	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
6490	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
6500		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
6510	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
6520	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
6530	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
6540	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6550	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
6560	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
6570	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6580	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
6590	癩	癪	癧	癬	癰					
6600		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
6610	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
6620	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
6630	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
6640	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
6650	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
6660	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
6670	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
6680	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
6690	碾	碼	磅	磊	磬					
6700		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
6710	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
6720	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
6730	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
6740	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
6750	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
6760	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
6770	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
6780	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
6790	笞	笵	笨	笶	筐					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6800		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
6810	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
6820	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
6830	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
6840	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
6850	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
6860	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
6870	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6880	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
6890	糲	糴	糶	糺	紆					
6900		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
6910	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
6920	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
6930	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
6940	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
6950	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
6960	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
6970	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
6980	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
6990	纎	纛	纜	缸	缺					
7000		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
7010	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
7020	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
7030	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
7040	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7050	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
7060	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
7070	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
7080	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
7090	脛	脩	脣	脯	腋					
7100		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
7110	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
7120	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
7130	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
7140	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
7150	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
7160	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
7170	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
7180	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
7190	苞	茆	苜	茉	苙					
7200		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
7210	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
7220	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
7230	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
7240	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
7250	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
7260	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
7270	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
7280	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
7290	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7300		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
7310	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
7320	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
7330	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
7340	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
7350	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
7360	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
7370	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
7380	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
7390	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
7400		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
7410	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
7420	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
7430	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
7440	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
7450	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
7460	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
7470	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
7480	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
7490	褸	襌	褝	襠	襞					
7500		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
7510	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
7520	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
7530	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
7540	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7550	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
7560	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
7570	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
7580	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
7590	證	譖	譛	譚	譫					
7600		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
7610	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
7620	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
7630	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
7640	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
7650	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
7660	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
7670	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
7680	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
7690	蹂	踵	踰	踴	蹊					
7700		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
7710	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
7720	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
7730	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
7740	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
7750	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
7760	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
7770	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
7780	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
7790	逧	逶	逵	逹	迸					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7800		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
7810	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
7820	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
7830	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
7840	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
7850	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
7860	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
7870	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
7880	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
7890	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
7900		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
7910	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
7920	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
7930	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
7940	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
7950	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
7960	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
7970	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
7980	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
7990	陏	陋	陷	陜	陞					
8000		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
8010	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
8020	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
8030	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
8040	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8050	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
8060	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
8070	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
8080	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
8090	顏	顋	顫	顯	顰					
8100		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
8110	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
8120	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
8130	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
8140	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
8150	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
8160	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
8170	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
8180	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
8190	髫	髮	髴	髱	髷					
8200		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
8210	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
8220	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
8230	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
8240	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
8250	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
8260	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
8270	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
8280	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
8290	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8300		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
8310	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
8320	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
8330	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
8340	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
8350	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
8360	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
8370	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
8380	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
8390	齲	齶	龕	龜	龠					
8400		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

索引

数字
2in1 コピー 1-14
2 色カラーコピー 1-58
3000 枚ドキュメントフィニッシャ 1-44, 3-28, 7-26, 7-27
　仕様 付録 -14
3000 枚ペーパーフィーダ
　仕様 付録 -13
4in1 コピー 1-15

A
A4 ／レターサイズ用紙の共通給紙 3-29
Address Editor 6-15
　インストールとアンインストール 6-15
　説明 6-15
　操作方法 6-16
AppleTalk 付録 -25

C
CR（復帰）動作 3-23

D
DB Assistant 6-56
　インストールとアンインストール 6-58
　説明 6-56
　操作方法 6-59
DHCP 付録 -25
dpi 付録 -25

E
E-Mail 送信 付録 -25
　E-Mail アドレス入力の設定 4-21
e-MPS 機能 3-39
　クイックコピー 3-39
　コードジョブリスト 3-43
　詳細設定 3-44
　ジョブ保留 3-40
　試し刷り後、保留モード 3-40
　バーチャルメールボックス 3-42
　プライベートプリント 3-40
EtherTalk 3-9
E メール送信設定 5-22
　E メール基本設定 5-22
　送信先リスト 5-23

F
FTP 付録 -25
FTP 送信設定 5-27
　送信先リスト 5-27

I
IEEE1284 付録 -25
IP アドレス 付録 -25

K
KPDL 付録 -25

L
LF（改行）動作 3-22

N
NetBEUI 付録 -25
NetWare 3-9, 付録 -26

O
OHP 合紙モード 1-41

P
PC 送信設定 5-18
　送信先リスト 5-18
PDF 暗号化機能 4-10
POP3 付録 -26
PostScript 付録 -26
PPM 付録 -26

R
RAM ディスク 3-36
　RAM ディスクサイズ 3-37
　設定 3-36

S
Scanner File Utility 6-3
　インストールとアンインストール 6-4
　サービスモード 6-5, 6-14
　説明 6-3
　操作方法 6-7
SMTP 付録 -26

T
TCP/IP 3-7, 付録 -26

TWAIN 付録 -26
TWAIN Source 6-48
インストールとアンインストール 6-49
説明 6-48
操作方法 6-49

U
USB 付録 -26

V
VMB 3-42

W
Web ページ機能 5-2
インデックス 5-2
画面構成 5-4
使用方法 5-3
注意事項 5-2

あ
アドレス帳 for Scanner 6-36
インストールとアンインストール 6-36
説明 6-36
操作方法 6-37
安全に正しくお使いいただくために
商標について v

い
イメージリピートコピー 1-50
印刷環境
CR（復帰）動作の設定 3-23
LF（改行）動作の設定 3-22
印刷の向き 3-20
カセット切り替え 3-30
コピー枚数 3-19
縮小印刷 3-20
ページ保護モード 3-21
印刷速度 付録 -11
印刷の向き 3-20
印刷範囲の補正 3-51
印刷枚数 3-19
インタフェース 3-5
シリアルインタフェースモード 3-6
ネットワークインタフェース 3-7
パラレルインタフェースモード 3-5

え
エコプリント 1-45, 付録 -26
初期設定 7-6
エミュレーション 3-11, 付録 -26
KPDL エラーの印刷 3-12
選択 3-11
代替エミュレーション 3-11
ペンと印刷環境の設定 3-12
エラーコード
スキャナ 9-17
エラーメッセージ
RAM ディスク 9-13
コピー 9-5
スキャナ 9-14
ハードディスク 9-14
プリンタ 9-10
メモリカード 9-13

お
応用コピー 1-63
機能の設定 1-67
手順 1-63
オートカセットチェンジ 7-17
オートクリア
時間の設定 7-26
使用 / 不使用の設定 7-31
オートスリープモード 付録 -27
移行時間設定 7-25
使用 / 不使用の設定 7-31

か
解像度 付録 -11
階調モード 3-24
改ページ待ち時間 3-46, 付録 -27
カウンタ制限の初期値 8-24
書き込み余白 1-31
拡大連写 1-23
画質 4-7
初期設定（コピー）7-4
初期設定（スキャナ）4-14
画面変更（基本機能）7-15
画面変更（追加機能）7-15
カラー
カラー印刷位置補正 7-38
カラー調整 7-36
カラーバランス調整 ii, 1-52
カラープロファイル 6-54
地色調整 1-35, 4-6
色相調整 iii, 1-53
自動階調調整 7-36
単色カラーコピー 1-57
配布コピー 1-56

ワンタッチ画質調整 i, 1-55
カラー印刷位置補正 7-38
カラー出力タイプ 4-17
カラー調整 7-36
カラー調整サンプル i
カラーバランス調整 1-52
サンプル ii
カラーモード
初期設定（コピー）7-5
初期設定（スキャナ）4-21
プリンタ 3-25
環境仕様 **付録** -15
管理者暗証番号変更 7-29

き
機能組み合わせ表
コピー **付録** -16
スキャナ **付録** -22
デュアルアクセス **付録** -24
機能登録キー 1-61
削除 1-61
登録 1-61
表示 / 非表示の設定 7-14
給紙元
コピー 1-2
プリンタ 3-27
鏡像コピー 1-47

く
クイックコピー 3-39
区点コード表 **付録** -29
グレースケール **付録** -27
黒筋軽減処理 7-6

け
原稿送り装置
仕様 **付録** -12
原稿サイズ混載
コピー 1-48
スキャナ 4-9
原稿サイズ選択
コピー 1-3
スキャナ 4-2
登録方法 7-35
原稿サイズについて xii
原稿自動検知設定 7-24
原稿セット向き
コピー 1-7
初期設定 7-24
スキャナ 4-3
原稿タイプ 4-10
言語切替 7-55
現像リフレッシュ 7-42

こ
高濃度印刷設定 7-32
コピー
仕様 **付録** -11
コピー / プリンタ出力の管理 8-22
コピー機能 1-1
コピージョブ優先設定 7-32
コピー枚数 1-6
部数制限 7-13

さ
サービス用の設定 3-52
再コピー
削除 1-39
出力 1-38
初期設定 7-14
設定 1-37
内容確認 1-39
サブネットマスク **付録** -27

し
地色調整
コピー 1-35
スキャナ 4-6
色相調整 1-53
サンプル iii
時差の設定 7-29
システム設定 5-7
システム基本設定 5-7
スキャナ初期設定 5-12
送信元リスト 5-15
リセット 5-17
設定条件 5-7
システムメニュー 7-1
自動階調調整 7-36
自動回転コピー 1-43
初期設定 7-12
自動カラー判別基準設定 7-5
自動継続印刷 3-47
自動低電力モード **付録** -27
移行時間設定 7-25
自動濃度調整
コピー 7-10
スキャナ 4-14

自動倍率優先設定 7-10
自動用紙選択機能 付録 -27
- 自動用紙選択設定 7-7
- 用紙種類（カラー自動用紙）7-7
- 用紙種類（白黒自動用紙）7-8

シャープネス調整
- サンプル iii
- コピー 1-34
- スキャナ 4-7

集計サイズ 8-25
集約コピー
- 2in1 コピー 1-14
- 4in1 コピー 1-15
- ページ区切りの線種 1-15

縮小 / 拡大設定 7-11
縮小印刷 3-20
受信データのダンプ 3-53
出力管理機能
- 出力管理機能を使用するには 2-13
- ［出力状況］画面 2-13
- 説明 2-12

手動濃度調整
- コピー 7-11
- スキャナ 4-15

仕様
- 3000 枚ドキュメントフィニッシャ 付録 -14
- 3000 枚ペーパーフィーダ 付録 -13
- 環境仕様 付録 -15
- 原稿送り装置 付録 -12
- コピー機能 付録 -11
- ジョブセパレータ 付録 -14
- スキャナ機能 付録 -12
- ドキュメントフィニッシャ 付録 -13
- プリンタ機能 付録 -11
- ペーパーフィーダ 付録 -13
- 本体 付録 -10

小冊子
- シート原稿 1-27
- 見開き原稿 1-29

使用制限
- コピー 8-6, 8-10, 8-11
- 出力制限 8-7, 8-8
- スキャナ 8-9
- 説明 8-5
- ファクス 8-9
- プリンタ 8-6, 8-12
- 変更 8-14

初期設定
- コピー初期設定 7-2
- スキャン機能 4-13
- 部門管理 8-20
- 文書管理機能 7-44
- マシン初期設定 7-16

ジョブ結合ボックス
- 一括出力 2-7
- 確認 2-8
- 結合と出力 2-6
- 削除 2-9
- 初期化 7-46
- 全削除 2-10, 7-47
- 登録 2-5
- 文書保存期間設定 7-48
- 文書リスト出力 7-45
- ボックスパスワード 2-10, 7-46
- ボックス名 7-46
- 名称変更 2-8

ジョブセパレータ 1-44, 3-28, 7-26, 7-27
- 仕様 付録 -14

ジョブ保留 3-40
シリアルインタフェースモード 3-6
白黒選択 4-7
- 初期設定 4-22

白黒反転コピー 1-46
仕分けコピー 1-9
- 初期設定 7-12

す

スキャナ
- Web ブラウザからの設定 5-1
- 仕様 付録 -12
- 本体からの設定 4-1

スキャナユーティリティ 6-2
ステータスページ 付録 -27
- 印刷 3-2
- 内容 3-3

ステープルコピー 1-10
ステープルのエラー検知 3-48

せ

静音モード 7-28
制限超過時の設定 8-24
センター移動
- コピー 1-19
- 初期設定（スキャナ）4-19
- スキャナ 4-10

そ

送信サイズ選択 4-3

送信元（ユーザ）選択省略 4-20
送信履歴 4-26
増設メモリ 付録 -27

た
試しコピー 1-36
試し刷り後、保留モード 3-40
単色カラーコピー 1-57

ち
蓄積共有ボックス
確認 2-4
削除 2-5
出力 2-3
初期化 7-46
登録 2-2
文書リスト出力 7-45
名称変更 2-4

て
手差し 付録 -28
手差し設定の確認画面表示設定 7-20
手差しモード 3-26
手差し用紙サイズ登録 7-19
用紙サイズの設定 7-34
用紙種類の設定 7-34
デフォルトゲートウェイ 付録 -28
電源投入時モード 7-27

と
トータルカウンタの参照と印刷 7-53
ドキュメントフィニッシャ 1-44, 3-28, 7-26, 7-27
仕様 付録 -13
特定用紙種類の動作設定 7-23
とじしろコピー 1-17
初期設定 7-13
トラブルが発生した場合 9-2
ドラムリフレッシュ 7-41

ね
ネットワークインタフェース 3-7
EtherTalk 3-9
Netware 3-9
TCP/IP 3-7
ネットワークステータスページ 3-10

の
濃度ステップ設定 7-4
濃度モード設定 7-3

は
バーチャルメールボックス 3-42
リスト印刷 3-42
ハードディスク 3-38
フォーマット（初期化）3-38
ハードディスク暗号化キー 7-33
ハードディスク管理 7-49
ハードディスク消去方法の設定 7-32
排紙トレイ 1-44, 3-28, 7-26, 7-27
排出先
コピー 1-44
初期設定（コピー）7-26
初期設定（ファクス）7-27
プリンタ 3-28
配布コピー 1-56
パラレルインタフェース 付録 -28
パラレルインタフェースモード 3-5
パンチコピー 1-12

ひ
日付 / 時刻の設定 7-29
表紙付け 1-26
表紙用紙カセット 7-9

ふ
ファーストコピータイム 付録 -11
ファーストプリントタイム 付録 -11
ファイル形式 4-5
PDF/JPEG 画質 4-16
高圧縮 PDF 画質 4-16
初期設定 4-15
ファイル名入力 4-4
自動 / 手動選択画面の表示 / 非表示 4-20
初期設定 4-18
フォント 3-14
コードセット 3-17
サイズ設定 3-15
選択 3-14
フォントリストの印刷 3-17
太さの設定 3-16
文字ピッチの設定 3-16
複写速度 付録 -11
付属マニュアル x
部門管理
コピー 8-20
プリンタ 8-21
集計 8-16
使用制限 8-5
初期設定 8-20

新規部門登録 8-4
スキャナ 8-23
説明 8-2
ファクス 8-23
部門削除 8-13
部門情報修正 8-13
有効 / 無効の設定 8-19
設定中の操作 8-26
部門管理集計
全部門集計 8-16
部門別集計 8-17
部門登録外の印刷（プリンタ）8-22
プライベートプリント 3-40
プリンタ
仕様 付録 -11
ユーティリティ x
プリンタエラーレポート 8-21
プリンタ設定 3-1
プリンタドライバ 付録 -28
プログラムコピー 1-59
削除 1-60
登録 1-59
プログラムを使ったコピー 1-59
名称の変更 1-60
プログラムスキャン 4-23
削除 4-25
登録 4-23
プログラムを使ったスキャン 4-24
名称の変更 4-24
文書管理機能 2-2
ジョブ結合ボックス 2-5
説明 2-2
蓄積共有ボックス 2-2

へ

ページ毎出力 4-9
初期設定 4-18
ページ付け 1-24
ページ保護モード 3-21
ペーパーフィーダ
仕様 付録 -13

ほ

報知音 7-28

め

メモリカード 3-31
書き込み 3-32
削除 3-34
挿入方法 3-31
パーティションリスト 3-35
フォーマット（初期化）3-32
読み込み 3-33

も

文字入力 7-56
直接入力 7-66
入力画面 7-57, 7-66
入力方式 7-56
入力文字 7-57
半角文字 7-62
変換入力 7-56
文字変換 7-59, 7-61

ゆ

優先カセット設定 7-9

よ

用紙 付録 -2
OHP フィルム 付録 -7
厚紙 付録 -8
カラー紙 付録 -8
基本仕様 付録 -2
再生紙 付録 -9
適正な用紙の選択 付録 -3
特殊な用紙 付録 -6
はがき 付録 -7
封筒 付録 -8
プレプリント 付録 -8
用紙サイズについて xii
用紙サイズの設定 7-18
用紙種類自動設定（はがき）7-20
用紙種類の設定 7-18
用紙種類の属性
用紙の重さ 7-21
両面印刷 7-22
用紙選択 7-7
読みかた xi
読み込み解像度 4-4
初期設定 4-17
読み込み濃度 4-6

り

リセット（再起動）3-53
リソース保護モード 3-47
両面印刷 3-27
エラー検知 3-49

れ
レポート出力 7-50
連続送信 4-19
連続読み込み
　　コピー 1-33
　　初期設定（スキャナ）4-17
　　スキャナ 4-9

わ
枠消し
　　コピー 1-20
　　初期設定 7-13
　　スキャナ 4-8
ワンタッチ画質調整 1-55
　　サンプル i

KYOCERA **お客様相談窓口のご案内**

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社
京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-9-15

http://www.kyoceramita.co.jp

2006.1

302FZ56020 Rev.1.0